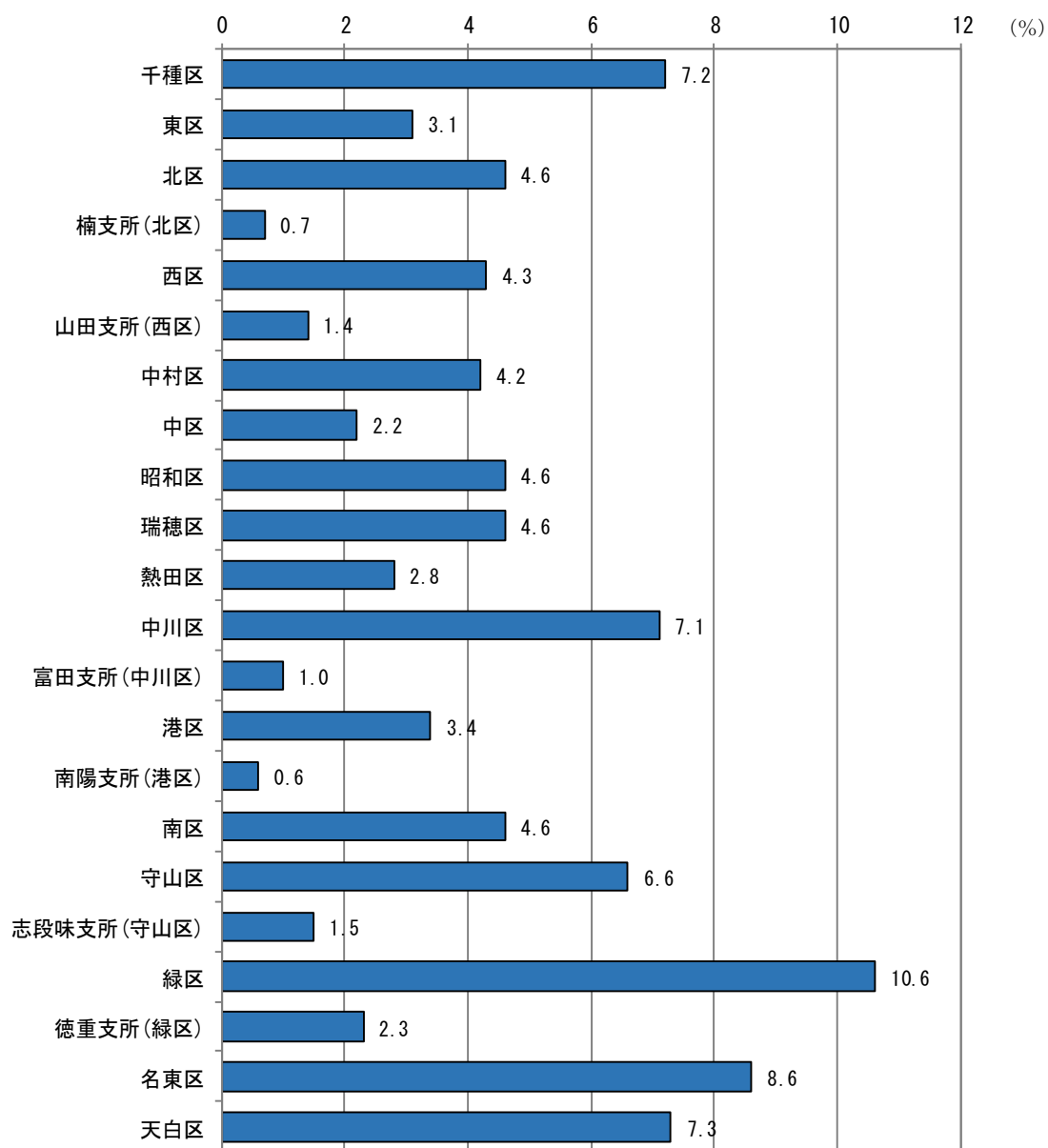


Ⅲ 子育て家庭調査

第1章 回答者属性（フェイス項目）の概要（就学前、就学後）

お住まいの区 就学前問 100・就学後問 61（F1）

■あなたのお住まいの区または支所をお答えください。

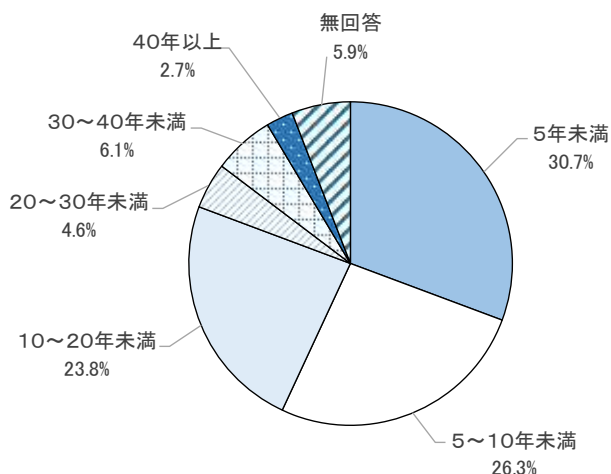


回答数 全体=6,818

お住まいの区での居住年数 就学前問 101・就学後問 62（F2）

■あなたは現在お住まいの区に、何年居住していますか。（1つ）

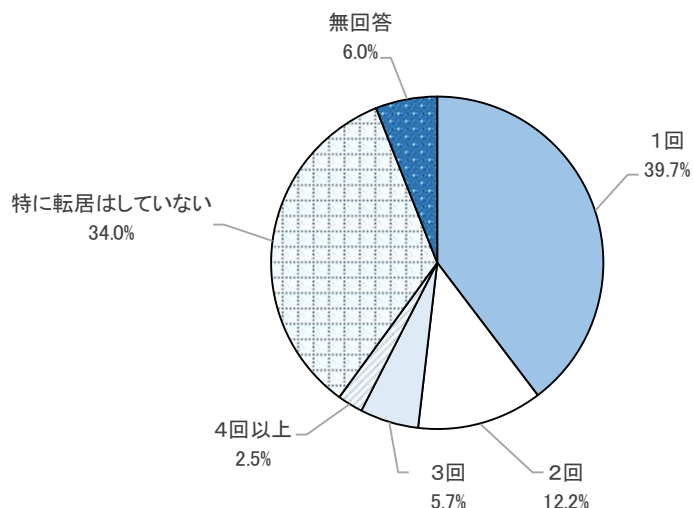
	回答数	構成比
5年未満	2,090	30.7%
5～10年未満	1,791	26.3%
10～20年未満	1,625	23.8%
20～30年未満	311	4.6%
30～40年未満	416	6.1%
40年以上	182	2.7%
無回答	403	5.9%
全体	6,818	100.0%



第1子が生まれてからの転居回数 就学前問 102・就学後問 63（F3）

■あなたは第1子が生まれてから、何回転居をされましたか。（1つ）

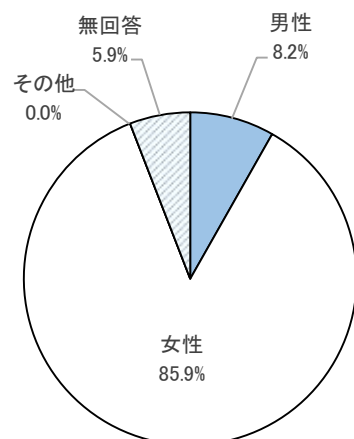
	回答数	構成比
1回	2,705	39.7%
2回	830	12.2%
3回	387	5.7%
4回以上	168	2.5%
特に転居はしていない	2,320	34.0%
無回答	408	6.0%
全体	6,818	100.0%



性別 就学前問 103・就学後問 64（F4）

■あなたの性別をお答えください。

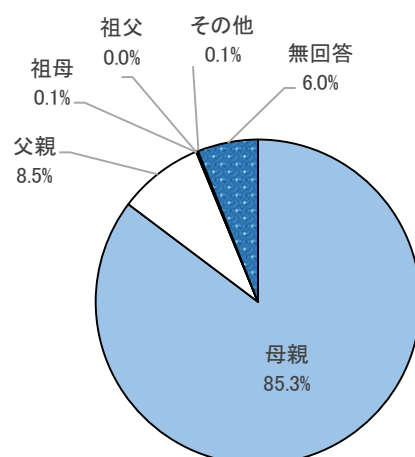
	回答数	構成比
男性	560	8.2%
女性	5,856	85.9%
その他	3	0.0%
無回答	399	5.9%
全体	6,818	100.0%



お子さんから見た続柄 就学前問 104・就学後問 65（F5）

■あて名のお子さんから見た続柄をお答えください。

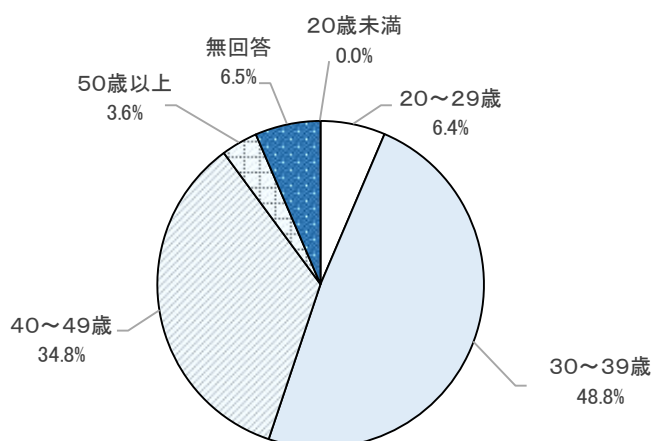
	回答数	構成比
母親	5,815	85.3%
父親	577	8.5%
祖父	3	0.0%
祖母	5	0.1%
その他	9	0.1%
無回答	409	6.0%
全体	6,818	100.0%



年齢 就学前問 105・就学後問 66（F6）

■あなたの年齢をお答えください。

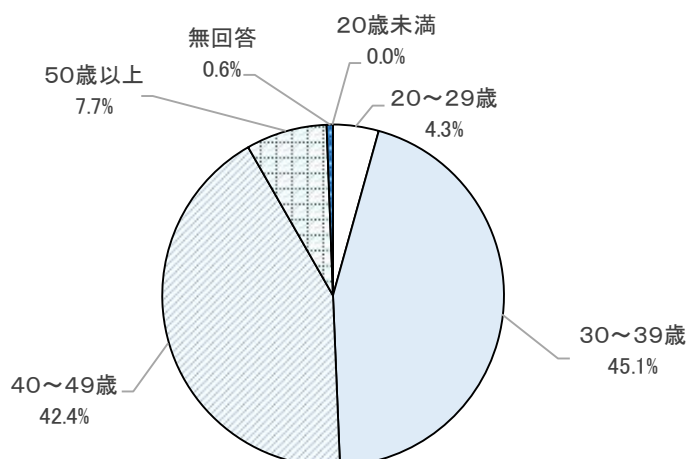
	回答数	構成比
20歳未満	0	0.0%
20～29歳	433	6.4%
30～39歳	3,324	48.8%
40～49歳	2,372	34.8%
50歳以上	243	3.6%
無回答	446	6.5%
全体	6,818	100.0%



配偶者の年齢 就学前問 106・就学後問 67（F7）

■あなたの配偶者の年齢をお答えください。

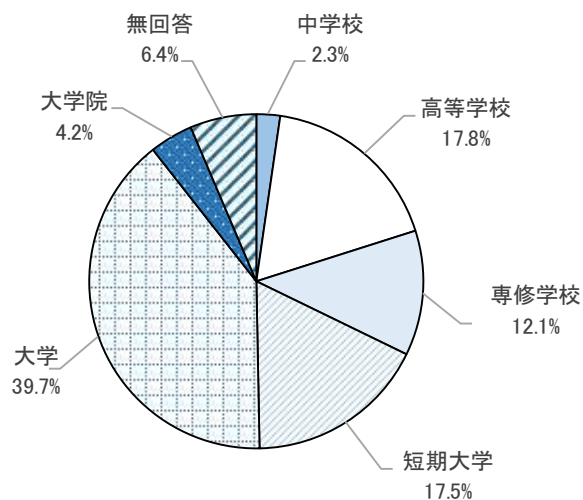
	回答数	構成比
20歳未満	1	0.0%
20～29歳	262	4.3%
30～39歳	2,738	45.1%
40～49歳	2,574	42.4%
50歳以上	466	7.7%
無回答	36	0.6%
全体	6,077	100.0%



最終学歴 就学前問 107・就学後問 68（F8）

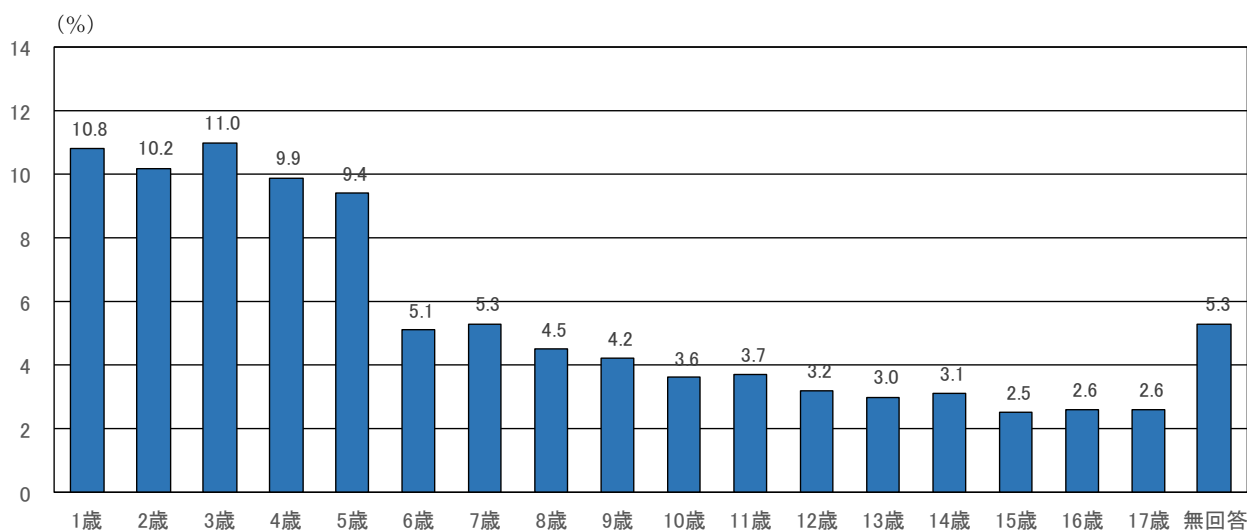
■あなたの最終学歴についてお答えください。

	回答数	構成比
中学校	155	2.3%
高等学校	1,211	17.8%
専修学校	828	12.1%
短期大学	1,195	17.5%
大学	2,705	39.7%
大学院	288	4.2%
無回答	436	6.4%
全体	6,818	100.0%



お子さんの生年月日 就学前問 108・就学後問 69（F9）

■あて名のお子さんの生まれた年と月をお答えください。



(H30. 4. 1 現在)

回答数 全体=6,818 3歳未満の親=1,664 3歳以上の親=2,097

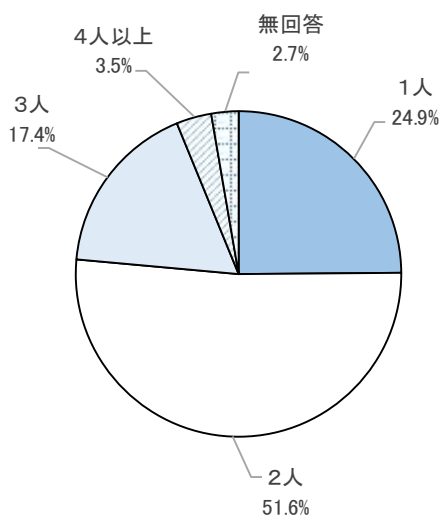
小学生の親=1,813 中学生の親=562 高校生の親=338

お子さんのきょうだい 就学前問 109・就学後問 70（ F10 ）

■あて名のお子さんは何人きょうだいの何番目ですか。

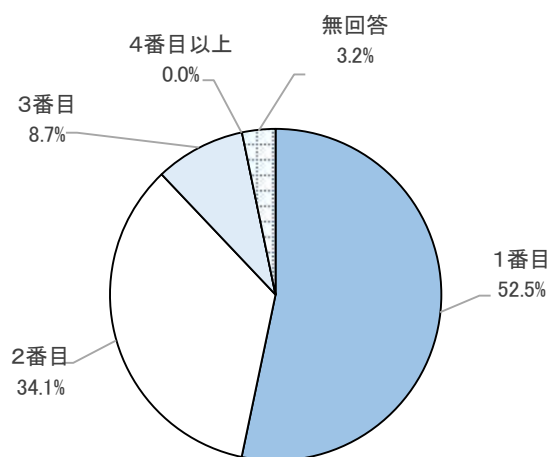
【きょうだいの人数】

	回答数	構成比
1 人	1, 695	24. 9%
2 人	3, 516	51. 6%
3 人	1, 185	17. 4%
4 人以上	240	3. 5%
無回答	182	2. 7%
全体	6, 818	100. 0%



【きょうだいの何番目】

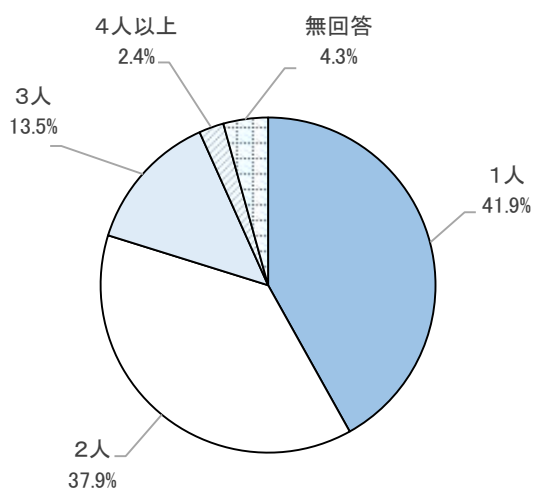
	回答数	構成比
1 番目	3, 577	52. 5%
2 番目	2, 324	34. 1%
3 番目	590	8. 7%
4 番目以上	111	0. 0%
無回答	216	3. 2%
全体	6, 818	100. 0%



17歳以下のきょうだいの人数 就学前問 110・就学後問 71（ F11 ）

■あて名のお子さんに17歳以下のきょうだいは何人いますか。（あて名のお子さん含む）

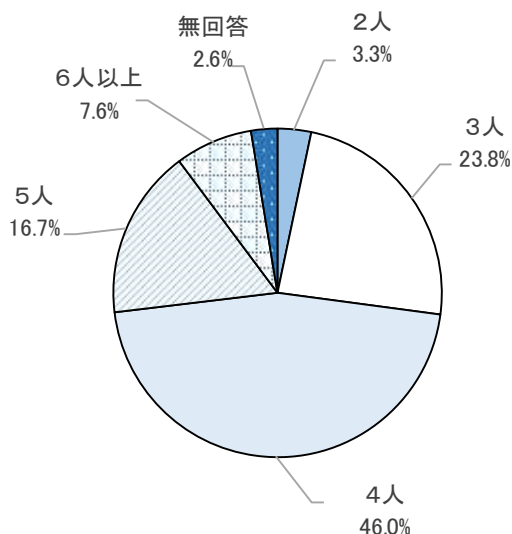
	回答数	構成比
1 人	2, 855	41. 9%
2 人	2, 583	37. 9%
3 人	922	13. 5%
4 人以上	167	2. 4%
無回答	291	4. 3%
全体	6, 818	100. 0%



お子さんの同居人数 就学前問 111・就学後問 72 (F12)

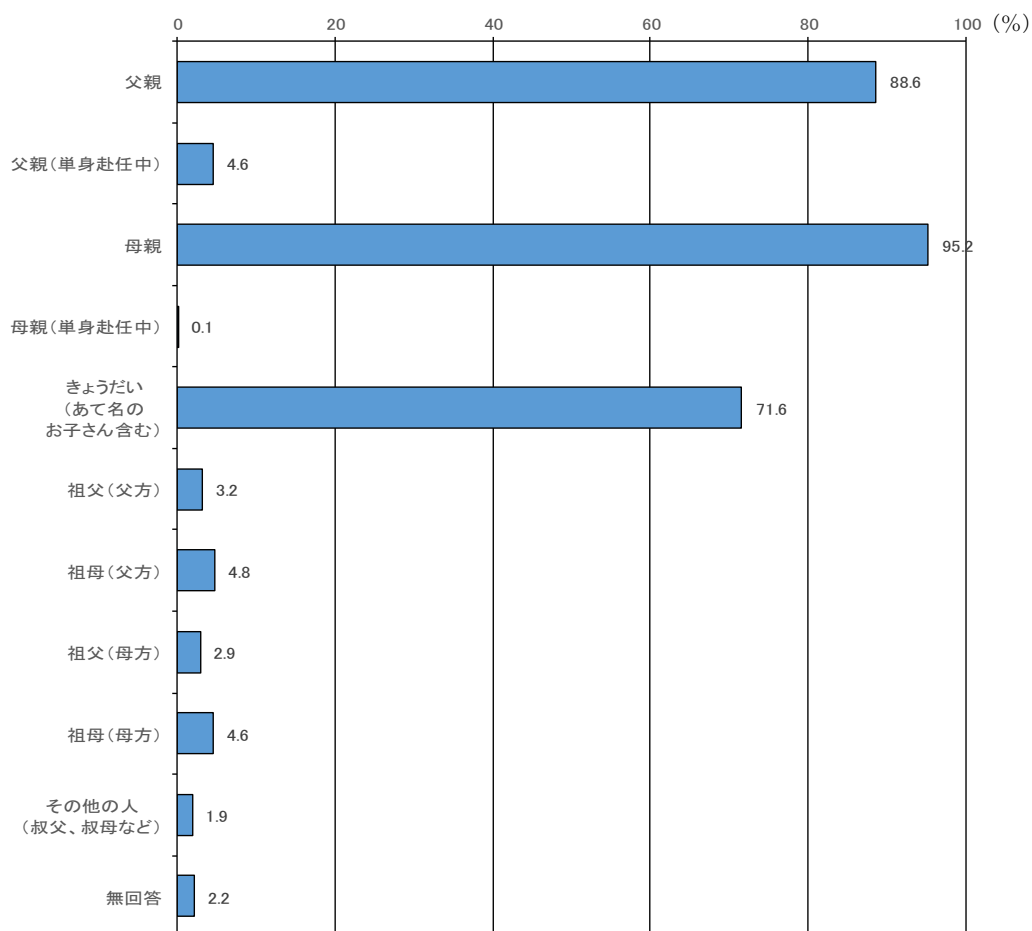
■あて名のお子さんと同居されているのは、合計何人ですか。

	回答数	構成比
2 人	222	3.3%
3 人	1,625	23.8%
4 人	3,133	46.0%
5 人	1,138	16.7%
6 人以上	521	7.6%
無回答	179	2.6%
全体	6,818	100.0%



お子さんと同居されている方 就学前問 112・就学後問 73 (F13)

■現在、あて名のお子さんと同居されている方をお答えください。(複数回答)

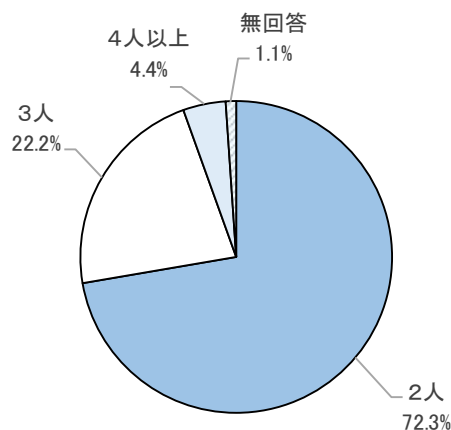


回答数 全体=19,077 3歳未満の親=4,374 3歳以上の親=6,038

小学生の親=4,374 中学生の親=1,617 高校生の親=993

【同居しているきょうだいの人数】

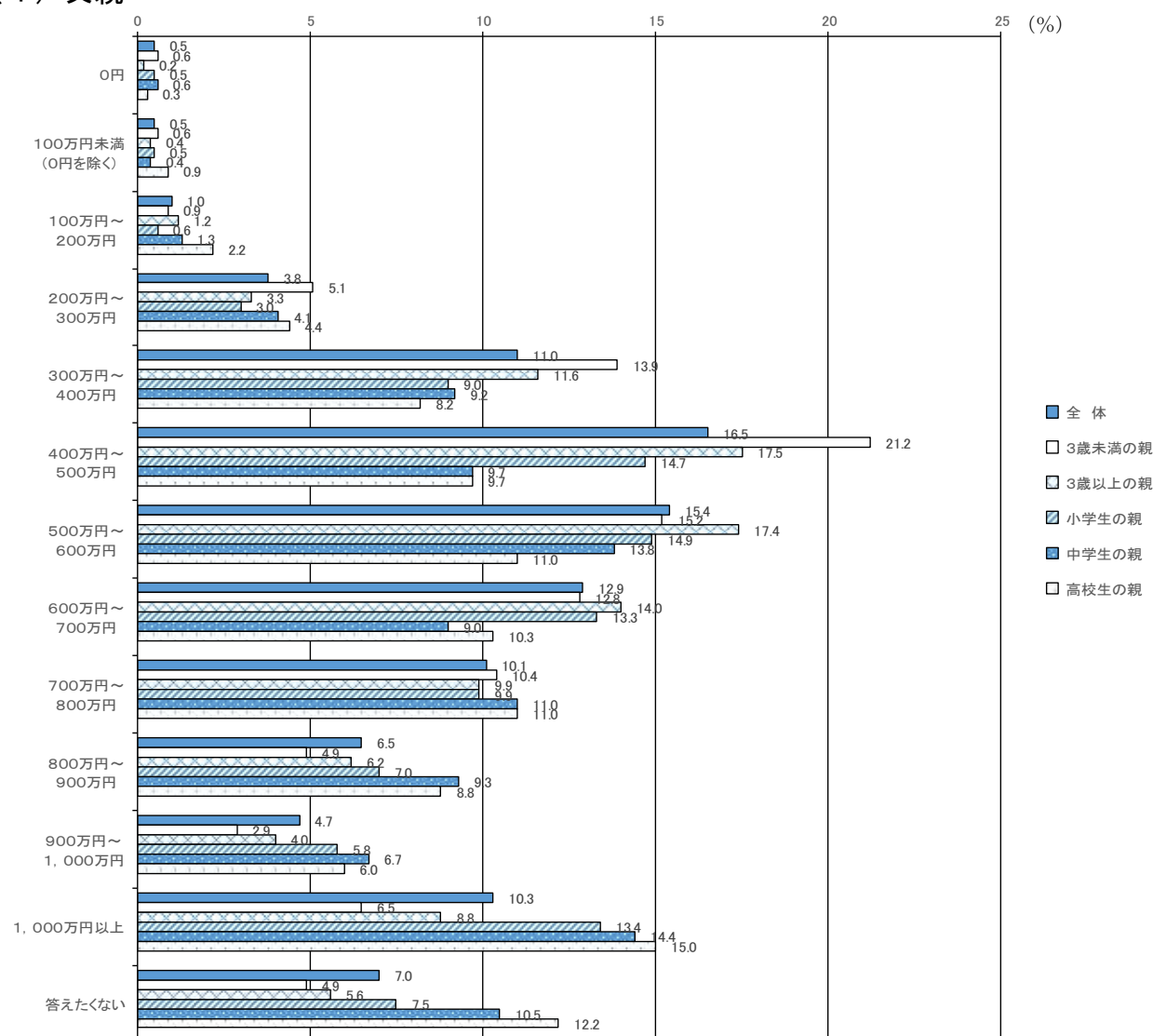
	回答数	構成比
2人	3,528	72.3%
3人	1,085	22.2%
4人以上	214	4.4%
無回答	53	1.1%
全体	4,880	100.0%



保護者の年収 就学前問 114・就学後問 75（F14）

■あて名のお子さんの保護者のかたの年収についてお答えください。

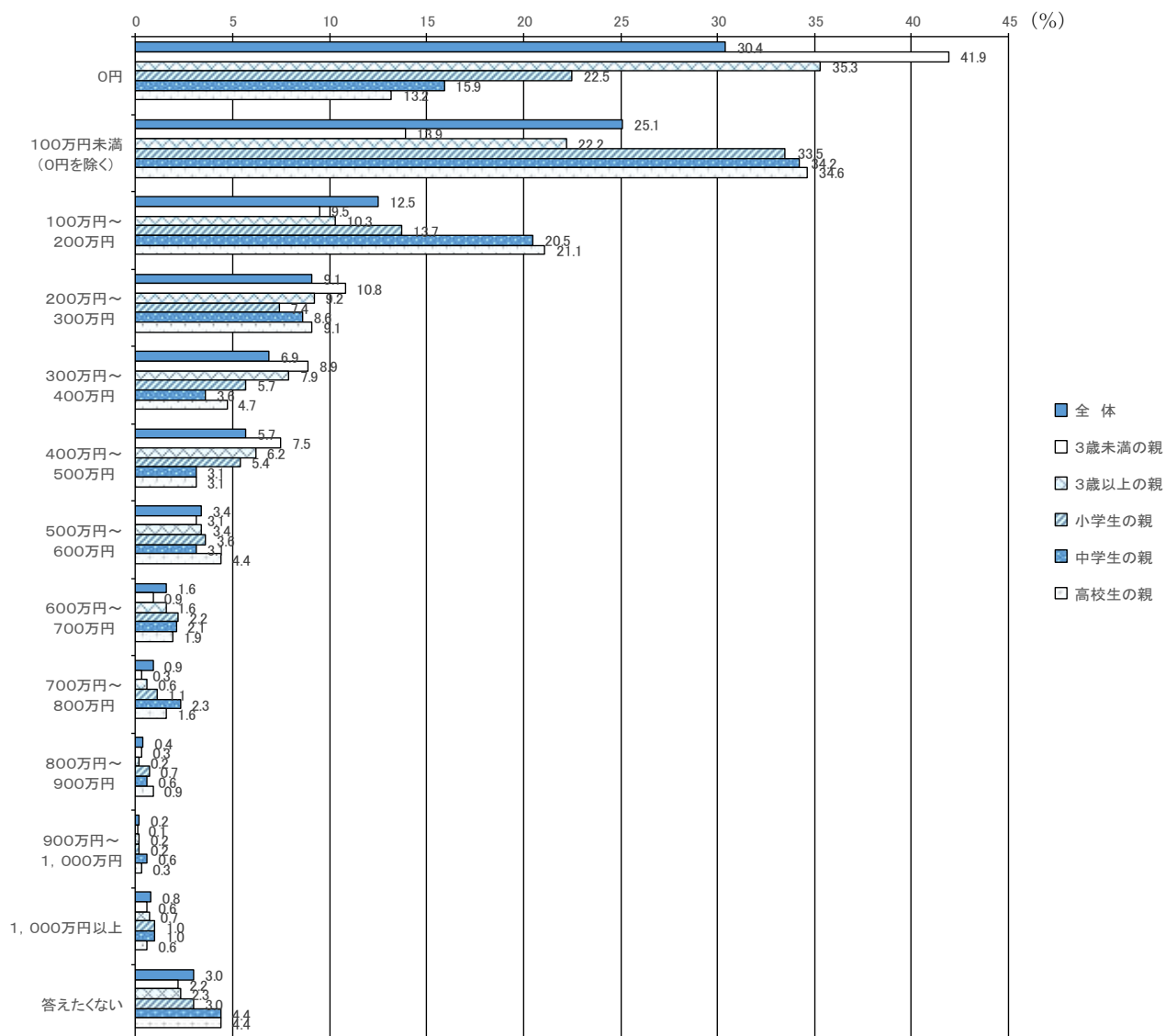
（1）父親



回答数 全体＝6,818 3歳未満の親＝1,664 3歳以上の親＝2,097

小学生の親＝1,813 中学生の親＝562 高校生の親＝338

(2) 母親

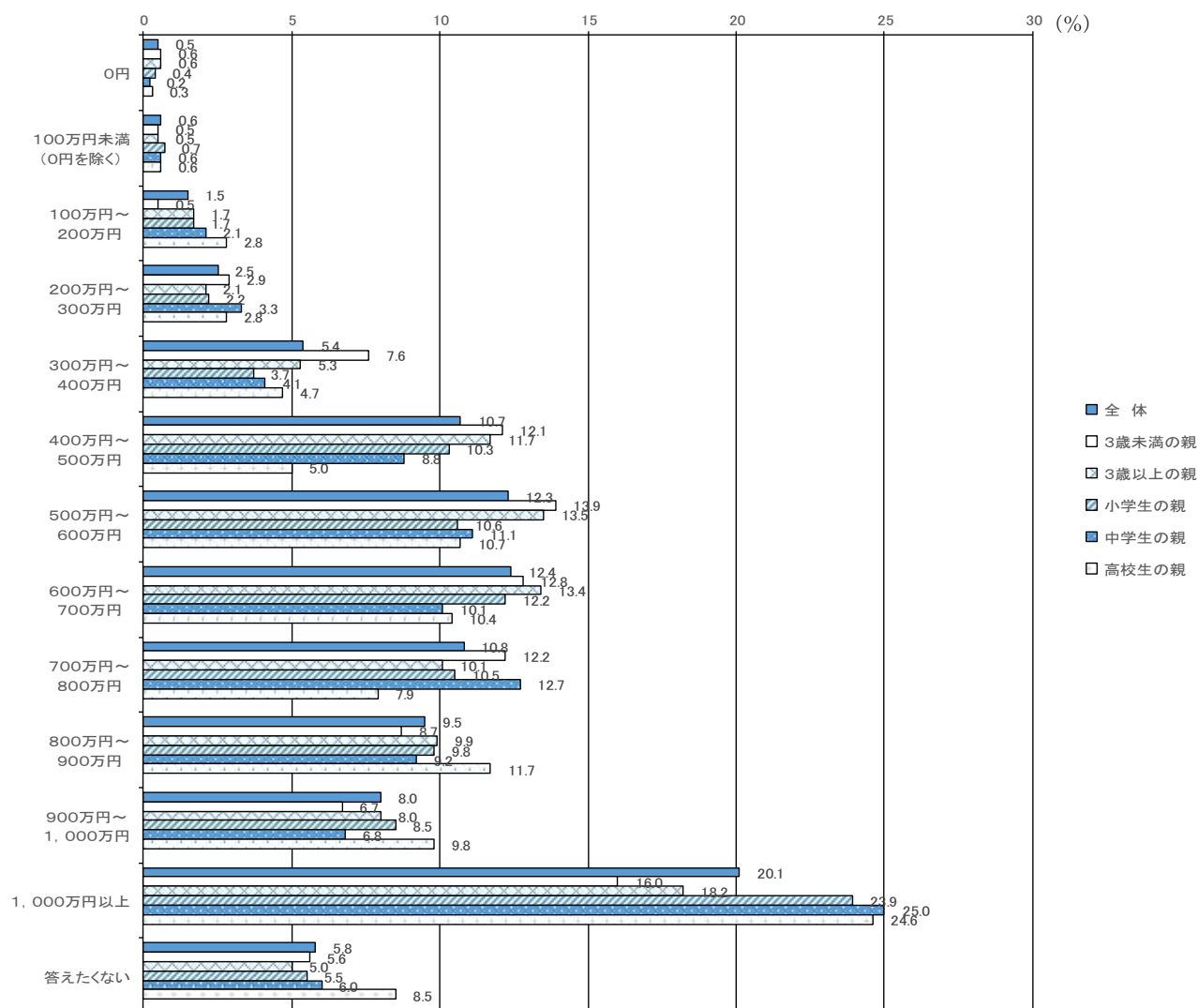


回答数 全体=6,818 3歳未満の親=1,664 3歳以上の親=2,097

小学生の親=1,813 中学生の親=562 高校生の親=338

保護者の世帯年収 就学前問 115・就学後問 76 (F15)

■あて名のお子さんが属する世帯全員の年収の合計額についてお答えください。



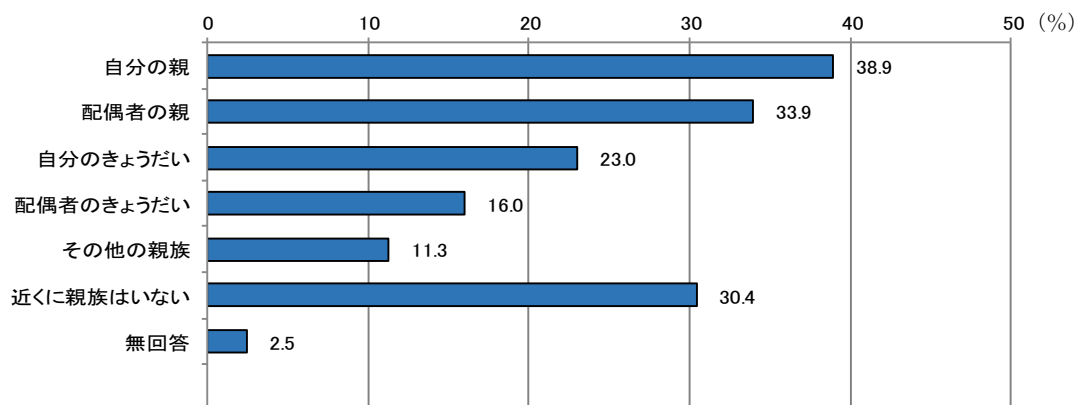
世帯年収 (平均) 796.0 万円

回答数 全体=6,818 3歳未満の親=1,664 3歳以上の親=2,097

小学生の親=1,813 中学生の親=562 高校生の親=338

近くに住む親族 就学前問 113・就学後問 74 (F16)

■あなたのお住まいの近くに親族はお住まいですか。(複数回答)



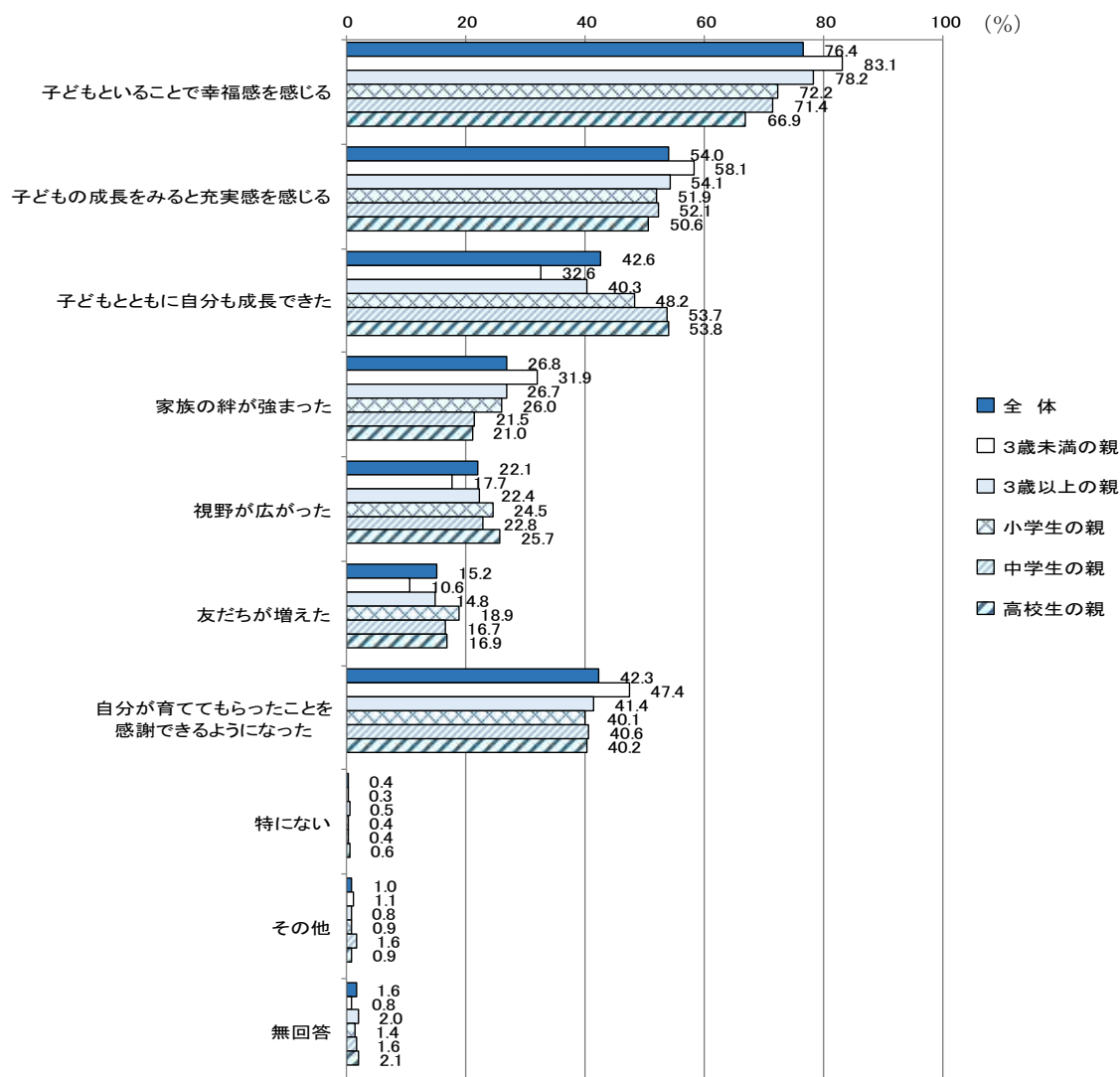
回答数 全体=10,635

第2章 共通の質問（就学前、就学後）

子育てを通じて良かったと感じたことについて 【問1】

■子育てを通じて良かったと感じたことについてあてはまるものを選んでください。
（3つまで）

◇ 全体では、「子どもといることで幸福感を感じる」が76.4%と最も多い。



回答数 全体=19,253 3歳未満の親=4,718 3歳以上の親=5,898
小学生の親=5,157 中学生の親=1,587 高校生の親=942

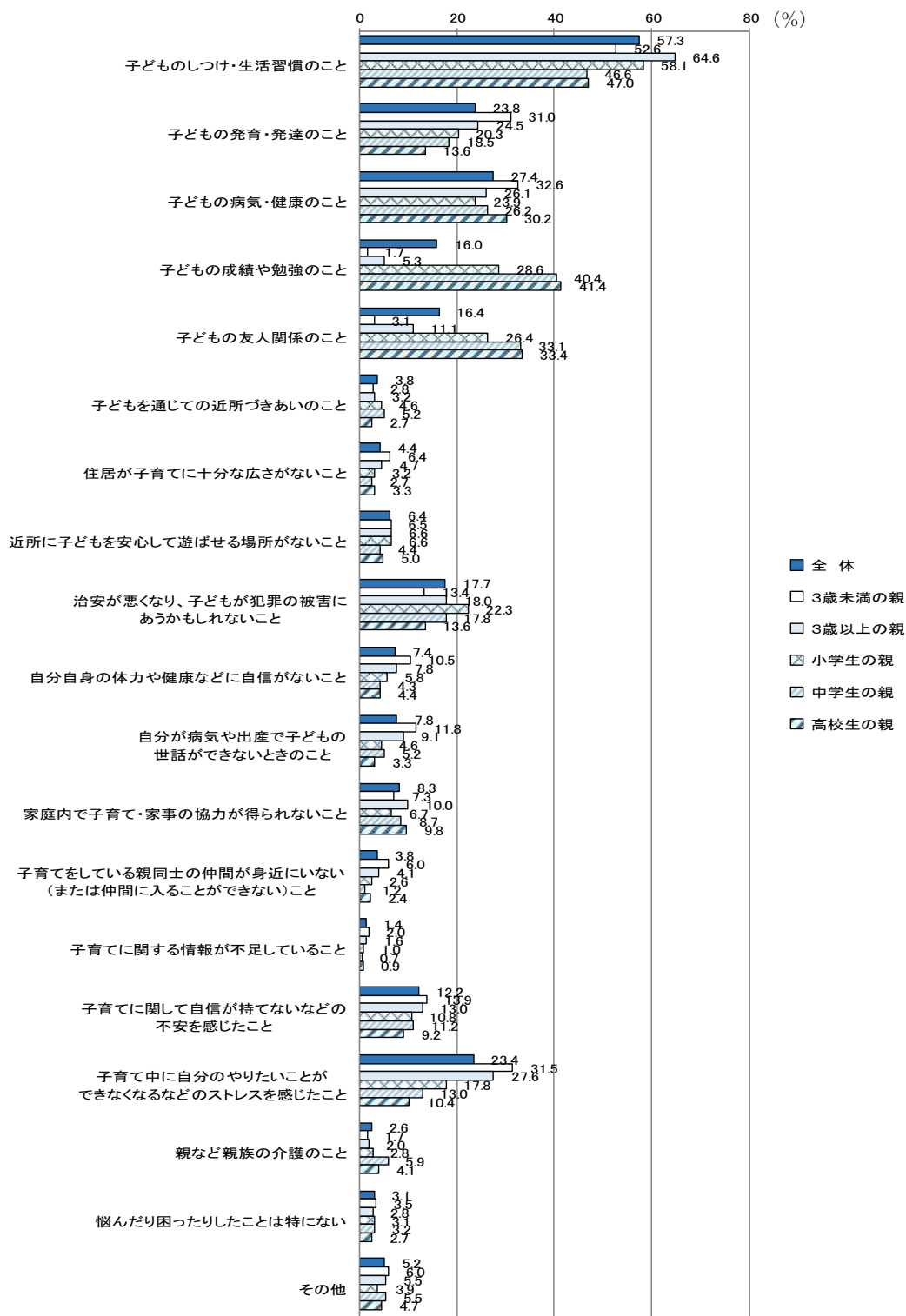
【前回調査との数値比較】

	全 体		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
子どもといることで幸福感を感じる	75.3	76.4	1.1
子どもの成長をみると充実感を感じる	44.5	54.0	9.5
子どもとともに自分も成長できた	48.9	42.6	▲ 6.3
友だちが増えた	20.9	15.2	▲ 5.7

子育ての悩みや不安について【問2】

■あて名のお子さんを育てている間に、どんなことに悩んだり、不安に感じたり、困ったりしましたか。（3つまで）

◇ 全体では、「子どものしつけ・生活習慣のこと」が 57.3%と最も多く、次いで「子どもの病気・健康のこと」が 27.4%である。



回答数 全体＝17,024 3歳未満の親＝4,084 3歳以上の親＝5,221

小学生の親＝4,613 中学生の親＝1,432 高校生の親＝824

【前回調査との数値比較】

	子どもの発育・発達のこと			子どもの病気・健康のこと		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	22.0	23.8	1.8	33.8	27.4	▲ 6.4
未就学児の親	24.0	27.8	3.8	35.6	29.4	▲ 6.2
小学生の親	19.6	20.3	0.7	29.7	23.9	▲ 5.8
中学生の親	19.5	18.5	▲ 1.0	31.4	26.2	▲ 5.2
高校生の親	19.9	13.6	▲ 6.3	38.9	30.2	▲ 8.7

	治安が悪くなり、子どもが犯罪の被害にあうかもしれないこと			子育て中に自分のやりたいことができなくなるなどのストレスを感じたこと		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	20.9	17.7	▲ 3.2	21.8	23.4	1.6
未就学児の親	19.5	15.7	▲ 3.8	28.7	29.6	0.9
小学生の親	25.0	22.3	▲ 2.7	15.6	17.8	2.2
中学生の親	20.0	17.8	▲ 2.2	11.8	13.0	1.2
高校生の親	18.0	13.6	▲ 4.4	9.6	10.4	0.8

『子育ての悩みや不安（問 1）と世帯の暮らし向き（就学前 問 8 5，就学後 問 3 1）』

◎ 子育て中の悩みについて、世帯の暮らし向きの意識に関わらず回答の割合が 1 番高いのは「子どものしつけ・生活習慣のこと」である。

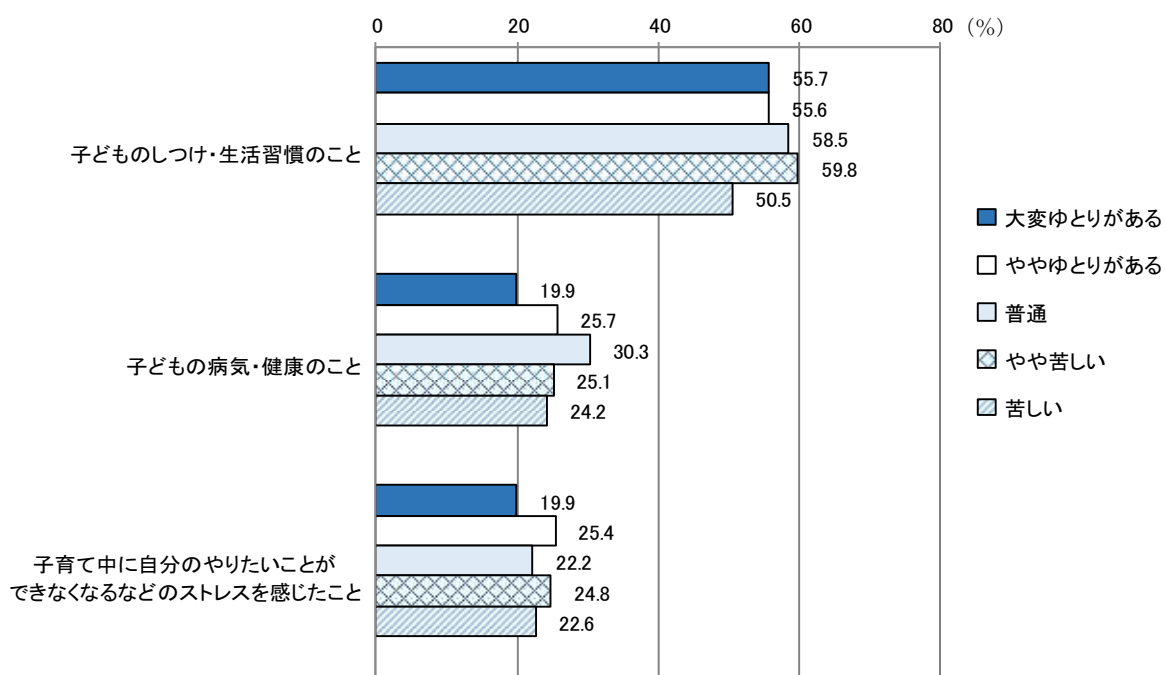
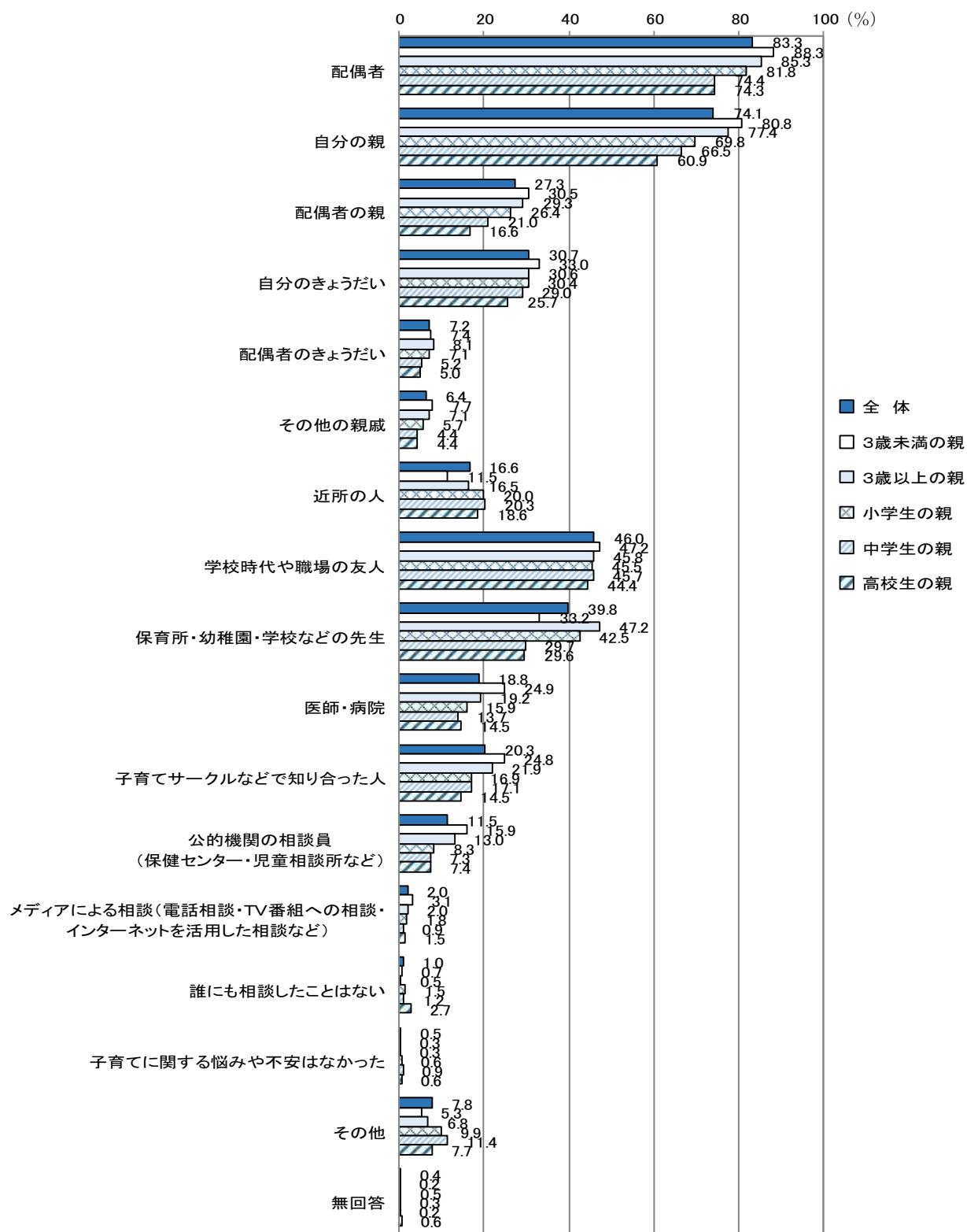


図 子育ての悩みや不安と世帯の暮らし向きの意識

悩みや不安の相談相手について 【問3】

■これまで、子育てに関する悩みや不安などを誰に相談してきましたか。(複数回答)

◇ 全体では、「配偶者」が83.3%と最も多く、次いで「自分の親」が74.1%である。



回答数 全体=26,835 3歳未満の親=6,903 3歳以上の親=8,628
小学生の親=6,970 中学生の親=1,961 高校生の親=1,112

【前回調査との数値比較】

	配偶者		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	81.2	83.3	2.1
未就学児の親	86.5	86.8	0.3
小学生の親	78.6	81.8	3.2
中学生の親	72.3	74.4	2.1
高校生の親	68.1	74.3	6.2

自分の親		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
72.8	74.1	1.3
78.6	79.1	0.5
69.6	69.8	0.2
61.3	66.5	5.2
60.2	60.9	0.7

	配偶者の親		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	26.2	27.3	1.1
未就学児の親	30.5	29.9	▲ 0.6
小学生の親	22.9	26.4	3.5
中学生の親	17.5	21.0	3.5
高校生の親	20.0	16.6	▲ 3.4

近所の人		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
21.1	16.6	▲ 4.5
17.9	14.0	▲ 3.9
25.2	20.0	▲ 5.2
24.6	20.3	▲ 4.3
25.4	18.6	▲ 6.8

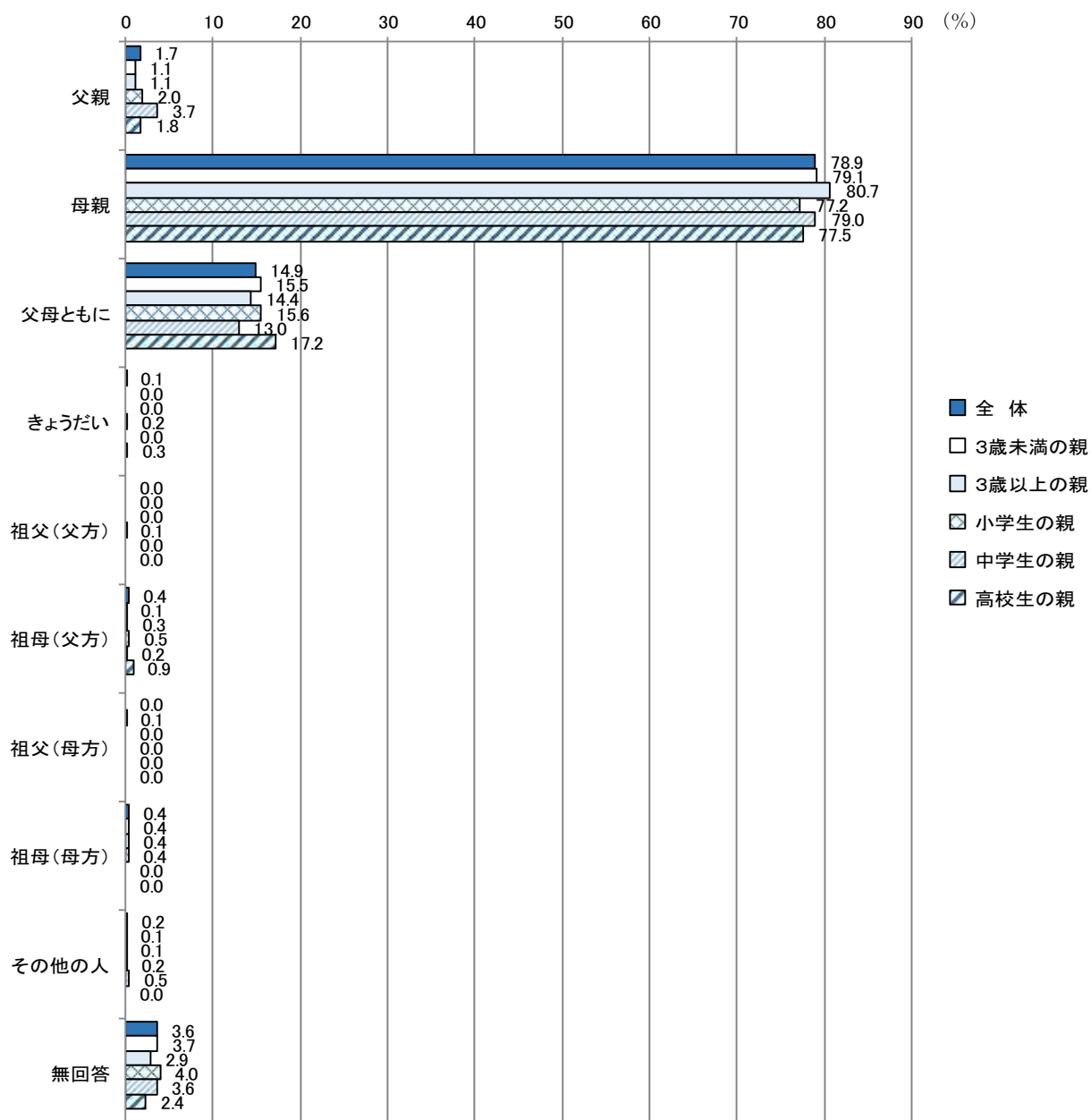
	保育所・幼稚園・学校などの先生		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	35.8	39.8	4.0
未就学児の親	36.8	40.2	3.4
小学生の親	37.2	42.5	5.3
中学生の親	33.5	29.7	▲ 3.8
高校生の親	29.7	29.6	▲ 0.1

子育てサークルなどで 知り合った人		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
21.6	20.3	▲ 1.3
26.6	23.4	▲ 3.2
18.6	16.9	▲ 1.7
13.0	17.1	4.1
11.1	14.5	3.4

お子さんの育つ環境について【問4】

■あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
（1つ）

◇ 全体では、「母親」が78.9%と最も多く、次いで「父母ともに」が14.9%、「父親」が1.7%となっている。

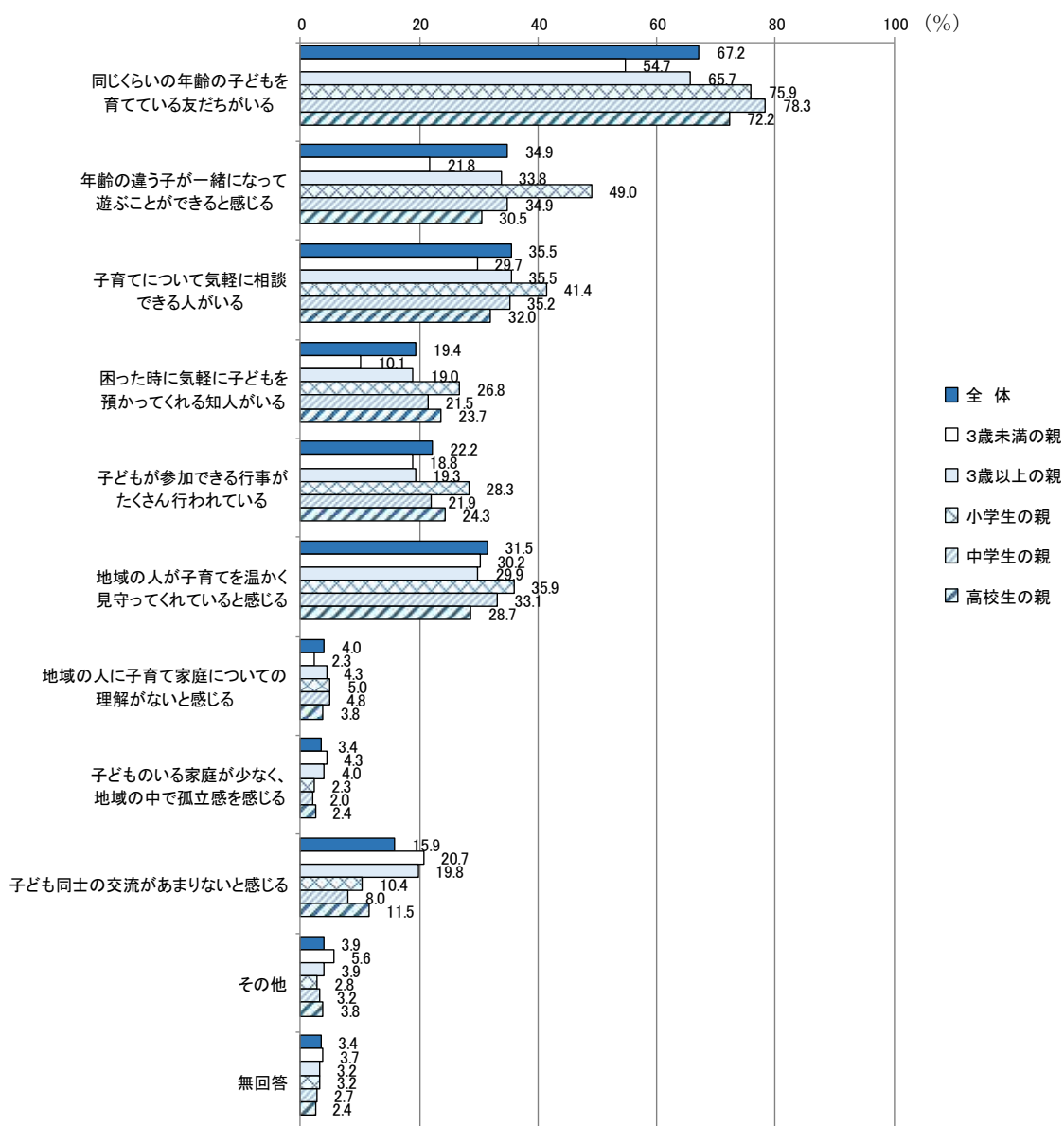


回答者数 全体=6,818 3歳未満の親=1,664 3歳以上の親=2,097
小学生の親=1,813 中学生の親=562 高校生の親=338

地域の子育ての状況について【問5】

■子育てについて、あなたのお住まいの地域にあてはまるものを選んでください。
(複数回答)

◇ 全体では、「同じくらいの年齢の子どもを育てている友達がいる」が 67.2%と最も多く、次いで「子育てについて気軽に相談できる人がある」が 35.5%、「年齢の違う子が一緒になって遊ぶことができると感じる」が 34.9%となっている。



回答数 全体=16,450 3歳未満の親=3,361 3歳以上の親=5,000
小学生の親=5,093 中学生の親=1,380 高校生の親=795

【前回調査との数値比較】

	年齢の違う子が一緒になって 遊ぶことができる		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	32.7	34.9	2.2
未就学児の親	30.0	27.8	▲ 2.2
小学生の親	40.7	49.0	8.3
中学生の親	33.7	34.9	1.2
高校生の親	25.5	30.5	5.0

子育てについて気軽に 相談できる人がいる		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
49.3	35.5	▲13.8
51.6	32.6	▲19.0
49.5	41.4	▲ 8.1
43.8	35.2	▲ 8.6
42.6	32.0	▲10.6

	困った時に気軽に子どもを 預かってくれる知人がある		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	22.1	19.4	▲ 2.7
未就学児の親	19.3	14.6	▲ 4.7
小学生の親	27.5	26.8	▲ 0.7
中学生の親	22.2	21.5	▲ 0.7
高校生の親	23.6	23.7	0.1

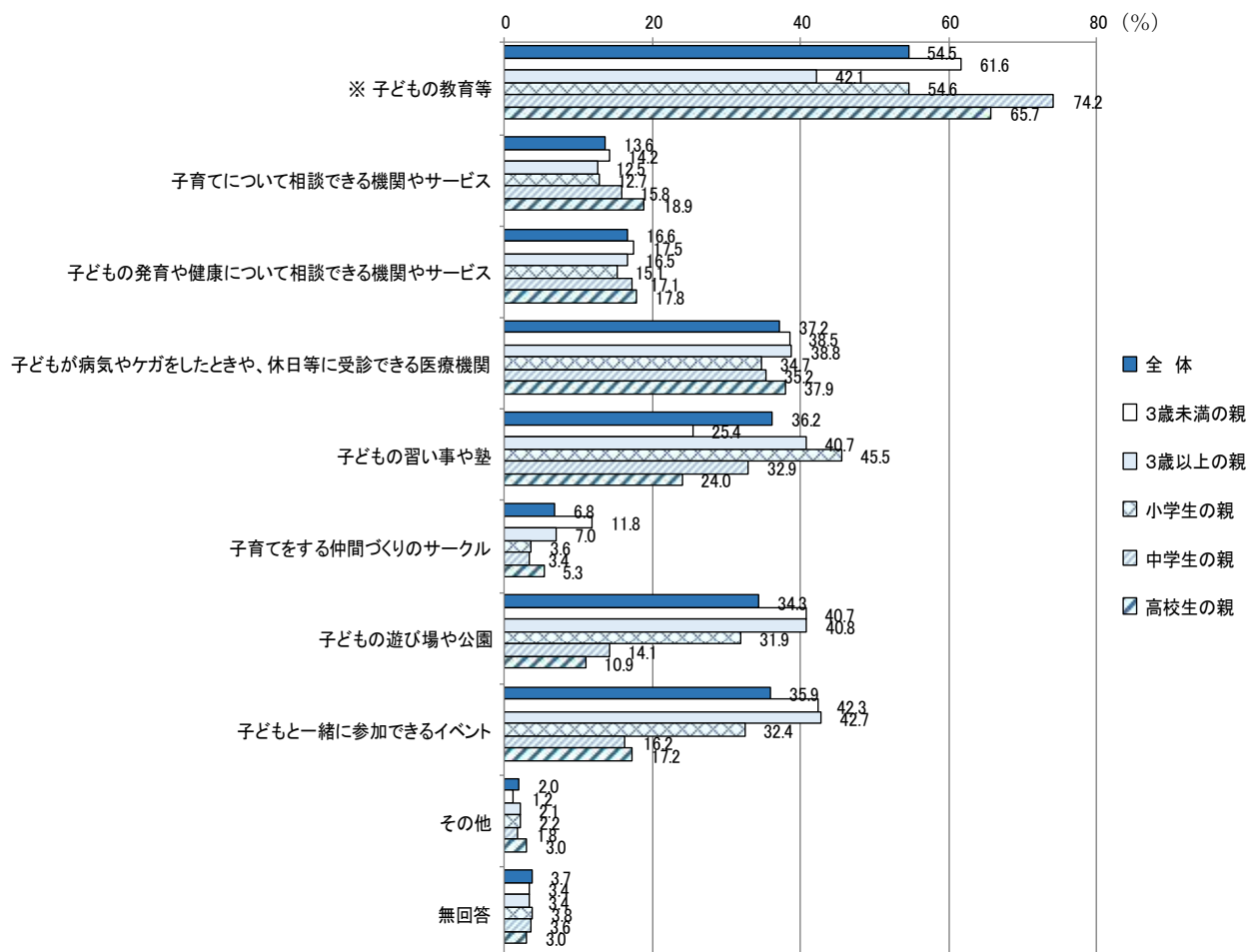
地域の人が子育てを温かく見守って くれていると感じる		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
27.3	31.5	4.2
26.7	30.1	3.4
29.9	35.9	6.0
27.4	33.1	5.7
24.6	28.7	4.1

	子ども同士の交流が あまりないと感じる		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	18.2	15.9	▲ 2.3
未就学児の親	23.5	20.3	▲ 3.2
小学生の親	11.8	10.4	▲ 1.4
中学生の親	10.8	8.0	▲ 2.8
高校生の親	13.4	11.5	▲ 1.9

子育てに必要な情報について【問6】

■子育てするうえで、知りたい情報は何ですか。（3つまで）

◇ 全体では、「子どもの教育等」が 54.5%と最も多く、次いで「子どもが病気やケガをしたときや、休日等に受診できる医療機関」が 37.2%、「子どもの習い事や塾」が 36.2%、「子どもと一緒に参加できるイベント」が 35.9%となっている。



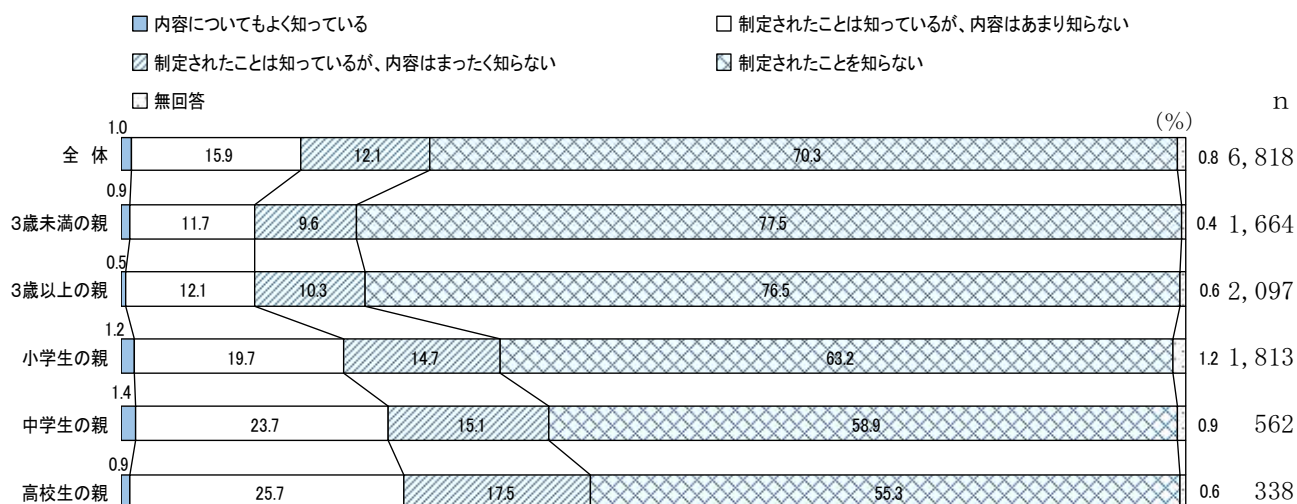
回答数 全体＝16,406

※ 就学前：幼稚園や保育所など、子どもの教育・保育、子育て支援の事業
就学後：子どもの進学先（高校や大学など）

なごや子ども条例について 【問 7】

■ あなたは、平成 20 年 4 月に「なごや子ども条例」が制定されたことを知っていますか。
(1つ)

◇ 全体では、なごや子ども条例について「制定されたことを知らない」が 70.3%と最も多く、次いで「制定されたことは知っているが、内容はあまり知らない」が 15.9%、「制定されたことは知っているが、内容はまったく知らない」が 12.1%、「内容についてもよく知っている」が 1.0%である。



【前回調査との数値比較】

	制定されたことを知らない		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	60.0	70.3	10.3
未就学児の親	65.5	77.0	11.5
小学生の親	55.0	63.2	8.2
中学生の親	51.5	58.9	7.4
高校生の親	52.5	55.3	2.8

制定されたことは知っているが、内容はまったく知らない		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
15.2	12.1	▲ 3.1
14.5	10.0	▲ 4.5
15.8	14.7	▲ 1.1
16.7	15.1	▲ 1.6
16.5	17.5	1.0

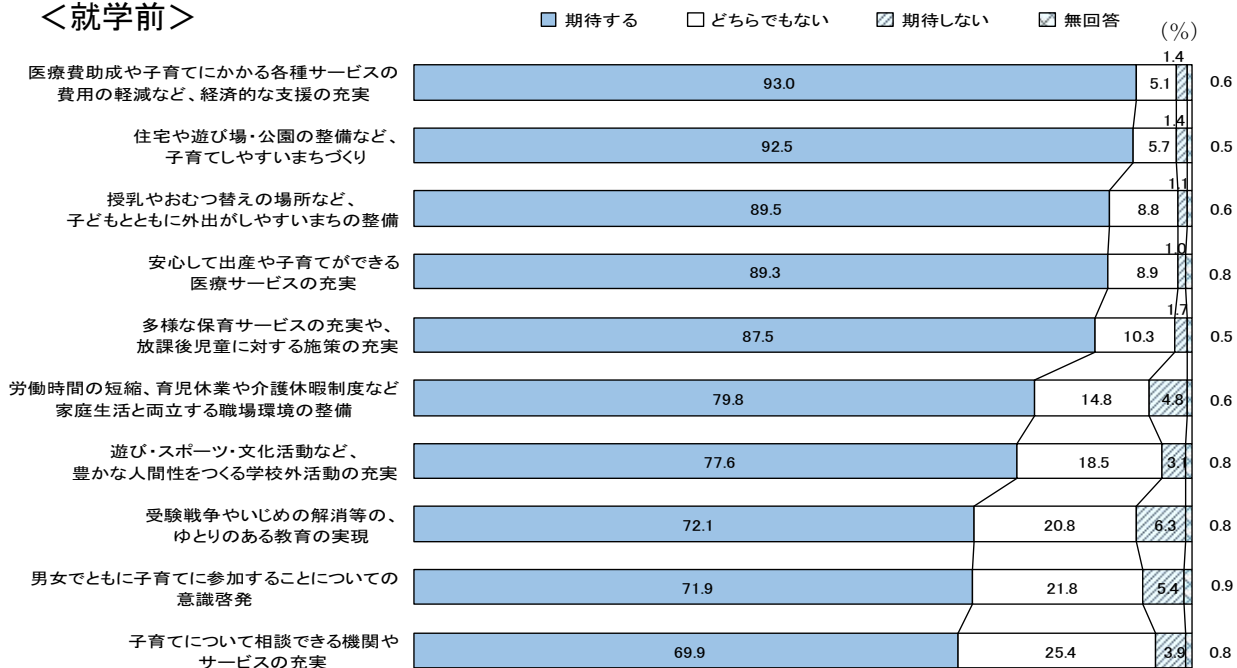
名古屋市の子育て支援の取り組みについて 【問 8】

■名古屋市の子ども・子育て支援への取り組みについてあてはまるものを選んでください。(各1つ)

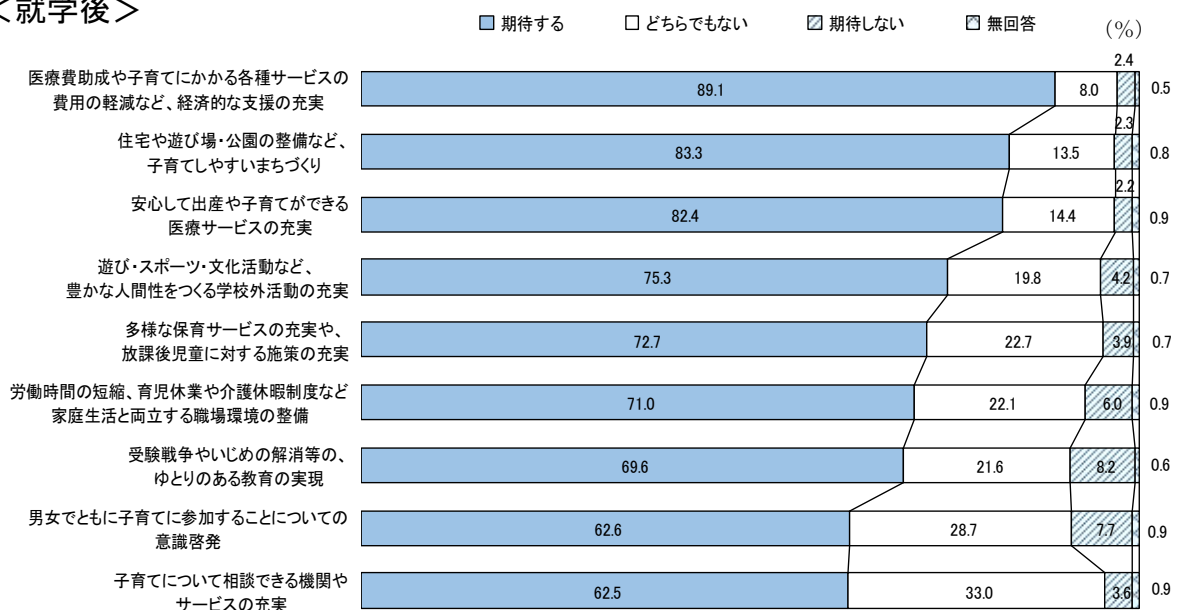
(1) 期待の有無

- ◇ 子どもが就学前・就学後の親がともに「期待する」の割合が高いのは、「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」である。
- ◇ 子どもが就学前・就学後の親がともに「期待しない」の割合が高いのは、「受験戦争やいじめの解消等の、ゆとりのある教育の実現」である。

<就学前>



<就学後>

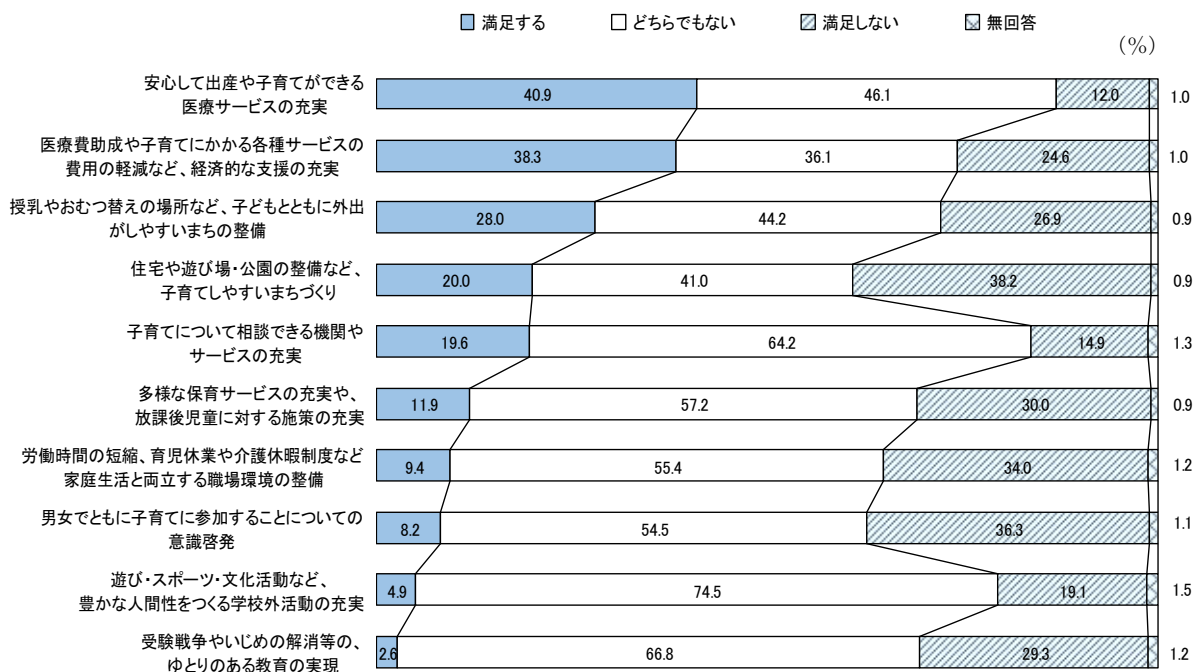


回答者数 就学前=3,915 就学後=2,903

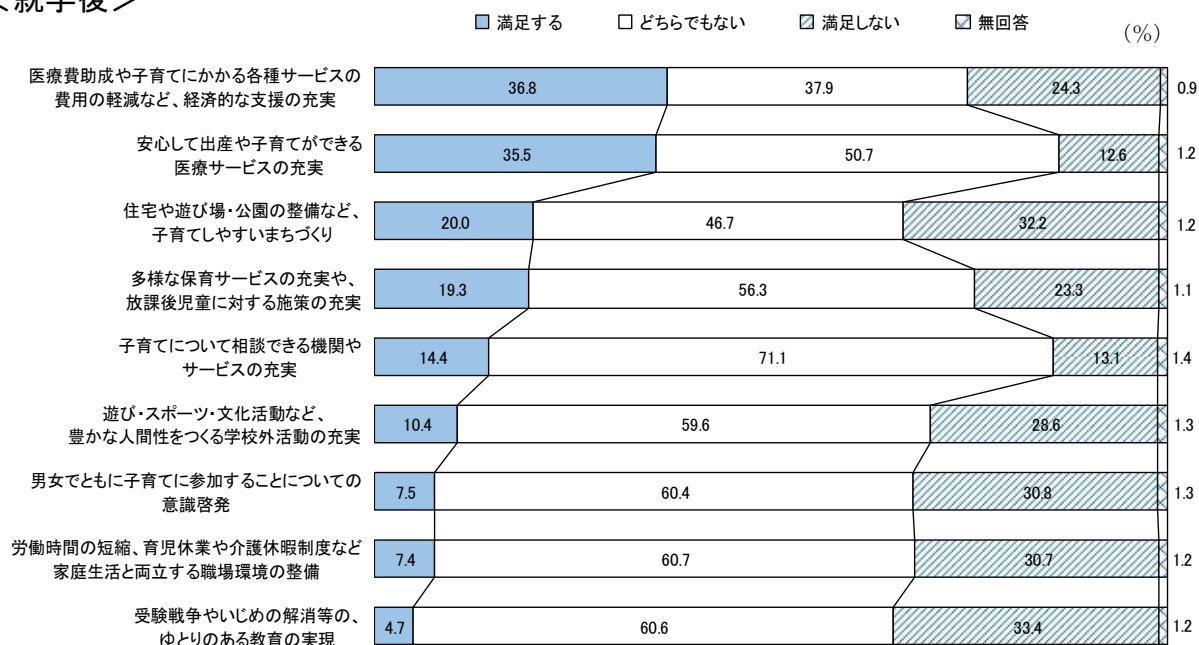
(2) 現状の満足度

- ◇ 子どもが就学前の親が「満足する」の割合が高いのは、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」である。子どもが就学後の親は「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」である。
- ◇ 子どもが就学前の親が「満足しない」の割合が高いのは、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」である。子どもが就学後の親は「受験戦争やいじめの解消等の、ゆとりのある教育の実現」である。

<就学前>



<就学後>

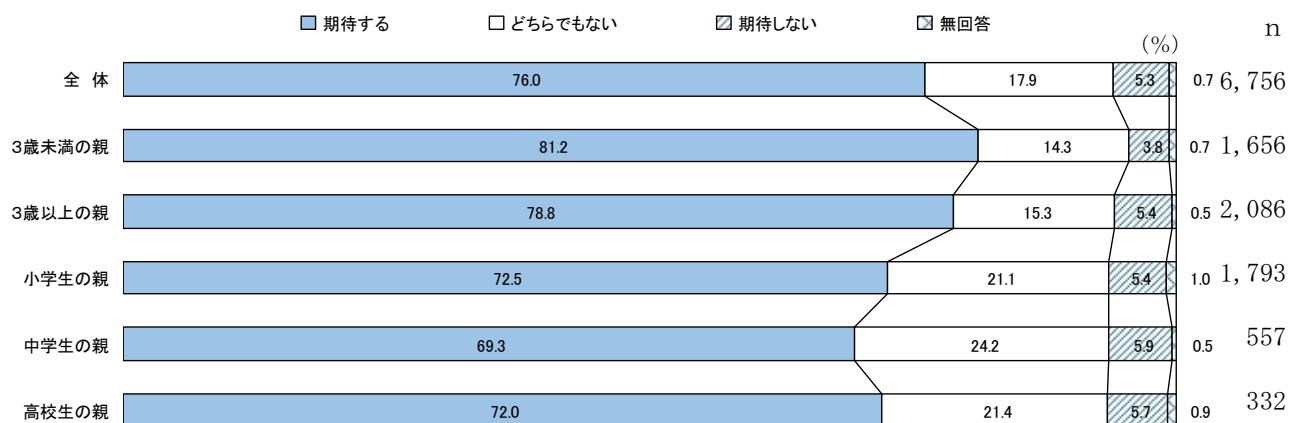


回答者数 就学前=3,915 就学後=2,903

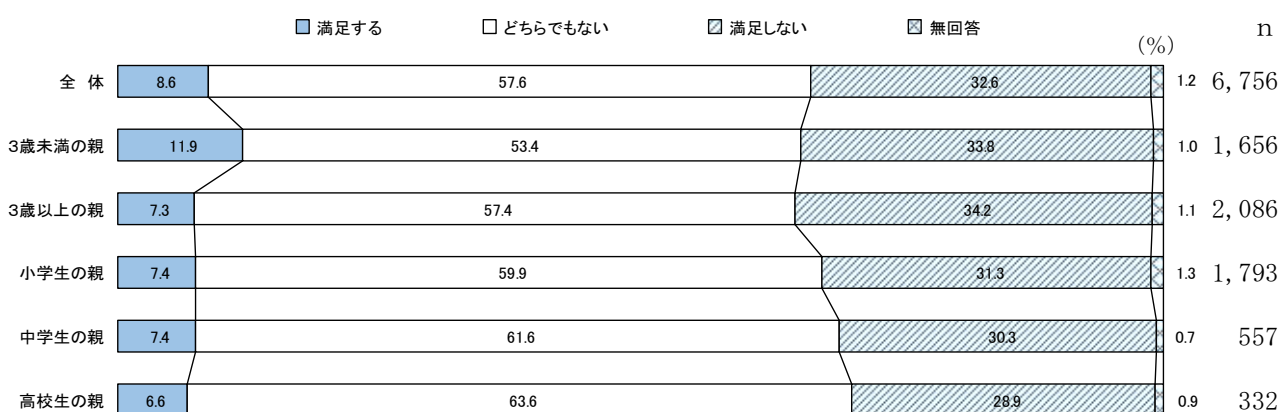
【労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備】

◇ 全体では、「期待する」の割合は76.0%、「満足する」の割合は8.6%である。

（１）期待するかどうか



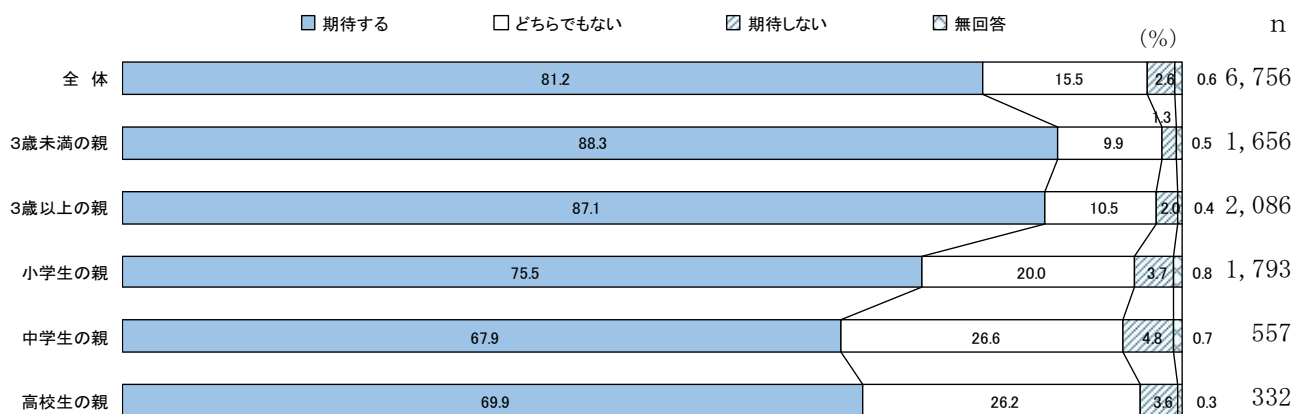
（２）現状に満足しているかどうか



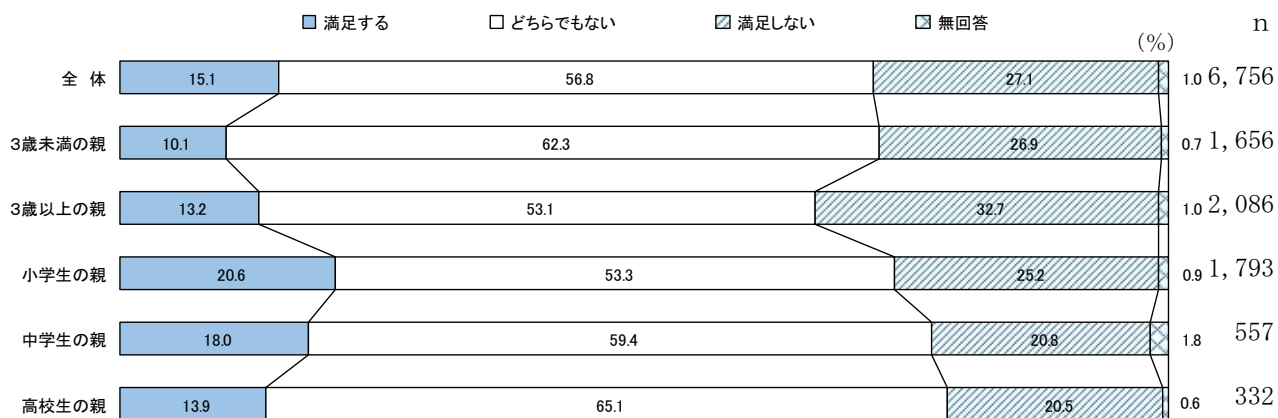
【多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実】

◇ 全体では、「期待する」の割合は81.2%、「満足する」の割合は15.1%である。

（１）期待するかどうか



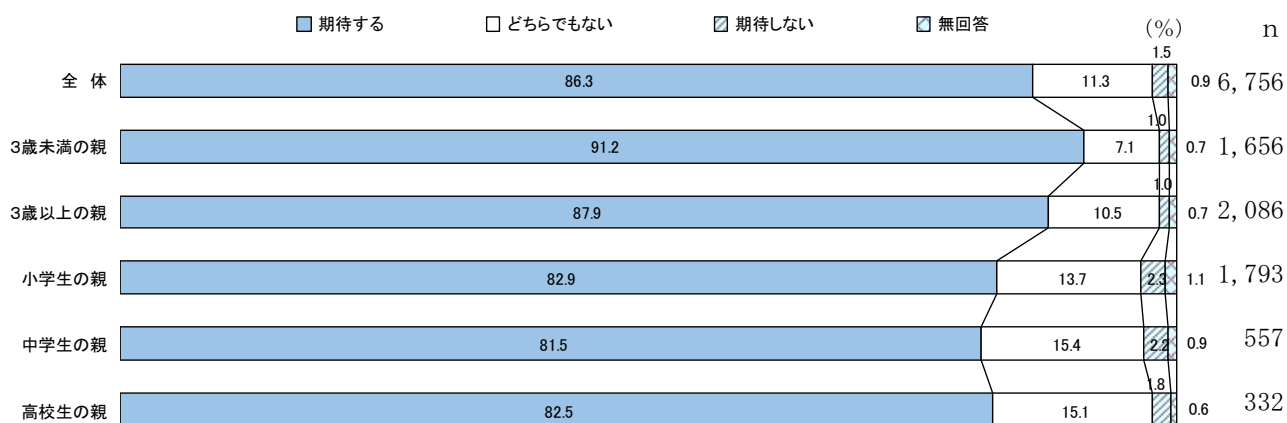
（２）現状に満足しているかどうか



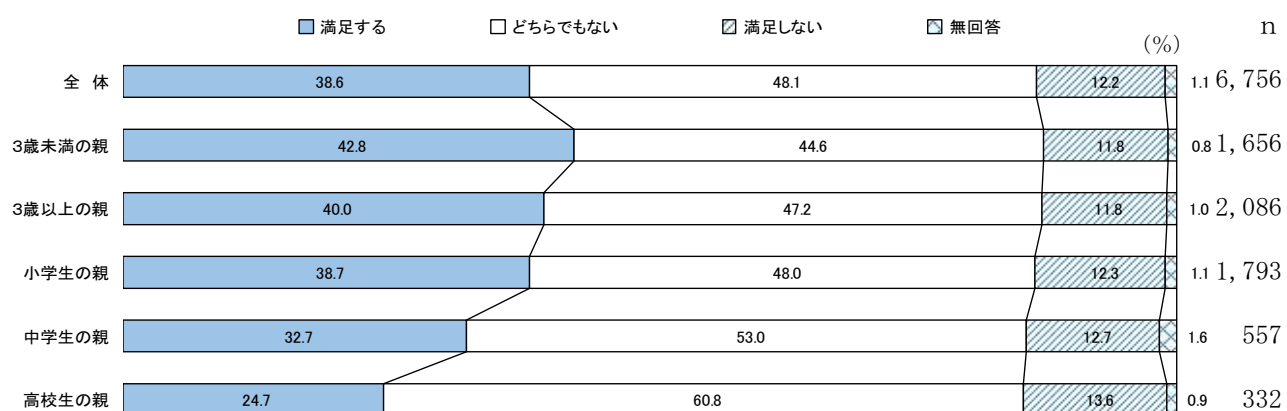
【安心して出産や子育てができる医療サービスの充実】

◇ 全体では、「期待する」の割合は86.3%、「満足する」の割合は38.6%である。

（１）期待するかどうか



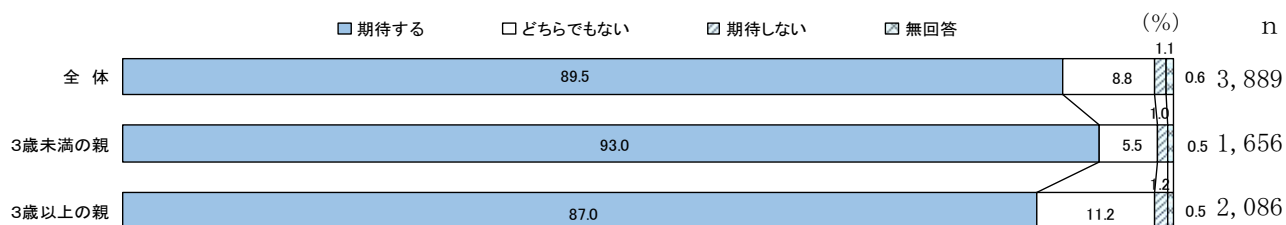
（２）現状に満足しているかどうか



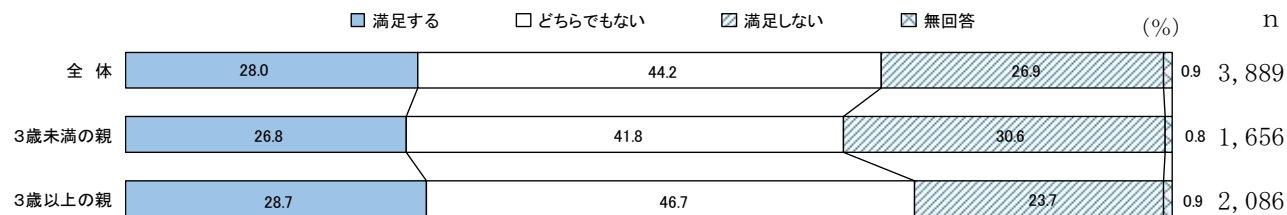
【授乳やおむつ替えの場所など、子どもとともに外出がしやすいまちの整備】

◇ 全体では、「期待する」の割合は 89.5%、「満足する」の割合は 28.0%である。

（１）期待するかどうか



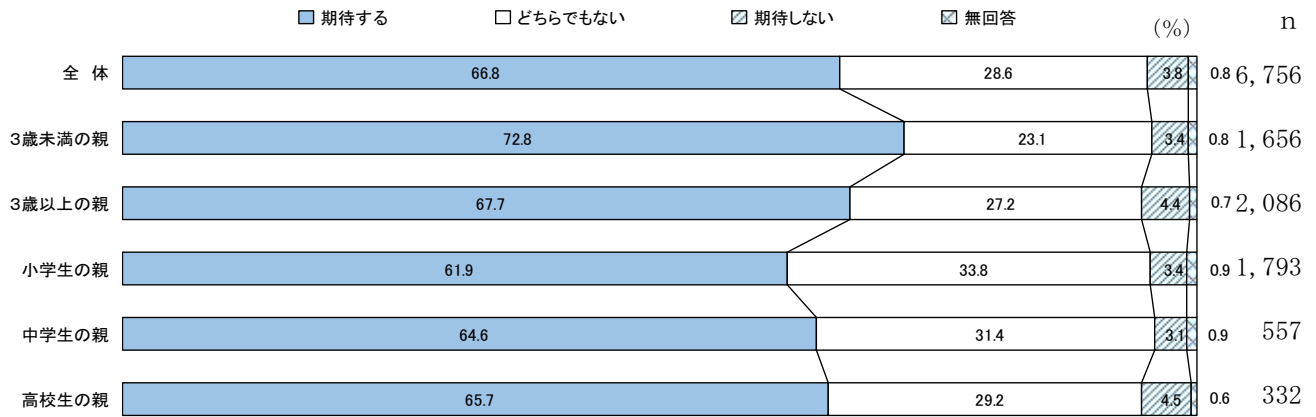
（２）現状に満足しているかどうか



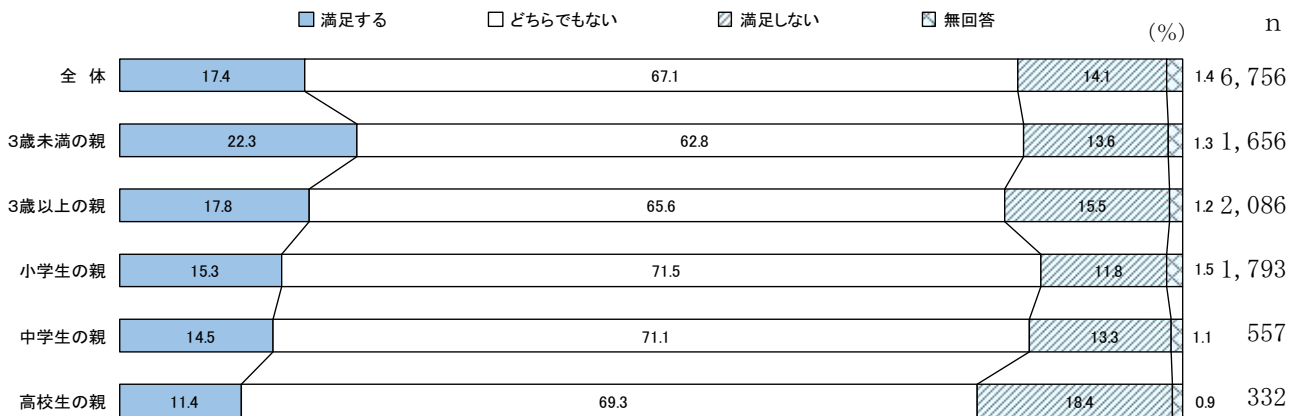
【子育てについて相談できる機関やサービスの充実】

◇ 全体では、「期待する」の割合は 66.8%、「満足する」の割合は 17.4%である。

（１）期待するかどうか



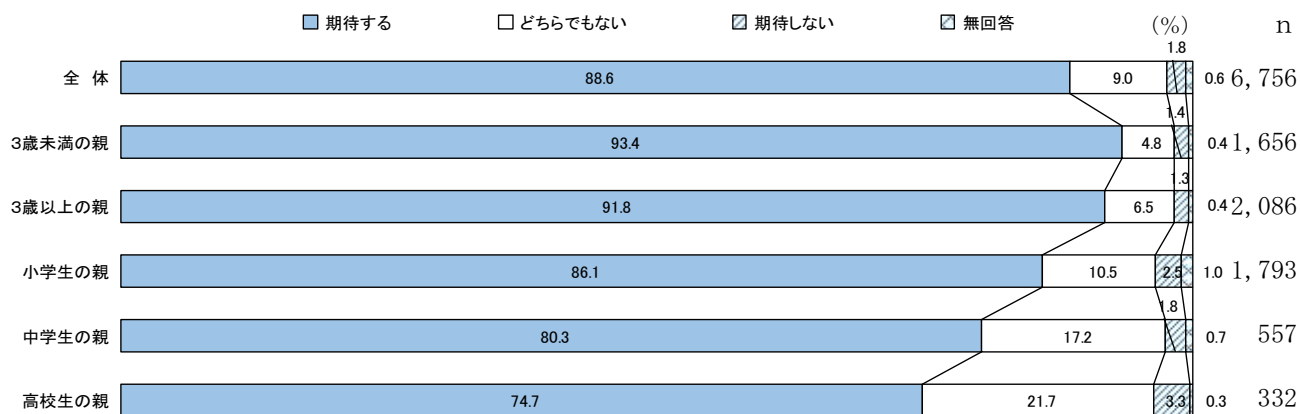
（２）現状に満足しているかどうか



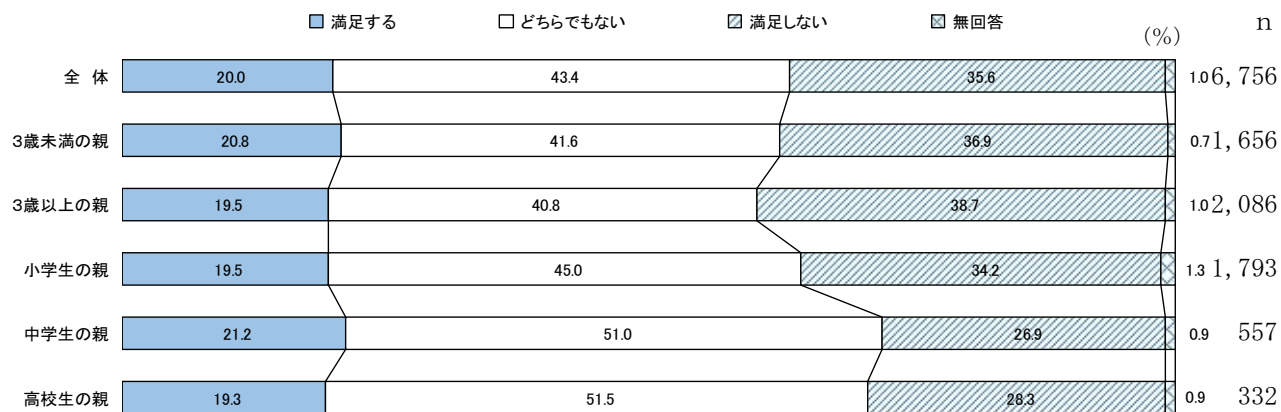
【住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり】

◇ 全体では、「期待する」の割合は88.6%、「満足する」の割合は20.0%である。

(1) 期待するかどうか



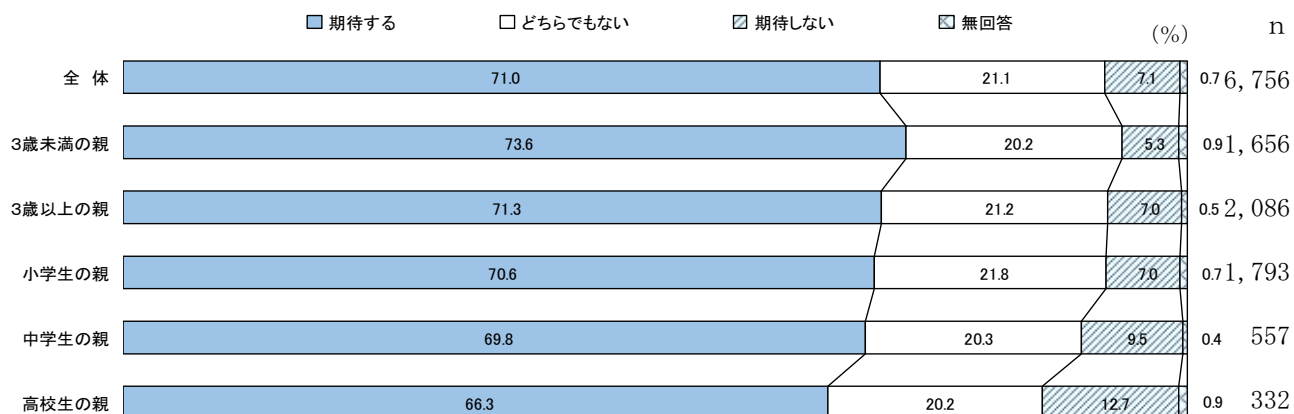
(2) 現状に満足しているかどうか



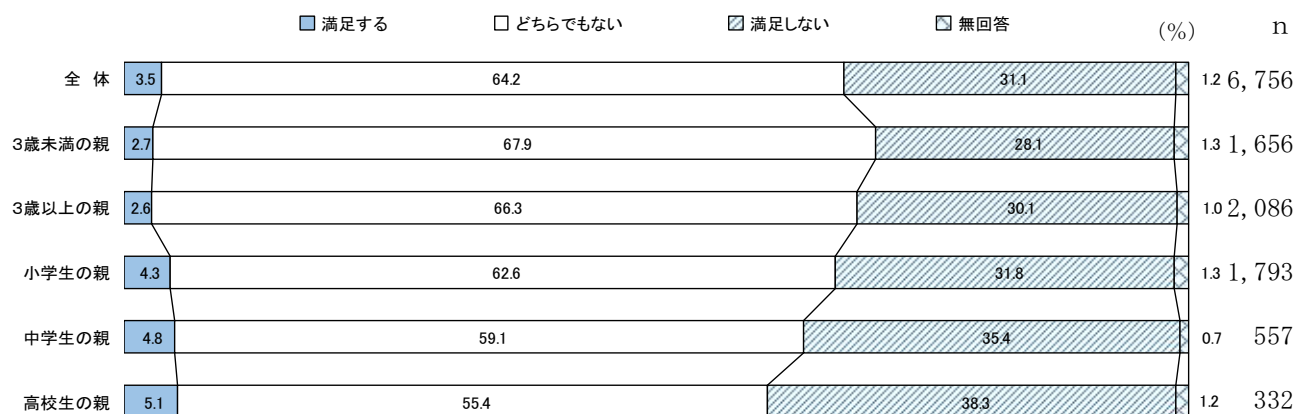
【受験戦争やいじめの解消等の、ゆとりのある教育の実現】

◇ 全体では、「期待する」の割合は71.0%、「満足する」の割合は3.5%である。

(1) 期待するかどうか



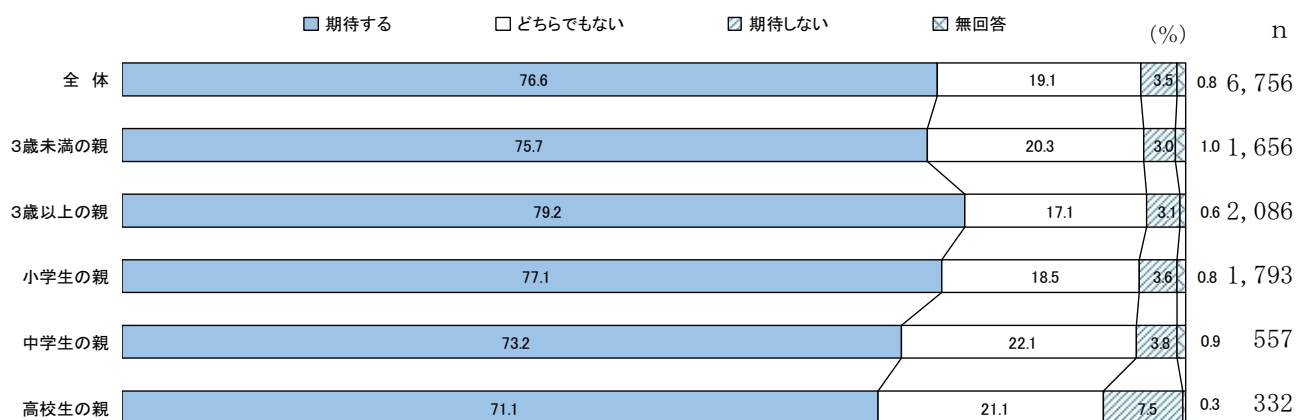
(2) 現状に満足しているかどうか



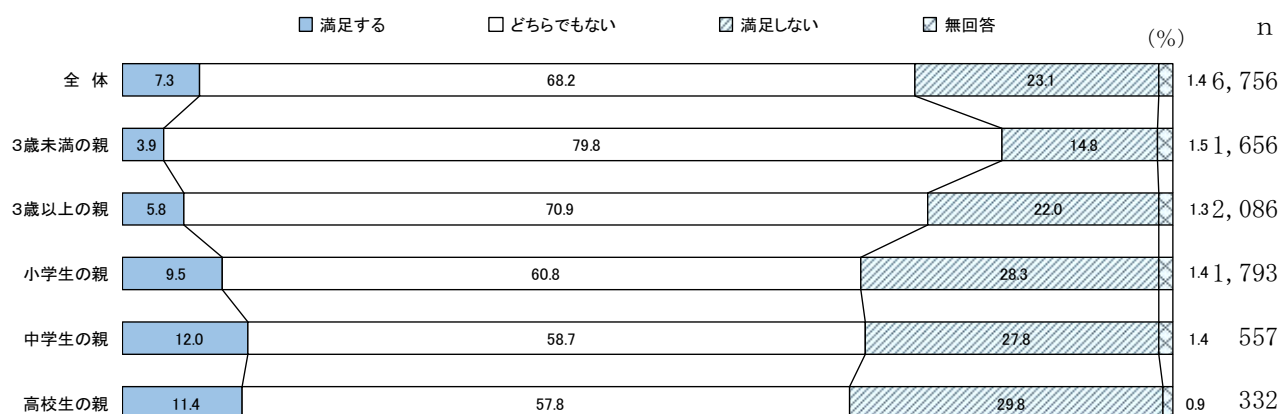
【遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実】

◇ 全体では、「期待する」の割合は76.6%、「満足する」の割合は7.3%である。

（１）期待するかどうか



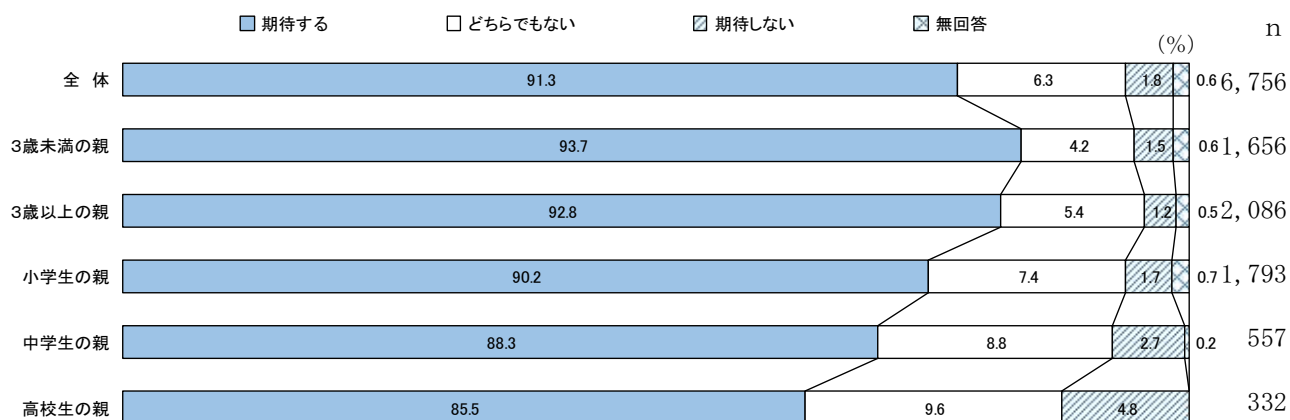
（２）現状に満足しているかどうか



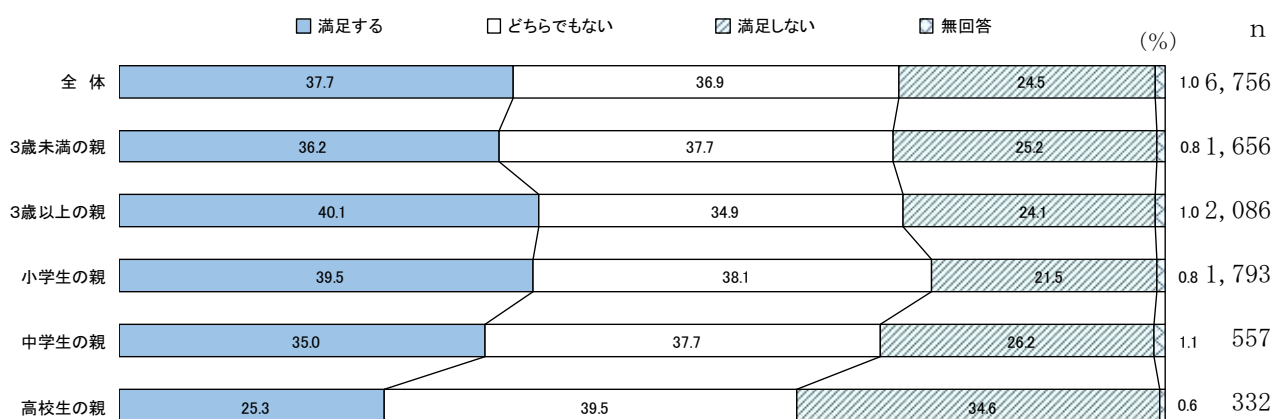
【医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実】

◇ 全体では、「期待する」の割合は91.3%、「満足する」の割合は37.7%である。

(1) 期待するかどうか



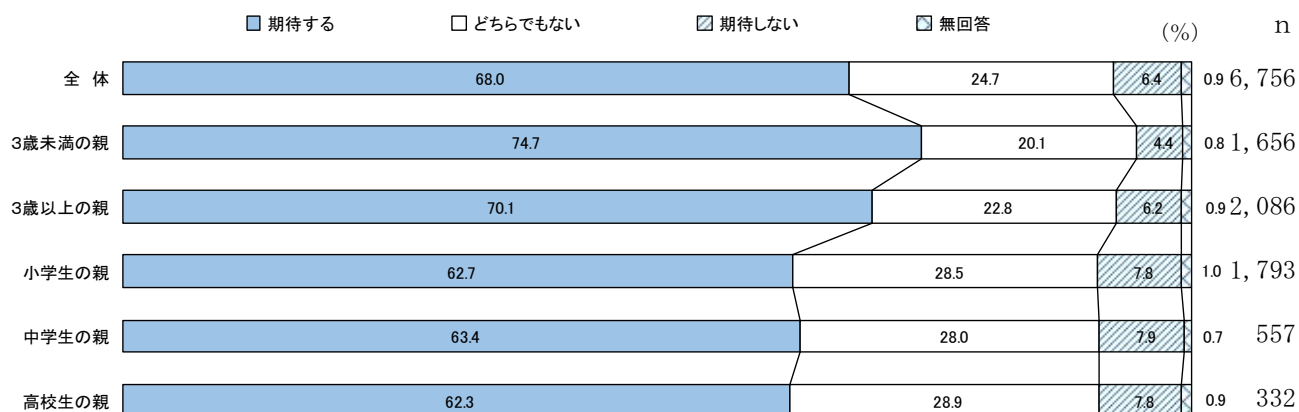
(2) 現状に満足しているかどうか



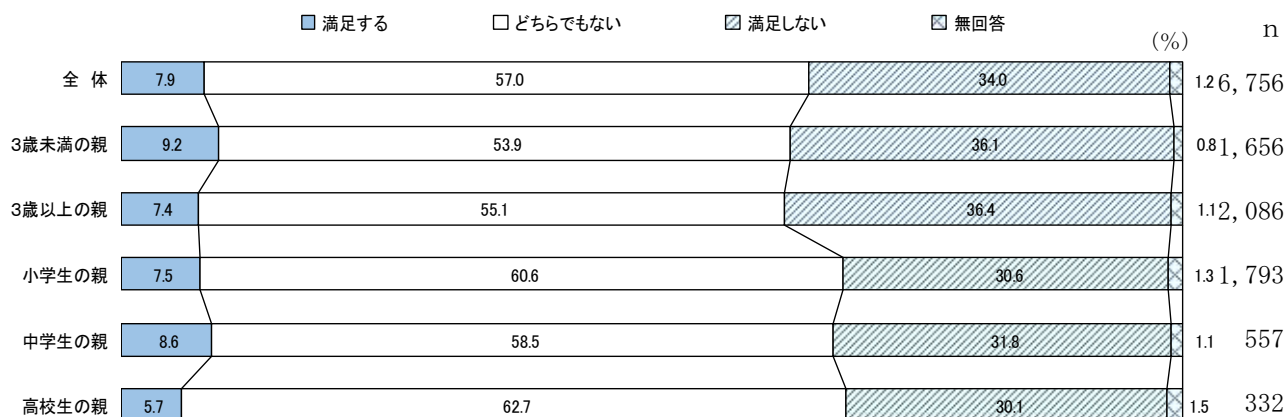
【男女でともに子育てに参加することについての意識啓発】

◇ 全体では、「期待する」の割合は 68.0%、「満足する」の割合は 7.9%である。

(1) 期待するかどうか



(2) 現状に満足しているかどうか



◇ 「名古屋市としては子ども・子育て支援に取り組む必要はない」と回答している割合は 1%未満であり、ほとんどの人が、名古屋市が子育て支援に取り組むことに対して期待している。

【前回調査との数値比較】

＜満足していない＞

	安心して出産や子育てができる 医療サービスの充実		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	16.4	12.2	▲ 4.2
未就学児の親	17.2	11.8	▲ 5.4
小学生の親	14.5	12.3	▲ 2.2
中学生の親	14.6	12.7	▲ 1.9
高校生の親	20.2	13.6	▲ 6.6

受験戦争やいじめの解消等の、 ゆとりのある教育の実現		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
39.0	31.1	▲ 7.9
38.1	29.1	▲ 9.0
40.7	31.8	▲ 8.9
41.6	35.4	▲ 6.2
47.5	38.3	▲ 9.2

	医療費助成や子育てにかかる各種サービスの 費用の軽減など、経済的な支援の充実		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	29.9	24.5	▲ 5.4
未就学児の親	29.6	24.7	▲ 4.9
小学生の親	28.7	21.5	▲ 7.2
中学生の親	31.1	26.2	▲ 4.9
高校生の親	35.3	34.6	▲ 0.7

＜「満足している」割合と「期待する」割合の関係＞

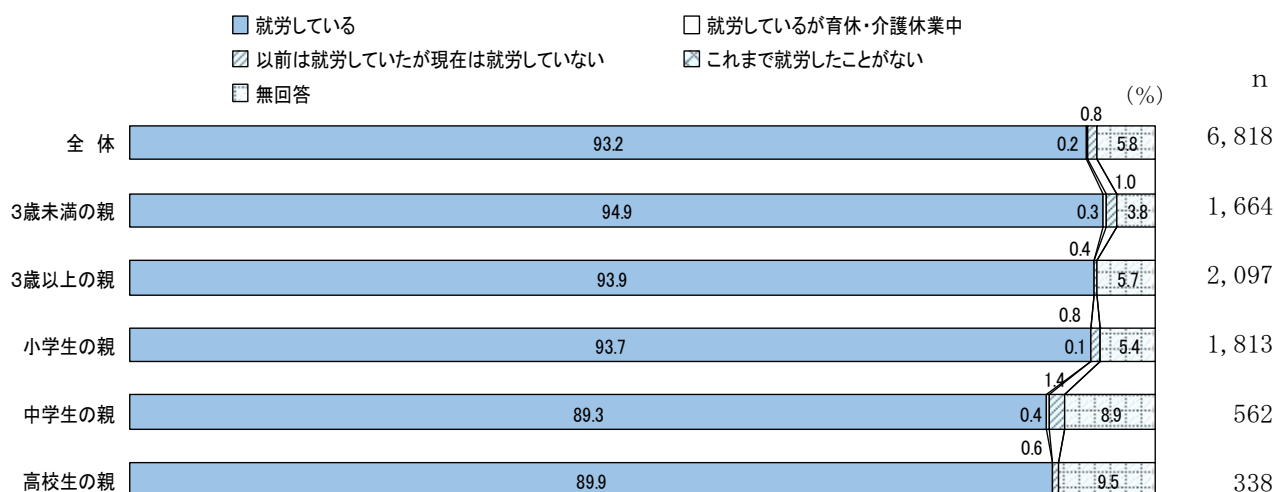
(%)

施 策 項 目	満足している	期待する
労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する 職場環境の整備	8.6	76.0
多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実	15.1	81.2
安心して出産や子育てができる医療サービスの充実	38.6	86.3
授乳やおむつ替えの場所など、子どもとともに外出がしやすいまちの 整備	28.0	89.5
子育てについて相談できる機関やサービスの充実	17.4	66.8
住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり	20.0	88.6
受験戦争やいじめの解消等の、ゆとりのある教育の実現	3.5	71.0
遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の 充実	7.3	76.6
医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的 な支援の充実	37.7	91.3
男女でともに子育てに参加することについての意識啓発	7.9	68.0

父親の就労状況について 【問 9】

■父親の就労状況について、あてはまるものを選んでください。(1つ)

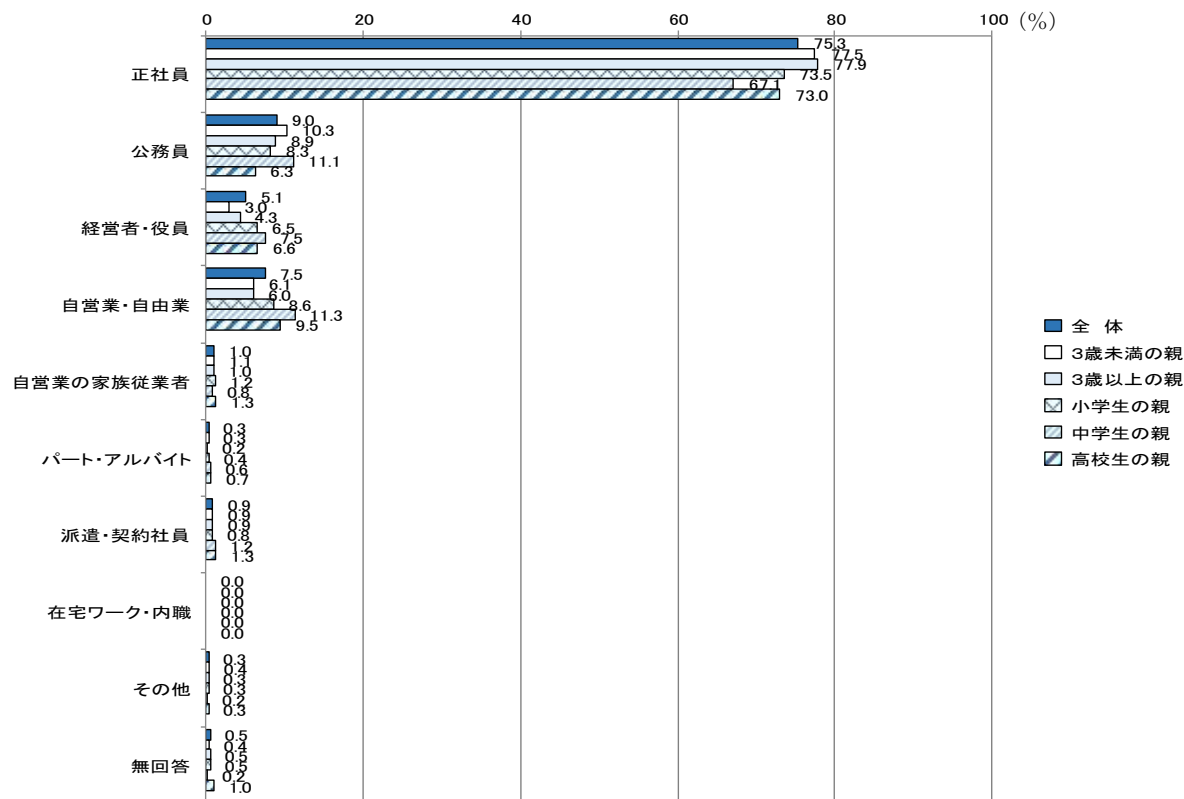
◇ 父親の就労状況では、「就労している」が 93.2%である。



父親の就労形態について 【問 10】

■父親の就労形態について、あてはまるものを選んでください。(1つ)

◇ 「正社員」が 75.3%と最も多く、次いで「公務員」が 9.0%、「自営業・自由業」が 7.5%、「経営者・役員」が 5.1%となっている。



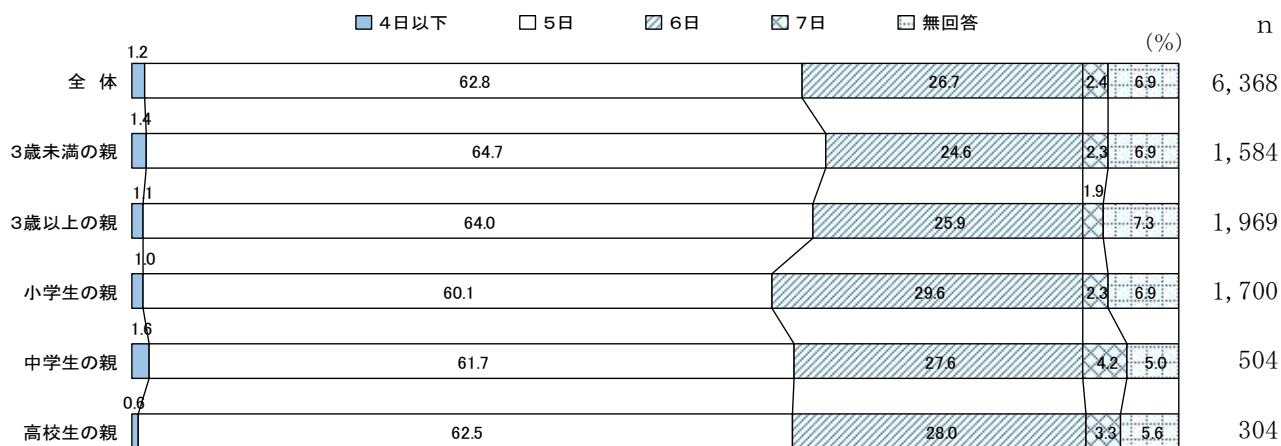
回答数 全体=6,368 3歳未満の親=1,584 3歳以上の親=1,969

小学生の親=1,700 中学生の親=504 高校生の親=304

父親の就労日数について 【問 1 1】

■父親の平均的な1週間の就労日数を数字で記入してください。

◇「週5日」が62.8%と最も多く、「週6日」が26.7%、「週7日」が2.4%となっている。

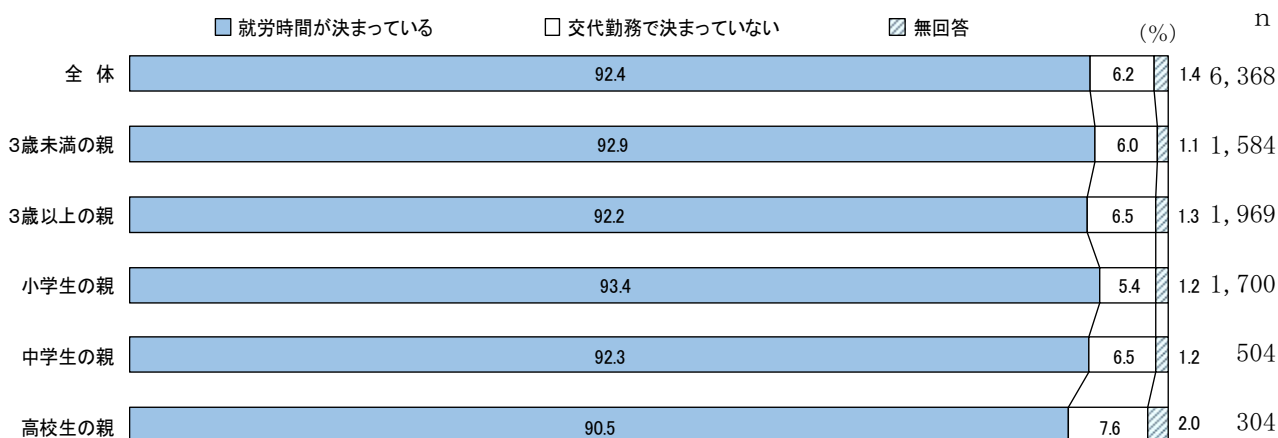


父親の勤務形態について 【問 1 2】

■父親の平均的な1日の就労時間と、平均的な家を出る時間と帰宅時間について記入してください。

【勤務体制】

◇「就労時間が決まっている」人が92.4%、「交代勤務で決まっていない」人が6.2%である。

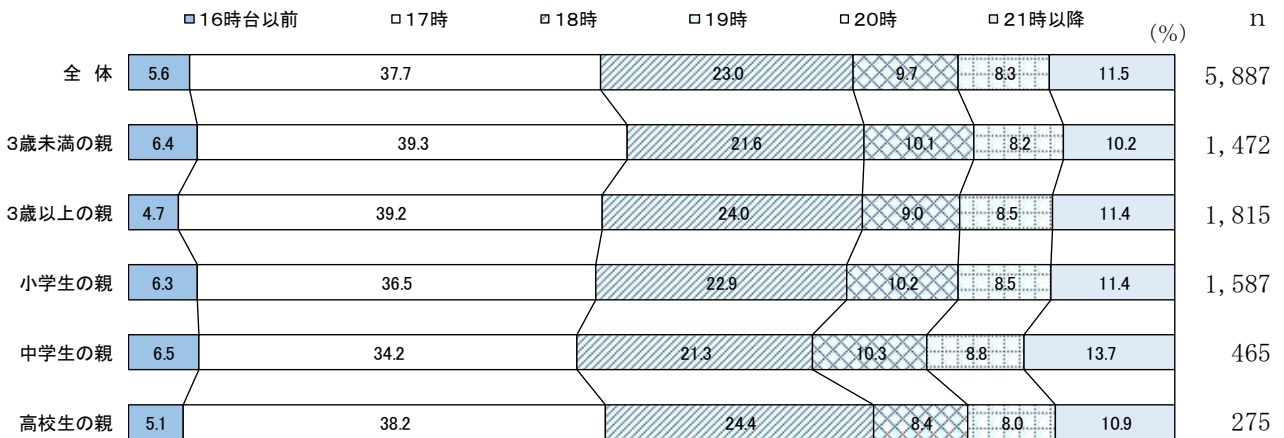


【就労時間】

<始業時刻>

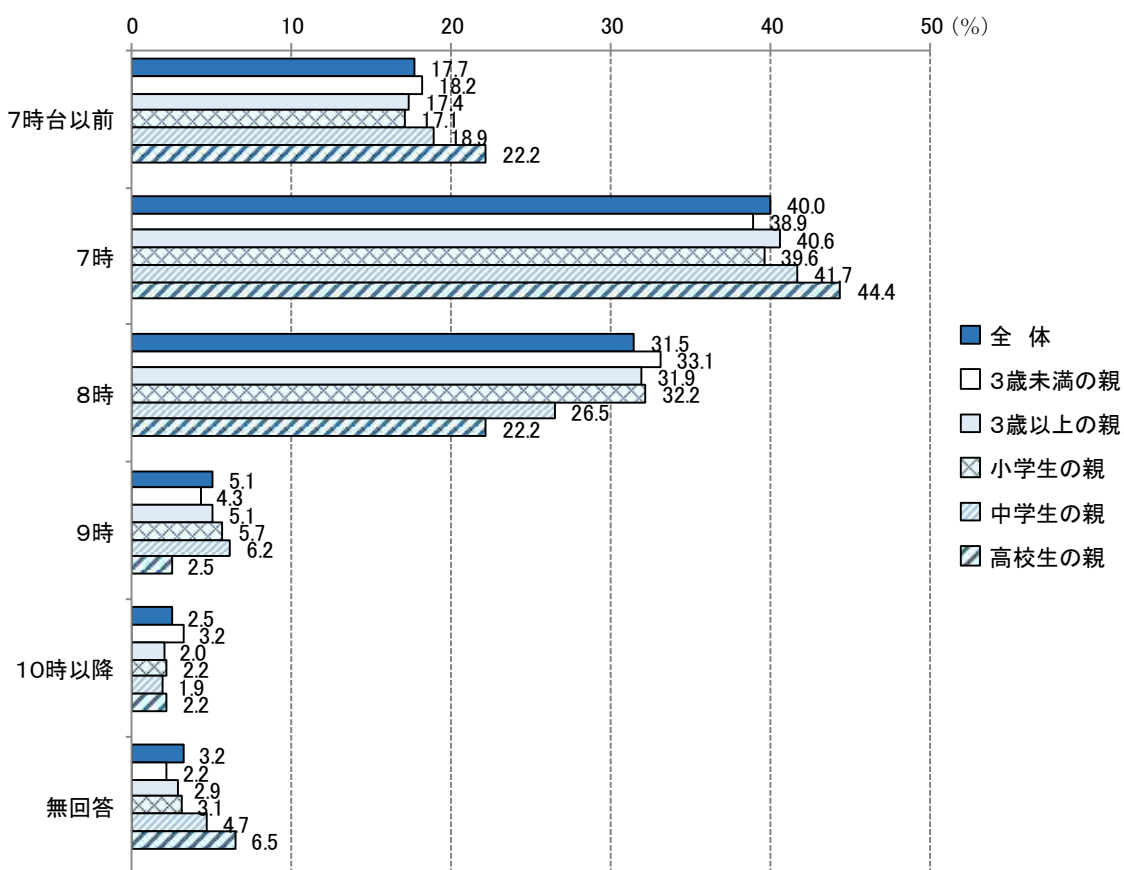


<終業時刻>



【家を出る時間】

◇ 全体では、「7時」が40.0%と最も多く、次いで「8時」が31.5%、「7時台以前」が17.7%となっている。

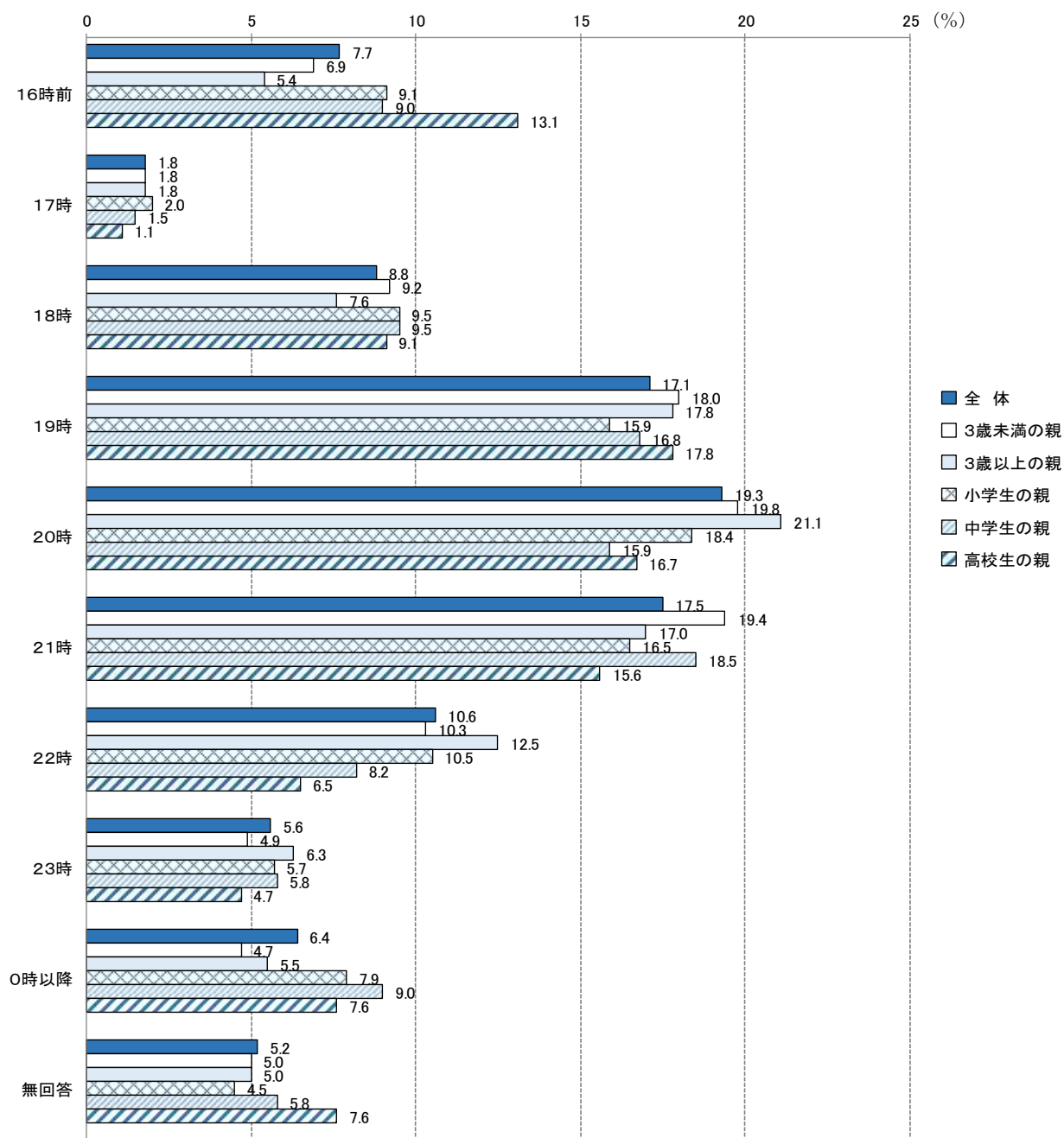


回答数 全体=5,887 3歳未満の親=1,472 3歳以上の親=1,815

小学生の親=1,587 中学生の親=465 高校生の親=275

【帰宅時間】

◇ 全体では、「20 時」が 19.3%と最も多く、次いで「21 時」が 17.5%、「19 時」が 17.1%となっている。

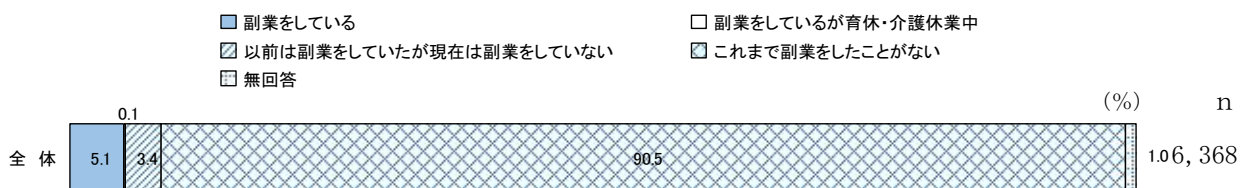


回答数 全体=5,887 3歳未満の親=1,472 3歳以上の親=1,815
小学生の親=1,587 中学生の親=465 高校生の親=275

父親の副業について 【問 1 3】

■父親は、主な仕事以外に別の仕事（副業）をしていますか。（1つ）

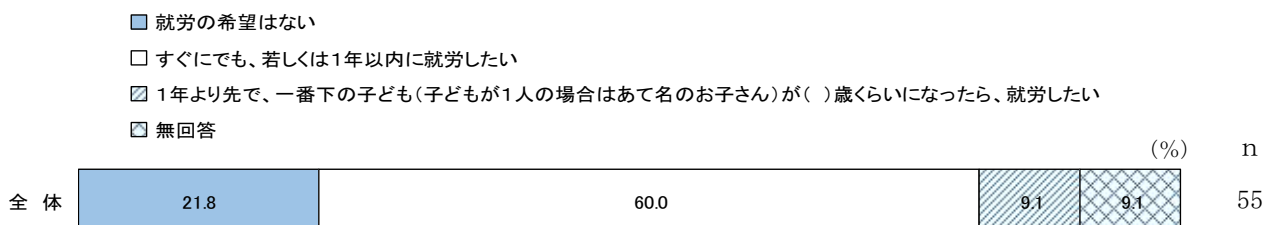
◇ 「これまで副業をしたことがない」が90.5%である。



父親の今後の就労の希望について 【問 1 4】

■父親は、今後、就労の希望がありますか。（1つ）

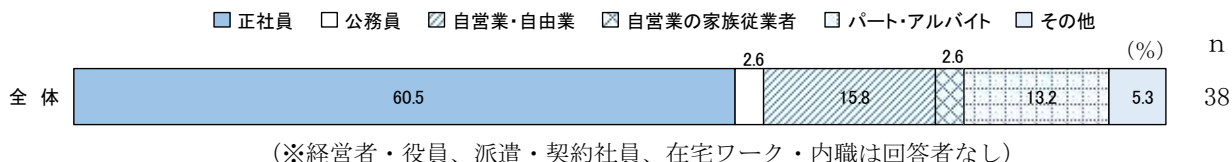
◇ 全体では、「すぐにでも、若しくは1年以内に就労したい」が60.0%と最も多い。



父親の今後の希望する就労形態について 【問 1 5】

■父親が今後就労する場合、どのような就労を希望しますか。（1つ）

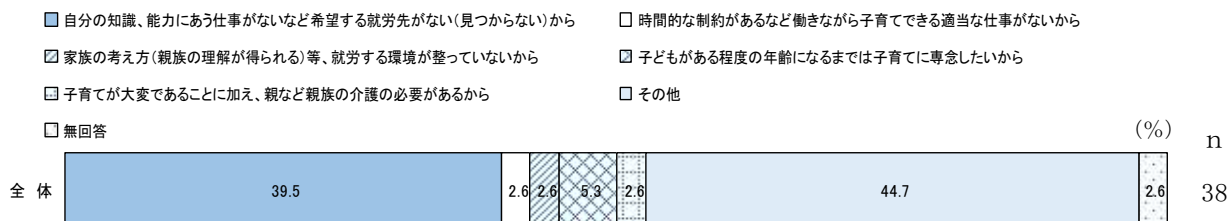
◇ 「正社員」が60.5%と最も多く、次いで「自営業・自由業」が15.8%である。



父親の就労していない理由について 【問 1 6】

■父親が就労希望があるのに現在働いていない理由は何ですか。（1つ）

◇ 「自分の知識、能力にあう仕事がないなど希望する就労先がない（見つからない）から」が39.5%と最も多い。



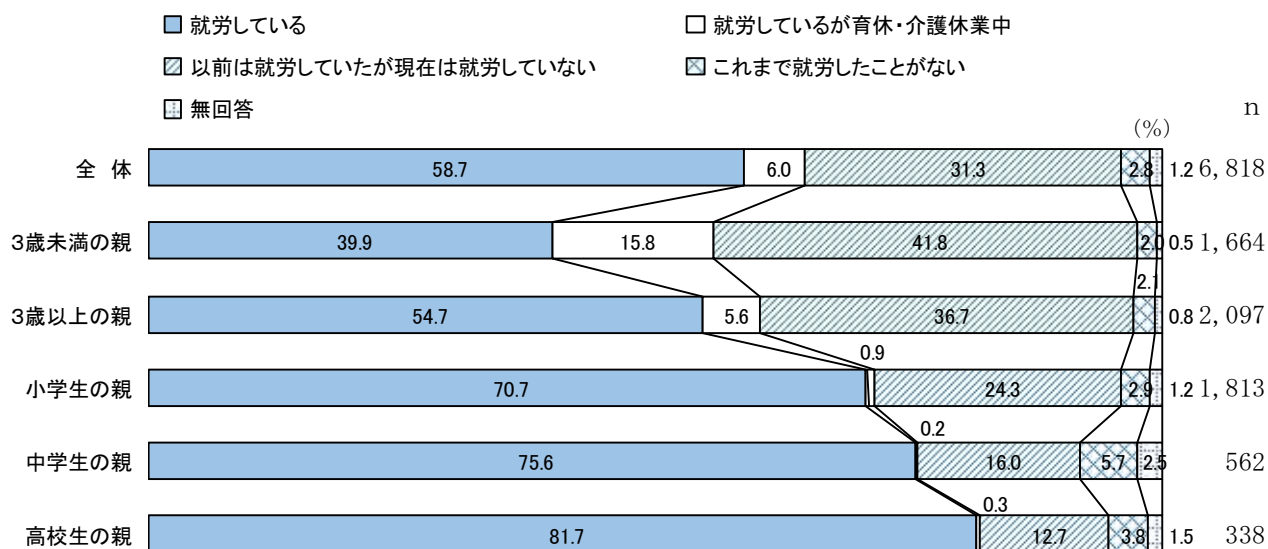
(※「保育所に入所できない(あて名のお子さんのきょうだいが学童保育所に入所できない)から」「子育てが大変で就労する余裕がないから」は回答者なし)

母親の就労状況について

【問 1 7】

■ 母親の就労状況について、あてはまるものを選んでください。（1つ）

◇ 母親の就労状況では、「就労している」が 58.7%である。



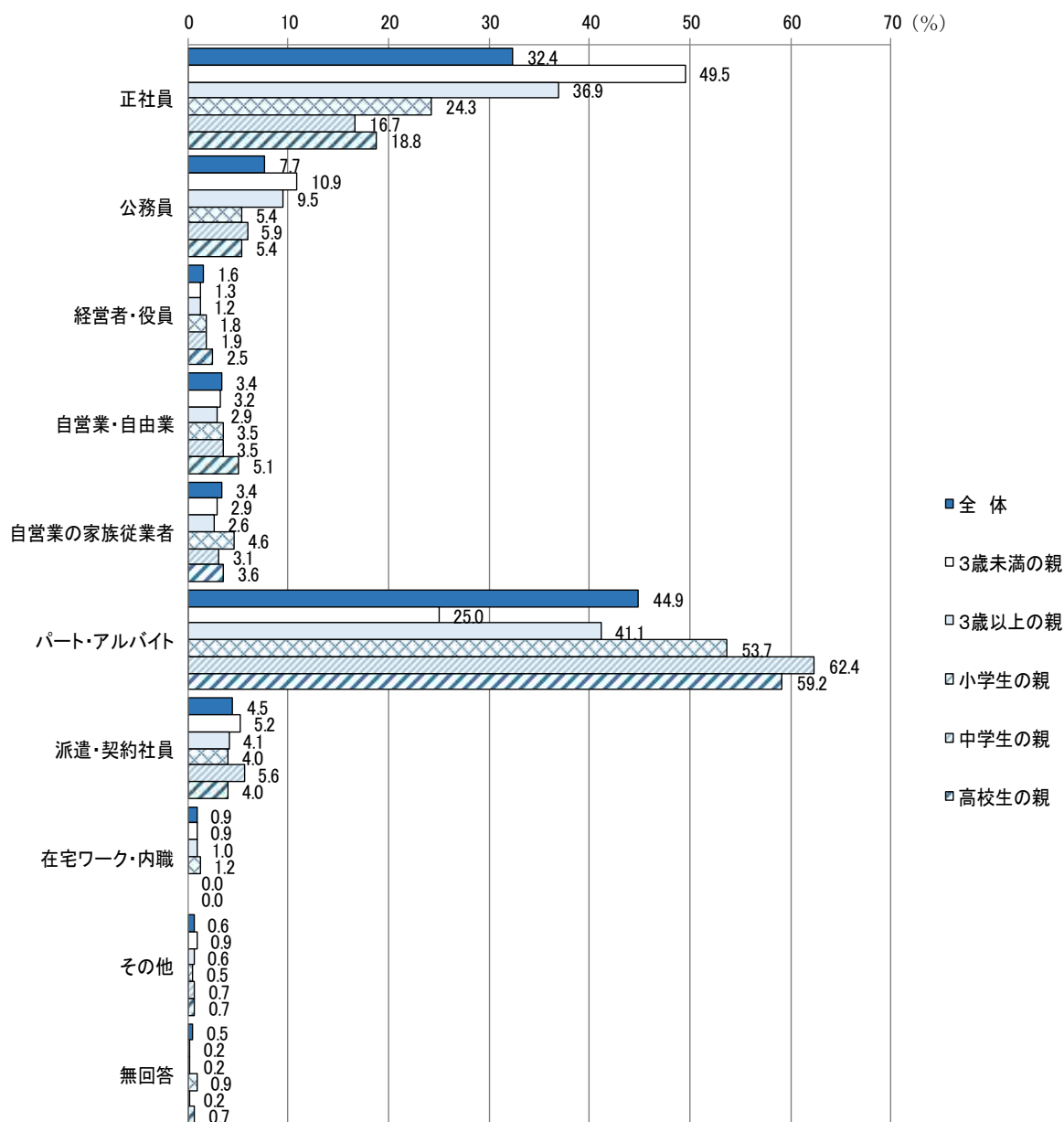
【前回調査との数値比較】

	就労している		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	54.1	58.7	4.6
未就学児の親	43.6	47.3	3.7
小学生の親	62.2	70.7	8.5
中学生の親	72.7	75.6	2.9
高校生の親	74.7	81.7	7.0

母親の就労形態について 【問18】

■ 母親の就労形態にあてはまるものを選んでください。(1つ)

- ◇ 全体では、「パート・アルバイト」が44.9%と最も多く、次いで「正社員」が32.4%、「公務員」が7.7%、「派遣・契約社員」が4.5%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「正社員」の割合が49.5%と高く、小学生以上の親は「パート・アルバイト」の割合が高い。

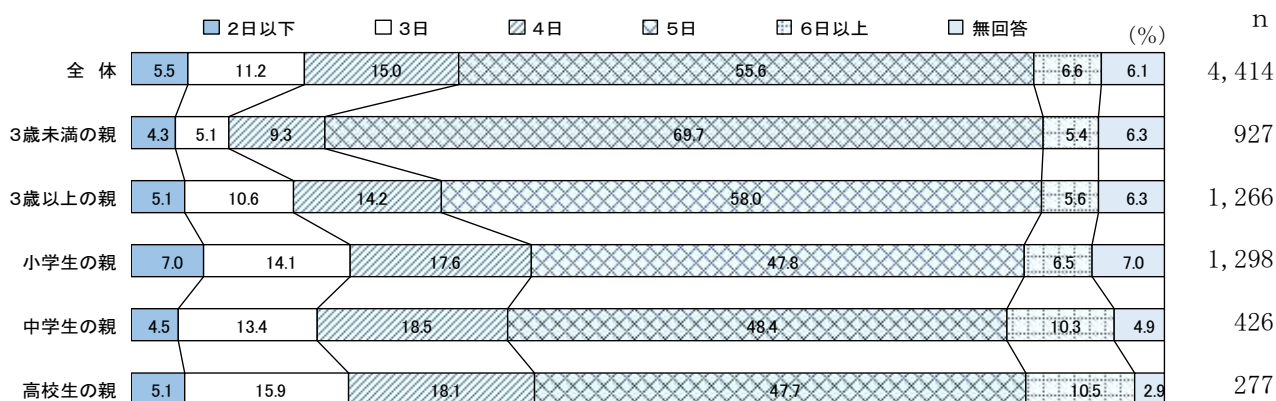


回答数 全体=4,414 3歳未満の親=927 3歳以上の親=1,266
小学生の親=1,298 中学生の親=426 高校生の親=277

母親の就労日数について 【問 19】

■ 母親の平均的な 1 週間の就労日数を数字で記入してください。

◇ 全体では、「週 5 日」が 55.6%、「週 4 日」が 15.0%であり、「週 3 日」が 11.2%となっている。

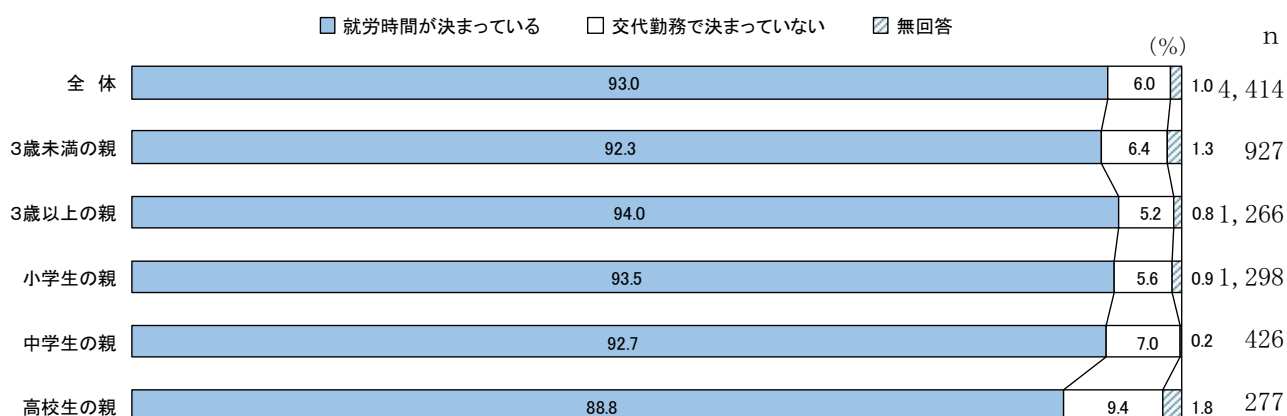


母親の勤務形態について 【問 20】

■ 母親の平均的な 1 日の就労時間と、平均的な家を出る時間と帰宅時間について記入してください。

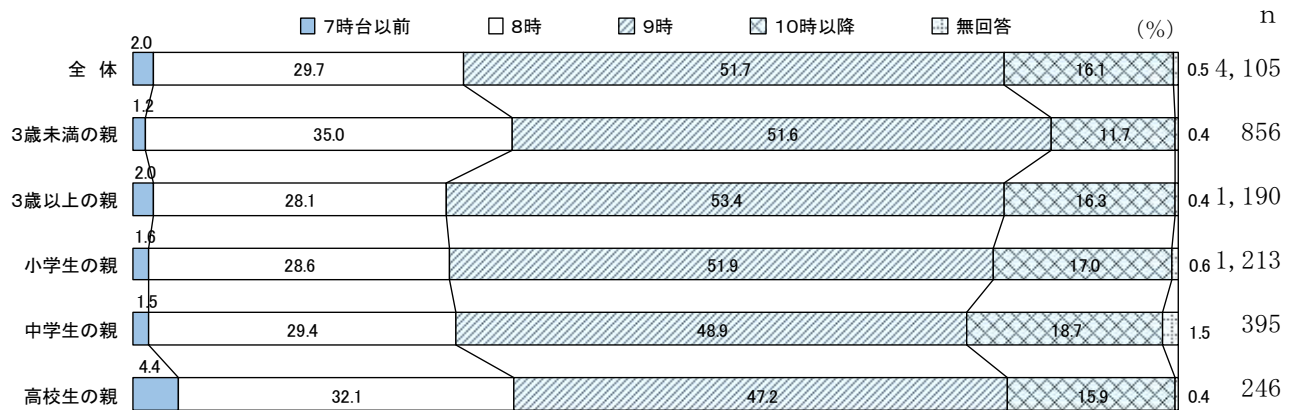
【勤務体制】

◇ 全体では、「就労時間が決まっている」人が 93.0%、「交代勤務で決まっていない」人が 6.0%である。

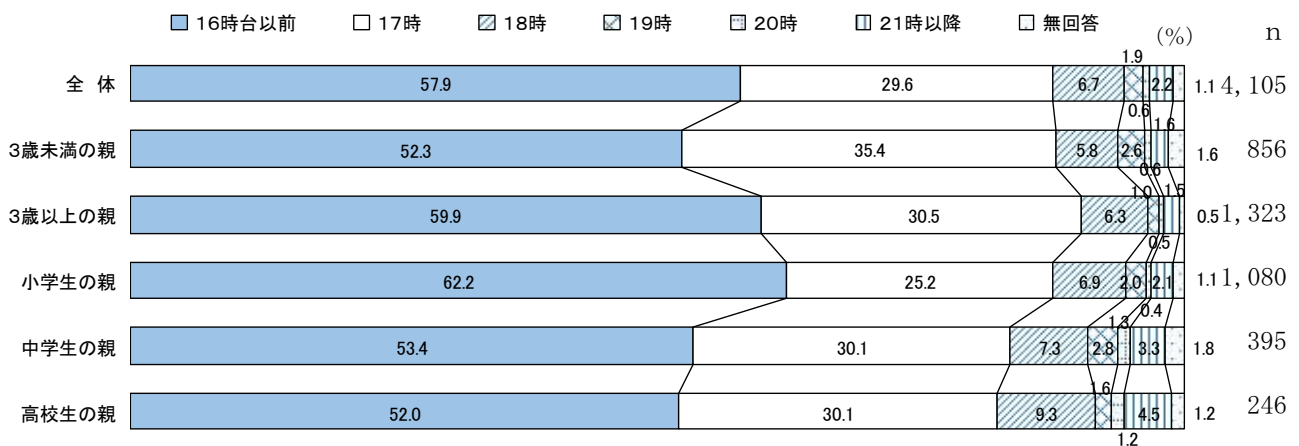


【就労時間】

<始業時刻>

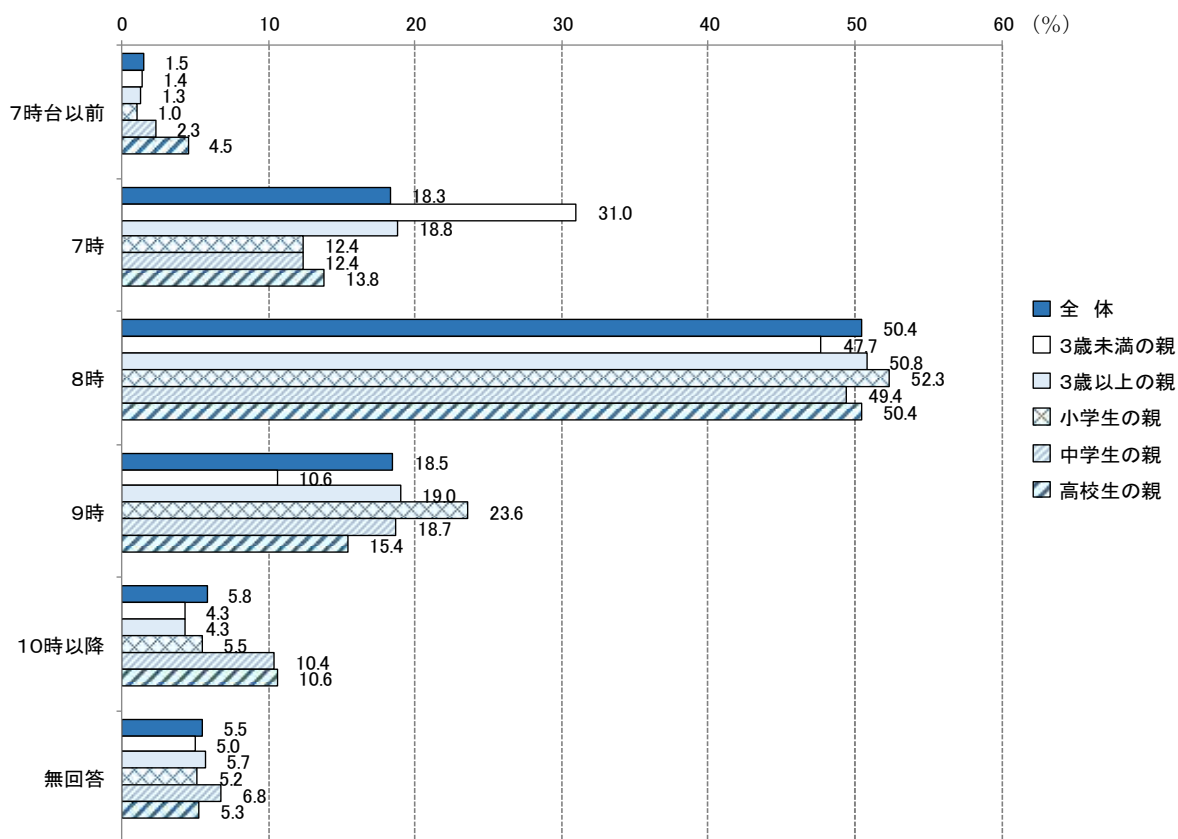


<終業時刻>



【家を出る時間】

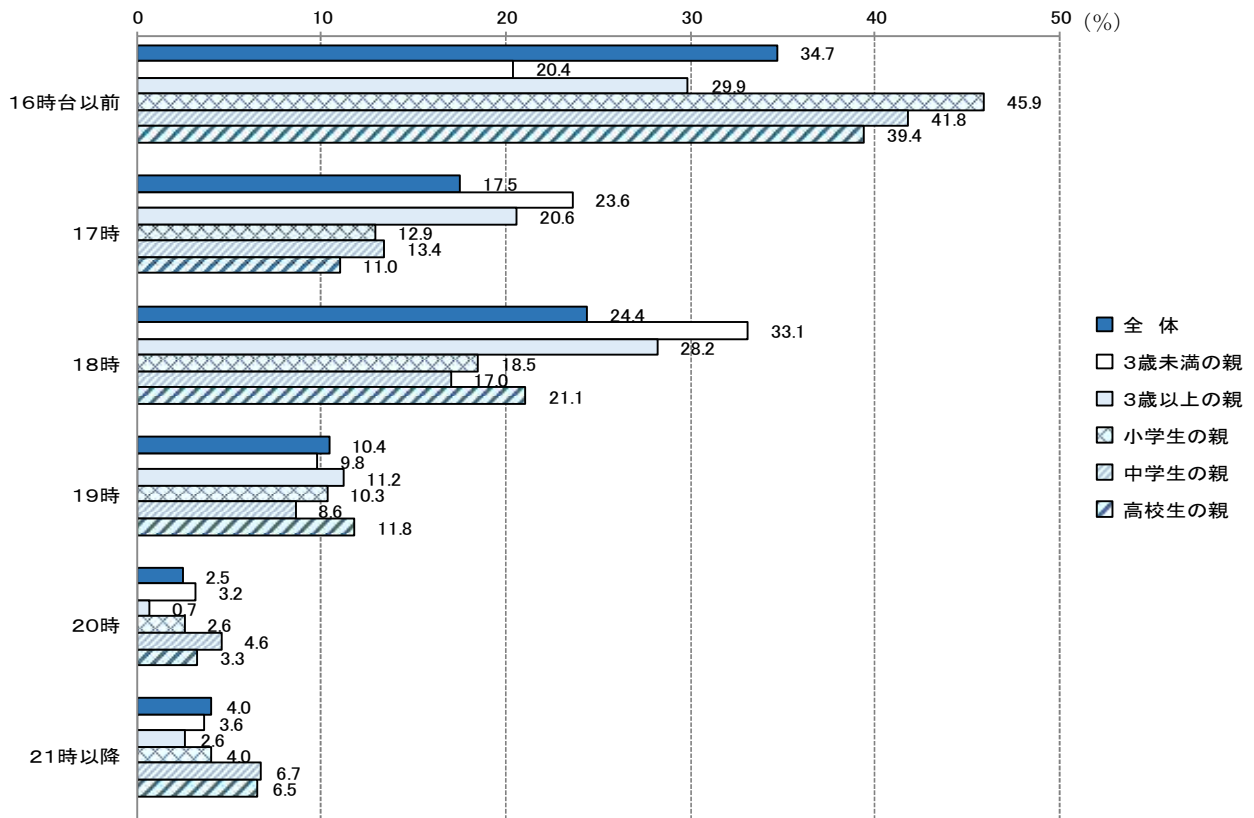
◇ 全体では、「8時」が50.4%と最も多く、次いで「9時」が18.5%、「7時」が18.3%、「10時以降」が5.8%となっている。



回答数 全体=4,105 3歳未満の親=856 3歳以上の親=1,190
小学生の親=1,213 中学生の親=395 高校生の親=246

【帰宅時間】

◇ 全体では、「16 時台以前」が 34.7%と最も多く、次いで「18 時」が 24.4%となっている。

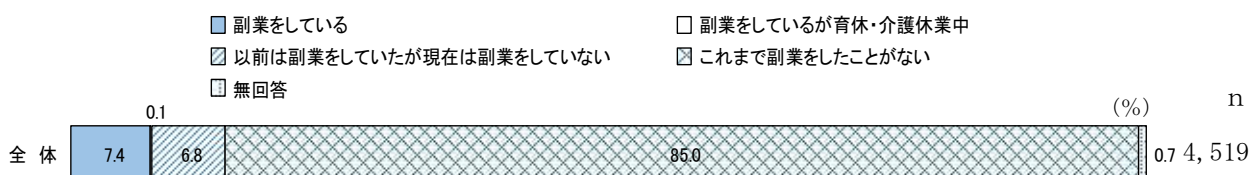


回答数 全体＝4,105 3歳未満の親＝856 3歳以上の親＝1,190
小学生の親＝1,213 中学生の親＝395 高校生の親＝246

母親の副業について 【問21】

■ 母親は、主な仕事以外に別の仕事（副業）をしていますか。（1つ）

◇ 「これまで副業をしたことがない」が 85.0%である。

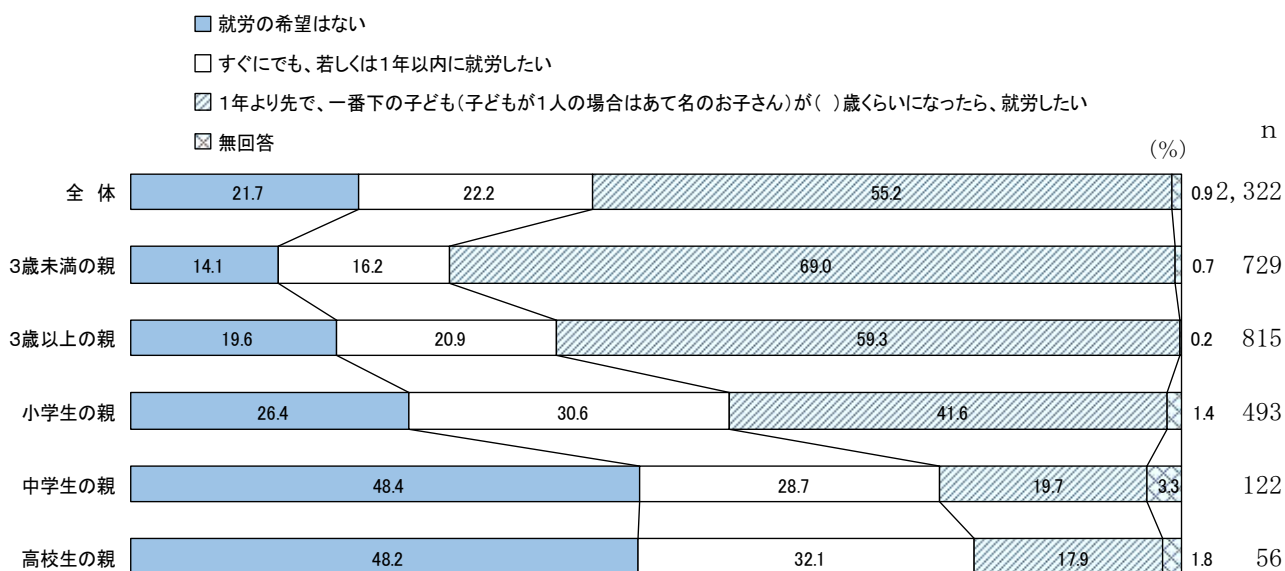


母親の今後の就労の希望について 【問 2 2】

■ 母親は、今後、就労の希望がありますか。(1つ)

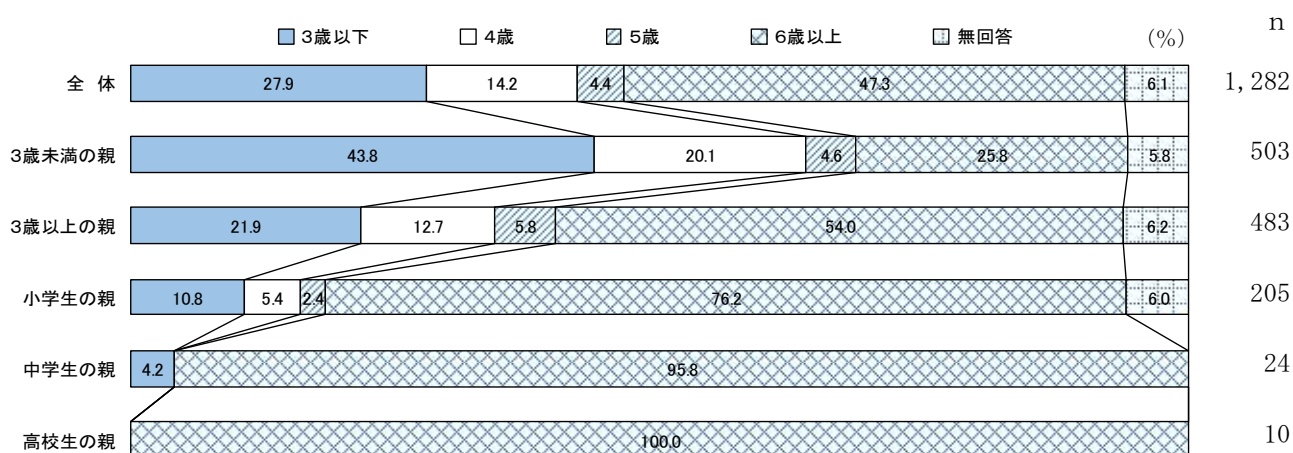
◇ 就労希望は全体の 70%以上である。

◇ 「すぐにでも若しくは 1 年以内に就労したい」が 22.2%、「就労の希望はない」は 21.7%である。



【子どもの年齢】

◇ 全体では、1 年より先の就労を希望する場合の子どもの年齢は、「6 歳以上」の割合が 47.3%と最も高く、全体の半分近くを占める。



母親の今後の希望する就労形態について 【問23】

■母親が今後就労する場合、どのような就労を希望しますか。(1つ)

◇ 「パート・アルバイト」が全体の76.9%であり、次いで「正社員」が9.1%である。

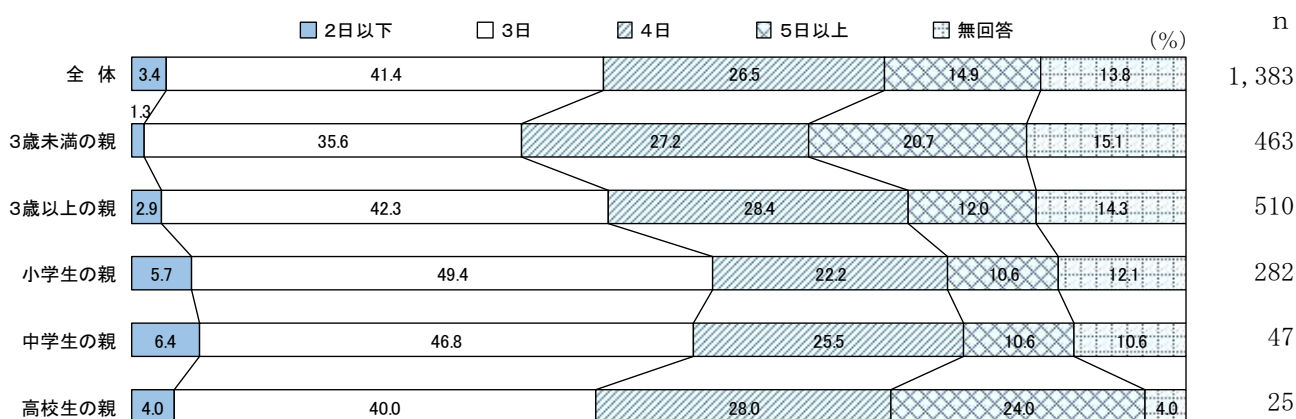


(※公務員、経営者・役員、自営業の家族従業者、その他は回答者が少ないため省略)

【就労日数】

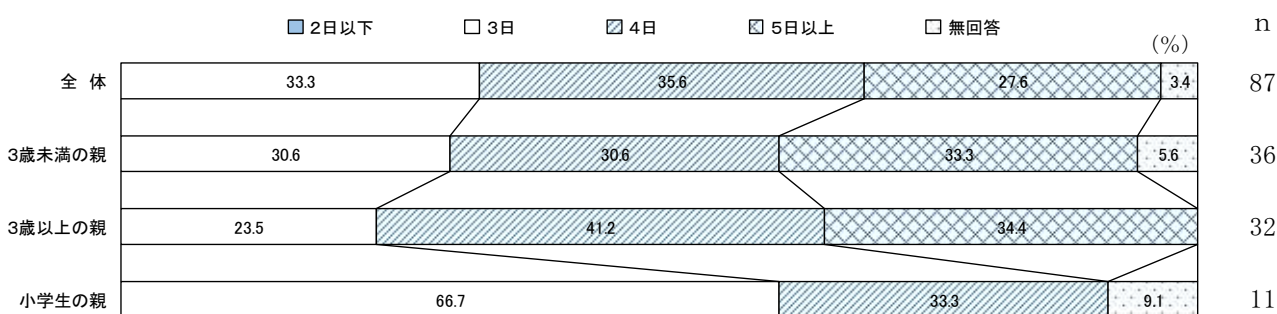
<パート・アルバイト>

◇ 全体では、「3日」が41.4%と最も多く、次いで「4日」が26.5%、「5日以上」が14.9%となっている。



<派遣・契約社員>

◇ 全体では、「4日」が35.6%と最も多く、次いで「3日」が33.3%、「5日以上」が27.6%となっている。

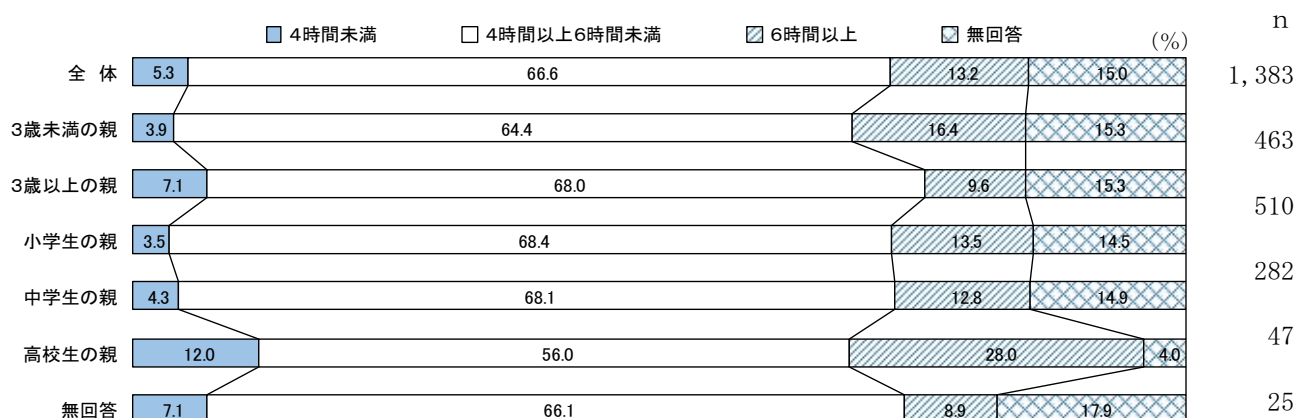


(※中学・高校生の親は回答者が少ないため省略)

【就労時間】

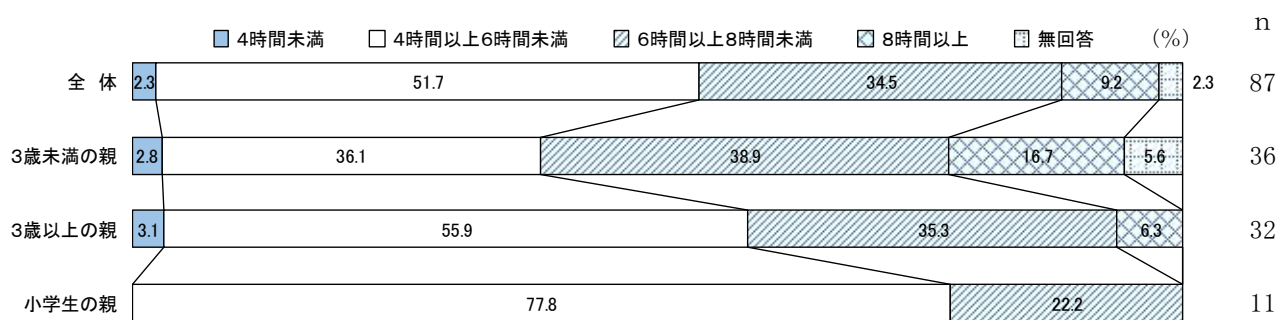
<パート・アルバイト>

◇ 全体では、「4 時間以上 6 時間未満」が 66.6%と最も多く、次いで「6 時間以上」が 13.2%、「4 時間未満」が 5.3%となっている。



<派遣・契約社員>

◇ 全体では、「4 時間以上 6 時間未満」が 51.7%と最も多く、次いで「6 時間以上 8 時間未満」が 34.5%、「8 時間以上」が 9.2%となっている。

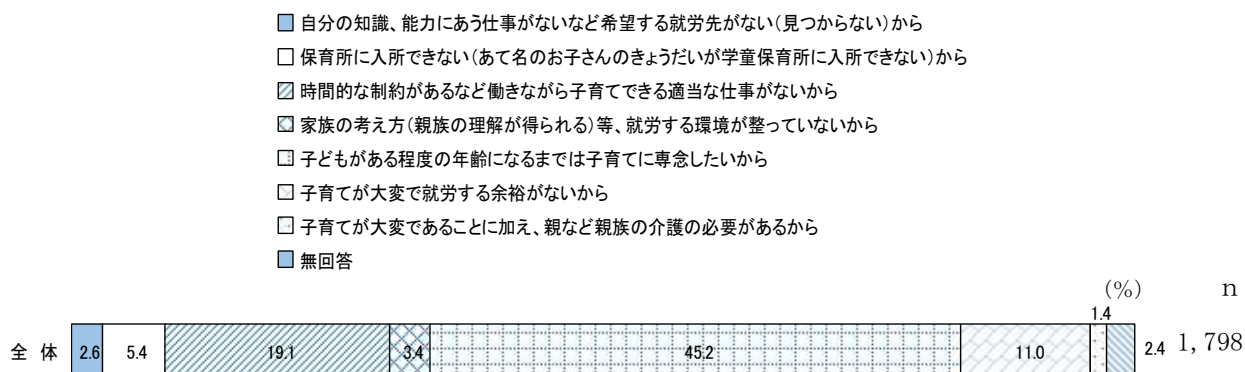


(※中学・高校生の親は回答者が少ないため省略)

母親の就労していない理由について 【問 2 4】

■母親が就労希望があるのに現在働いていない理由は何ですか。（1つ）

- ◇ 「子どもがある程度の年齢までは子育てに専念したいから」が 45.2%と最も多く、次いで「時間的な制約があるなど働きながら子育てできる適当な仕事がないから」が 19.1%、「子育てが大変で就労する余裕がないから」が 11.0%となっている。



【前回調査との数値比較】

	就労していない理由		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
自分の知識、能力にあう仕事がないなど希望する就労先がない（見つからない）から	8.3	2.6	▲ 5.7
保育所に入所できない（あて名のお子さんのきょうだいが学童保育所に入所できない）から	6.6	5.4	▲ 1.2
時間的な制約があるなど働きながら子育てできる適当な仕事がないから	19.0	19.1	0.1
家族の考え方（親族の理解が得られる）等、就労する環境が整っていないから	3.4	3.4	0.0
子どもがある程度の年齢になるまでは子育てに専念したいから	51.0	45.2	▲ 5.8
子育てが大変で就労する余裕がないから	－	11.0	－
子育てが大変であることに加え、親など親族の介護の必要があるから	－	1.4	－

『母親の現在働いていない理由（問24）と世帯の暮らし向き（就学前 問85，
就学後問31）』

◎ 就労希望があるが就労していない理由は、世帯の暮らし向きの意識に関わらず、「子どもがある程度の年齢になるまでは子育てに専念したい」が最も多い。

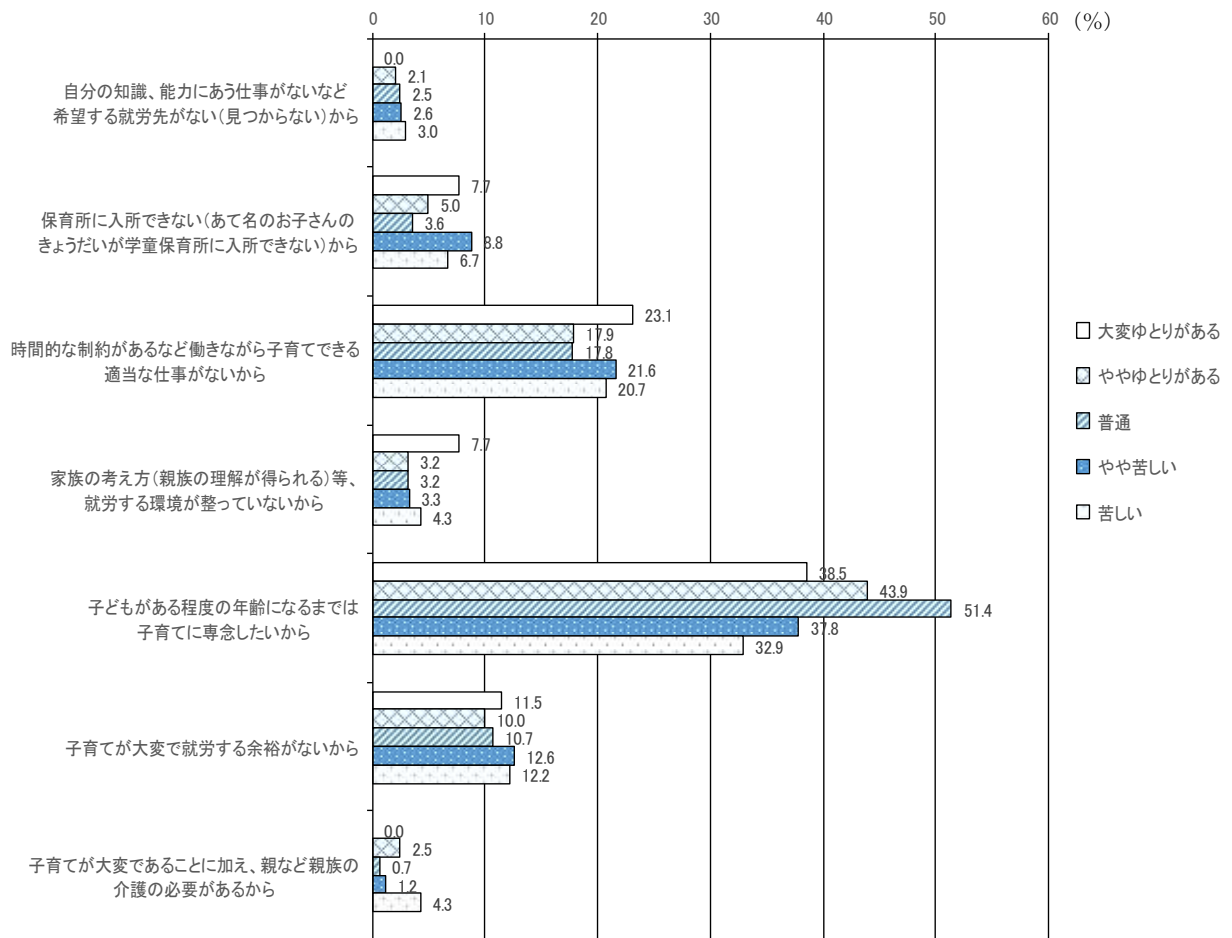
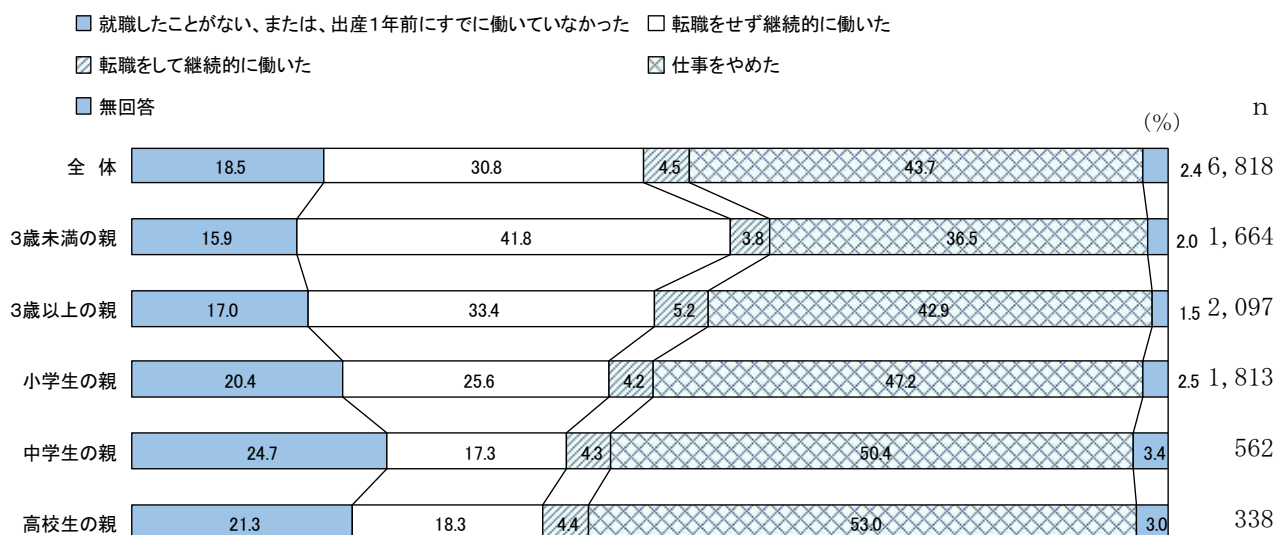


図 母親の現在働いていない理由と暮らし向きの意識

出産にともなう母親の退職や転職について 【問 2 5】

■母親は、出産前後（それぞれ１年以内）に仕事をやめたり、転職をしましたか。
（１つ）

◇ 全体では、「仕事をやめた」が 43.7%と最も多く、次いで「転職をせず継続的に働いた」が 30.8%、「就職したことがない、または、出産１年前にすでに働いていなかった」が 18.5%となっている。



【前回調査との数値比較】

	就職したことがない、または、 出産１年前にすでに働いていなかった		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	34.6	18.5	▲16.1
未就学児の親	32.1	16.5	▲15.6
小学生の親	39.1	20.4	▲18.7
中学生の親	41.7	24.7	▲17.0
高校生の親	43.6	21.3	▲22.3

転職をせず継続的に働いた		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
3.8	30.8	27.0
4.0	37.6	33.6
2.7	25.6	22.9
5.2	17.3	12.1
5.4	18.3	12.9

	転職をして継続的に働いた		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	0.7	4.5	3.8
未就学児の親	0.6	4.5	3.9
小学生の親	0.8	4.2	3.4
中学生の親	0.9	4.3	3.4
高校生の親	2.0	4.4	2.4

仕事をやめた		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
55.0	43.7	▲11.3
59.1	39.7	▲19.4
49.9	47.2	▲ 2.7
43.1	50.4	7.3
36.9	53.0	16.1

『出産にともなう母親の離転職（問２５）と世帯の暮らし向き（就学前 問８５，
就学後問３１）』

- ◎ 出産前後の母親の離転職について、「やや苦しい」「苦しい」と回答した母親の方が、「仕事をやめた」割合が高い。

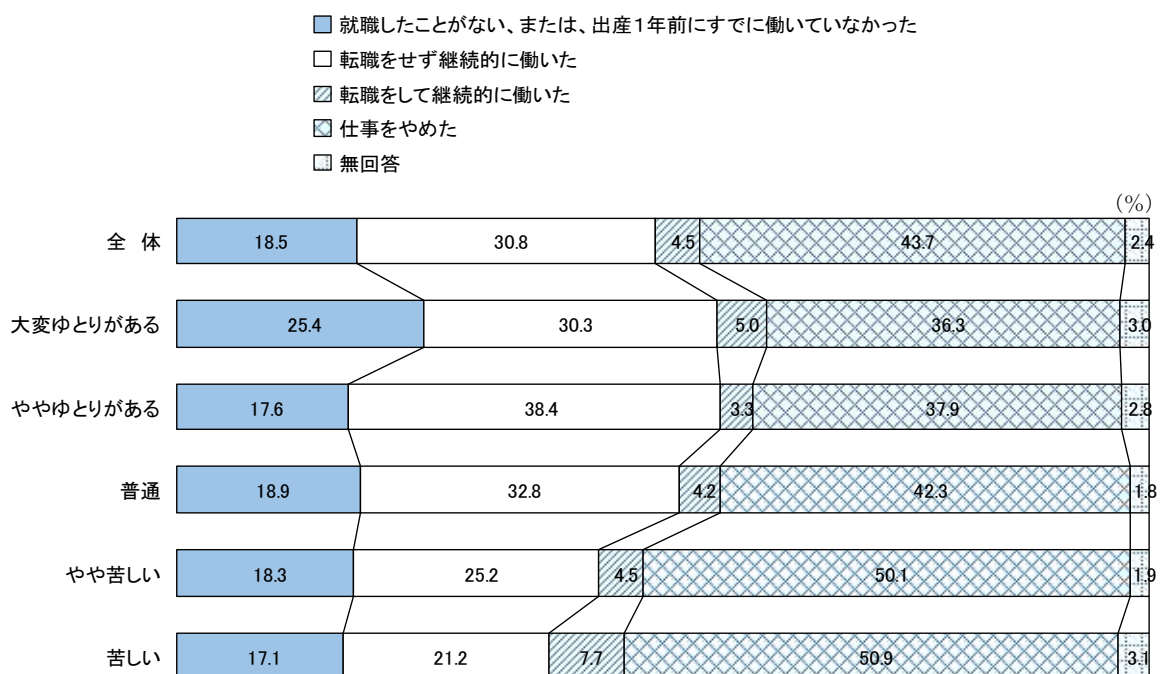
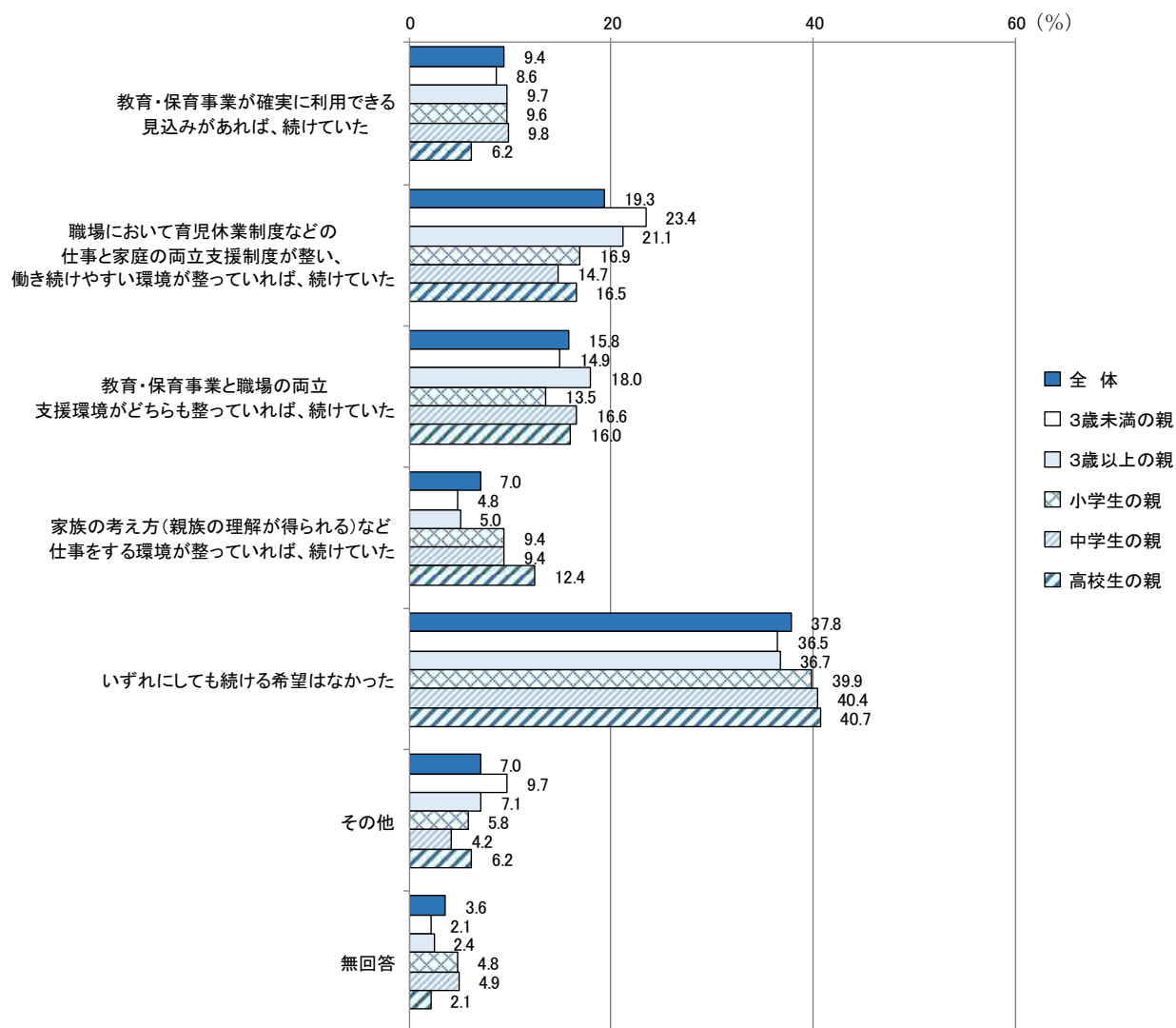


図 出産にともなう母親の離退職と暮らし向きの意識

■母親は仕事と家庭の両立を支援する教育・保育事業（幼稚園や保育所など）や周囲の環境などが整っていたら、出産前後にしていた仕事を続けましたか。（1つ）

◇ 全体では、「いずれにしても続ける希望はなかった」が 37.8%と最も多く、次いで「職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、続けていた」が 19.3%、「教育・保育事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、続けていた」が 15.8%となっている。



回答数 全体＝3,290 3歳未満の親＝671 3歳以上の親＝1,009

小学生の親＝933 中学生の親＝307 高校生の親＝194

【前回調査との数値比較】

	教育・保育事業と職場の両立支援環境が どちらも整っていれば、続けていた		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	16.2	15.8	▲ 0.4
未就学児の親	17.6	16.5	▲ 1.1
小学生の親	12.3	13.5	1.2
中学生の親	14.0	16.6	2.6
高校生の親	17.2	16.0	▲ 1.2

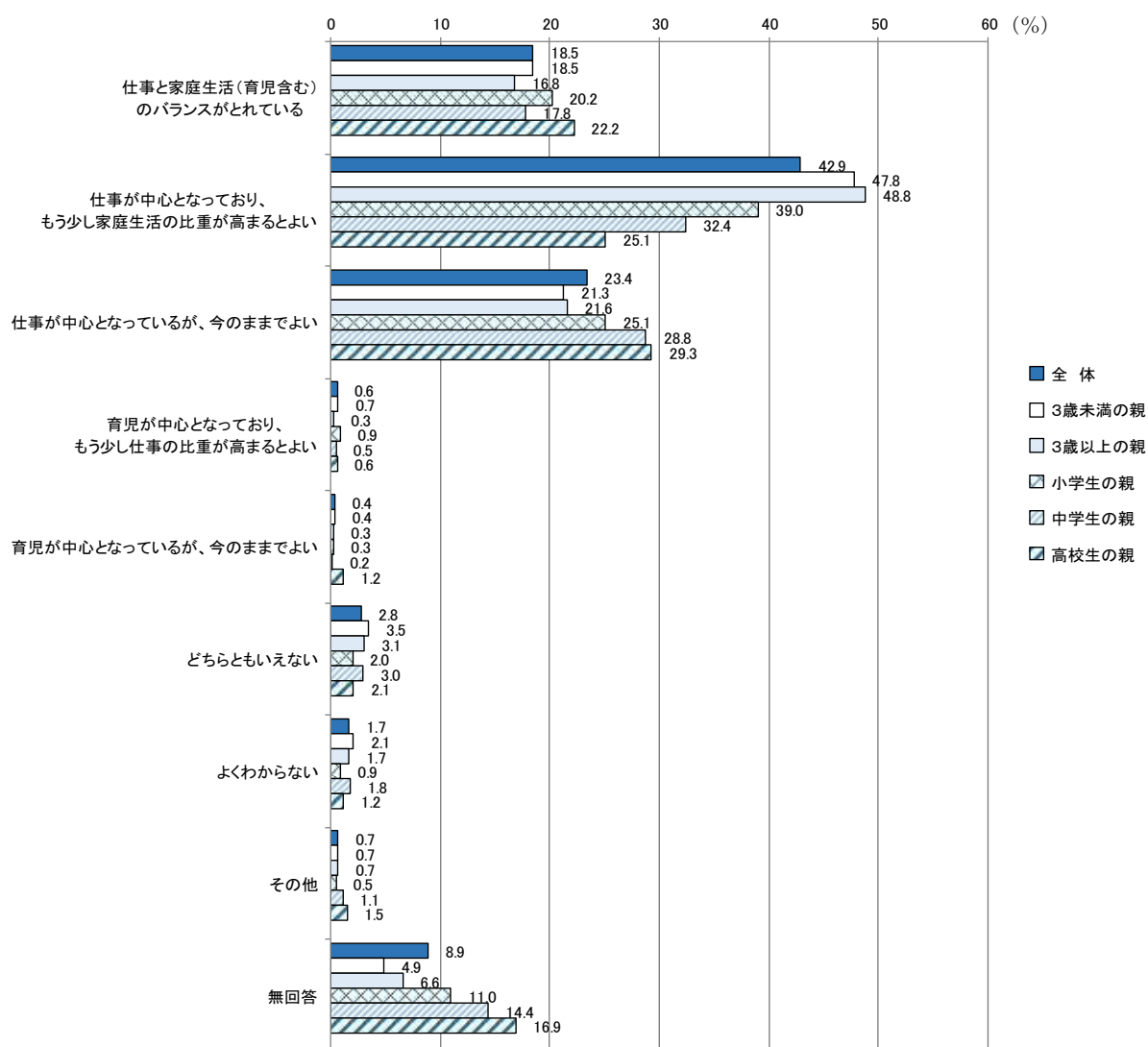
職場において育児休業制度などの仕事と 家庭の両立支援制度が整い、働き続けやす い環境が整っていれば、続けていた		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
20.4	19.3	▲ 1.1
21.0	22.3	1.3
20.1	16.9	▲ 3.2
12.9	14.7	1.8
12.1	16.5	4.4

	いずれにしても続ける希望はなかった		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	45.6	37.8	▲ 7.8
未就学児の親	43.8	36.6	▲ 7.2
小学生の親	50.8	39.9	▲10.9
中学生の親	51.6	40.4	▲11.2
高校生の親	50.0	40.7	▲ 9.3

■あなたの家庭では、仕事と生活のバランス（ワーク・ライフ・バランス）はとれていると感じていますか。（1つ）

<父 親>

◇ 全体では、「仕事を中心となっており、もう少し家庭生活の比重が高まるとよい」が 42.9%と最も多く、次いで「仕事を中心となっているが、今のままでよい」が 23.4%、「仕事と家庭生活（育児含む）のバランスがとれている」が 18.5%となっている。

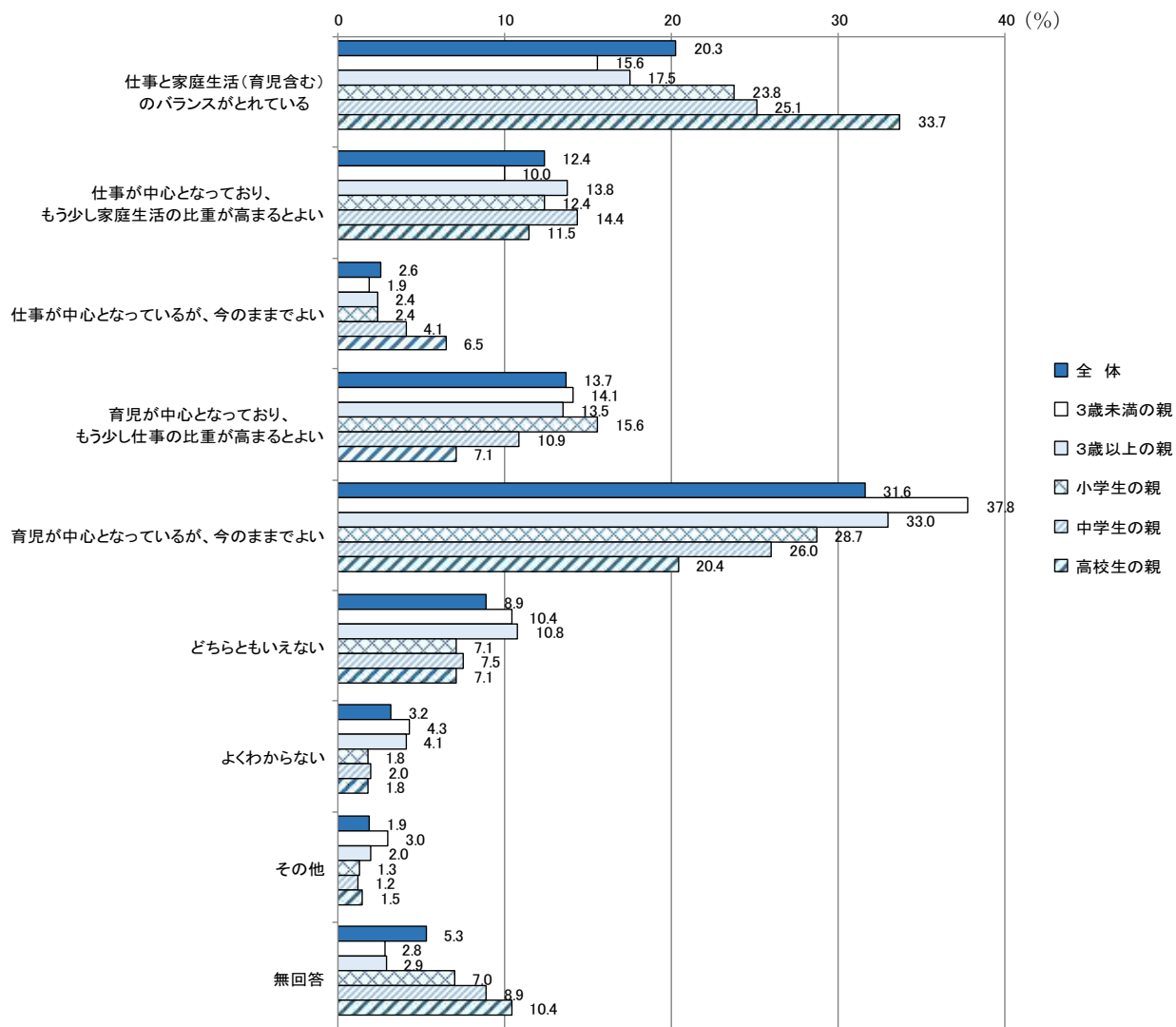


回答者数 全体＝6,818 3歳未満の親＝1,664 3歳以上の親＝2,097

小学生の親＝1,813 中学生の親＝562 高校生の親＝338

<母 親>

- ◇ 全体では、「育児が中心となっているが、今のままでよい」が 31.6%と最も多く、次いで「仕事と家庭生活（育児を含む）のバランスがとれている」が 20.3%となっている。



回答者数 全体=6,818 3歳未満の親=1,664 3歳以上の親=2,097
小学生の親=1,813 中学生の親=562 高校生の親=338

【前回調査との数値比較】

<母 親>

	育児が中心となっているが、今のままでよい		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	25.1	31.6	6.5
未就学児の親	32.1	35.4	3.3
小学生の親	20.0	28.7	8.7
中学生の親	15.3	26.0	10.7
高校生の親	9.6	20.4	10.8

『仕事と生活のバランス（就学前 問30，就学後 問29）と世帯の暮らし向き（就学前 問85，就学後 問31）』

- ◎ 仕事と生活のバランスについて、家庭の経済状況が「大変ゆとりがある」と回答した人は、「仕事と家庭生活のバランスが取れている」と回答する割合が高い。
- ◎ 家庭の経済状況が「やや苦しい」「苦しい」と回答した人は、「育児が中心となっており、仕事の比重が高まるとよい」と回答する割合が高い。

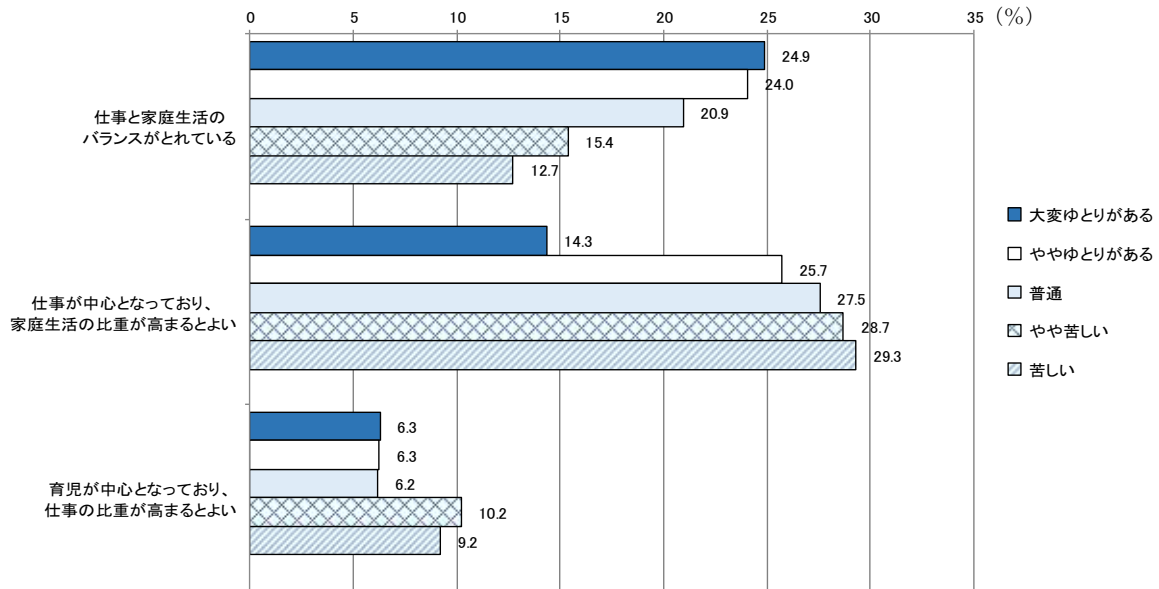


図 仕事と生活のバランスと暮らし向きの意識

『仕事と生活のバランス（就学前 問30，就学後 問29）と子どもの人数が理想より少ない理由（就学前 問99，就学後 問49）』

- ◎ 理想の子どもの数より実際の子どもの数が少ない理由として、「今後出産の予定がある」と回答した人について、父親の場合、ワーク・ライフ・バランスで「仕事为中心となっており、もう少し家庭生活の比重が高まるとよい」が高く、母親の場合、「育児が中心となっているが、今のままでよい」の割合が高い。

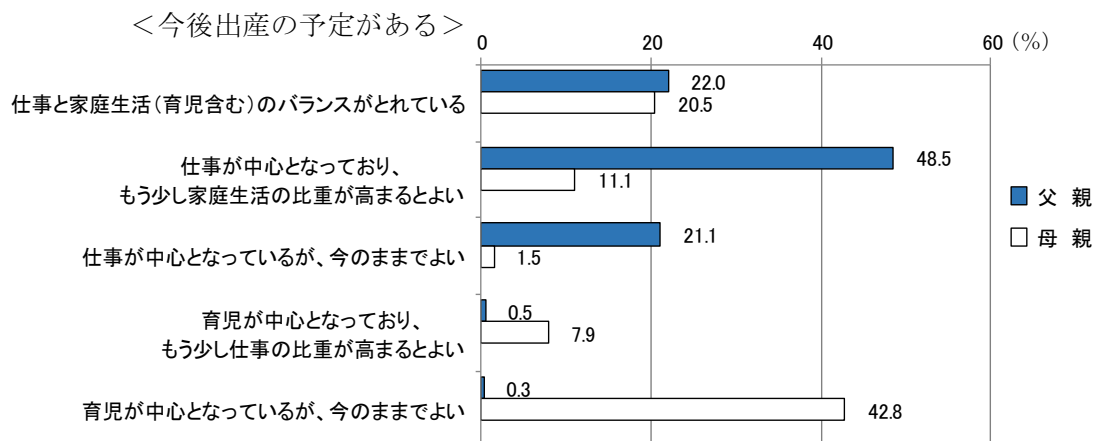
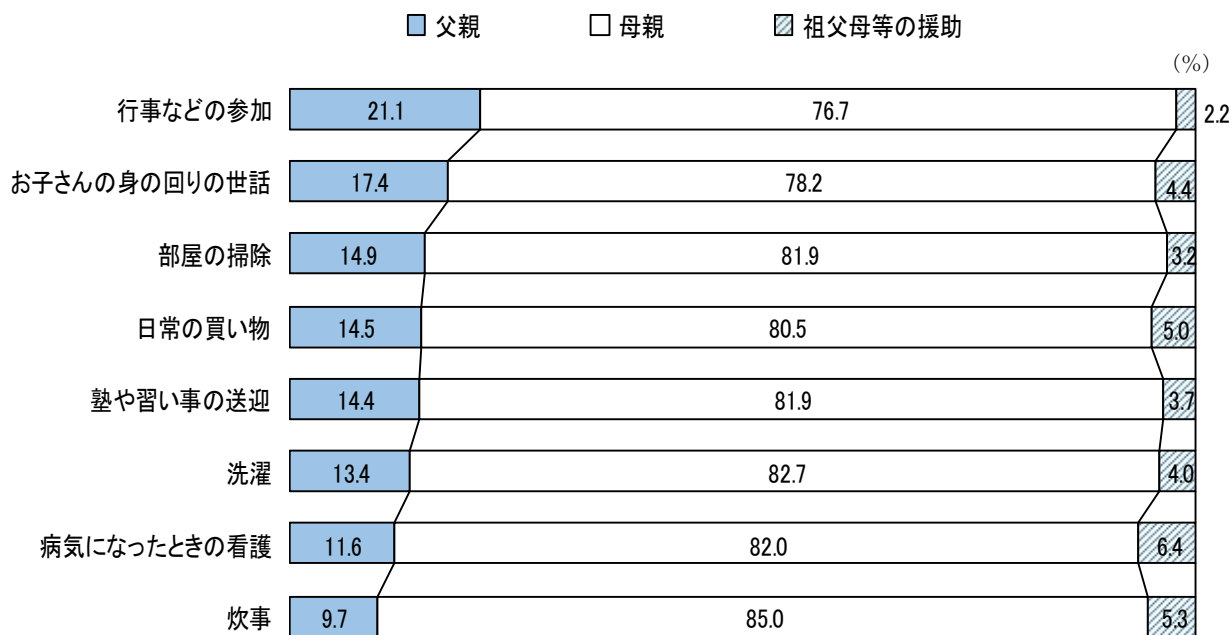


図 WLBと今後出産予定（出産希望）で子どもの人数が理想より少ない割合

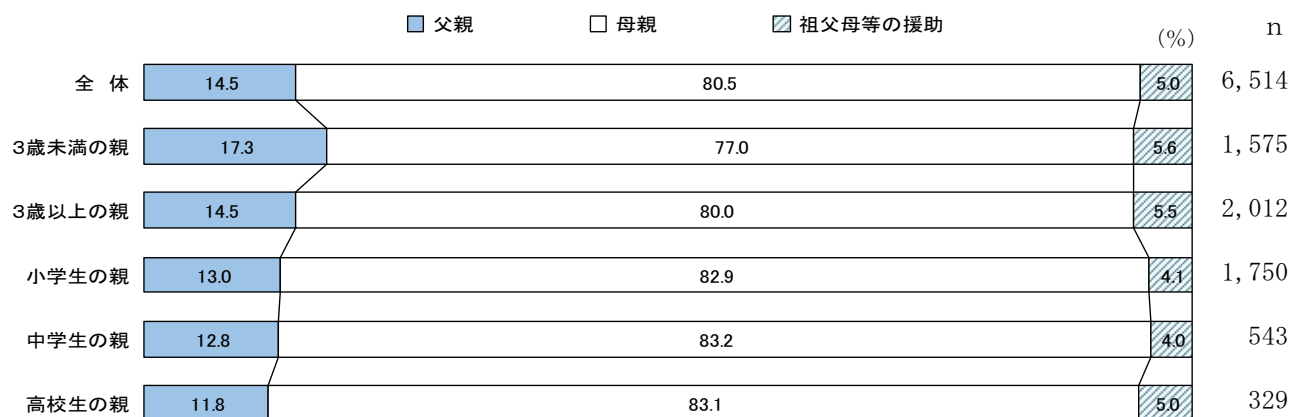
家事・子育ての分担について【就学前 問32】【就学後 問30】

■現在、家事・子育てをどのように分担していますか。父親と母親の分担の割合を、全体で100%になるように数字で記入してください。

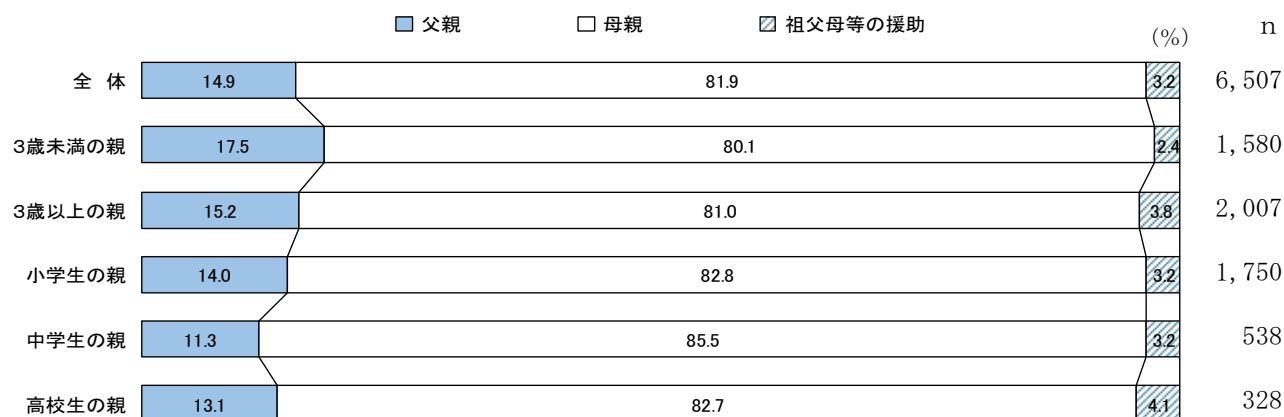
- ◇ 家事・子育てについては、すべての項目で「母親」の割合が80%近くを占める。
 ◇ 父親の分担割合は、「行事などの参加」が21.1%と最も多く、次いで「お子さんの身の回りの世話」が17.4%、「部屋の掃除」が14.9%となっている。



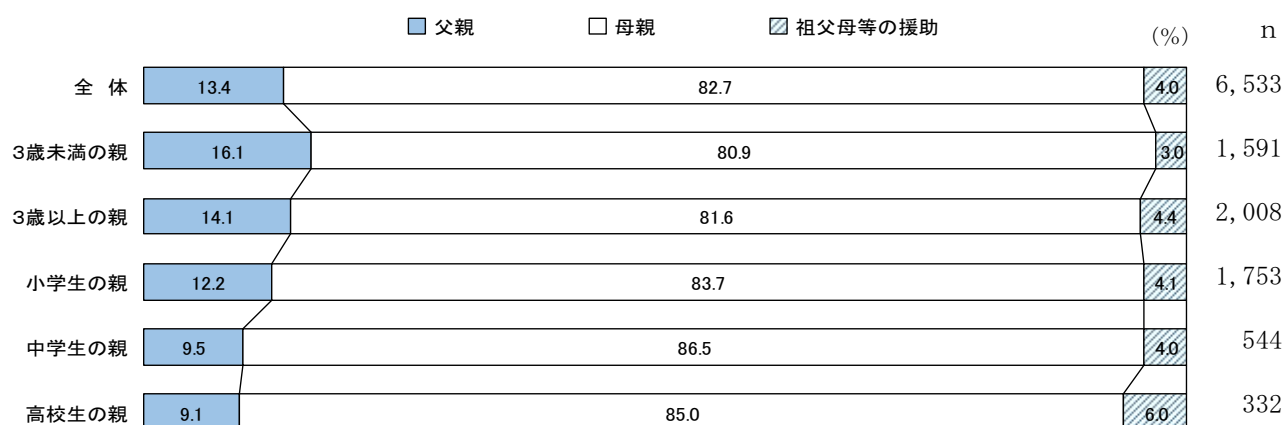
ア. 日常の買い物



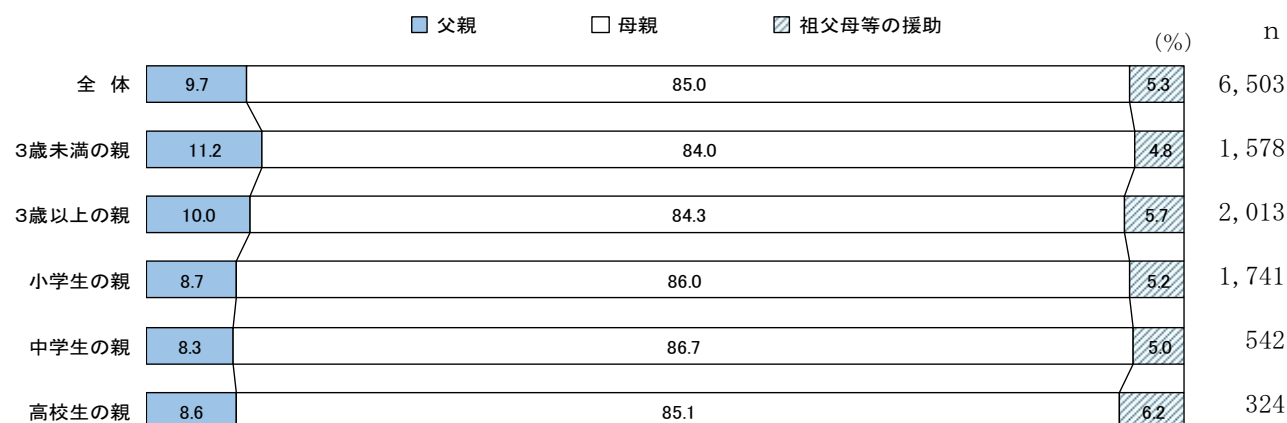
イ. 部屋の掃除



ウ. 洗濯



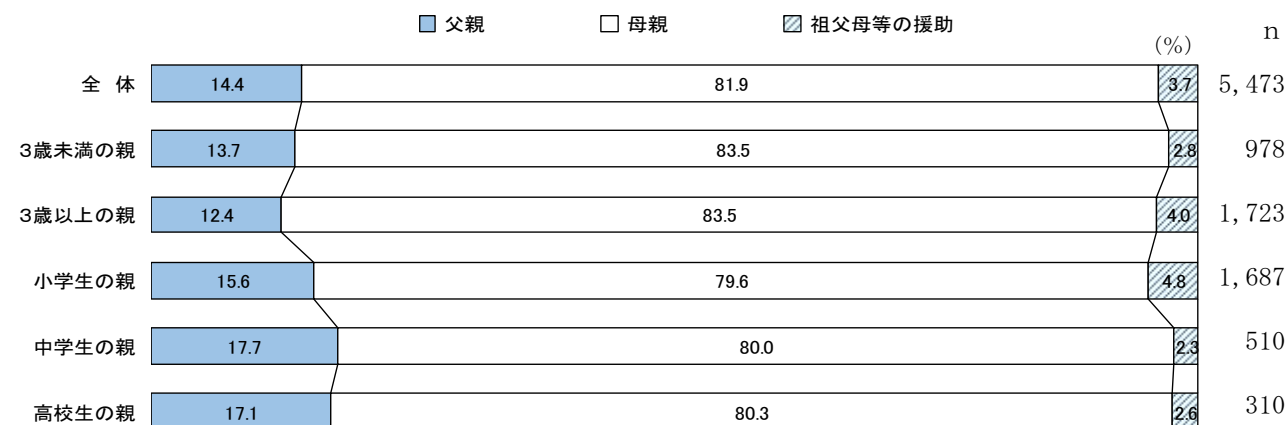
エ. 炊事



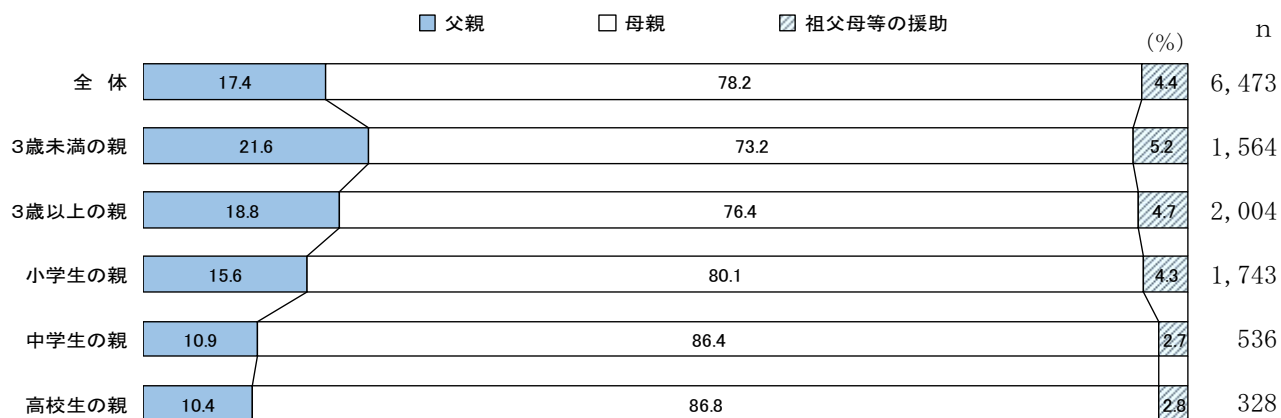
オ. 行事などの参加



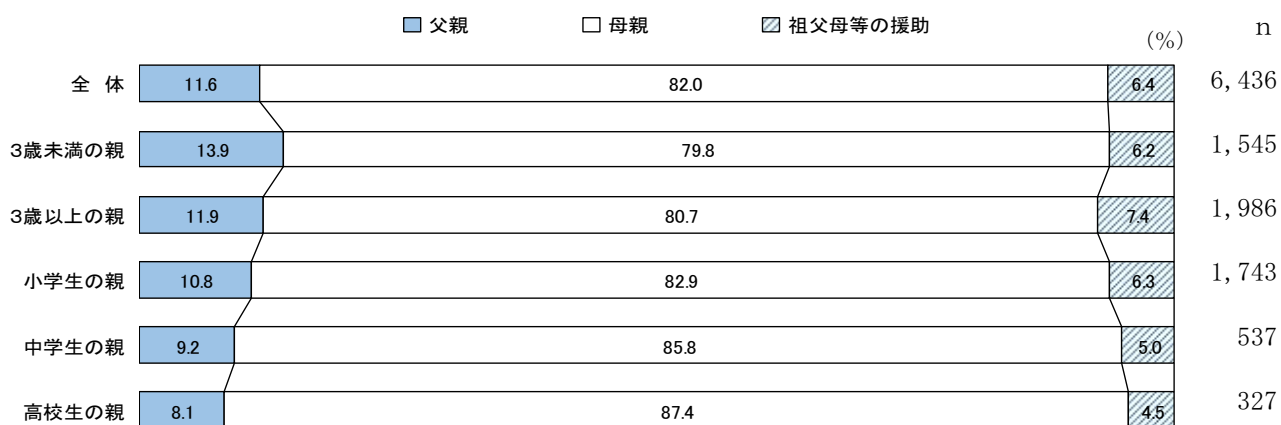
カ. 塾や習いごとの送迎



キ. お子さんの身の回りの世話



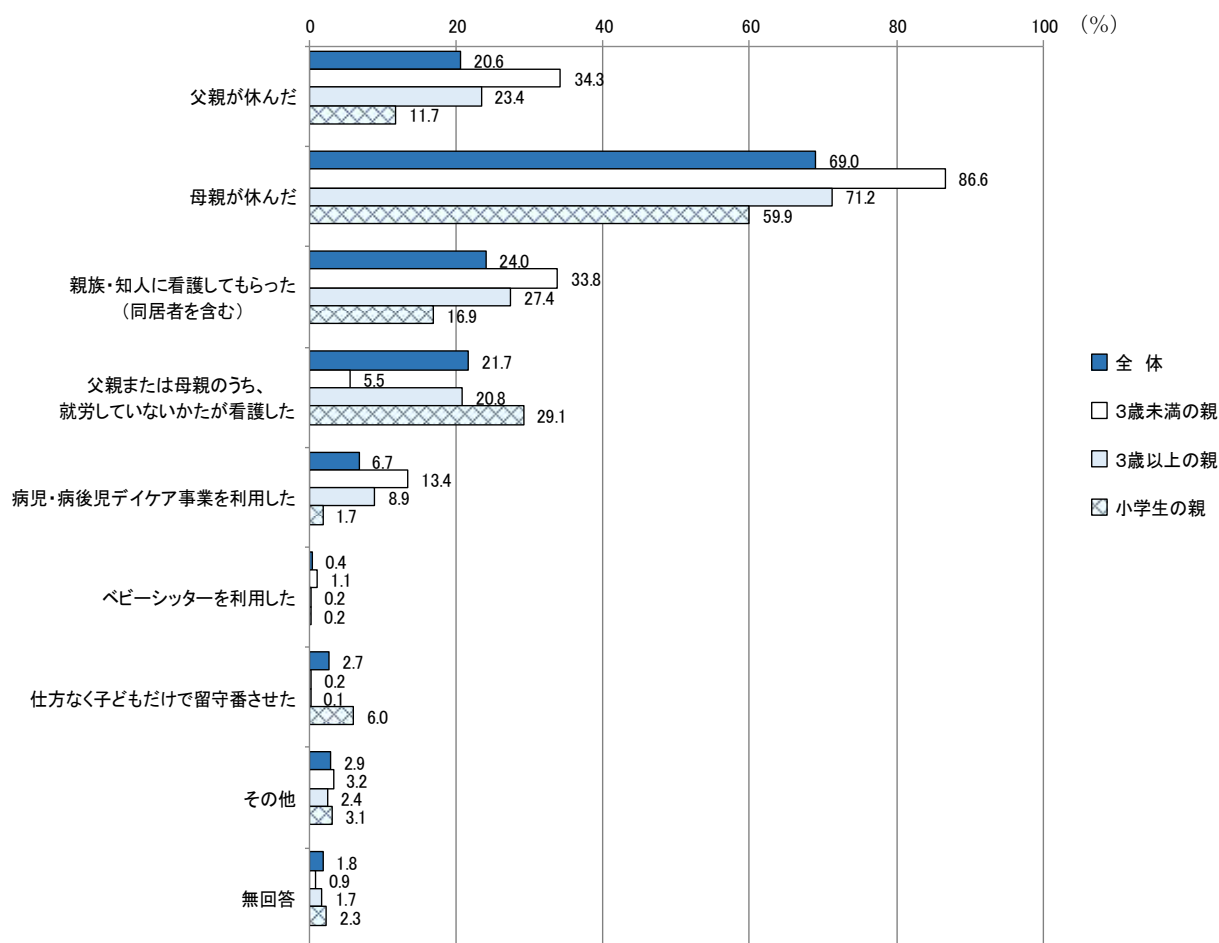
ク. 病気になったときの看護



教育・保育の事業が利用できなかった場合の対応について【就学前 問47】【就学後 問59】

■教育・保育の事業を利用しようとして、できなかった場合に、どのように対応しましたか。(就学後：学校を休まなければならなかった場合の対応)(複数回答)

◇ 全体では、「母親が休んだ」が69.0%と最も多く、次いで「親族・知人に看護してもらった(同居者を含む)」が24.0%、「父親または母親のうち、就労していないかたが看護した」が21.7%となっている。



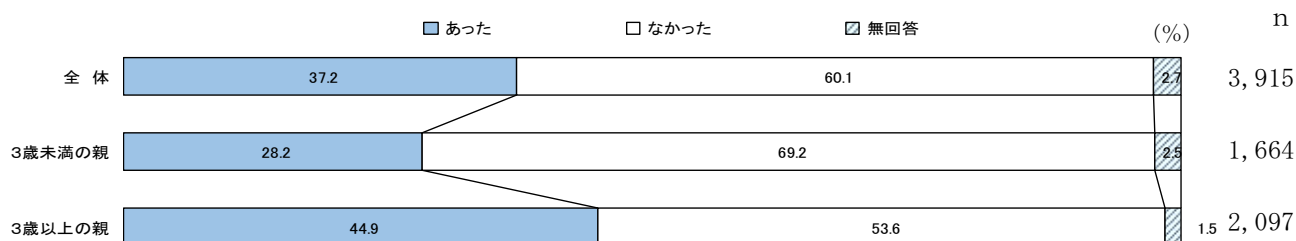
回答数 全体=3,739 3歳未満の親=842 3歳以上の親=1,472 小学生の親=1,419

(※「のびのび子育てサポート事業を利用した」は就学前のみの選択肢なので共通比較では省略)

お子さんが病気やケガ等のときについて 【就学前 問46】

■この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガ等の際に、最も多く利用している教育・保育の事業を利用しようとして、できなかったことはありますか。(1つ)

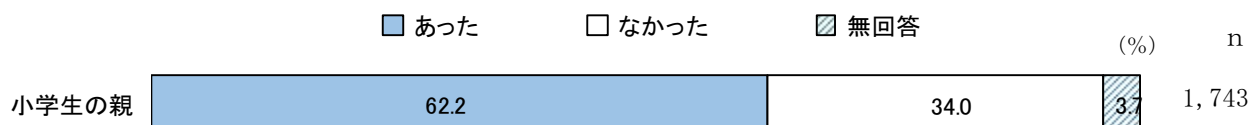
◇ この1年間の中でお子さんが病気やケガで、教育・保育の事業を利用しようとしてできなかったことが「あった」割合は37.2%である。



病気やケガで学校を休まなければならなかったことについて 【就学後 問58】

■この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガ等で学校を休まなければならなかったことはありますか。(1つ)

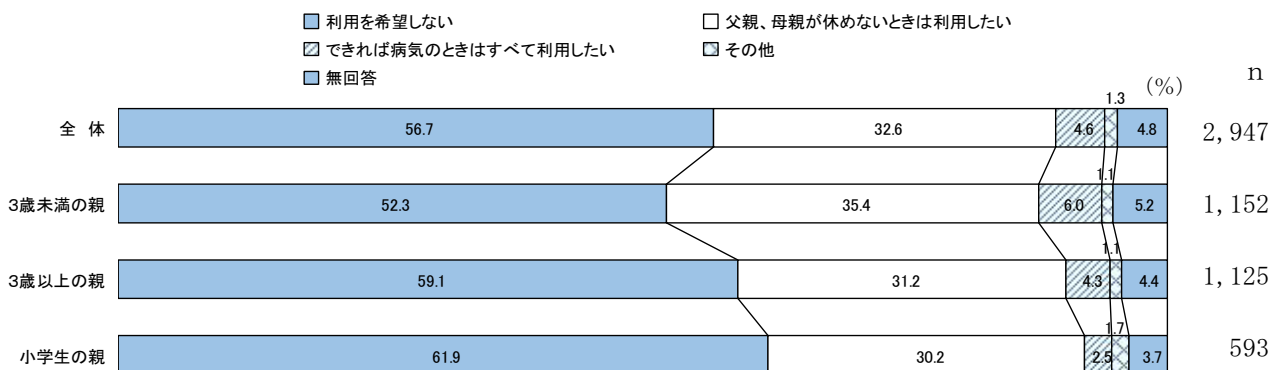
◇ この1年間の中でお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことが「あった」割合は62.2%である。



病気やケガでの病児・病後児の保育施設の利用について 【就学前 問48】【就学後 問60】

■教育・保育の事業を利用しようとして、できないときに「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思いますか。(就学後：学校を休まなければならないときに、保育事業等を利用したいか。)(1つ)

◇ 全体では、「利用を希望しない」が56.7%と最も多く、次いで「父親、母親が休めないときは利用したい」が32.6%となっている。

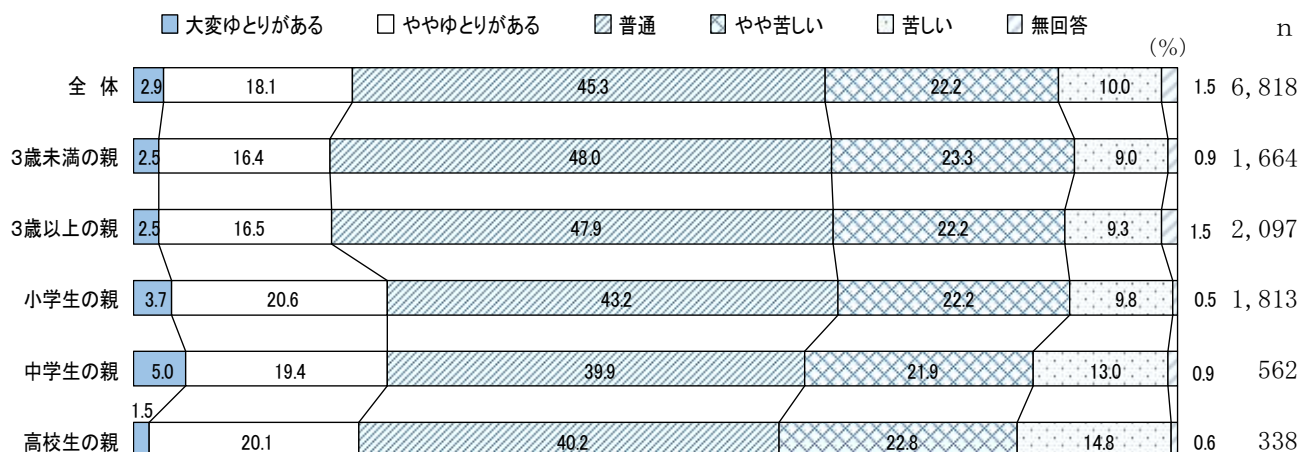


(※就学後の選択肢「病気のときは親がそばにいた方がいいと思うので、利用を希望しない」と「子どもが一人で留守番できるので、利用を希望しない」は、上記の「利用を希望しない」に含む。)

子育ての経済的負担について（世帯の暮らし向き） 【就学前 問85】 【就学後 問31】

■あなたの世帯の現在の暮らし向きについてあてはまるものを選んでください。
（1つ）

◇ 全体では、「普通」と回答した割合が 45.3%と最も多く、次いで「やや苦しい」が 22.2%、「ややゆとりがある」が 18.1%となっている。



『世帯年収（就学前，就学後 F15）と世帯の暮らし向き（就学前 問85，就学後 問31）』

◎ 家庭の収入別に家庭の経済状況についての回答割合を見た場合、「やや苦しい」「苦しい」と回答した割合が高いのは、「200 万円～300 万円」が 78.7%と最も多く、次いで「100 万円未満」の 72.2%となっている。

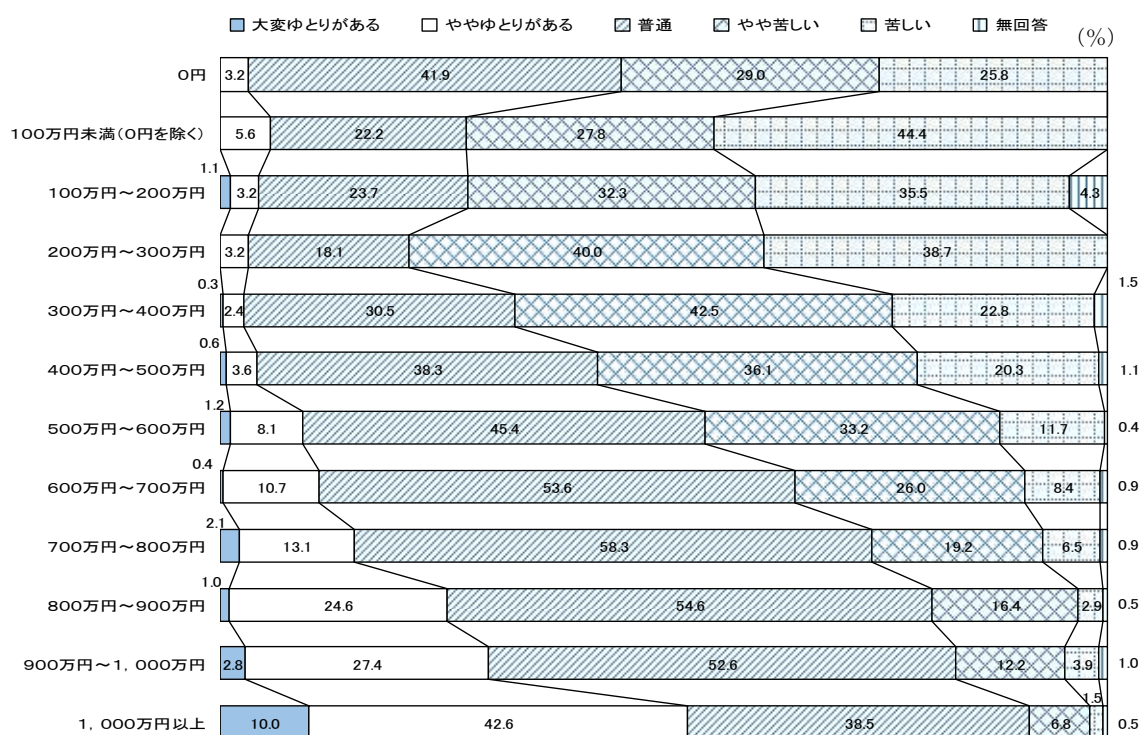
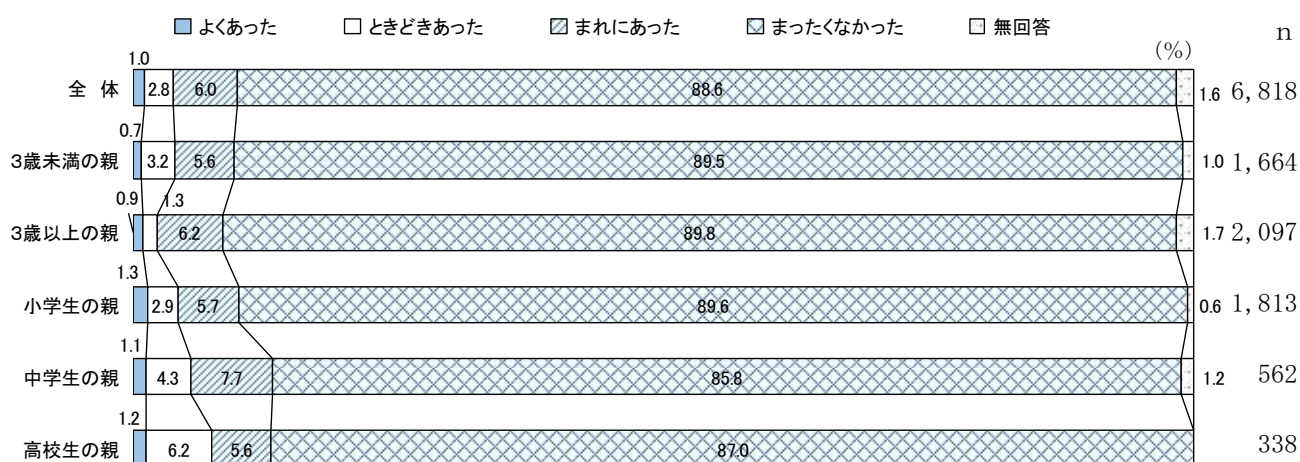


図 世帯年収と暮らし向きの意識

子育ての経済的負担について（食料）【就学前 問86】【就学後 問32】

■あなたの世帯では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする「食料」が買えないことがありましたか。（1つ）

◇ 全体では、「まれにあった」が6.0%、「ときどきあった」が2.8%となっている。



子育ての経済的負担について（衣料）【就学前 問87】【就学後 問33】

■あなたの世帯では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする「衣料」が買えないことがありましたか。（1つ）

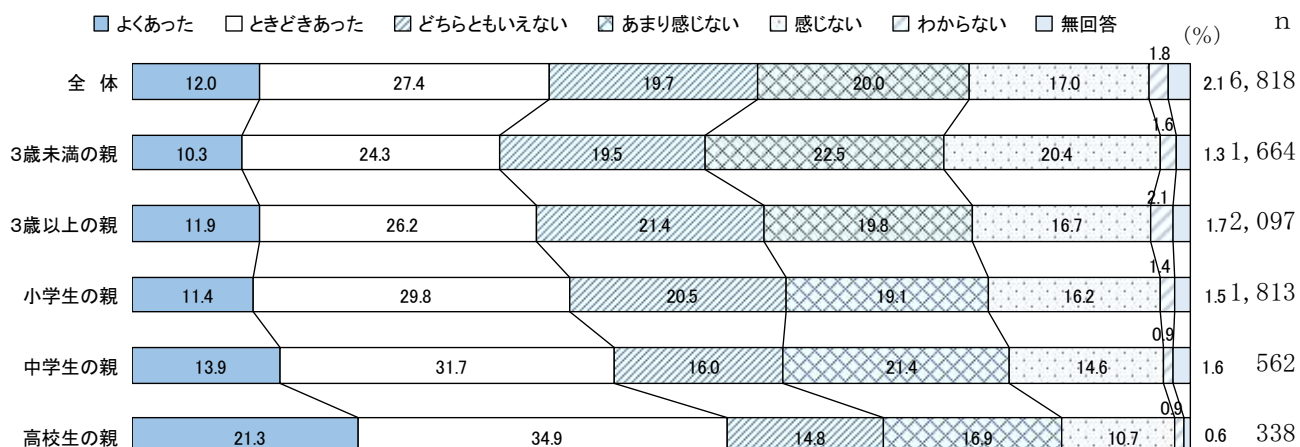
◇ 全体では、「まれにあった」が9.1%、「ときどきあった」が3.7%となっている。



子育ての経済的負担について【就学前 問88】【就学後 問34】

■これまでに、子育てに経済的な負担を感じたことがありますか。(1つ)

◇ 全体では、「ときどきあった」が 27.4%と最も多く、次いで「あまり感じない」が 20.0%、「どちらともいえない」が 19.7%となっている。



【前回調査との数値比較】

	よくあった+ときどきあった		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	56.5	39.4	▲17.1
未就学児の親	53.8	36.4	▲17.4
小学生の親	58.0	41.2	▲16.8
中学生の親	60.0	45.6	▲14.4
高校生の親	65.5	56.2	▲9.3

『世帯の暮らし向き（就学前 問 8 5，就学後 問 3 1）と食料が買えなかった経験（就学前 問 8 6，就学後 問 3 2）』

◎ 家庭の経済状況について「苦しい」と回答した人は、約 50%がこの 1 年間で「家族が必要とする食料」が買えないことがあったと回答している。

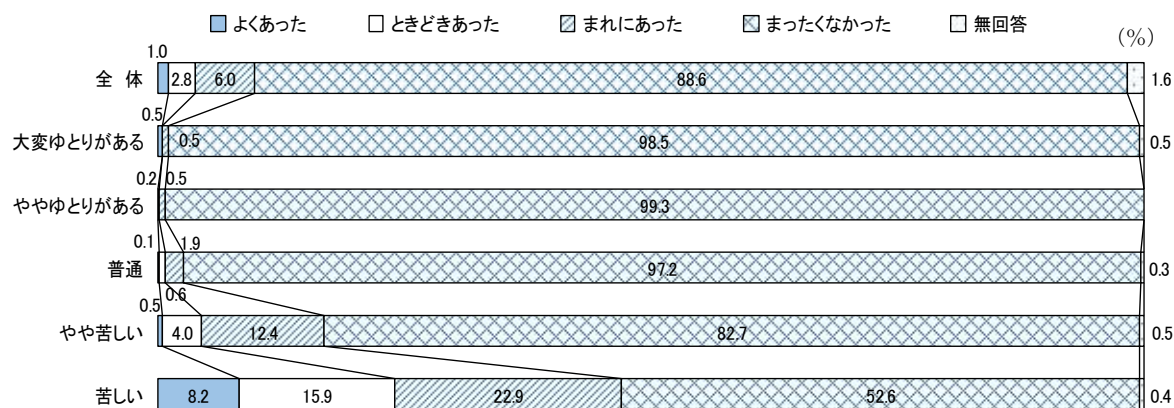


図 世帯の暮らし向きと食料が買えなかった経験

『世帯の暮らし向き（就学前 問 8 5，就学後 問 3 1）と衣料が買えなかった経験（就学前 問 8 7，就学後 問 3 3）』

◎ 家庭の経済状況について「苦しい」と回答した人は、約 60%がこの 1 年間で「家族が必要とする衣料」が買えないことがあったと回答している。

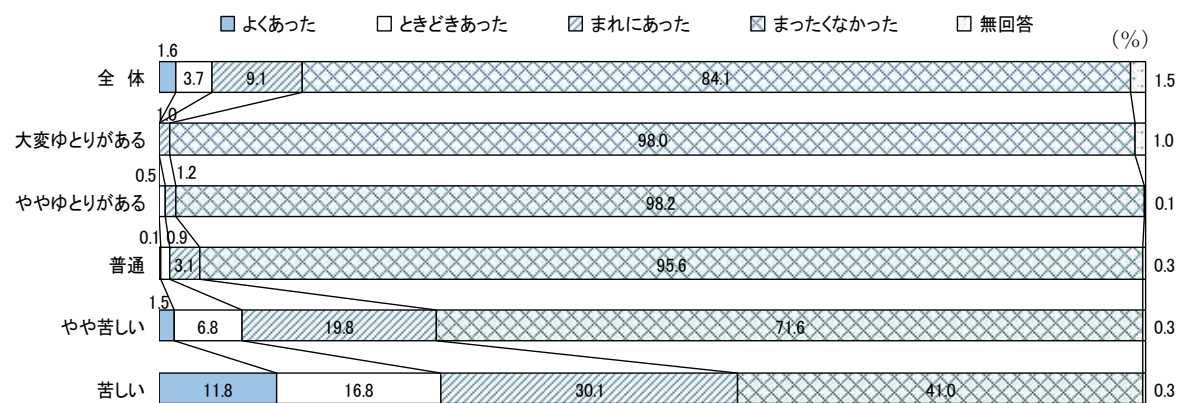
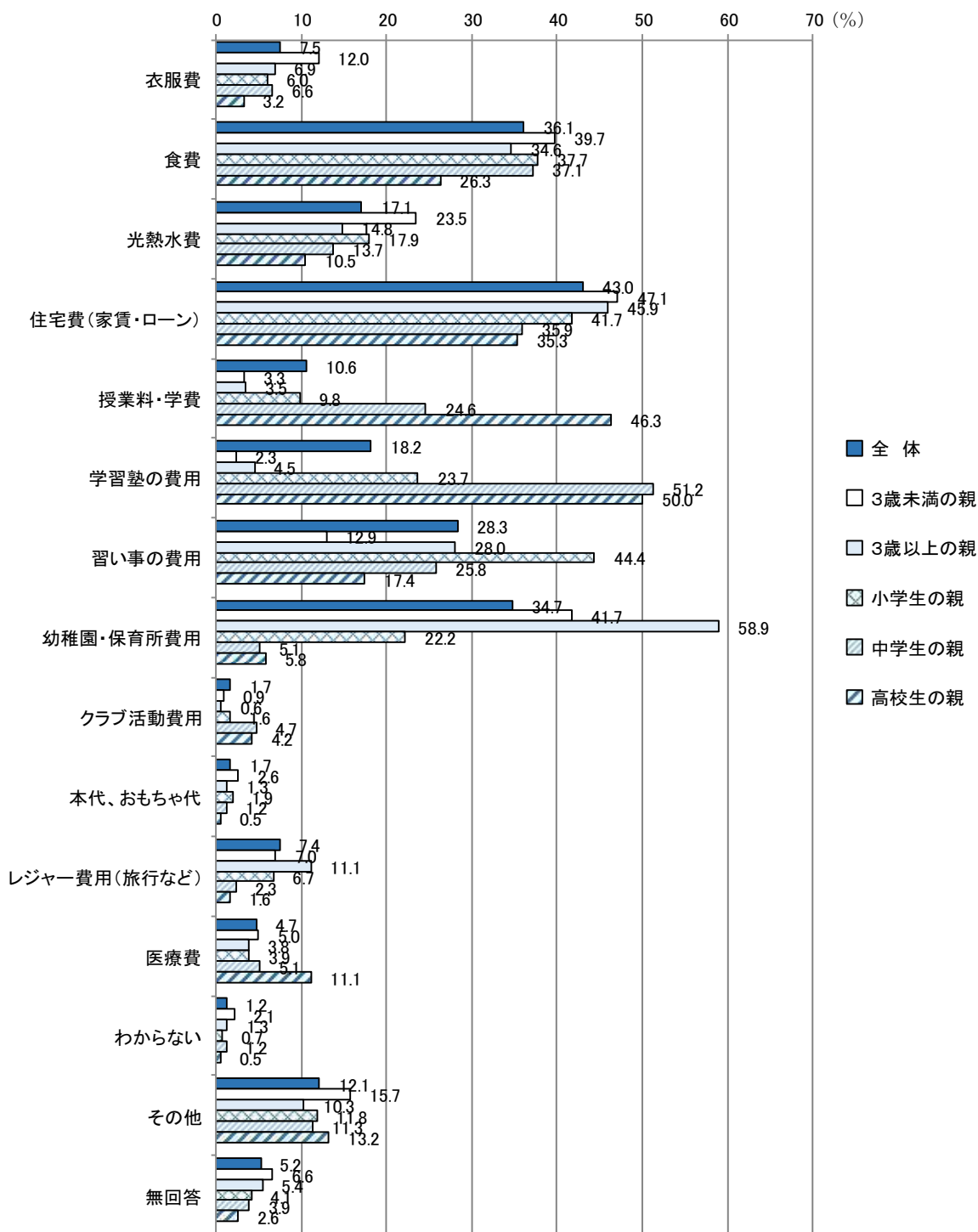


図 世帯の暮らし向きと衣料が買えなかった経験

子育ての経済的負担について（特に負担を感じる費用）【就学前 問89】【就学後 問35】

■特に負担を感じる費用は何ですか。（3つまで）

◇ 全体では、「住居費（家賃・ローン）」が43.0%と最も多く、次いで「食費」が36.1%、「幼稚園・保育所費用」が34.7%となっている



回答数 全体=6,171 3歳未満の親=1,278 3歳以上の親=1,845
小学生の親=1,750 中学生の親=588 高校生の親=434

【前回調査との数値比較】

	衣服費		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	8.6	7.5	▲ 1.1
未就学児	9.8	9.5	▲ 0.3
小学生の親	8.2	6.0	▲ 2.2
中学生の親	5.9	6.6	0.7
高校生の親	7.0	3.2	▲ 3.8

食 費		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
29.9	36.1	6.2
30.4	37.2	6.8
28.6	37.7	9.1
32.8	37.1	4.3
27.9	26.3	▲ 1.6

	授業料・学費		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	14.3	10.6	▲ 3.7
未就学児	5.9	3.4	▲ 2.5
小学生の親	11.1	9.8	▲ 1.3
中学生の親	23.6	24.6	1.0
高校生の親	55.8	46.3	▲ 9.5

学習塾の費用		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
21.5	18.2	▲ 3.3
4.6	3.4	▲ 1.2
27.5	23.7	▲ 3.8
58.5	51.2	▲ 7.3
51.0	50.0	▲ 1.0

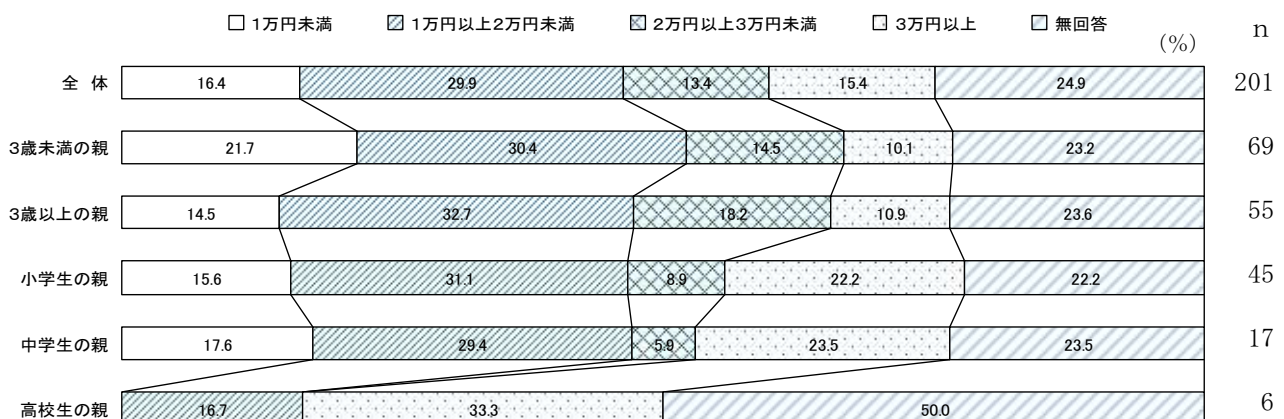
	習い事の費用		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	35.4	28.3	▲ 7.1
未就学児	29.5	20.5	▲ 9.0
小学生の親	38.5	44.4	5.9
中学生の親	53.3	25.8	▲27.5
高校生の親	33.4	17.4	▲16.0

幼稚園・保育所費用		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
37.4	34.7	▲ 2.7
56.2	50.3	▲ 5.9
25.2	22.2	▲ 3.0
8.8	5.1	▲ 3.7
3.9	5.8	1.9

【かかる費用（月額）】

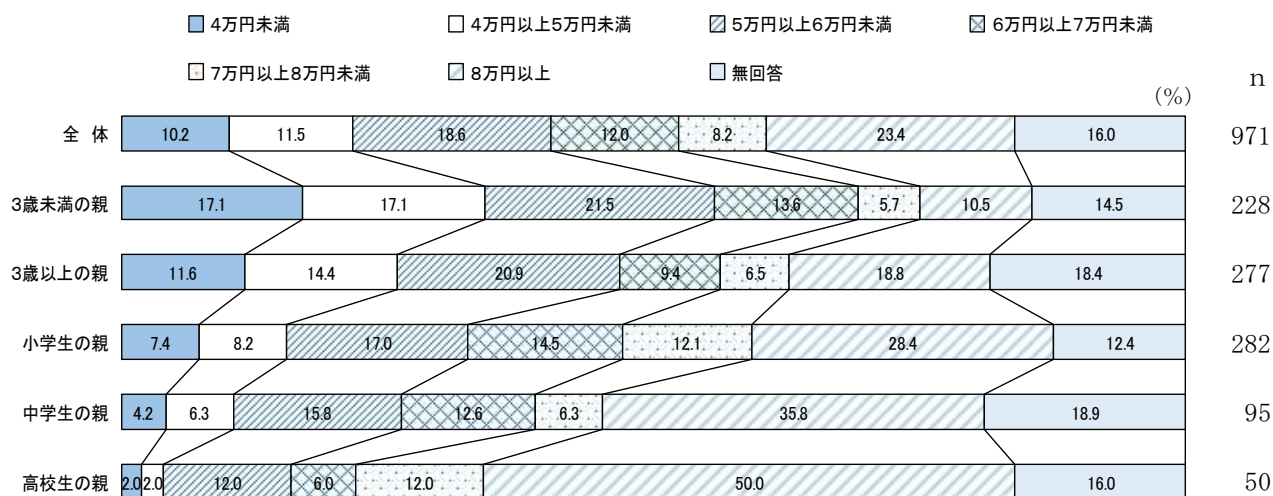
<衣服費>

◇ 全体では、「1 万円以上 2 万円未満」が 29.9%と最も多く、次いで「1 万円未満」が 16.4%、「3 万円以上」が 15.4%となっている。



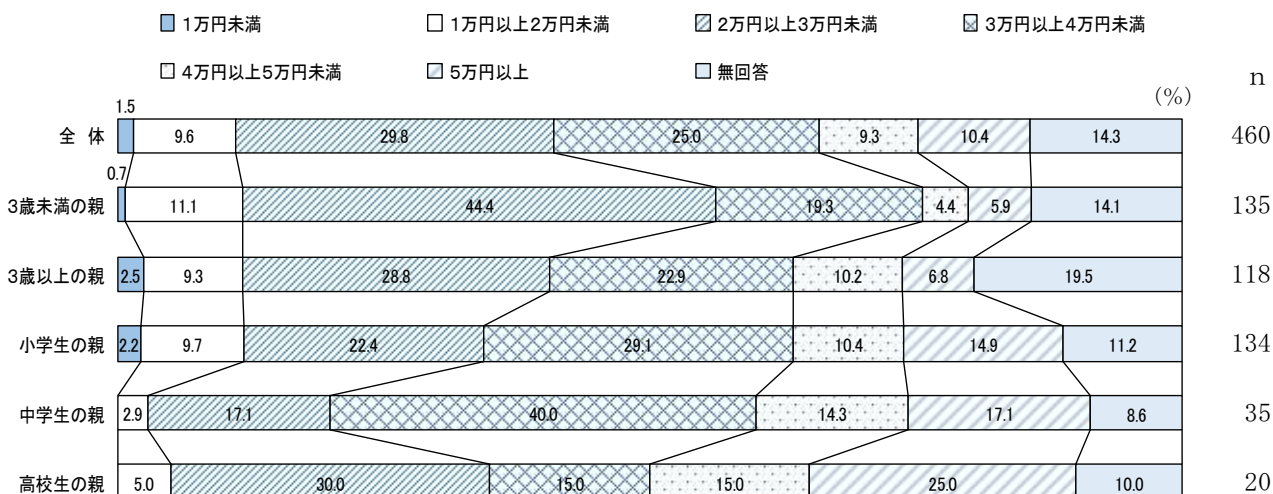
<食費>

◇ 全体では、「8 万円以上」が 23.4%と最も多く、次いで「5 万円以上 6 万円未満」が 18.6%、「6 万円以上 7 万円未満」が 12.0%となっている。



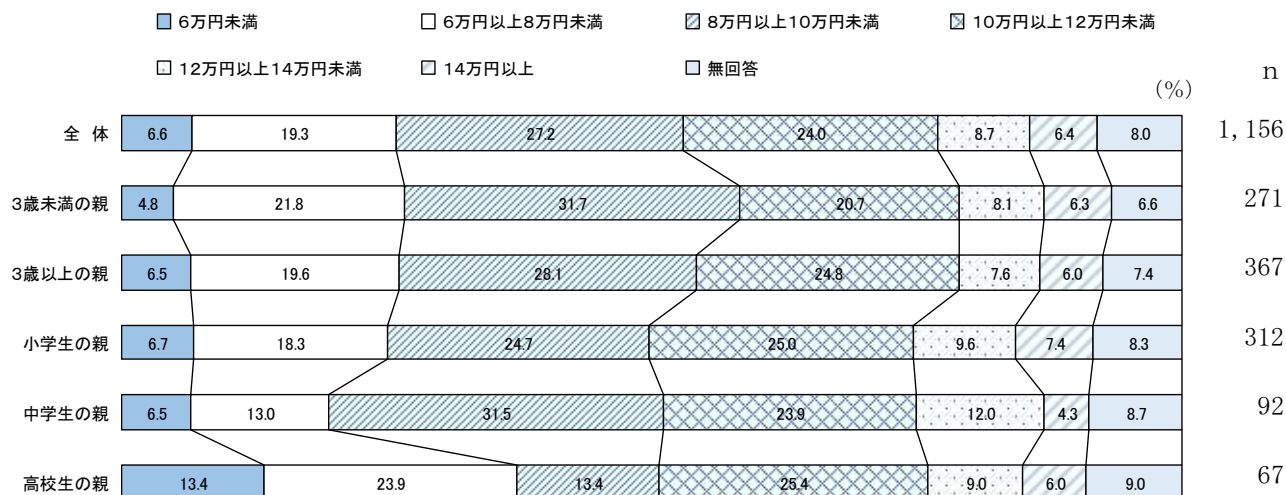
<光熱水費>

◇ 全体では、「2 万円以上 3 万円未満」が 29.8%と最も多く、次いで「3 万円以上 4 万円未満」が 25.0%、「5 万円以上」が 10.4%となっている。



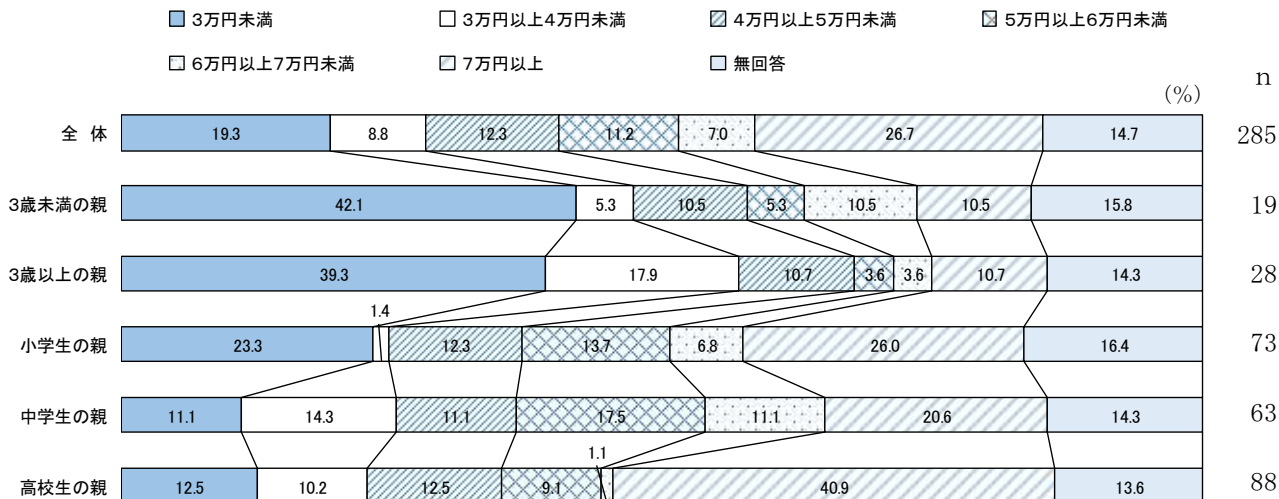
<住宅費（家賃・ローン）>

◇ 全体では、「8 万円以上 10 万円未満」が 27.2%と最も多く、次いで「10 万円以上 12 万円未満」が 24.0%、「6 万円以上 8 万円未満」が 19.3%となっている。



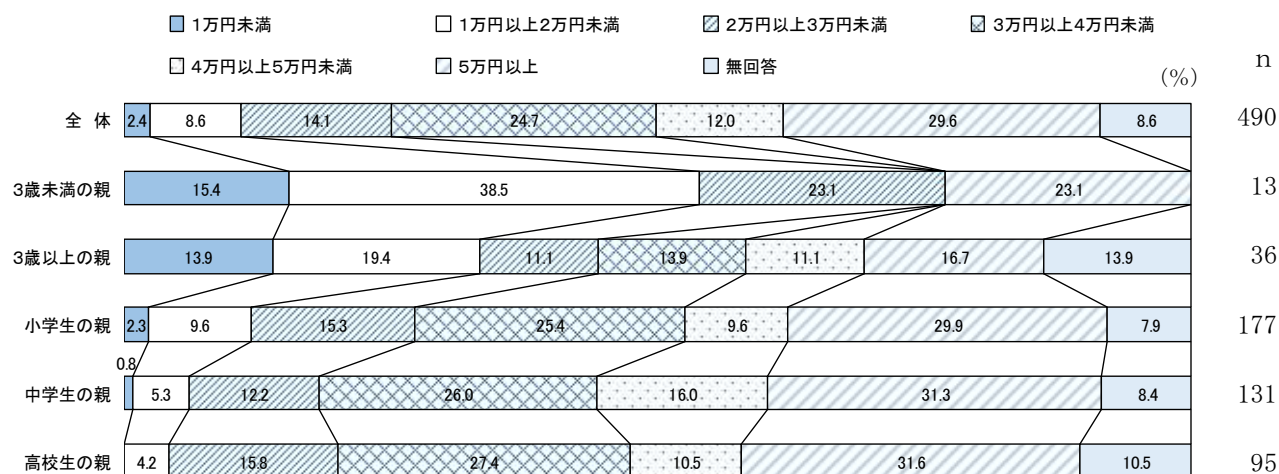
<授業料・学費>

◇ 全体では、「7 万円以上」が 26.7%と最も多く、次いで「3 万円未満」が 19.3%、「4 万円以上 5 万円未満」が 12.3%となっている。



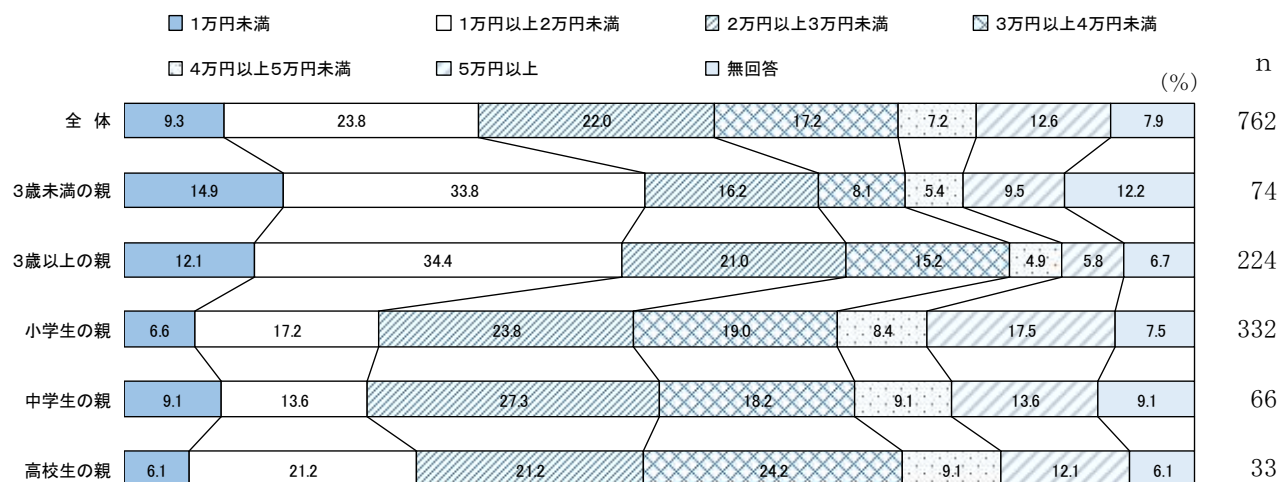
<学習塾の費用>

◇ 全体では、「5 万円以上」が 29.6%と最も多く、次いで「3 万円以上 4 万円未満」が 24.7%、「2 万円以上 3 万円未満」が 14.1%となっている。



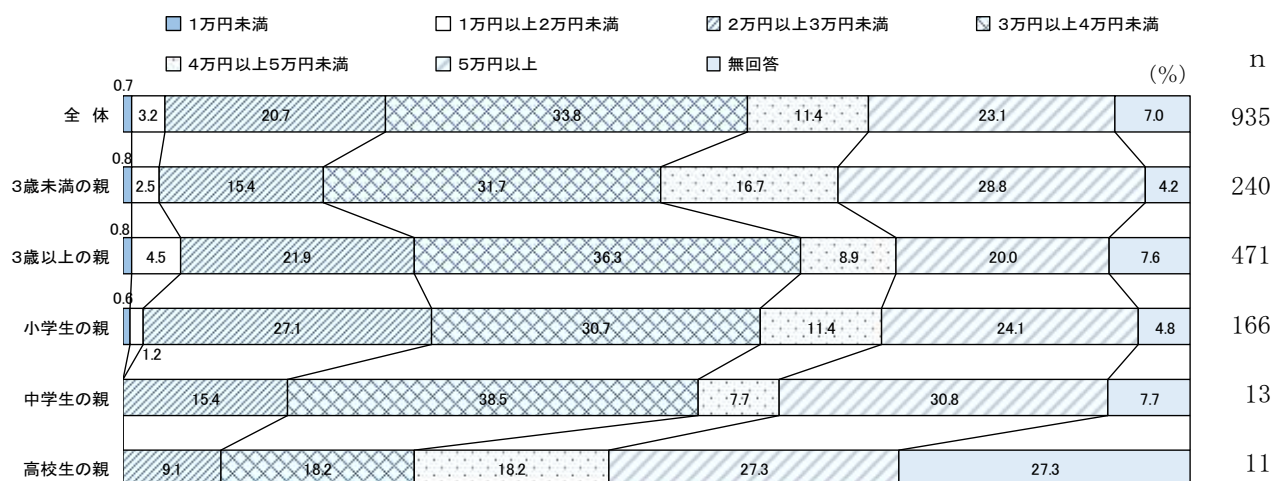
<習いごとの費用>

◇ 全体では、「1 万円以上 2 万円未満」が 23.8%と最も多く、次いで「2 万円以上 3 万円未満」が 22.0%、「3 万円以上 4 万円未満」が 17.2%となっている。



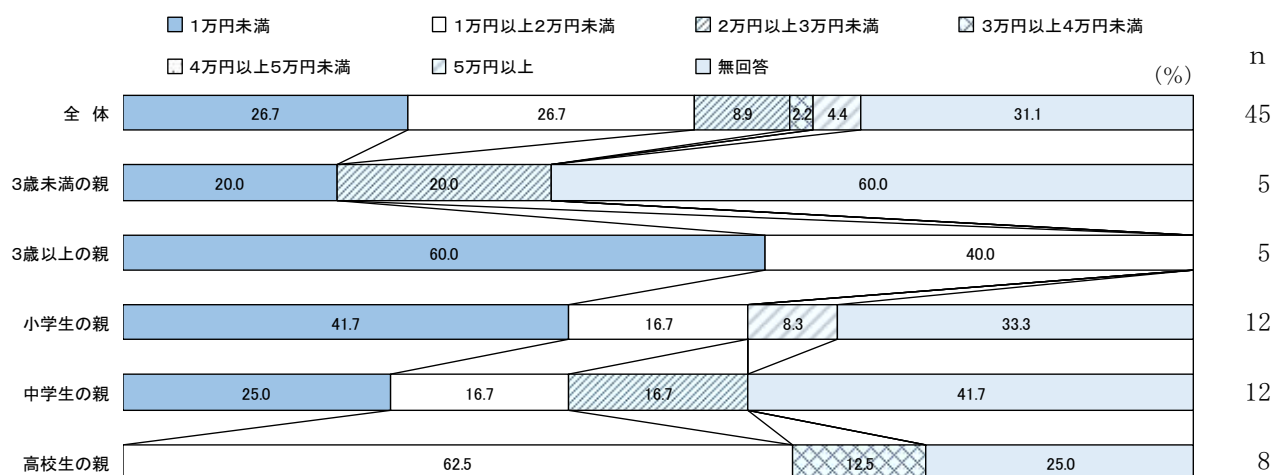
<幼稚園・保育所費用>

◇ 全体では、「3 万円以上 4 万円未満」が 33.8%と最も多く、次いで「5 万円以上」が 23.1%、「2 万円以上 3 万円未満」が 20.7%となっている。



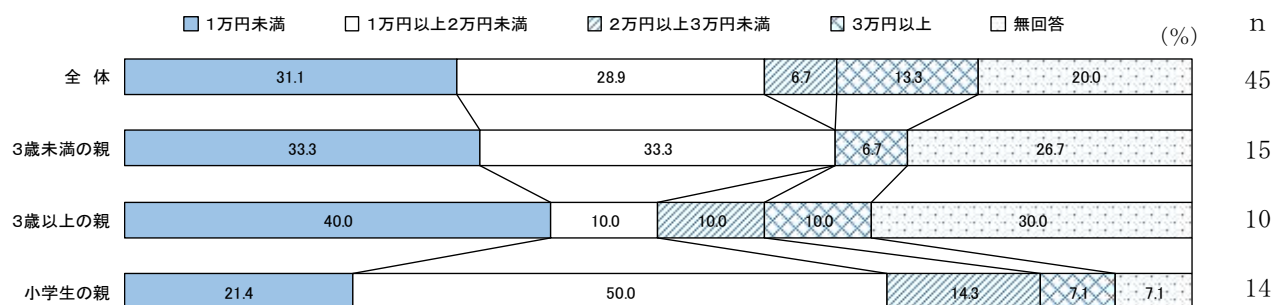
<クラブ活動費用>

◇ 全体では、「1 万円未満」と「1 万円以上 2 万円未満」が 26.7%と最も多く、次いで「2 万円以上 3 万円未満」が 8.9%となっている。



<本代・おもちゃ代>

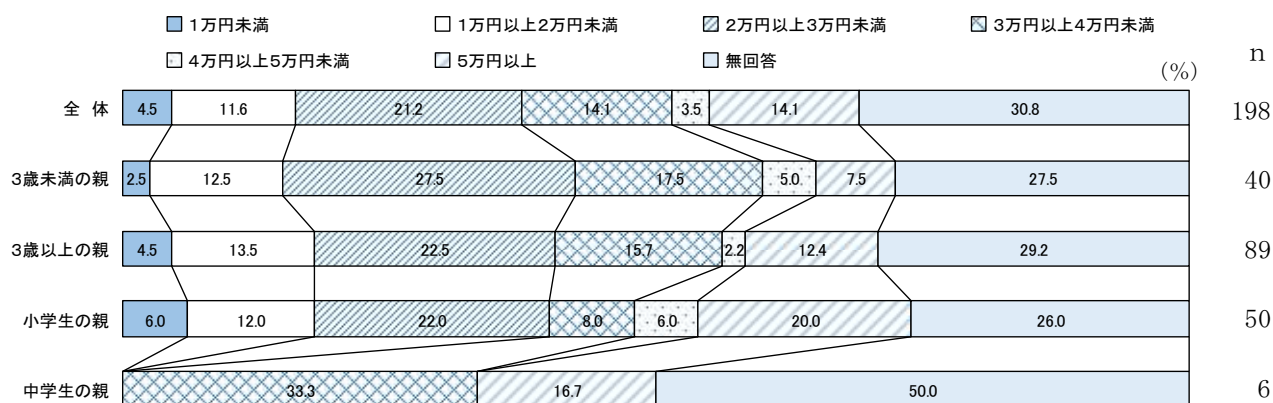
◇ 全体では、「1万円未満」が31.1%と最も多く、次いで「1万円以上2万円未満」が28.9%、「3万円以上」が13.3%となっている。



(※中学生、高校生の親は回答者が少なかったため省略)

<レジャー費用（旅行など）>

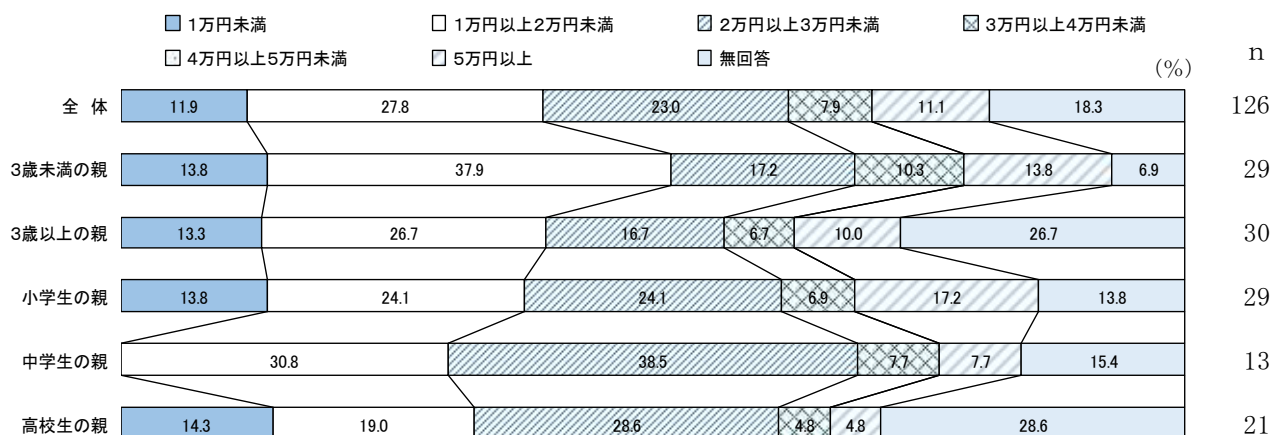
◇ 全体では、「2万円以上3万円未満」が21.2%と最も多く、次いで「3万円以上4万円未満」と「5万円以上」が14.1%となっている。



(※高校生の親は回答者が少なかったため省略)

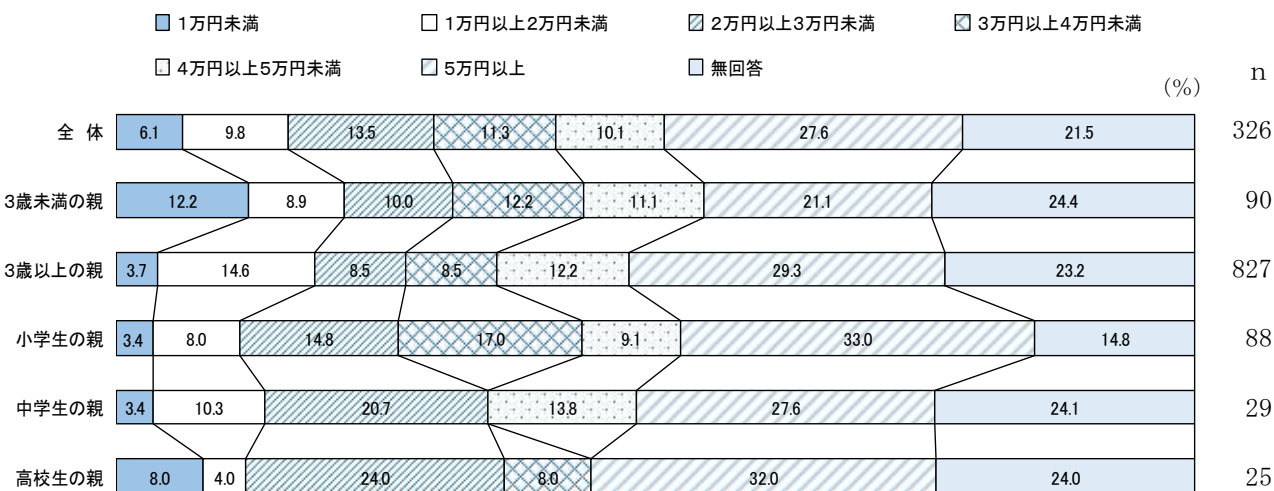
<医療費>

◇ 全体では、「1 万円以上 2 万円未満」が 27.8%と最も多く、次いで「2 万円以上 3 万円未満」が 23.0%、「1 万円未満」が 11.9%となっている。



<その他>

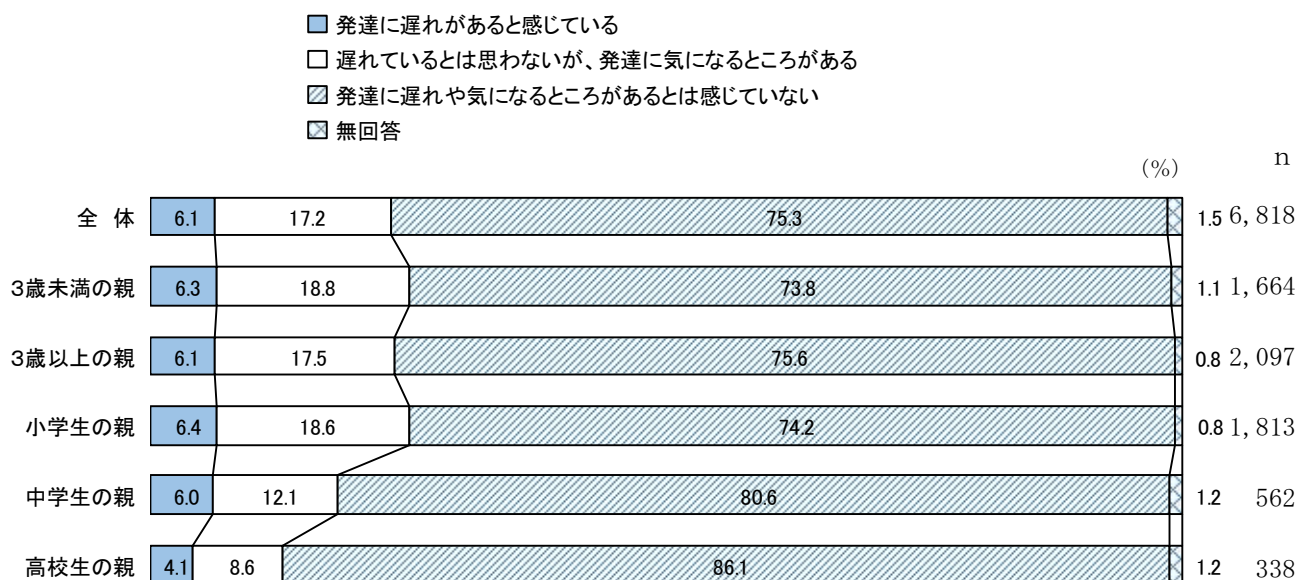
◇ 全体では、「5 万円以上」が 27.6%と最も多く、次いで「2 万円以上 3 万円未満」が 13.5%、「3 万円以上 4 万円未満」が 11.3%となっている。



お子さんの発達について【就学前 問90】【就学後 問39】

■現在、あなたは、あて名のお子さんが「同じ年齢のお子さんに比べて発達が遅れている」と思いますか。（1つ）

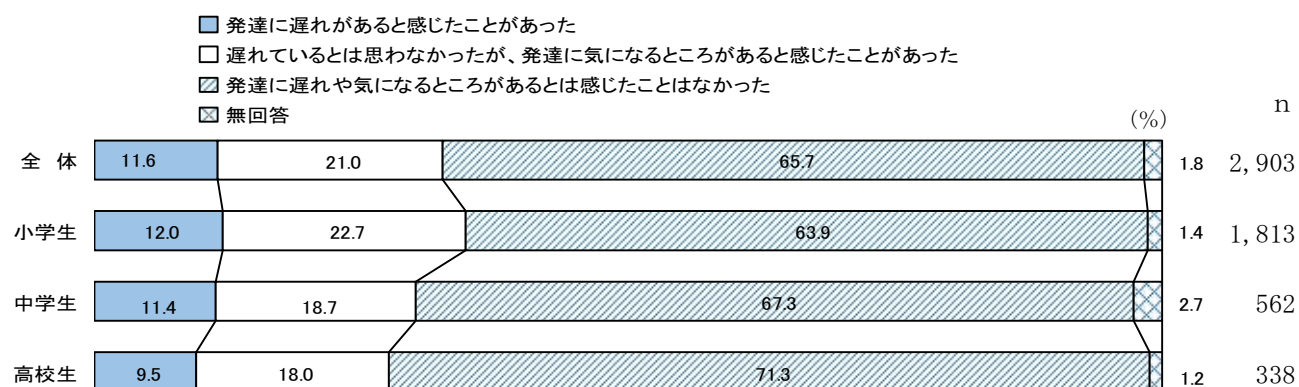
◇全体では、「発達に遅れがあると感じている」「遅れているとは思わないが、発達に気になるところがある」と感じている割合の合計は23.3%となっている。



お子さんの就学前の発達不安について【就学後 問40】

■あて名のお子さんが小学校に入学するまでの間に、あなたがお子さんの発達に不安を感じたことはありましたか。（1つ）

◇全体では、「発達に遅れや気になるところがあるとは思わなかった」が65.7%と最も多く、次いで「遅れているとは思わなかったが、発達に気になるところがあると感じたことがあった」が21.0%となっている。



お子さんの発達について指摘を受けた機関について【就学前 問9 1】【就学後 問4 1】

■これまでに、専門機関などからあて名のお子さんの発達の遅れや偏りについて指摘を受けたことがありますか。(複数回答)

◇「無回答」「その他」を除くと全体では、「保健センター」が8.9%と最も多く、次いで「病院・診療所」が4.6%となっている。

(%)

	保健 センター	児 地 童 域 発 療 達 育 支 セン 援 ター セ . ン ター	幼 稚 園	保 育 所	病 院 ・ 診 療 所	そ の 他	無 回 答	回 答 者 数
全 体	8.9	3.8	1.4	2.7	4.6	7.1	76.5	6,818
3歳未満の親	11.1	1.1	0.2	1.3	5.5	8.7	75.3	1,664
3歳以上の親	10.4	4.6	1.2	3.8	4.1	6.7	75.3	2,097
小学生の親	7.4	5.0	2.4	3.0	4.2	6.8	76.9	1,813
中学生の親	5.3	3.9	2.1	2.7	5.2	6.2	79.9	562
高校生の親	5.3	5.6	1.8	2.7	4.1	8.0	76.0	338

お子さんの発達支援事業の利用について【就学前 問9 2】【就学後 問4 2】

■あて名のお子さんは現在、子どもの発達を支援する事業を利用していますか。(就学後：あて名のお子さんは小学校に入学するまでに、子どもの発達を支援する事業を利用したことがありますか。)(複数回答)

◇「無回答」を除くと全体では、「保健センター」が4.2%と最も多く、次いで「地域療育センター・児童発達支援センター」が1.0%となっている。

(%)

	保健 センター	児 地 童 域 発 療 達 育 支 セン 援 ター セ . ン ター	幼 稚 園	保 育 所	病 院 ・ 診 療 所	そ の 他	無 回 答	回 答 者 数
全 体	4.2	1.0	0.5	0.3	0.2	0.9	94.1	6,818
3歳未満の親	1.3	0.2	0.1	0.5	0.2	0.5	97.4	1,664
3歳以上の親	4.6	0.5	0.8	0.1	0.1	1.4	93.8	2,097
小学生の親	6.5	1.4	0.6	0.3	0.3	0.7	92.3	1,813
中学生の親	5.0	2.0	0.2	0.4	0.2	0.9	92.5	562
高校生の親	3.3	3.3	0.0	0.0	0.6	1.2	92.0	338

お子さんの医療的なケアの必要性について 【就学前 問93】【就学後 問43】

■あて名のお子さんは現在、生活する上で何らかの医療的なケアが必要ですか。
(複数回答)

◇ 「無回答」「その他」を除くと全体では、「医療的ケアは必要ない」が58.7%と最も多く、次いで「ネブライザー吸引」が0.6%となっている。

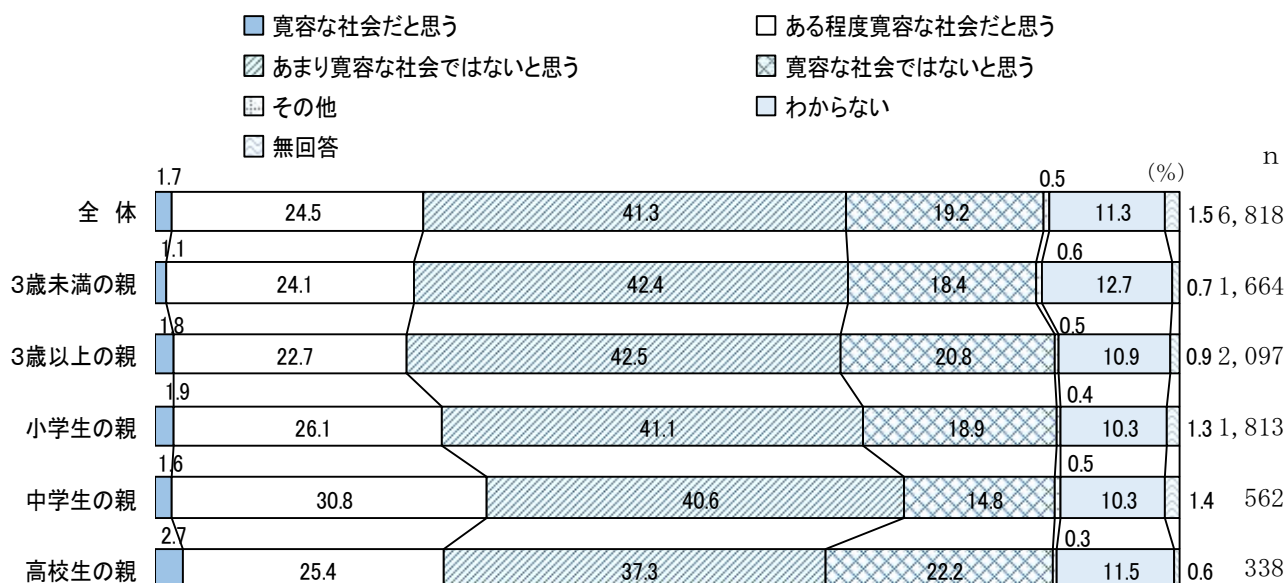
(%)

	経管栄養	導尿	酸素吸入	インシュリン注射	ネブライザー吸引	たん吸引	その他	医療的ケアは必要ない	無回答	回答者数
全 体	0.0	0.0	0.2	0.1	0.6	0.0	1.6	58.7	38.7	6,818
3歳未満の親	0.0	0.0	0.2	0.1	0.6	0.0	1.3	62.6	35.3	1,664
3歳以上の親	0.0	0.0	0.1	0.0	1.0	0.1	2.0	60.0	36.8	2,097
小学生の親	0.0	0.1	0.2	0.1	0.6	0.1	1.2	56.8	41.1	1,813
中学生の親	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.0	2.0	54.3	42.7	562
高校生の親	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	3.3	65.1	31.4	338

今の日本社会の寛容性について（意見・立場）【就学前 問94】【就学後 問44】

■今の日本の社会は、自分と意見や立場が異なる人を認める寛容な社会だと思いますか。（1つ）

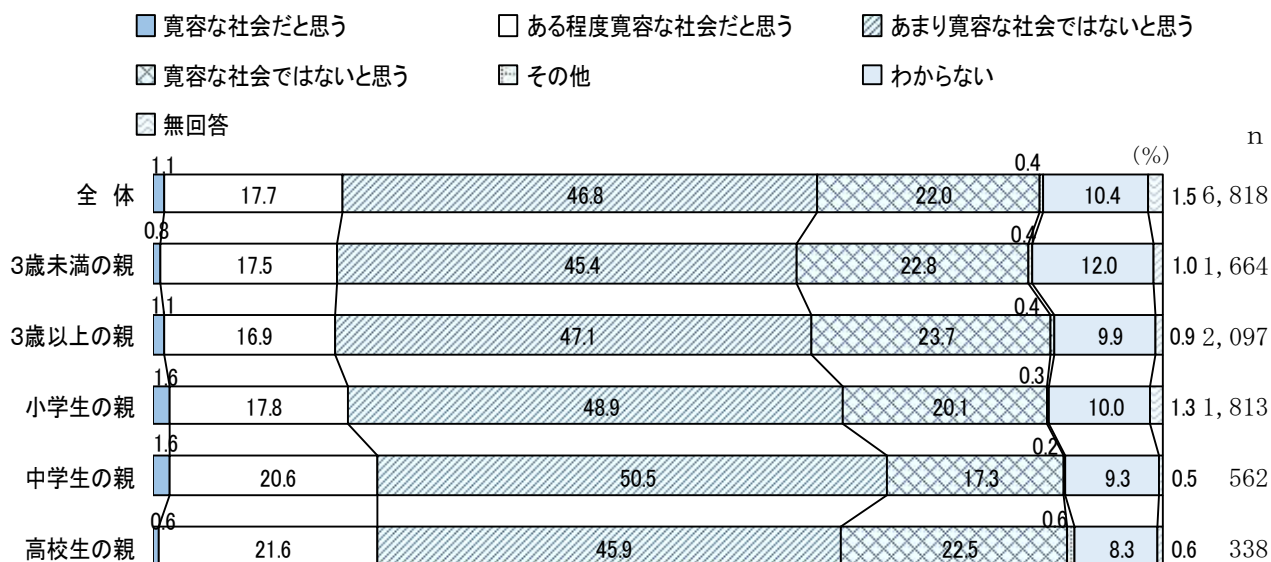
◇ 全体では、「あまり寛容な社会ではないと思う」が41.3%と最も多く、次いで「ある程度寛容な社会だと思う」が24.5%、「寛容な社会ではないと思う」が19.2%となっている。



今の日本社会の寛容性について（過ち・欠点）【就学前 問95】【就学後 問45】

■今の日本の社会は、他人の過ちや欠点を許せる寛容な社会だと思いますか。（1つ）

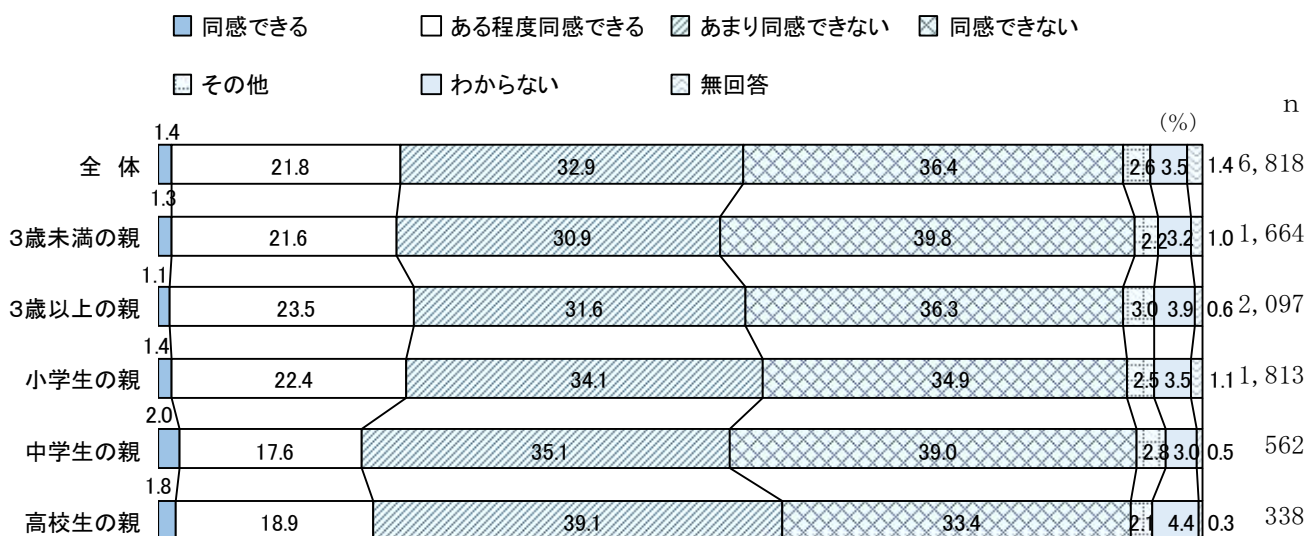
◇ 全体では、「あまり寛容な社会ではないと思う」が 46.8%と最も多く、次いで「寛容な社会ではないと思う」が 22.0%、「ある程度寛容な社会だと思う」が 17.7%となっている。



今の日本社会の寛容性について（子どもの声）【就学前 問96】【就学後 問46】

■「子どもの声は騒音だから、近所に保育園ができるのは反対」という意見がありますが、この意見に対するあなたの考え方に一番近いものを選んでください。（1つ）

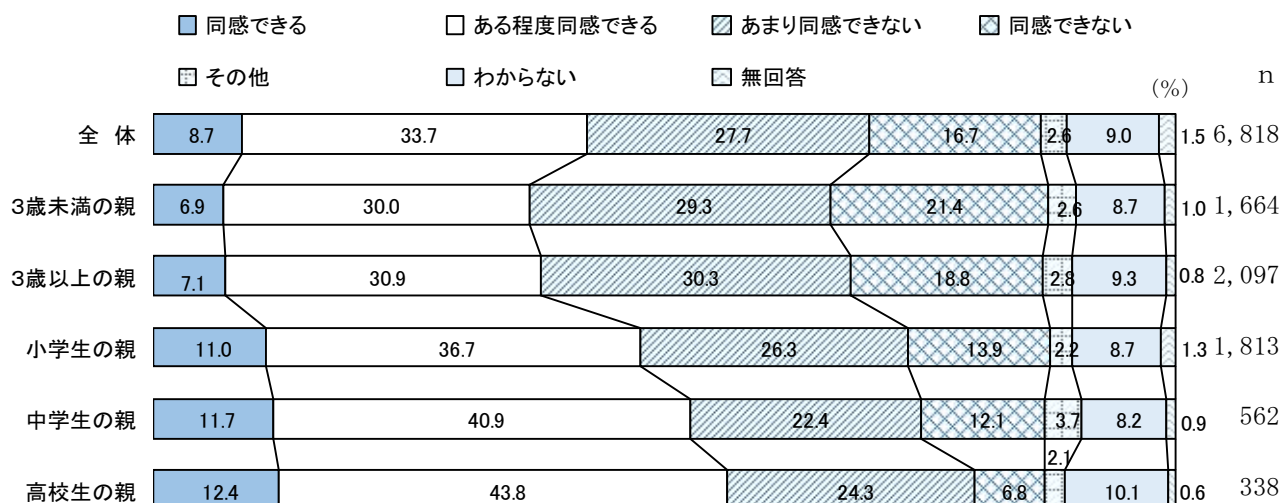
◇ 全体では、「同感できない」が 36.4%と最も多く、次いで「あまり同感できない」が 32.9%、「ある程度同感できる」が 21.8%となっている。



今の日本社会の寛容性について（SNS） 【就学前 問97】 【就学後 問47】

■「大きな災害が起きたときに、ブログなどのインターネット上に、楽しそうな写真や文書を投稿するのは不謹慎だ」という意見がありますが、この意見に対するあなたの考え方に一番近いものを選んでください。（1つ）

◇ 全体では、「ある程度同感できる」が33.7%と最も多く、次いで「あまり同感できない」が27.7%、「同感できない」が16.7%となっている。



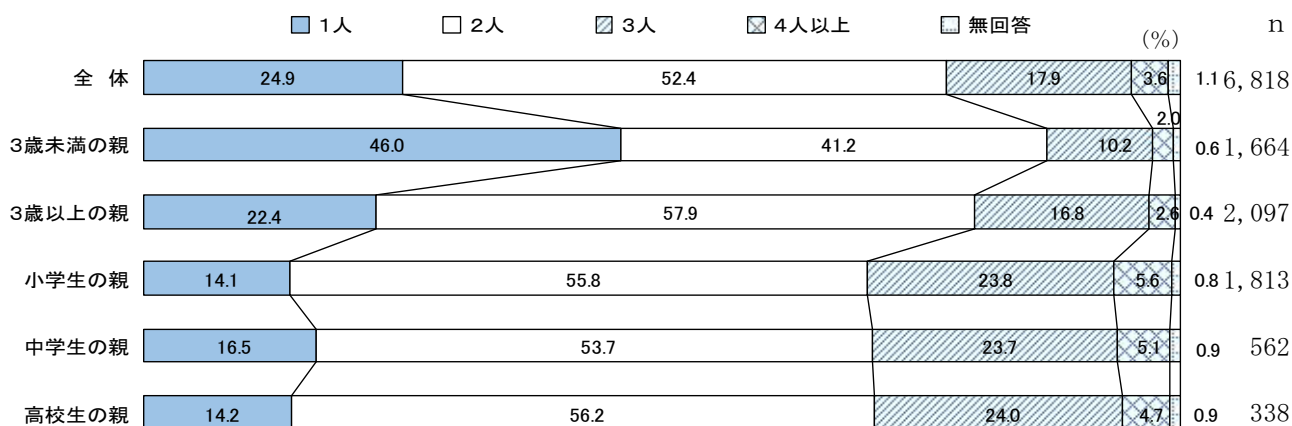
お子さんの人数について【就学前 問98】 【就学後 問48】

■あなたには何人のお子さんがいますか。また、理想としては、子どもは何人いるのが望ましいと考えていますか。（各1つ）

◇ 全体では、実際の子どもの人数は、「2人」が52.4%、次いで「1人」が24.9%となっており、理想とする子どもの人数は、「2人」が44.9%、次いで「3人」が42.6%となっている。

◇ 理想とする子どもの人数の平均は2.58人に対して、実際の子どもの人数の平均は2.01人であり理想より低い値となっている。

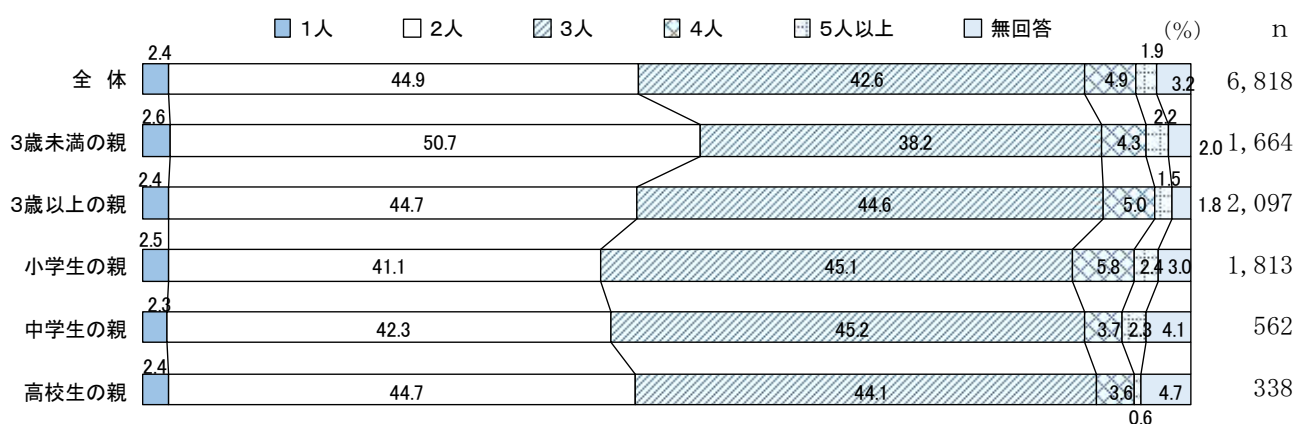
（1）お子さんの人数



【前回調査との数値比較】

	お子さんの人数		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
1 人	23.3	24.9	1.6
2 人	52.6	52.4	▲ 0.2
3 人	19.0	17.9	▲ 1.1
4 人以上	3.8	3.6	▲ 0.2

(2) 理想とする人数



【前回調査との数値比較】

	理想とする人数		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
1 人	2.4	2.4	0.0
2 人	43.6	44.9	1.3
3 人	44.1	42.6	▲ 1.5
4 人	5.4	4.9	▲ 0.5
5 人以上	1.7	1.9	0.2

『子どもの人数（就学前 問 9 8，就学後 問 4 8）と世帯の暮らし向き
（就学前 問 8 5，就学後 問 3 1）』

◎ 家庭の経済状況で「やや苦しい」「苦しい」と回答している人は、子どもが3人以上いる割合が高い。

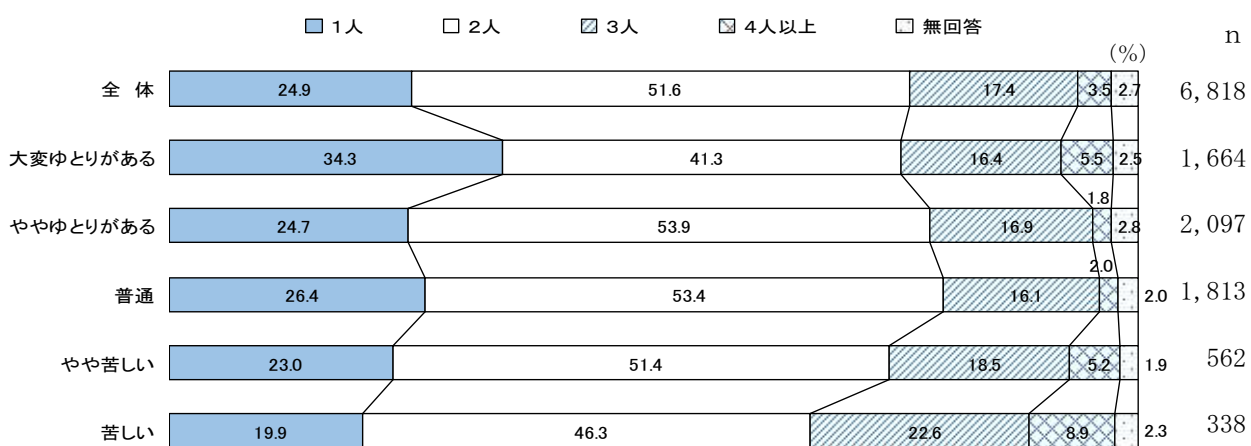
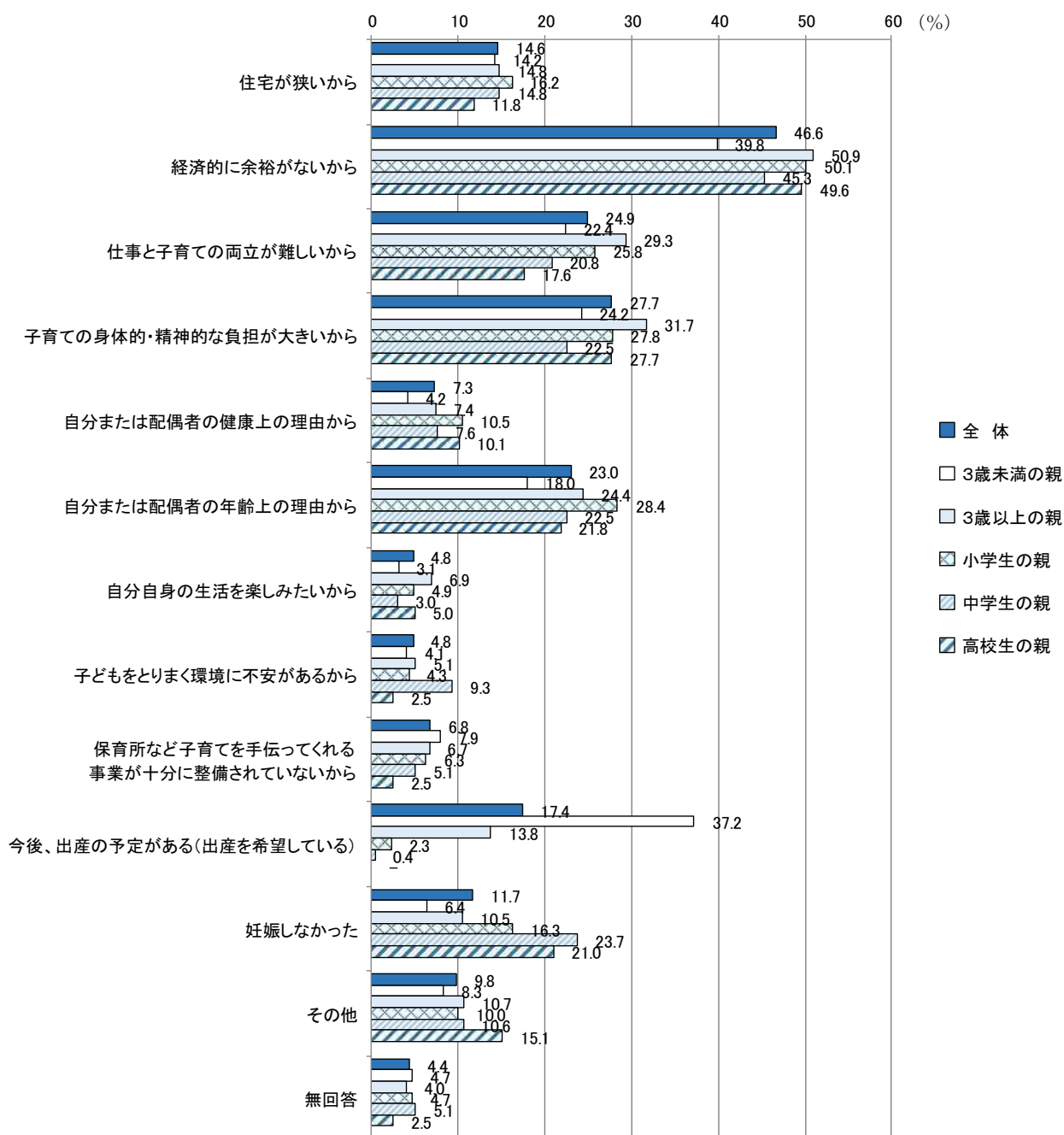


図 お子さんの人数と暮らし向きの意識

お子さんの人数が理想とする人数より少ない理由について【就学前 問99】【就学後 問49】

■お子さんの人数が理想とする人数より少ない理由は何ですか。（3つまで）

◇ 全体では、「経済的に余裕がないから」が46.6%と最も多く、次いで「子育ての身体的・精神的な負担が大きいから」が27.7%、「仕事と子育ての両立が難しいから」が24.9%となっている。



回答数 全体=7,136 3歳未満の親=2,200 3歳以上の親=2,436
小学生の親=1,554 中学生の親=450 高校生の親=223

【前回調査との数値比較】

	経済的余裕がないから		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	47.7	46.6	▲ 1.1
未就学児の親	46.7	45.4	▲ 1.3
小学生の親	52.5	50.1	▲ 2.4
中学生の親	45.7	45.3	▲ 0.4
高校生の親	46.9	49.6	2.7

仕事と子育ての両立が難しいから		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
19.4	24.9	5.5
20.8	25.9	5.1
18.5	25.8	7.3
16.8	20.8	4.0
13.8	17.6	3.8

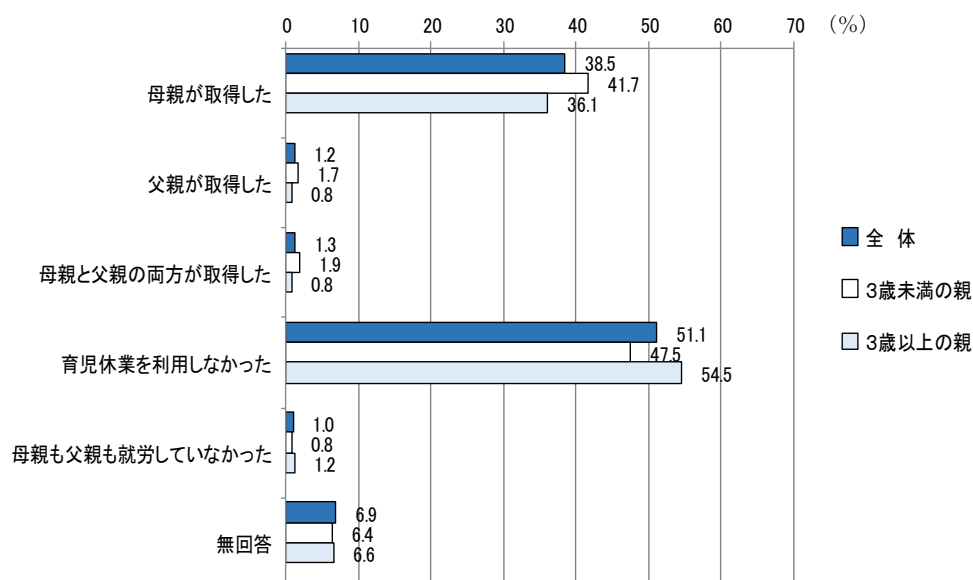
	今後、出産の予定がある (出産を希望している)		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	20.6	17.4	▲ 3.2
未就学児の親	29.0	25.5	▲ 3.5
小学生の親	4.1	2.3	▲ 1.8
中学生の親	1.6	0.4	▲ 1.2
高校生の親	0.4	0.0	▲ 0.4

第3章 お子さんの年齢別に行った質問（就学前）

育児休業の取得について（就学前） 【問27】

■あて名のお子さんについて、母親または、父親が育児休業を取得しましたか。（1つ）

◇ 全体では、「育児休業を利用しなかった」が51.1%と最も多く、次いで「母親が取得した」が38.5%となっている。



回答数 全体＝3,915 3歳未満の親＝1,664 3歳以上の親＝2,097

【前回調査との数値比較】

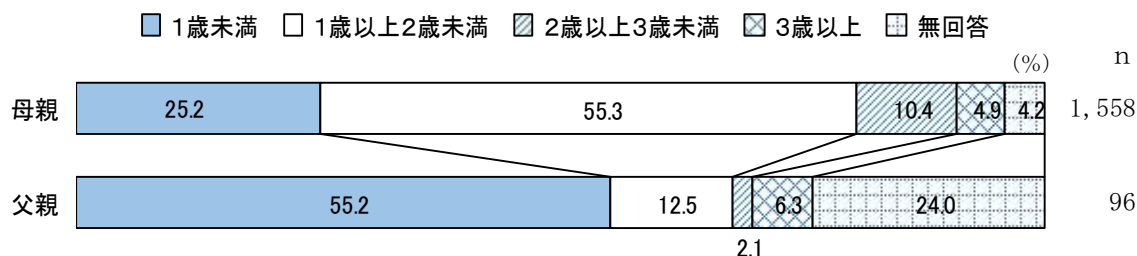
	育児休業を取得したか		
	平成25年	平成30年	変化量
母親が取得した	25.5	38.5	13.0
父親が取得した	0.9	1.2	0.3
母親と父親の両方が取得した	0.5	1.3	0.8
育児休業を利用しなかった	68.6	51.1	▲17.5
母親も父親も就労していなかった	1.1	1.0	▲0.1

育児休業取得後の復帰について（就学前） 【問 2 8】

■育児休業からの復帰時（現在取得中のかたは復帰予定時）のお子さんの年齢を、数字で（ ）に記入してください。

◇ 母親では、「1歳以上2歳未満」が55.3%と最も多い。

◇ 父親では、「1歳未満」が55.2%と最も多い。



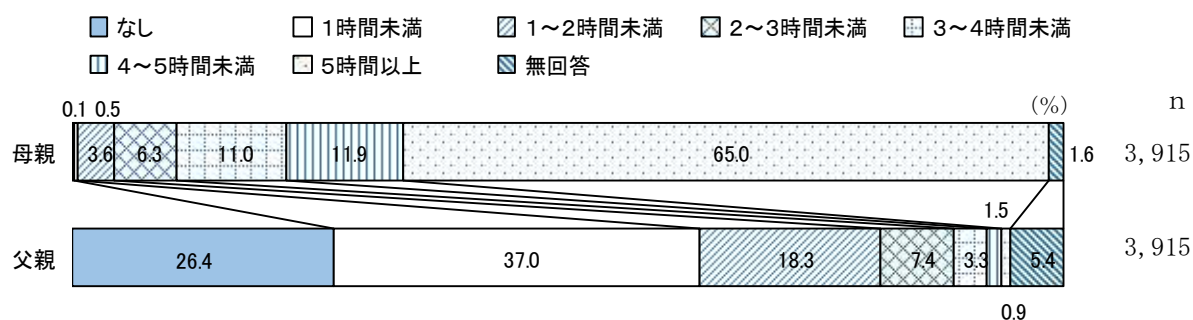
家事時間について（就学前） 【問 2 9】

■一日のうち、家事（育児含む）に要する時間はどれくらいですか。

<平 日>

◇ 母親では、「5時間以上」が65.0%と最も多い。

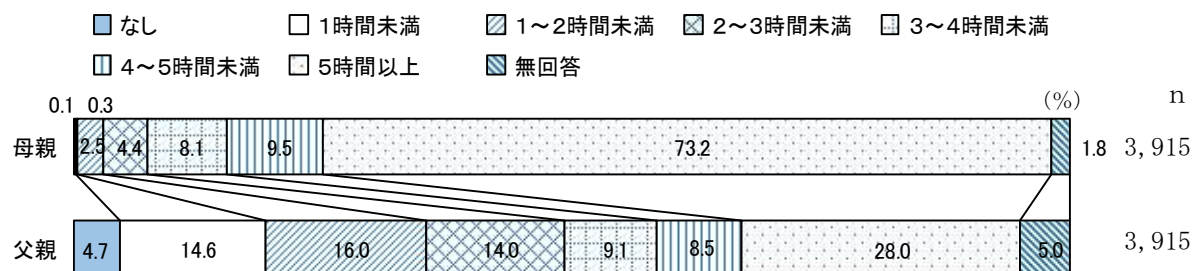
◇ 父親では、「1時間未満」が37.0%と最も多く、次いで「なし」が26.4%となっている。



<休 日>

◇ 母親では、「5時間以上」が73.2%と最も多い。

◇ 父親では、「5時間以上」が28.0%と最も多い。



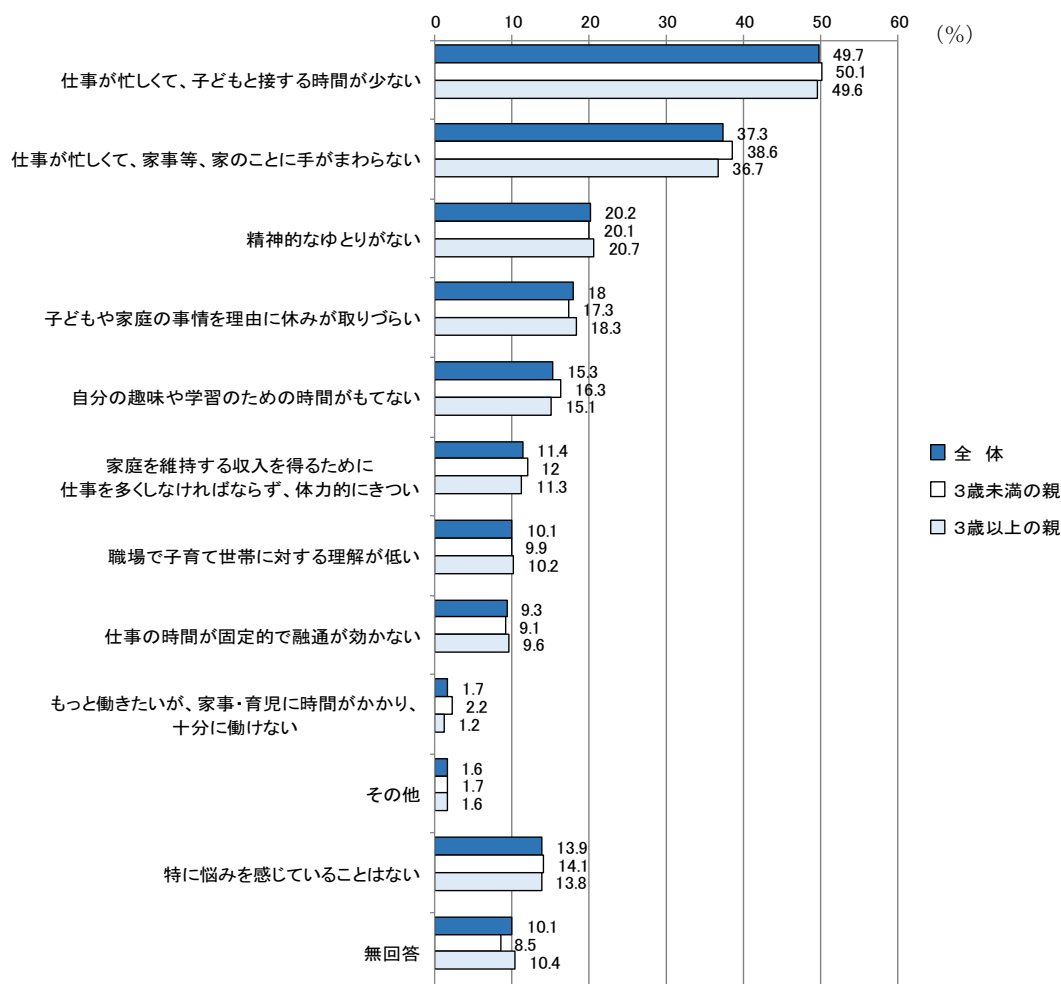
仕事と生活のバランスにおける悩みについて（就学前）

【問 3 1】

■ワーク・ライフ・バランスで悩みに感じていることはありますか。（3つまで）

<父 親>

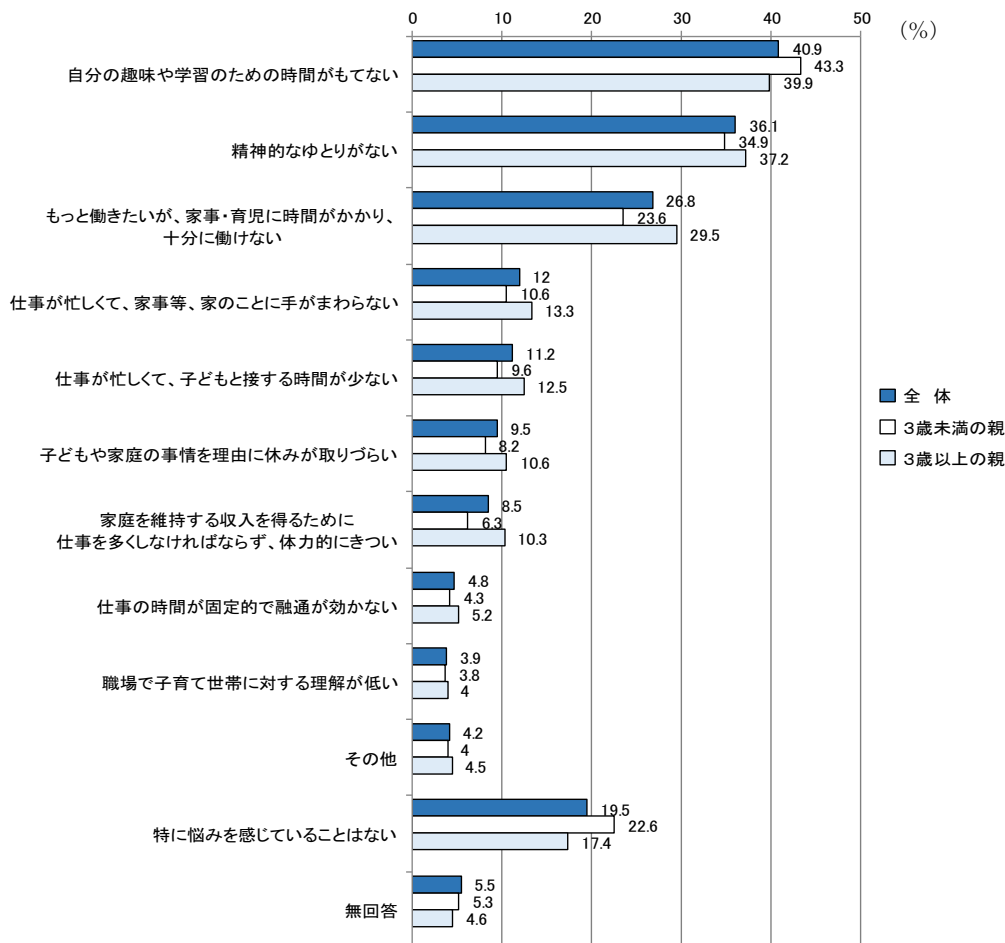
◇ 全体では、「仕事が忙しくて、子どもと接する時間が少ない」が49.7%と最も多い。



回答数 全体=3,915 3歳未満の親=1,664 3歳以上の親=2,097

<母 親>

◇ 全体では、「自分の趣味や学習のための時間がもてない」が40.9%と最も多い。

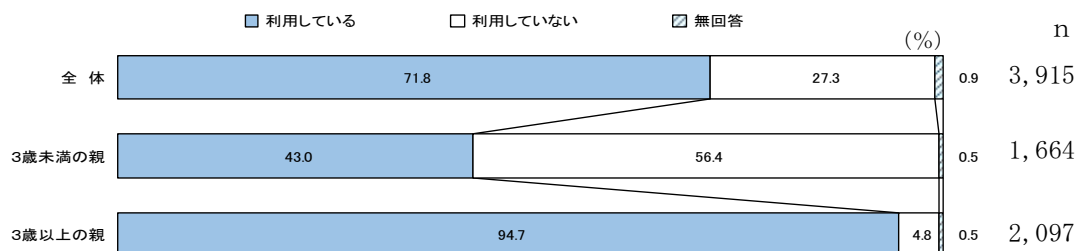


回答数 全体=3,915 3歳未満の親=1,664 3歳以上の親=2,097

平日の教育・保育事業について（就学前） 【問33】

■あて名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（1つ）

◇ 全体では「利用している」が71.8%を占める。



【前回調査との数値比較】

	利用している			利用していない		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	66.7	71.8	5.1	32.9	27.3	▲ 5.6
3歳未満の親	37.0	43.0	6.0	62.8	56.4	▲ 6.4
3歳以上の親	97.9	94.7	▲ 3.2	1.6	4.8	3.2

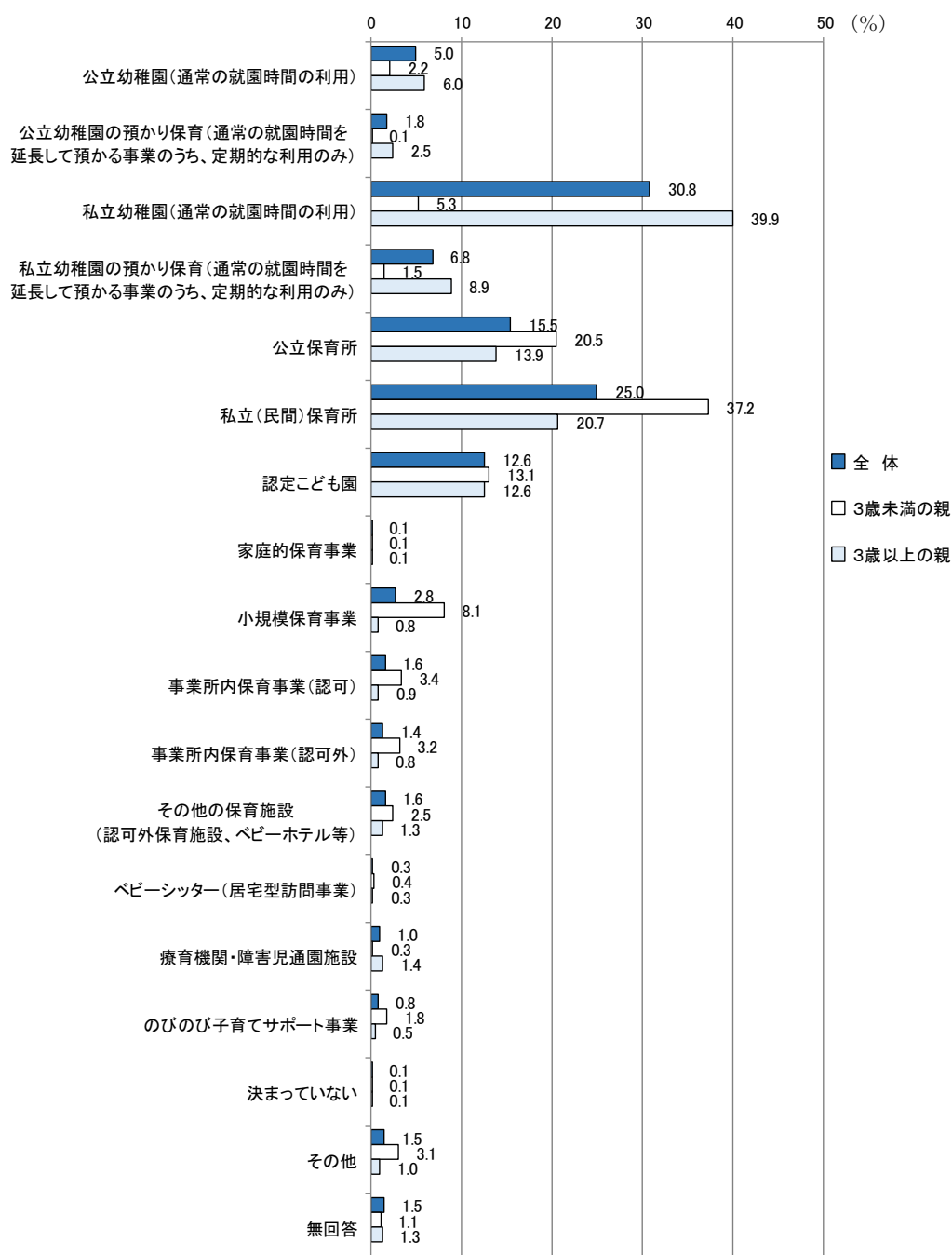
平日の教育・保育事業の利用状況について（就学前） 【問 3 4】

■あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
（複数回答）

【参考】

定期的な教育・保育の事業	内 容
認定こども園	幼稚園と保育所の機能をあわせ持つ施設
幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
幼稚園の預かり保育	幼稚園や認定こども園における1号認定子どもを、通常の就園時間を延長して預かる事業
保育所	保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う事業
保育所の延長保育	保育所や認定こども園における2・3号認定子どもを、通常の保育終了時間（概ね午後6時）を延長して預かる事業
家庭的保育事業	保育を必要とする0～2歳児に対して保育を行う事業（定員3人または5人）
小規模保育事業	保育を必要とする0～2歳児に対して保育を行う事業（定員6人～19人）
事業所内保育事業（認可）	主として従業員の子どものほか、保育を必要とする従業員以外の地域の0～2歳児に対して保育を行う事業
事業所内保育事業（認可外）	企業などの事業所が従業員のために事業所内に保育施設を設置したもの（企業主導型保育事業を含む）
その他の保育施設	名古屋市の認可を受けていない保育施設で、事業所内保育施設以外のもの（認可外保育施設、ベビーホテル等）
ベビーシッター	自宅において有料でお子さんを預かるサービス
のびのび子育てサポート事業	子育ての援助を行いたいかと受けたいかたからなる会員組織により一時的に子育ての手助けをしあう制度

- ◇ 全体では、「私立幼稚園」が 30.8%と最も多く、次いで「私立（民間）保育所」が 25.0%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「私立（民間）保育所」が 37.2%と最も多く、次いで「公立保育所」が 20.5%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「私立幼稚園」が 39.9%と最も多く、「私立（民間）保育所」が 20.7%、「公立保育所」が 13.9%となっている。



回答数 全体=2,948 3歳未満の親=738 3歳以上の親=2,210

【前回調査との数値比較】

	公立保育所		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	18.7	15.5	▲ 3.2
3歳未満の親	25.2	20.5	▲ 4.7
3歳以上の親	16.2	13.9	▲ 2.3

私立（民間）保育所		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
31.1	25.0	▲ 6.1
49.8	37.2	▲ 12.6
23.7	20.7	▲ 3.0

	私立幼稚園（通常の就園時間の利用）		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	37.6	30.8	▲ 6.8
3歳未満の親	6.4	5.3	▲ 1.1
3歳以上の親	50.0	39.9	▲ 10.1

認定こども園		
平成 25 年	平成 30 年	変化量
0.8	12.6	11.8
1.4	13.1	11.7
0.6	12.6	12.0

『平日の教育・保育事業の利用（就学前 問34）と母親の就労形態（就学前 問18）』

◎ 就労している母親の約 55%は保育所を利用している。

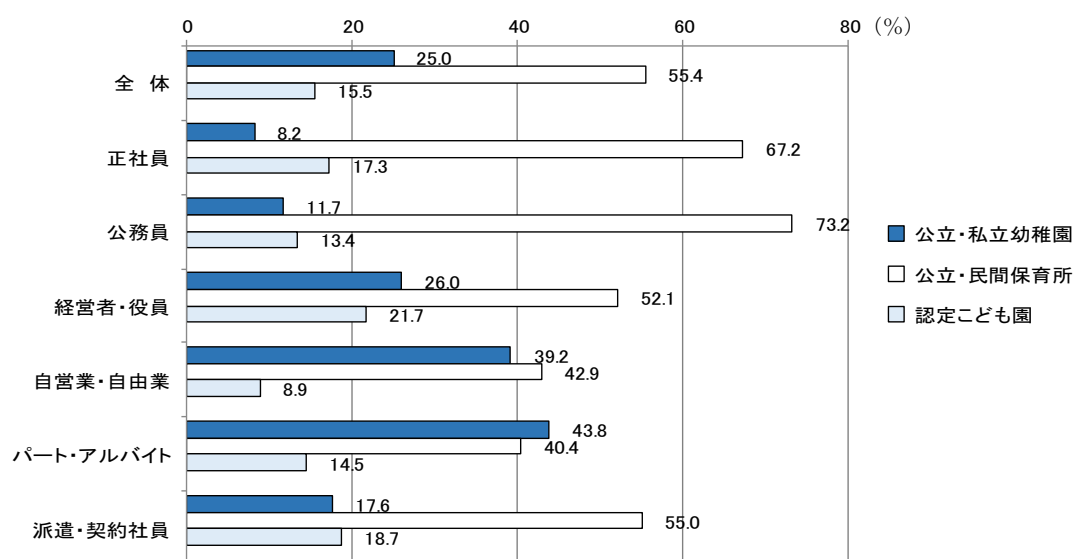


図 平日の教育・保育事業と母親の就労形態

平日の教育・保育事業の利用状況・利用希望について（就学前）

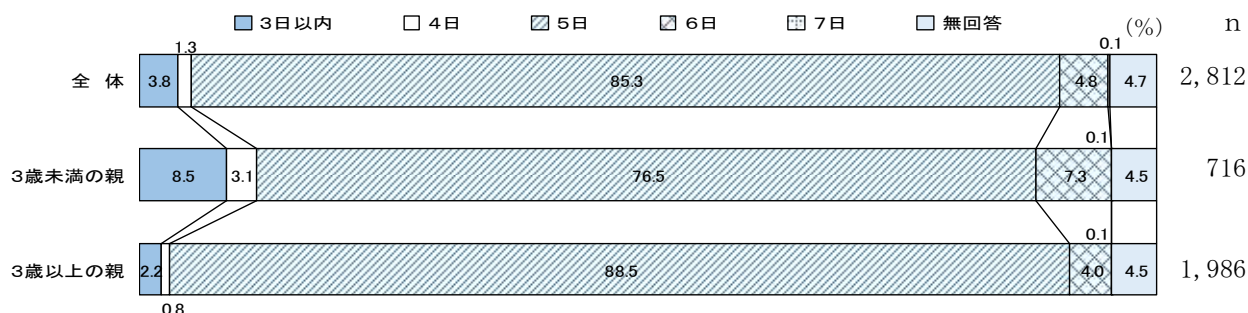
【問35】

■平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。

＜現在の利用状況＞

（１）１週間あたりの利用日数

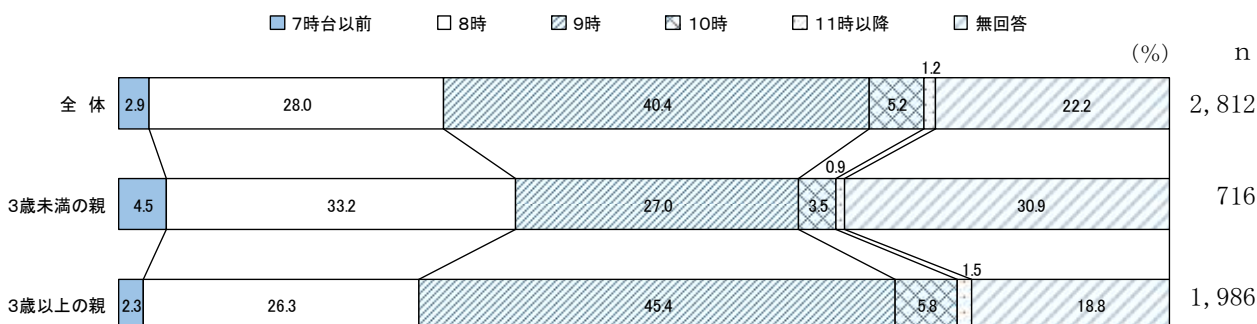
◇ 全体では、「週に５日」が85.3%を占める。



（２）１日の利用時間

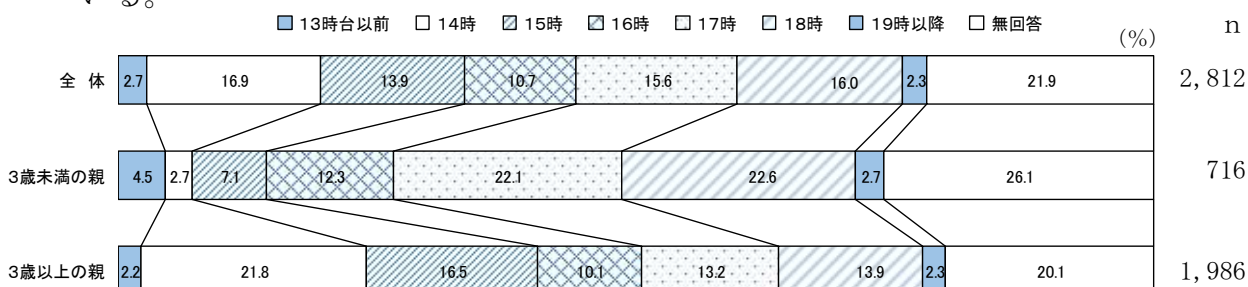
【開始時間】

◇ 全体では、「9時から」が40.4%と最も多く、次いで「8時から」が28.0%となっている。



【終了時間】

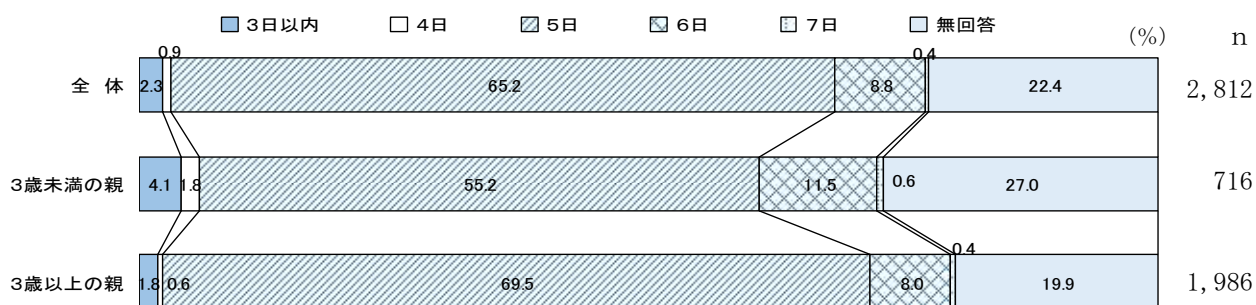
◇ 全体では、「14時まで」が16.9%と最も多く、次いで「18時」が16.0%となっている。



<利用希望>

(1) 1週間あたりの利用日数

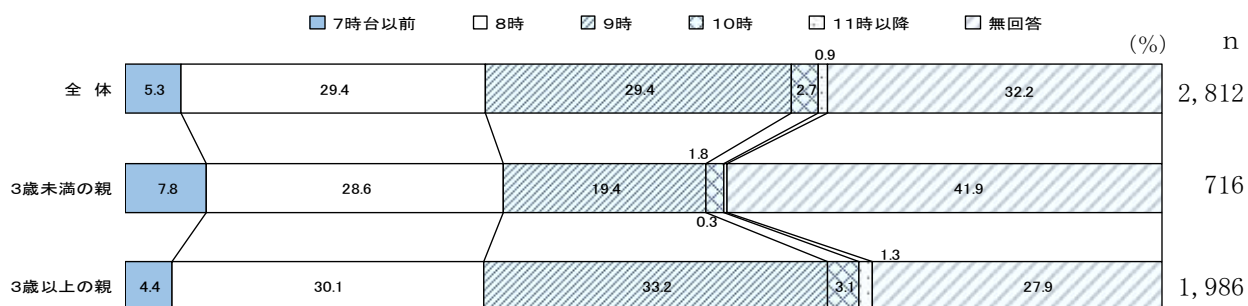
◇ 全体では、「週に5日」が65.2%と最も多く、次いで「週に6日」が8.8%となっている。



(2) 希望する1日の利用時間

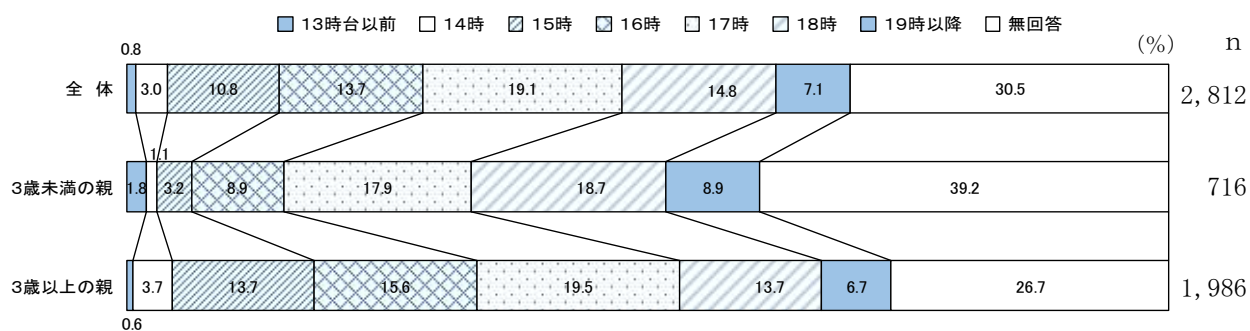
【開始時間】

◇ 全体では、「8時」「9時」が29.4%と最も多く、次いで「7時台以前」が5.3%となっている。



【終了時間】

◇ 全体では「17時まで」が19.1%、「18時まで」が14.8%、「16時まで」が13.7%となっている。

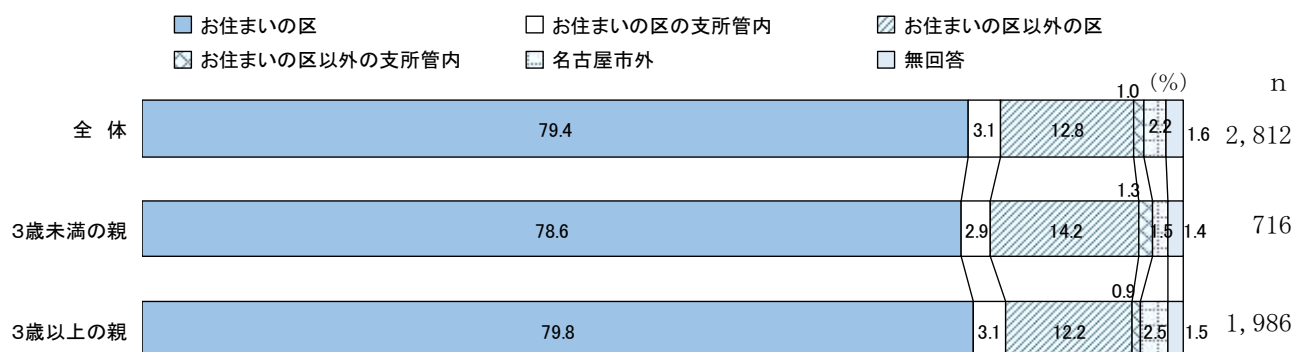


利用している教育・保育事業について（就学前）

【問 3 6】

■現在、利用している教育・保育の事業の実施場所について、あてはまるものを選んでください。（1つ）

◇ 全体では、「お住まいの区」での利用が 79.4%と最も多く、次いで「お住まいの区以外の区」が 12.8%となっている。

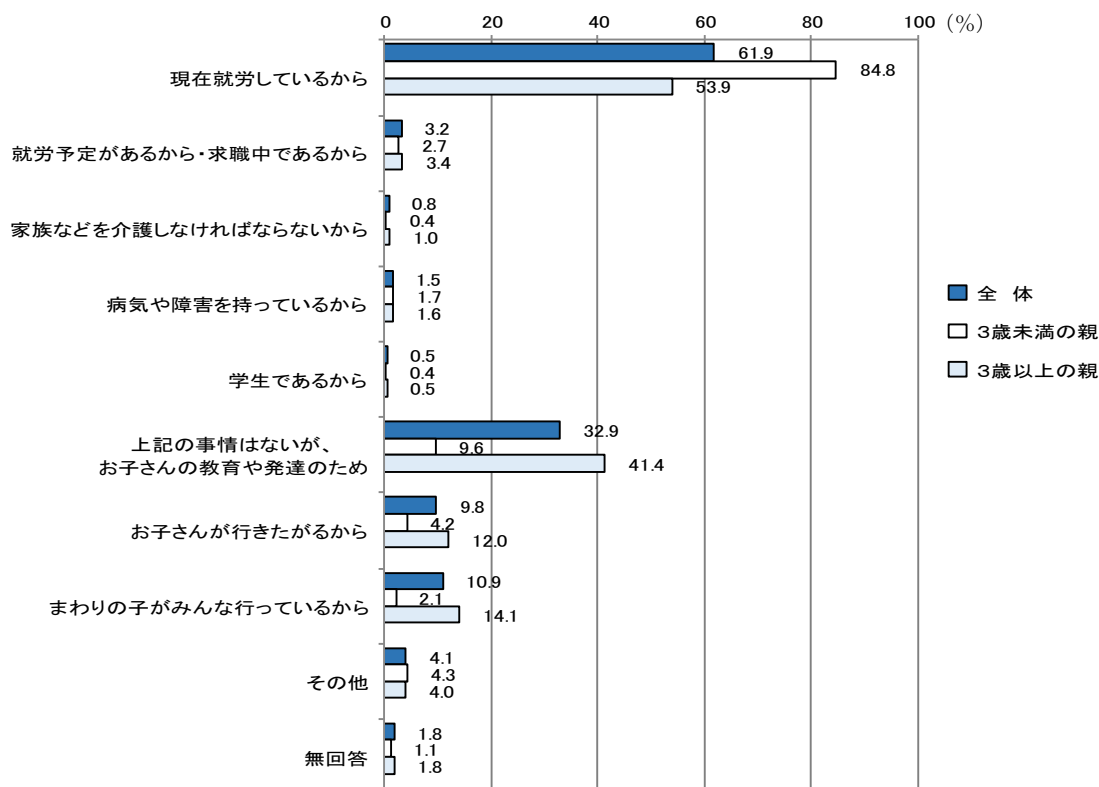


教育・保育事業を平日に利用している理由について（就学前）

【問 3 7】

■平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。（複数回答）

◇ 全体では「現在就労しているから」が 61.9%となっている。



回答数 全体=3,581 3歳未満の親=797 3歳以上の親=2,654

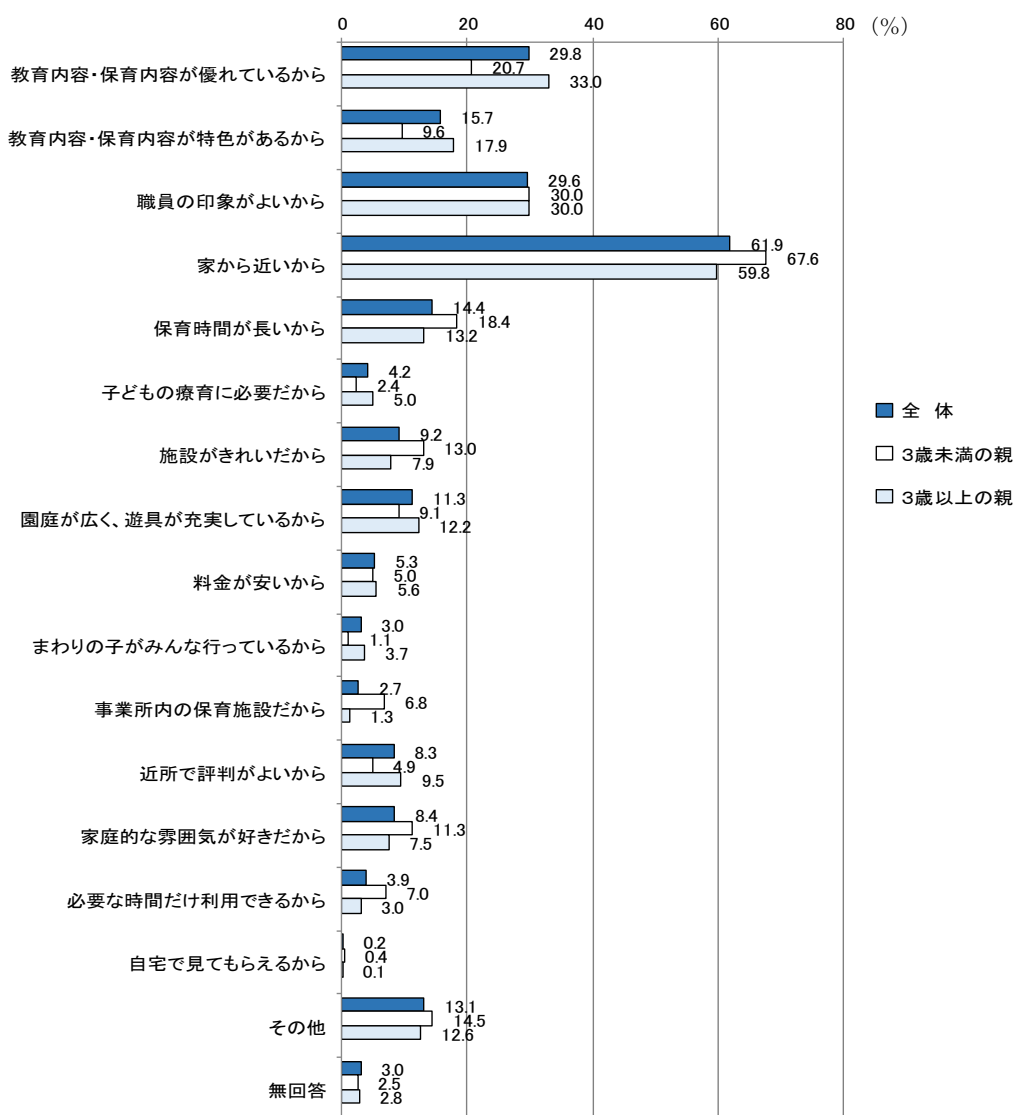
【前回調査との数値比較】

	現在就労しているから		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	54.9	61.9	7.0
3 歳未満の親	81.7	84.8	3.1
3 歳以上の親	44.5	53.9	9.4

教育・保育事業を選んだ理由について（就学前） 【問 3 8】

■現在、最も多く利用している教育・保育の事業を選んだ理由は何ですか。（3 つまで）

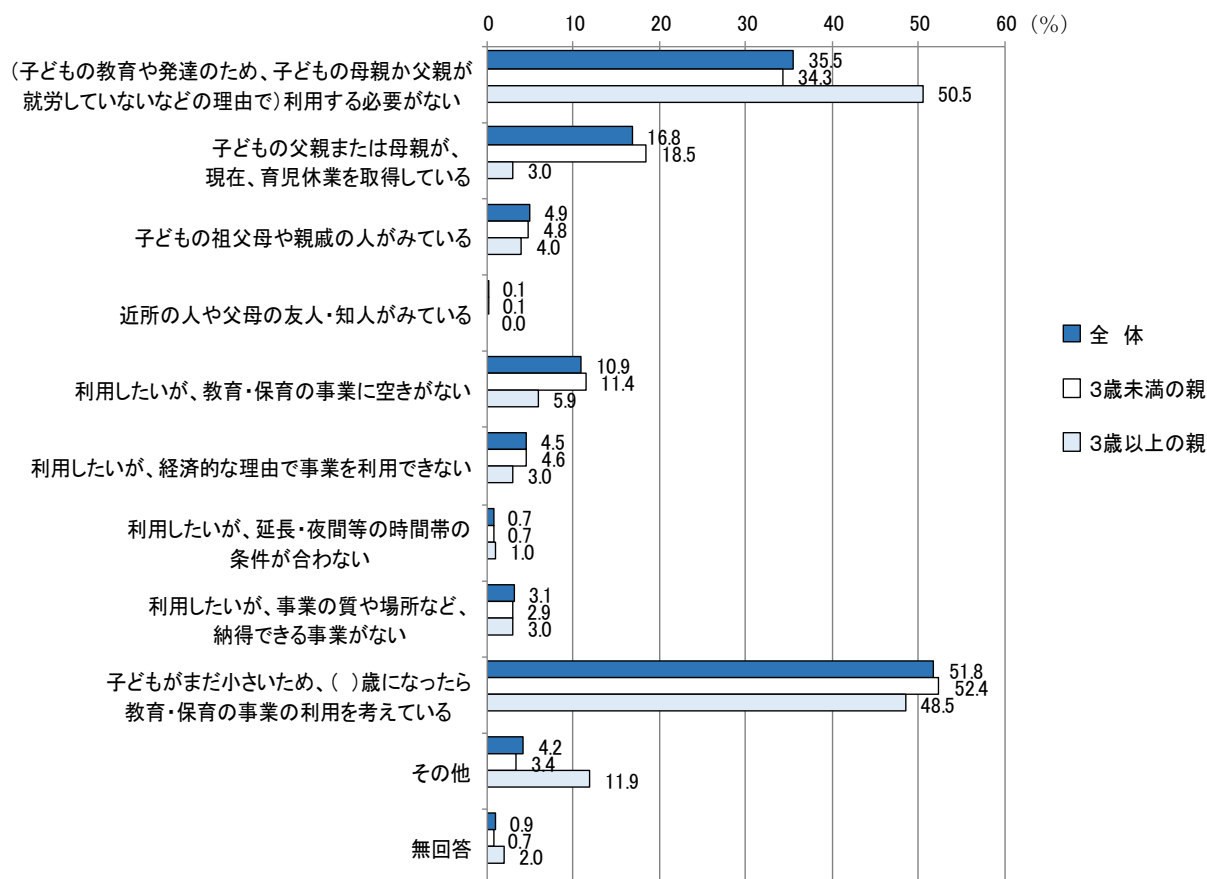
◇ 全体では「家から近いから」が 61.9%と最も多く、次いで「教育内容・保育内容が優れているから」が 29.8%、「職員の印象がよいから」が 29.6%となっている。



回答数 全体＝6,304 3歳未満の親＝1,607 3歳以上の親＝4,474

■教育・保育事業を利用していないおもな理由は何ですか。（複数回答）

◇ 全体では「子どもがまだ小さいため、（ ）歳になったら教育・保育の事業の利用を考えている」が 51.8%と最も多く、次いで「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」が 35.5%となっている。



回答数 全体=1,427 3歳未満の親=1,257 3歳以上の親=134

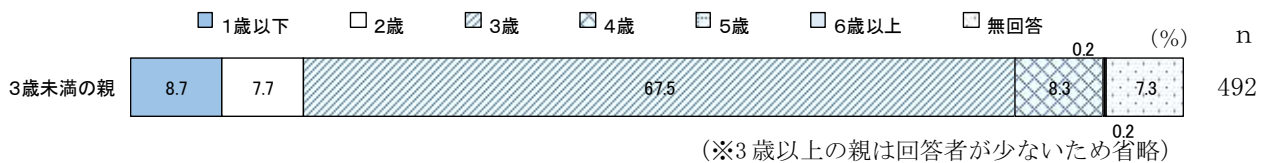
【前回調査との数値比較】

	利用する必要がある			育児休業を取得中		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	41.4	35.5	▲ 5.9	9.3	16.8	7.5
3歳未満の親	41.5	34.3	▲ 7.2	9.5	18.5	9.0
3歳以上の親	33.3	50.5	17.2	0.0	3.0	3.0

	教育・保育の事業に空きがない			子どもがまだ小さい		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	12.0	10.9	▲ 1.1	52.9	51.8	▲ 1.1
3歳未満の親	11.9	11.4	▲ 0.5	53.6	52.4	▲ 1.2
3歳以上の親	18.2	5.9	▲12.3	24.2	48.5	24.3

【利用しようとする子どもの年齢】

◇ 3歳未満の親では「3歳」が67.5%と最も多く、次いで「4歳から」が8.3%となっている。



【前回調査との数値比較】

	利用しようとする子どもの年齢		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
1歳以下	2.3	8.7	6.4
2歳	6.3	7.7	1.4
3歳	74.0	67.5	▲ 6.5
4歳	14.0	8.3	▲ 5.7
5歳	0.0	0.2	0.2
6歳以上	0.3	0.2	▲ 0.1

幼児教育無償化実現時の利用希望について（就学前）

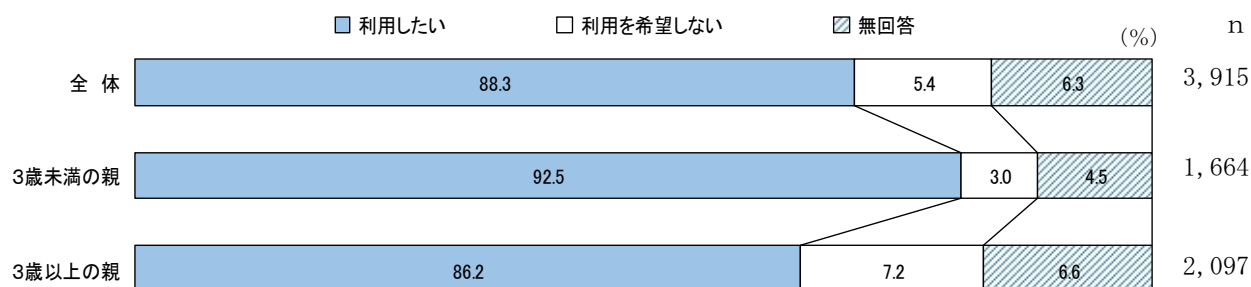
【問 4 0】

■ 幼児教育の無償化が実現された場合、平日に定期的に教育・保育の事業を利用した
いか。（1つ）

【利用希望の有無】

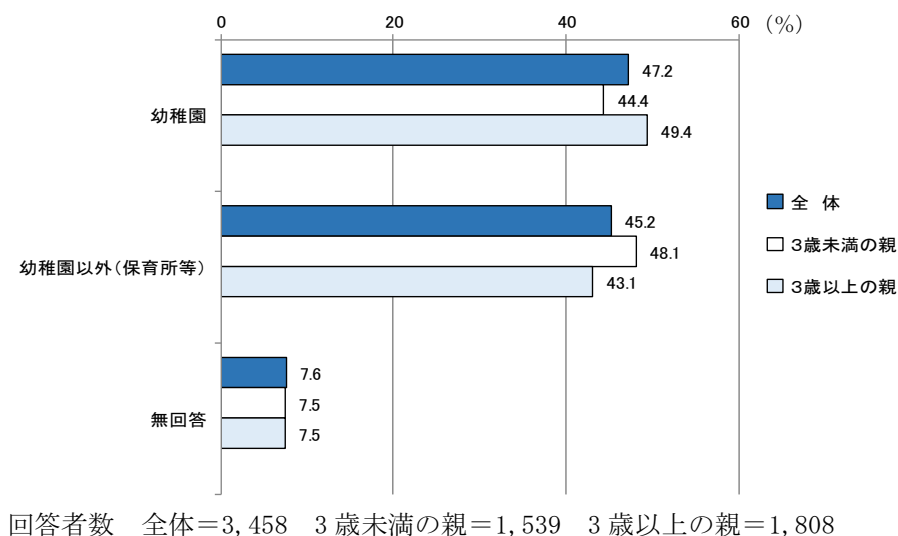
◇ 全体では、「利用したい」が88.3%となっている。

◇ 3歳未満では、「利用したい」が92.5%、3歳以上では86.2%となっている。



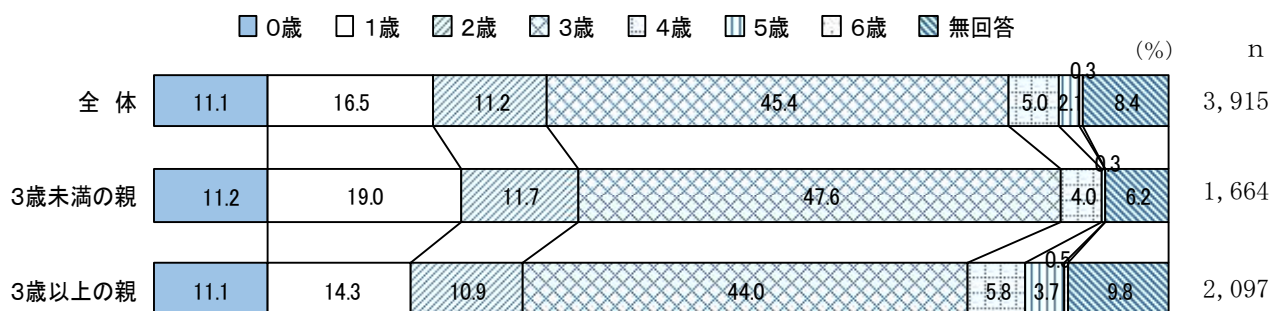
【利用したい事業】

◇ 全体では、「幼稚園」が47.2%、「幼稚園以外（保育所等）」が45.2%となっている。



【利用する子どもの希望年齢】

◇ 全体では、「3歳」が45.4%、「1歳」が16.5%となっている。

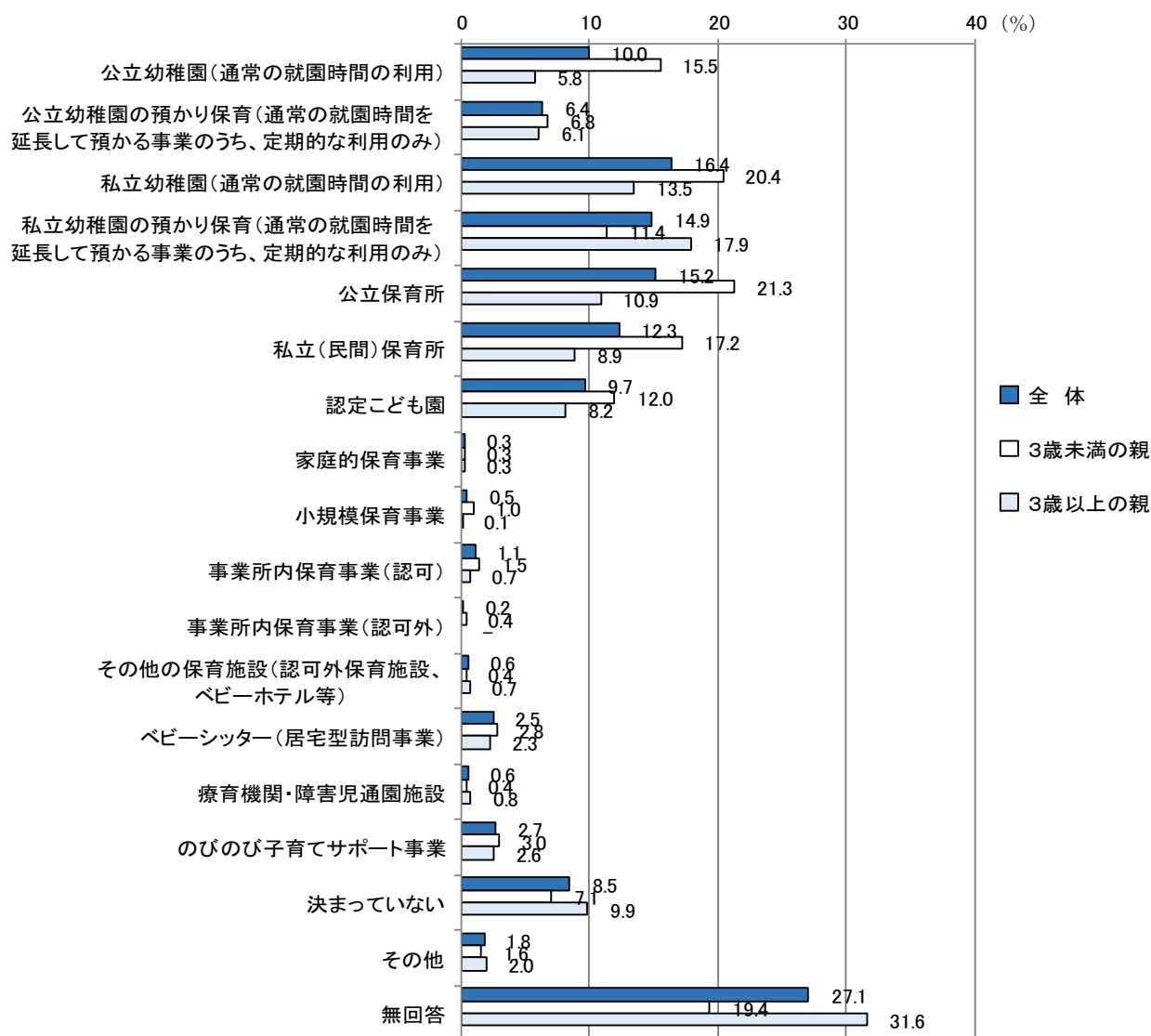


今後の教育・保育事業の利用希望について（就学前）

【問 4 1】

■あて名のお子さんに関して、今後利用したい、またはもっと多く利用したいと思う教育・保育の事業は何ですか。（2つまで）

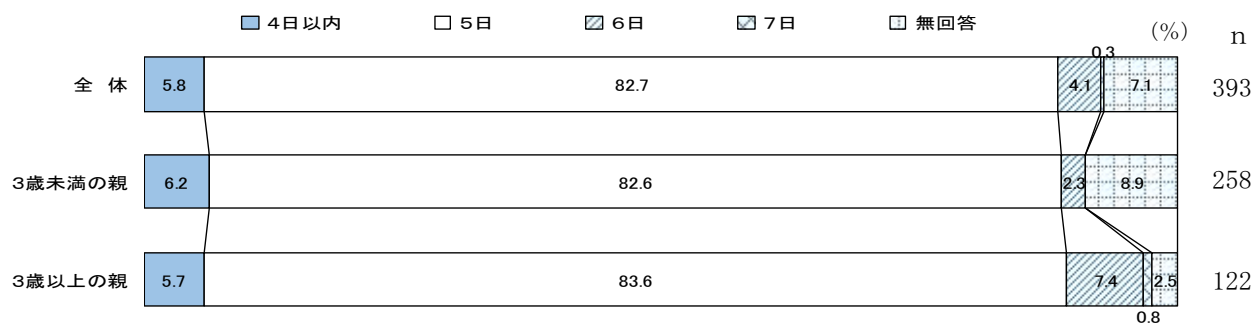
◇ 全体では、「私立幼稚園」が 16.4%と最も多く、次いで「公立保育所」が 15.2%、「私立幼稚園の預かり保育」が 14.9%となっている。



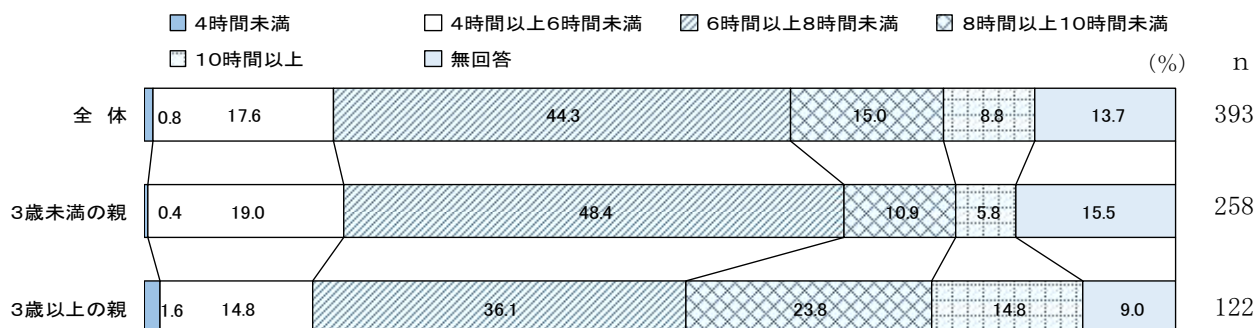
回答数 全体=5, 121 3歳未満の親=2, 371 3歳以上の親=2, 566

1. 公立幼稚園（通常の就園時間の利用）

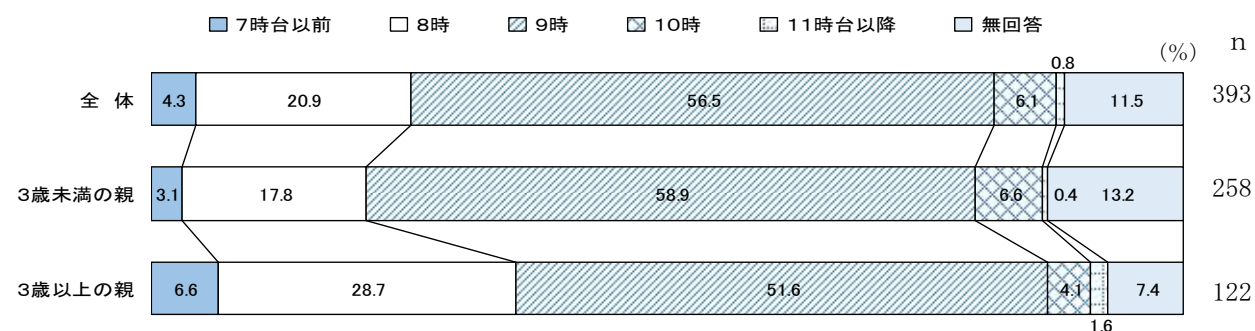
【1週間あたりの利用日数】



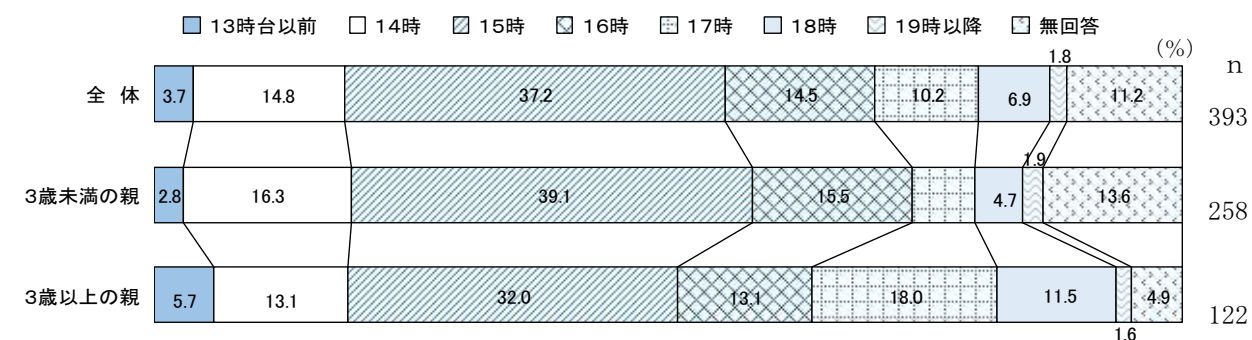
【1日あたりの利用時間】



<開始時間>

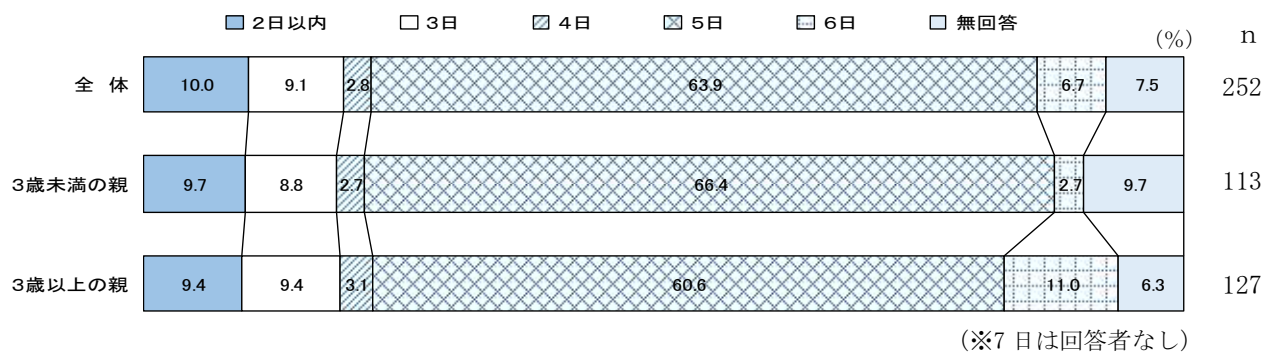


<終了時間>



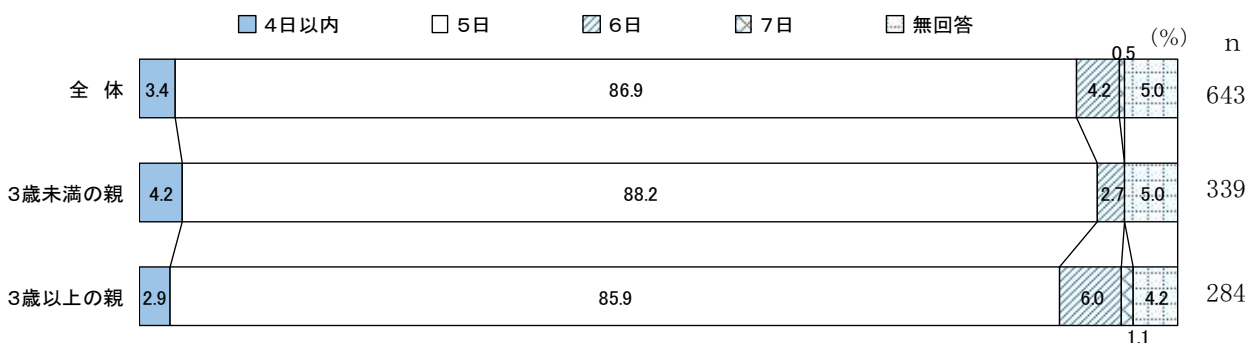
2. 公立幼稚園の預かり保育

【1週間あたりの利用日数】

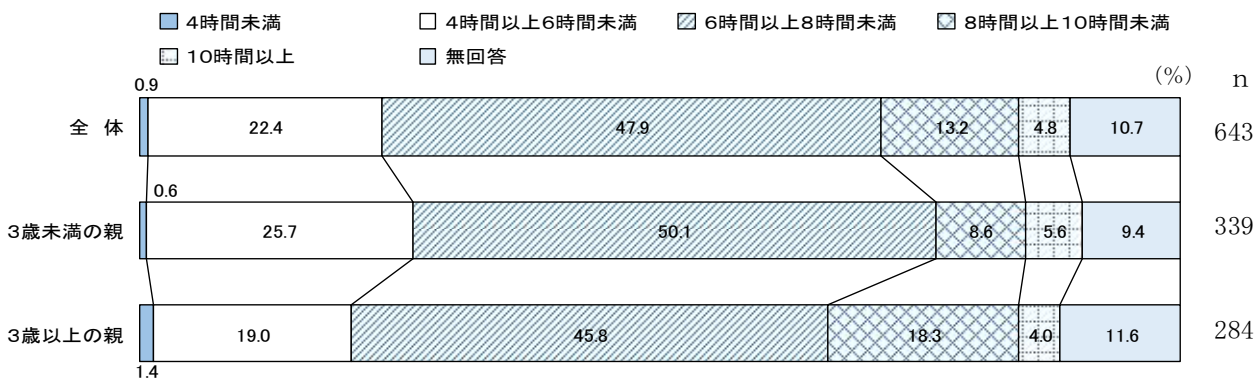


3. 私立幼稚園（通常の就園時間の利用）

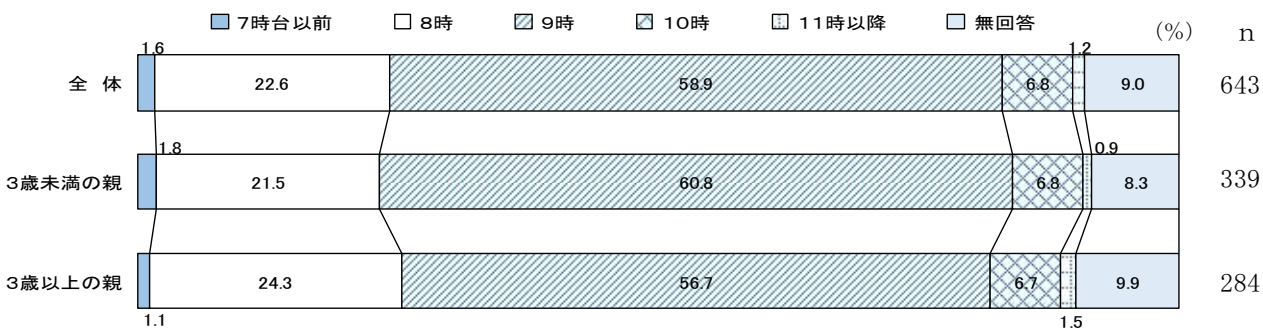
【1週間あたりの利用日数】



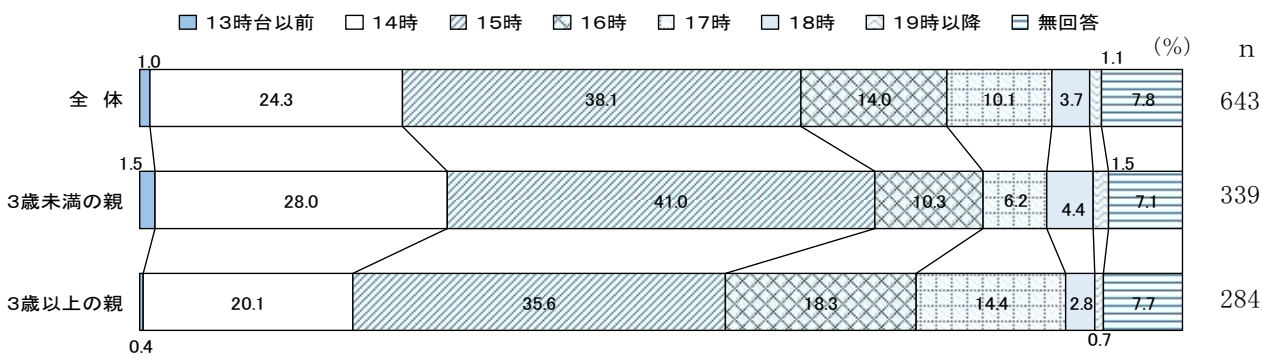
【1日あたりの利用時間】



<開始時間>

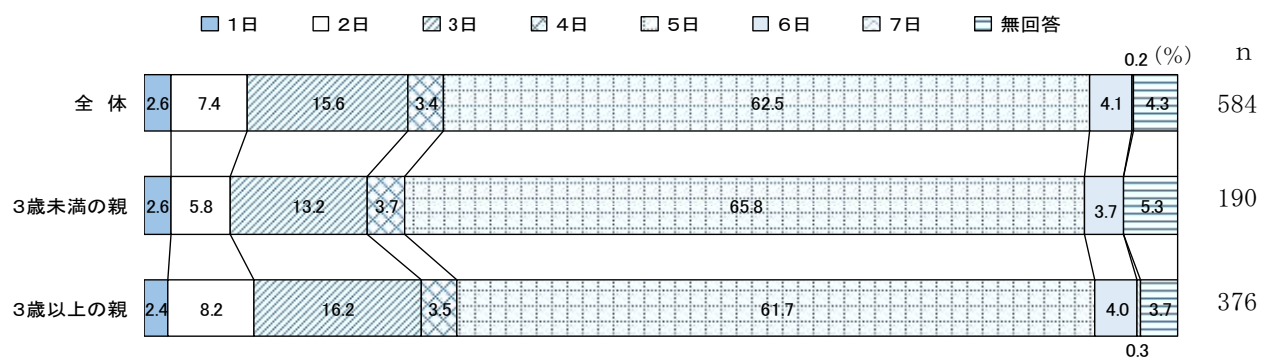


<終了時間>



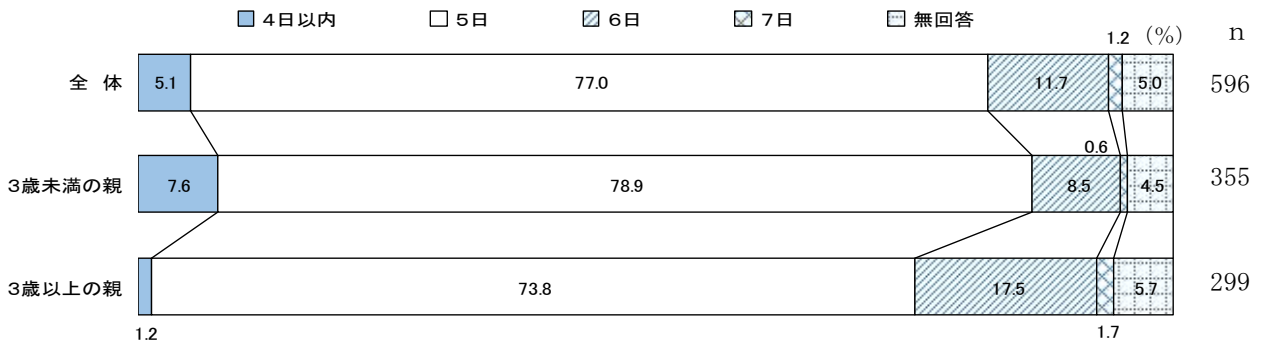
4. 私立幼稚園の預かり保育

【1週間あたりの利用日数】

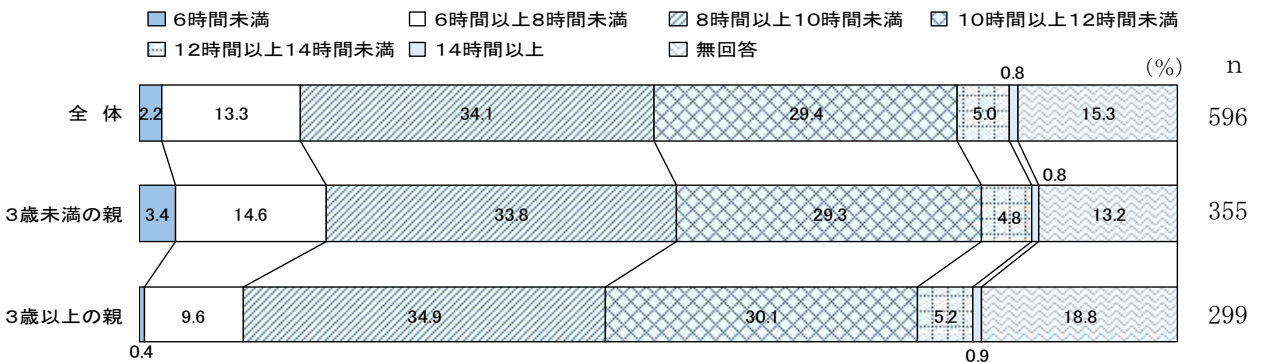


5. 公立保育所

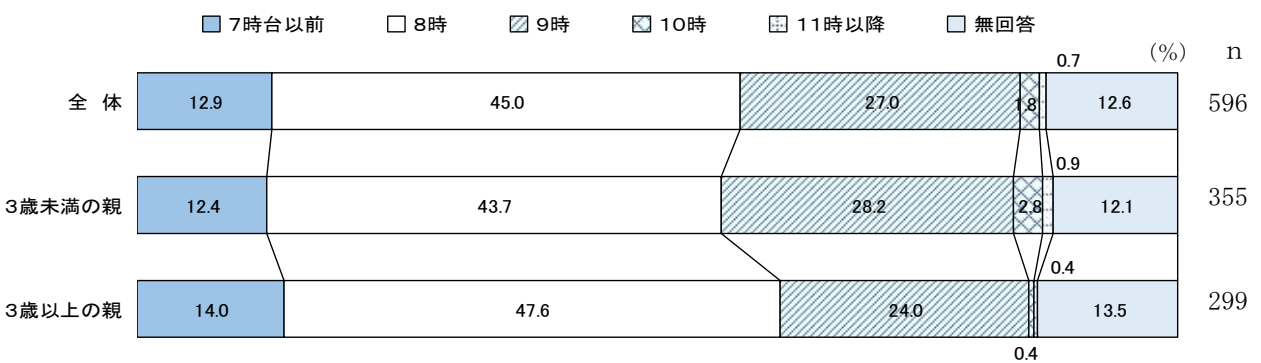
【1週間あたりの利用日数】



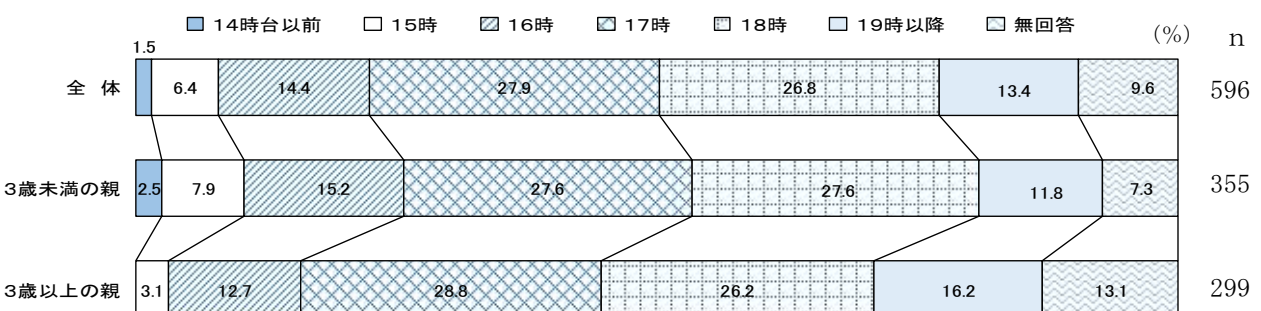
【1日あたりの利用時間】



<開始時間>

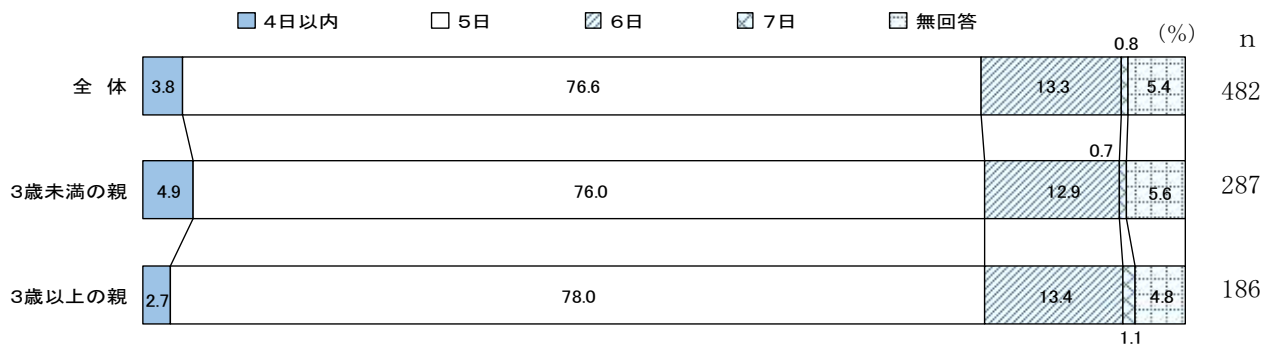


<終了時間>

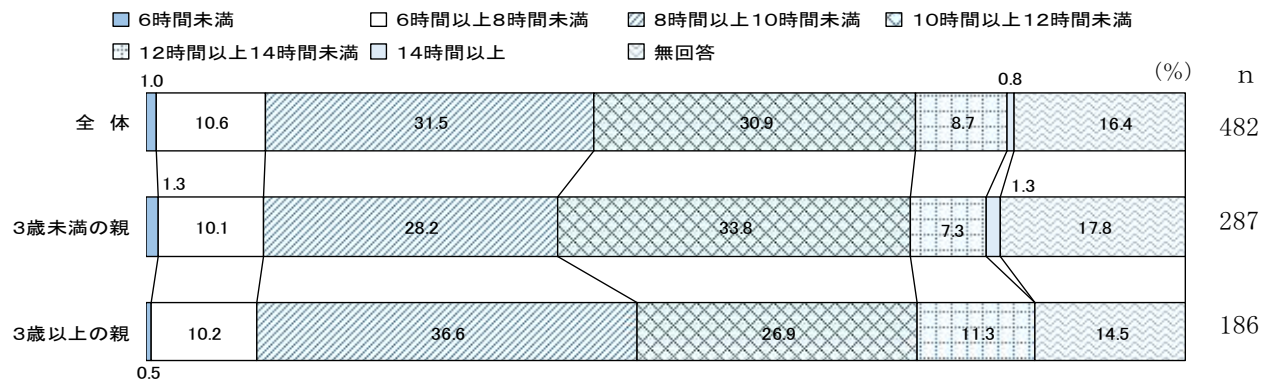


6. 私立（民間）保育所

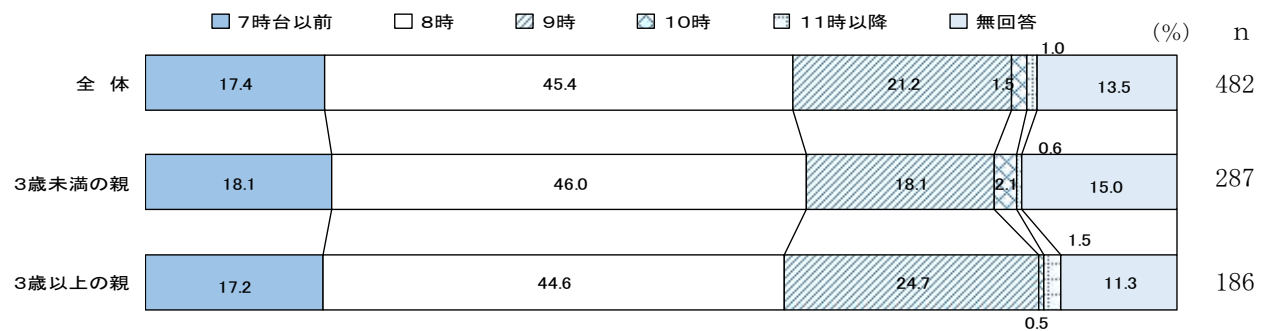
【1週間あたりの利用日数】



【1日あたりの利用時間】



<開始時間>

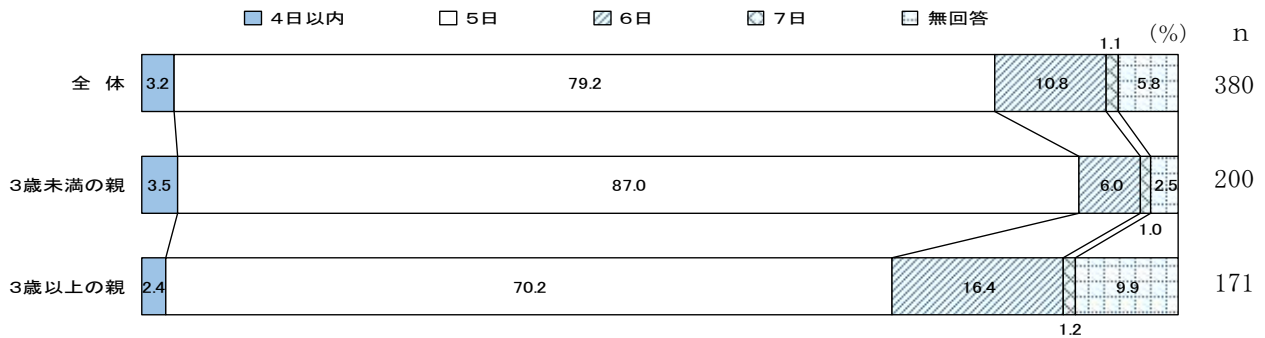


<終了時間>

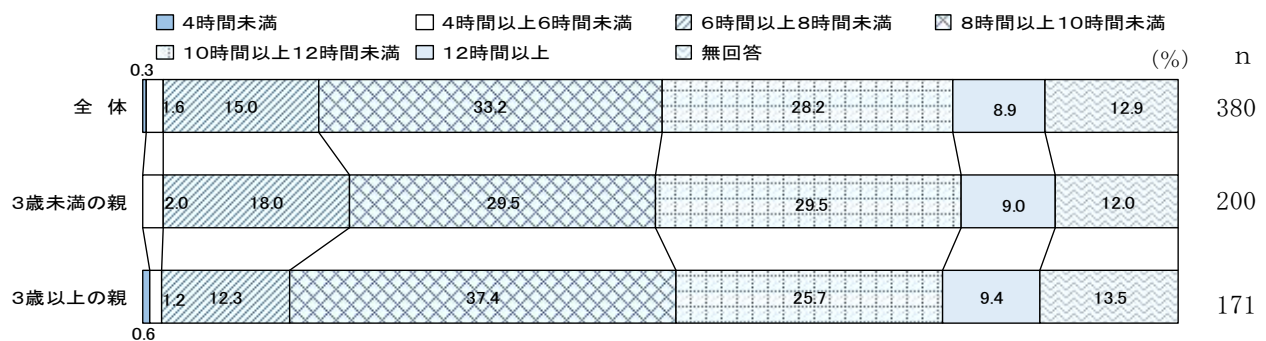


7. 認定こども園

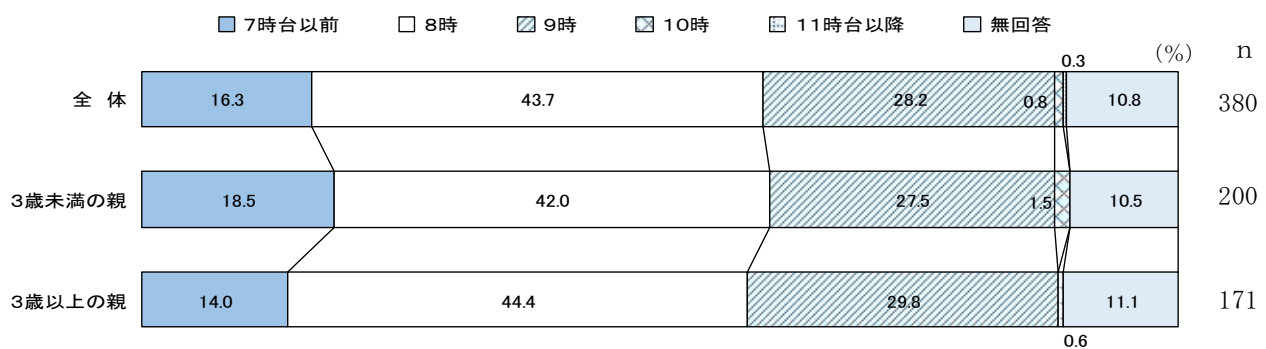
【1週間あたりの利用日数】



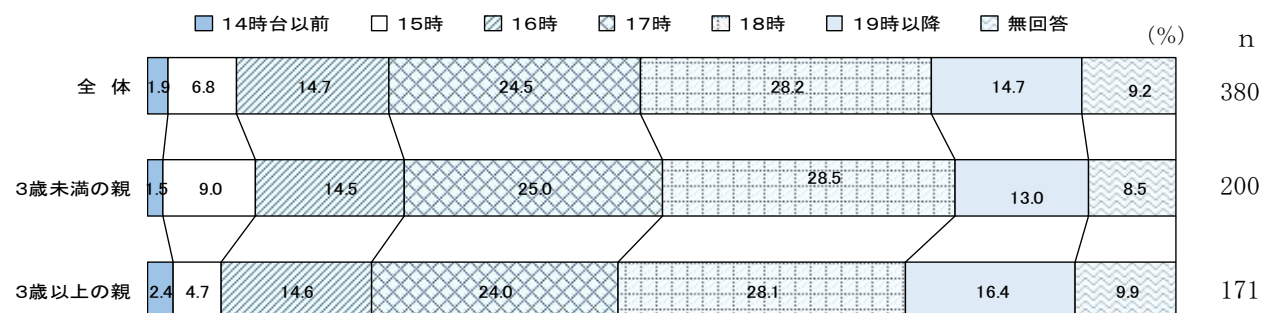
【1日あたりの利用時間】



<開始時間>

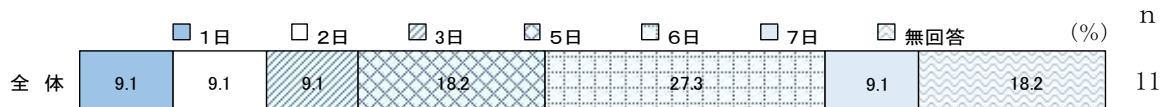


<終了時間>

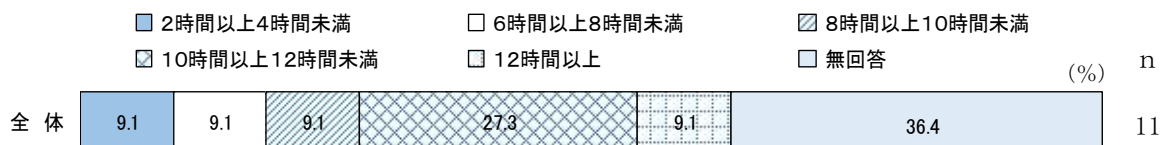


8. 家庭的保育事業

【1週間あたりの利用日数】



【1日あたりの利用時間】



<開始時間>



(※11時～16時までは回答者なし)

<終了時間>

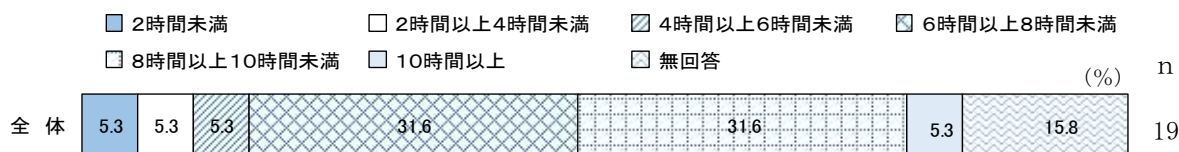


9. 小規模保育事業

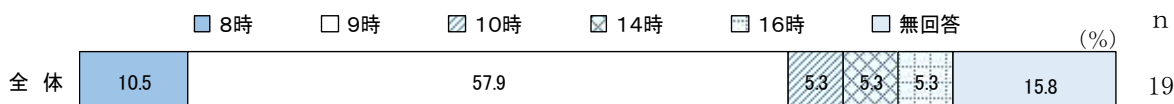
【1週間あたりの利用日数】



【1日あたりの利用時間】



<開始時間>



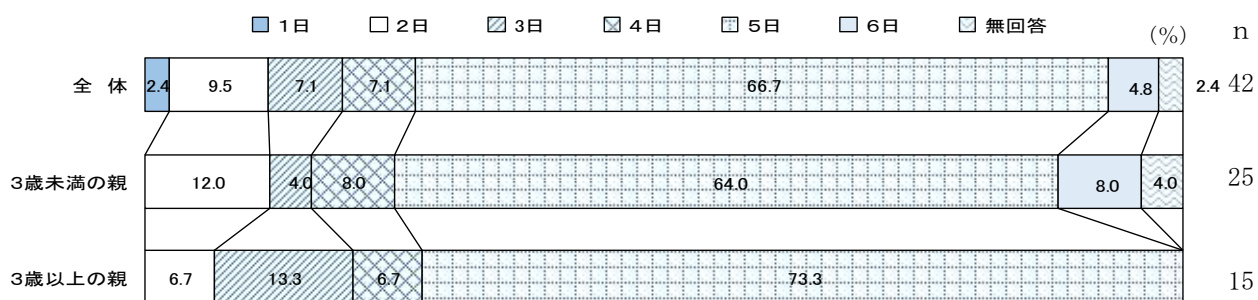
(※11時～13時まで、15時は回答者なし)

<終了時間>



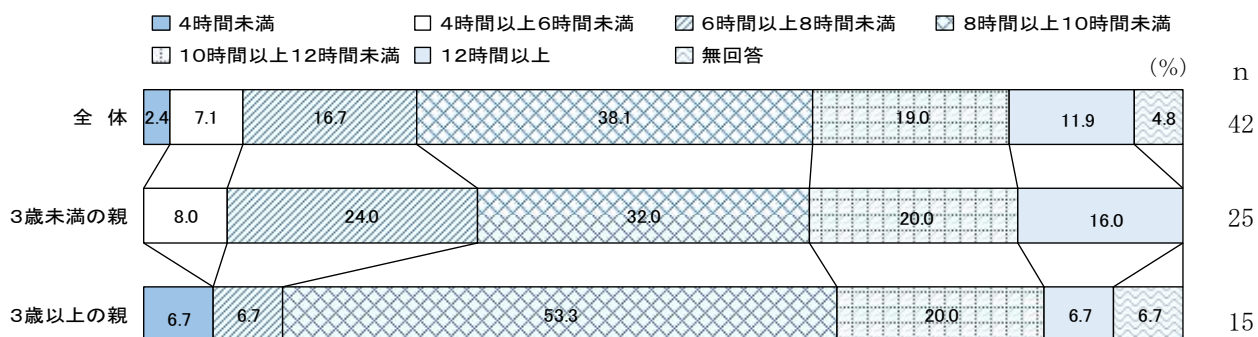
10. 事業所内保育事業（認可）

【1週間あたりの利用日数】

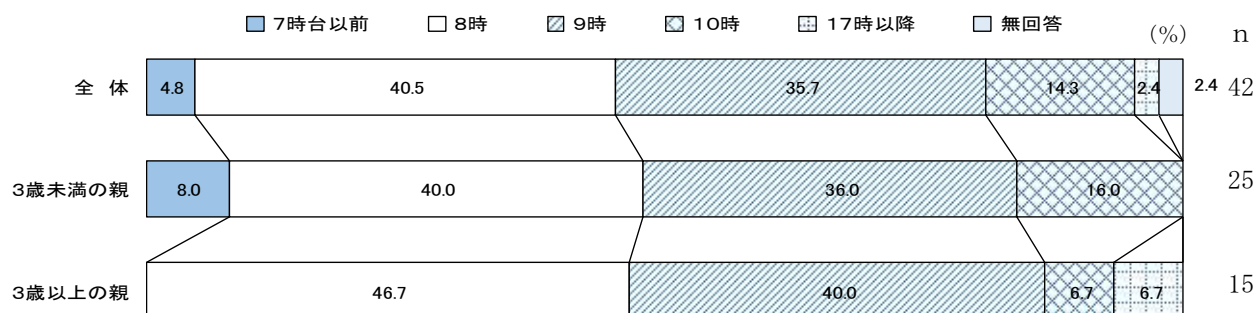


(※7日は回答者なし)

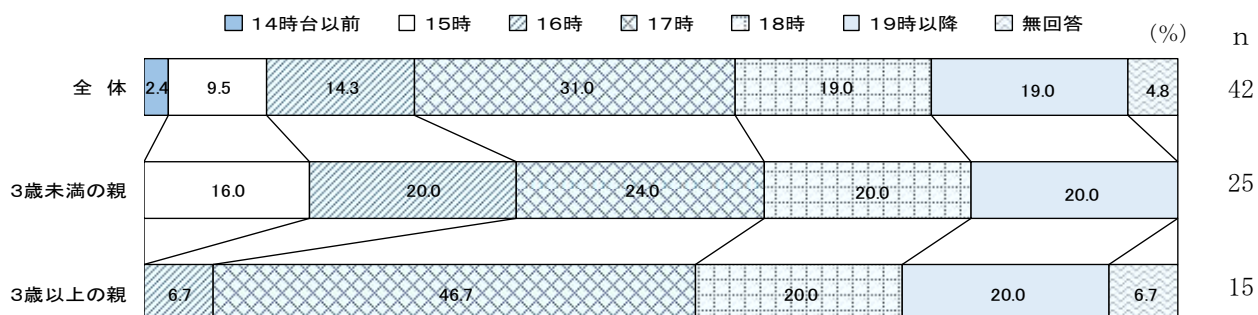
【1日あたりの利用時間】



<開始時間>

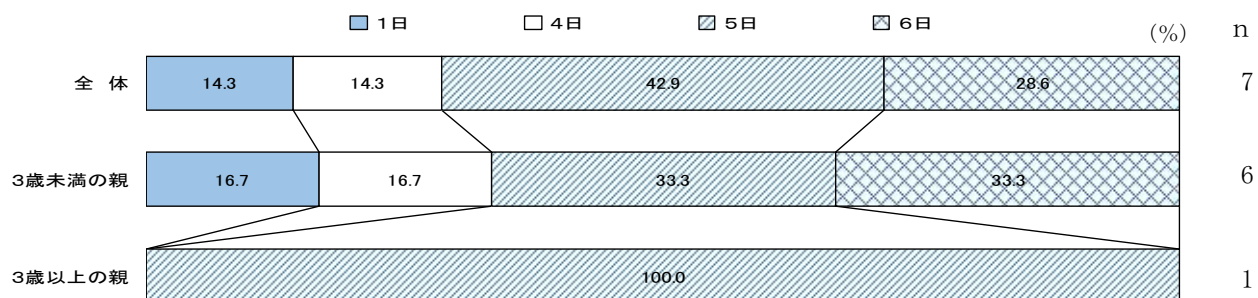


<終了時間>



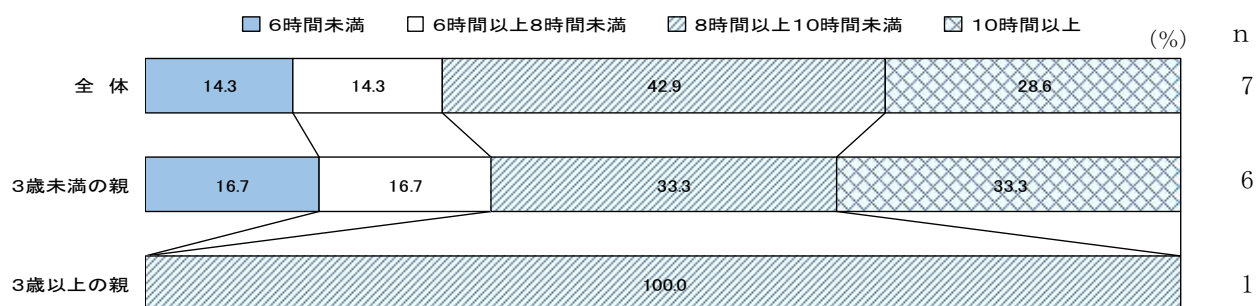
1 1. 事業所内保育事業（認可外）

【1週間あたりの利用日数】

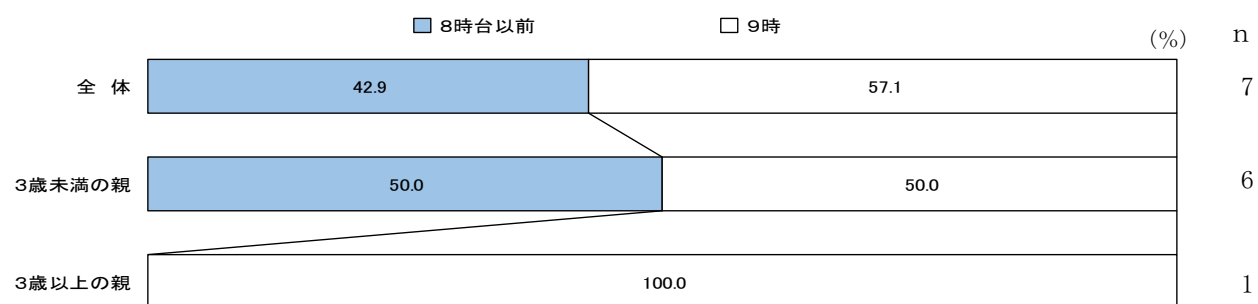


(※2日～3日、7日は回答者なし)

【1日あたりの利用時間】

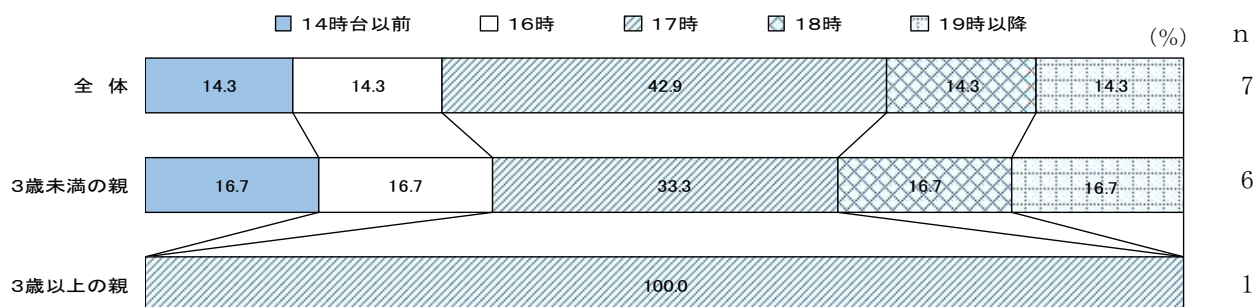


<開始時間>



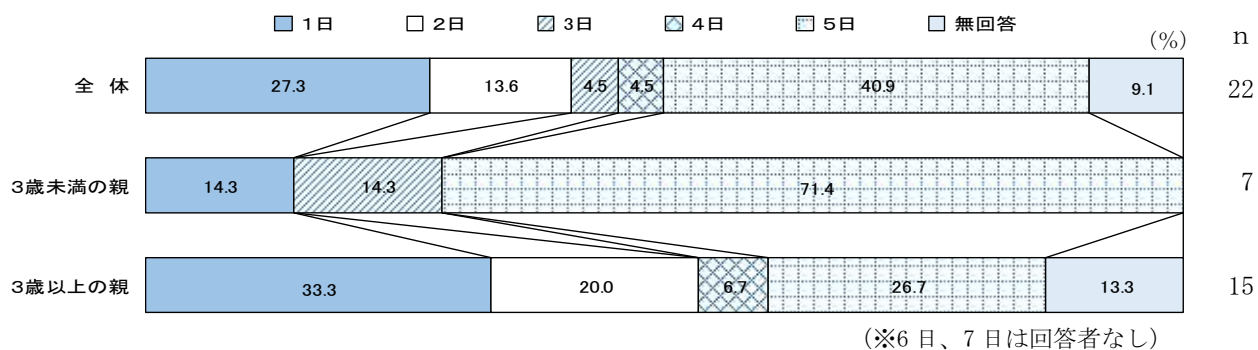
(※7時台以前、9時以降は回答者なし)

<終了時間>

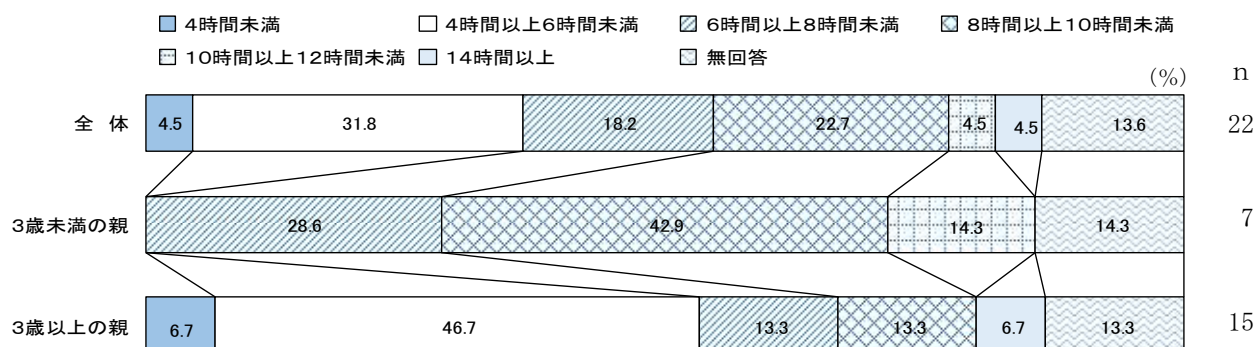


12. その他の保育施設（認可外保育施設、ベビーホテル等）

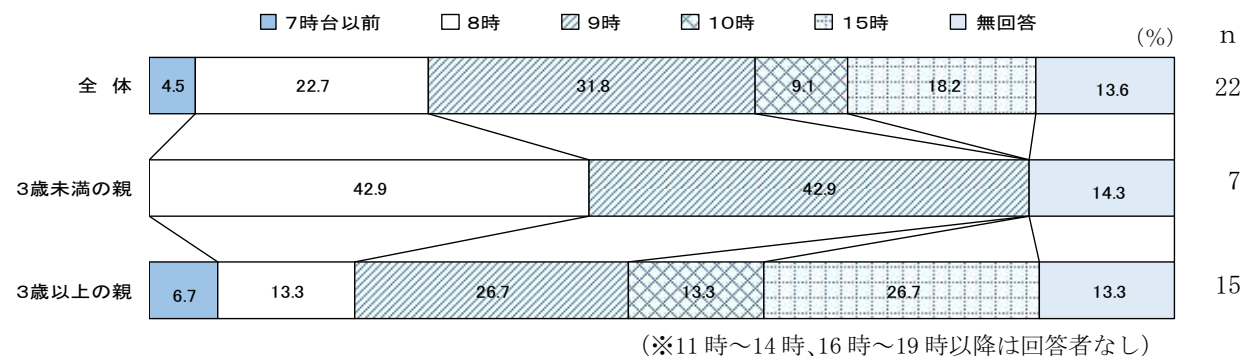
【1週間あたりの利用日数】



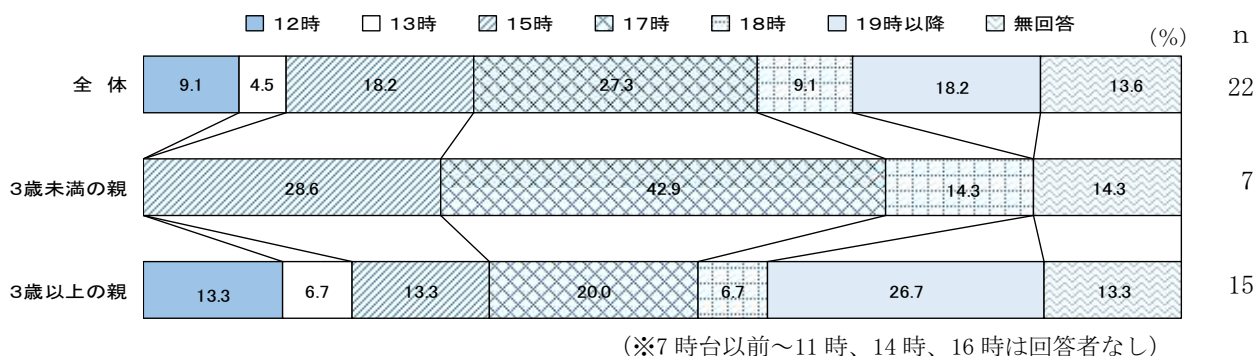
【1日あたりの利用時間】



<開始時間>

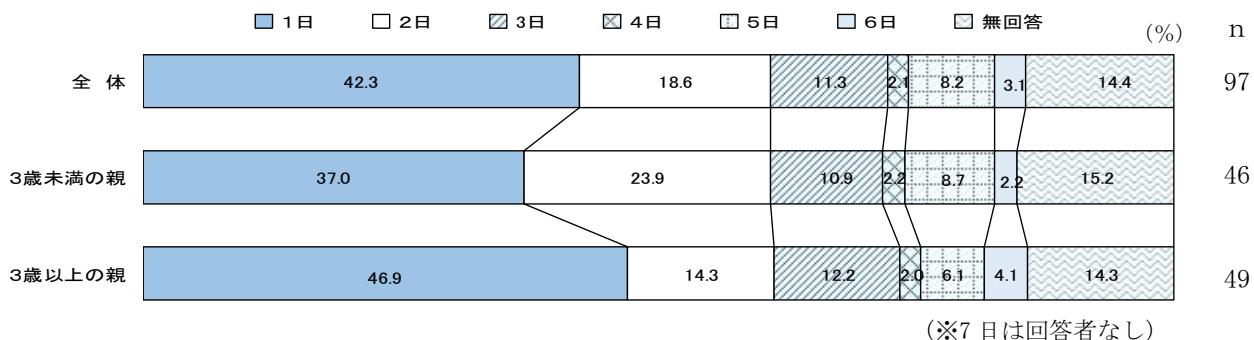


<終了時間>

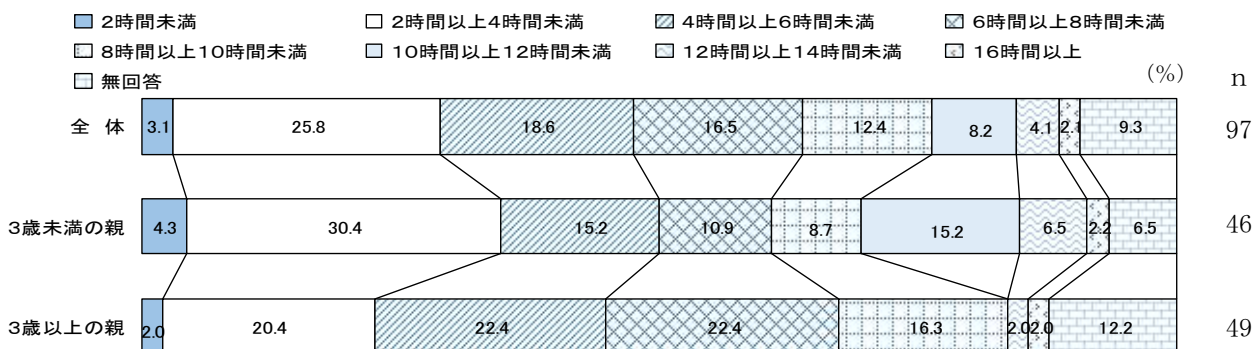


13. ベビーシッター（居宅型訪問事業）

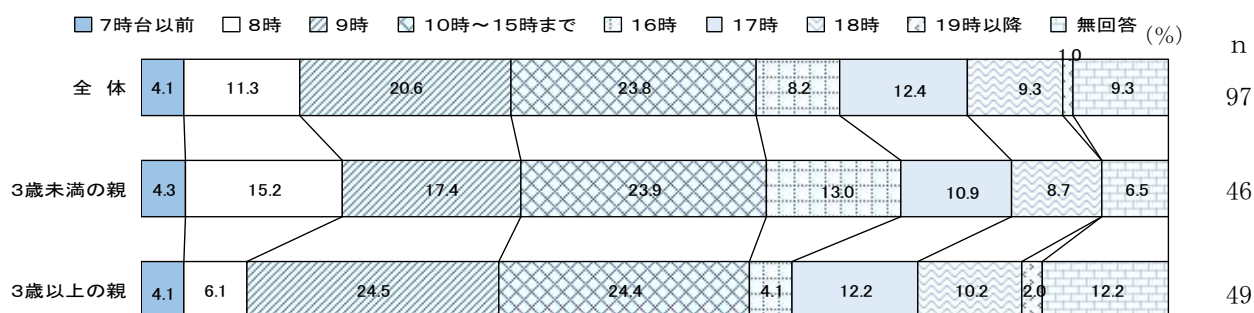
【1週間あたりの利用日数】



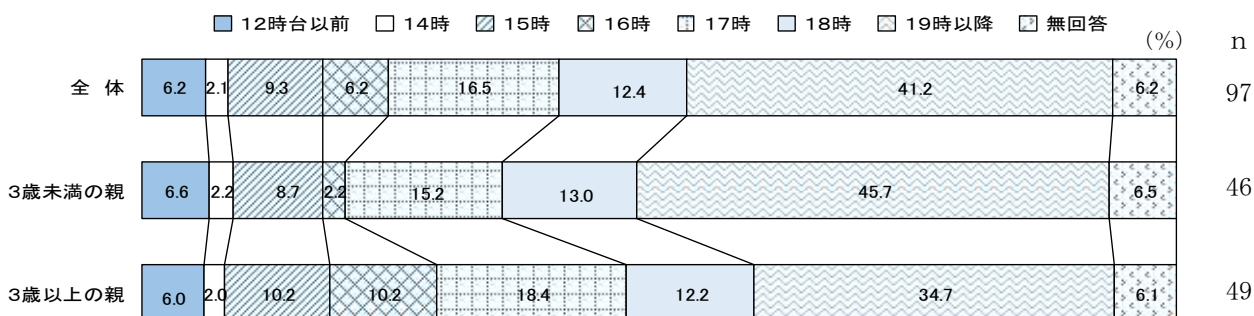
【1日あたりの利用時間】



<開始時間>

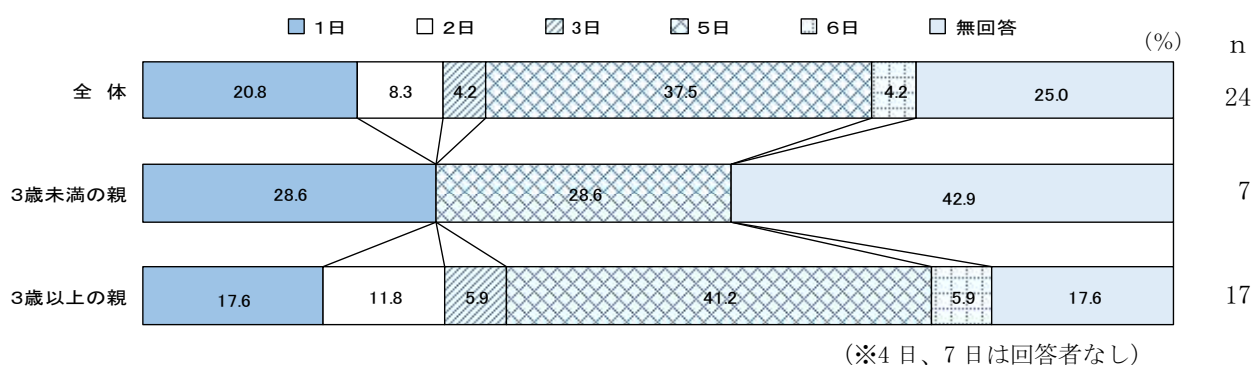


<終了時間>

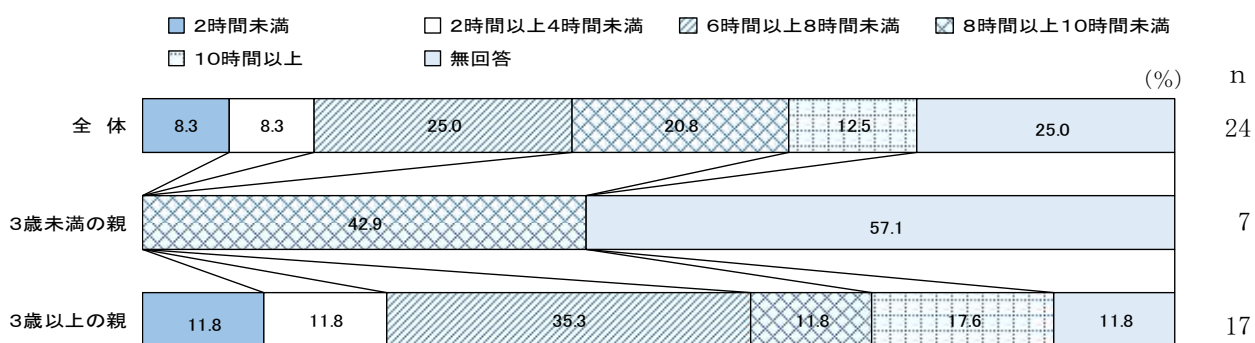


14. 療育機関・障害児通園施設

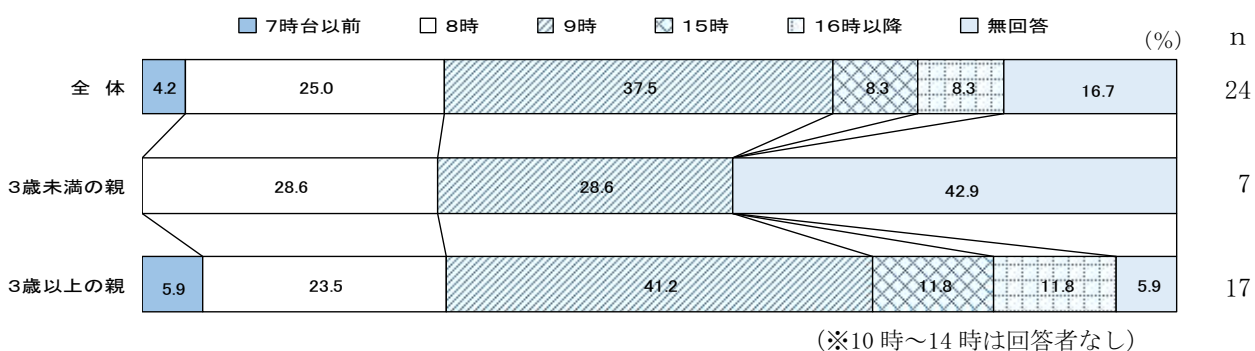
【1週間あたりの利用日数】



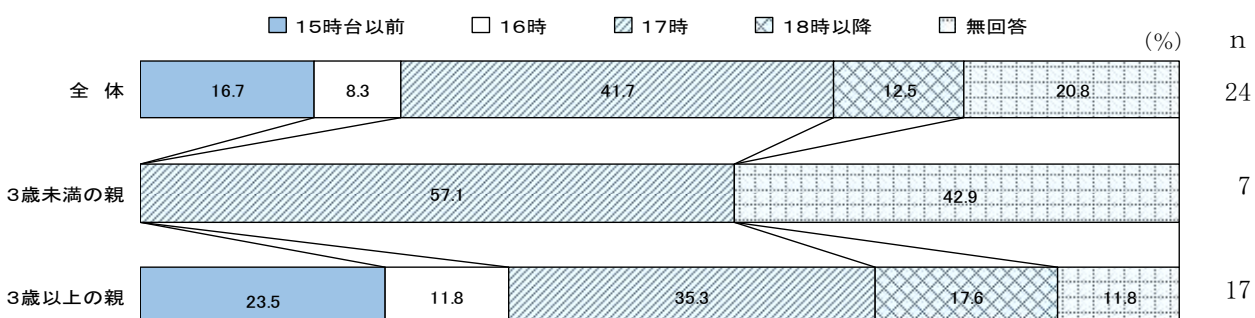
【1日あたりの利用時間】



<開始時間>

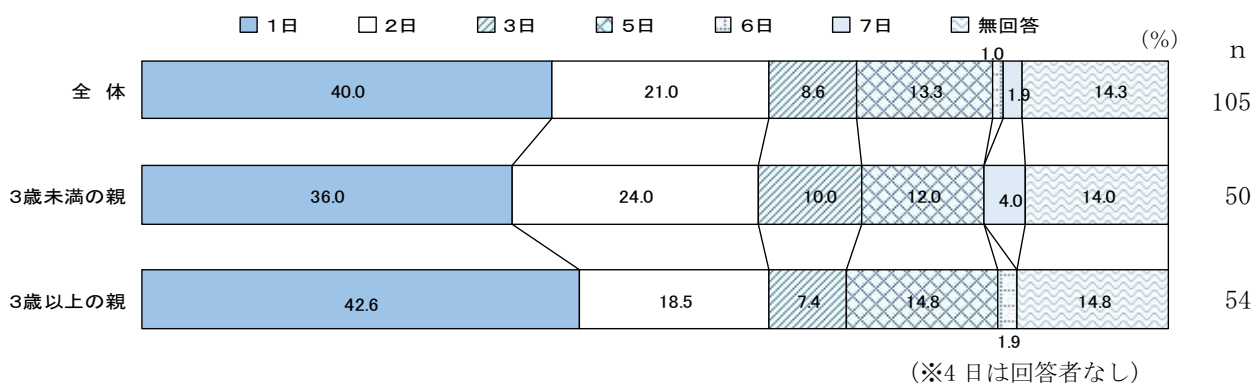


<終了時間>

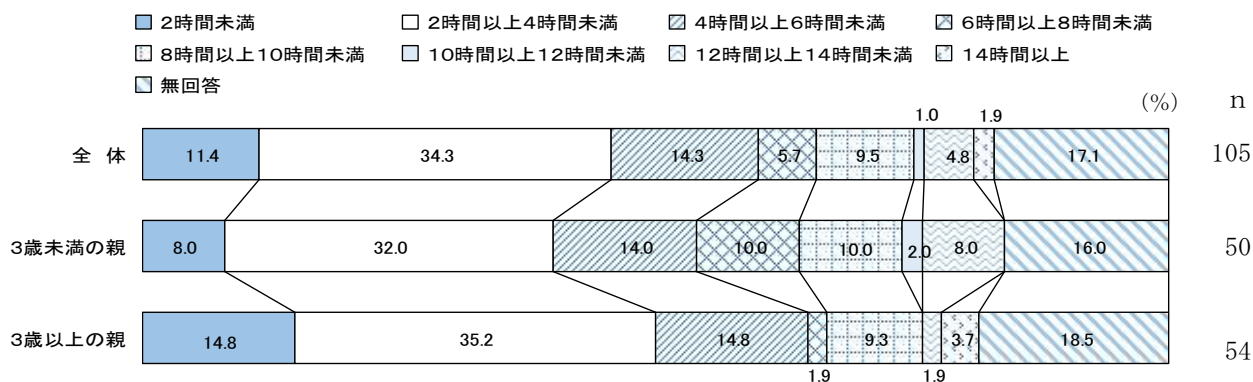


15. のびのび子育てサポート事業

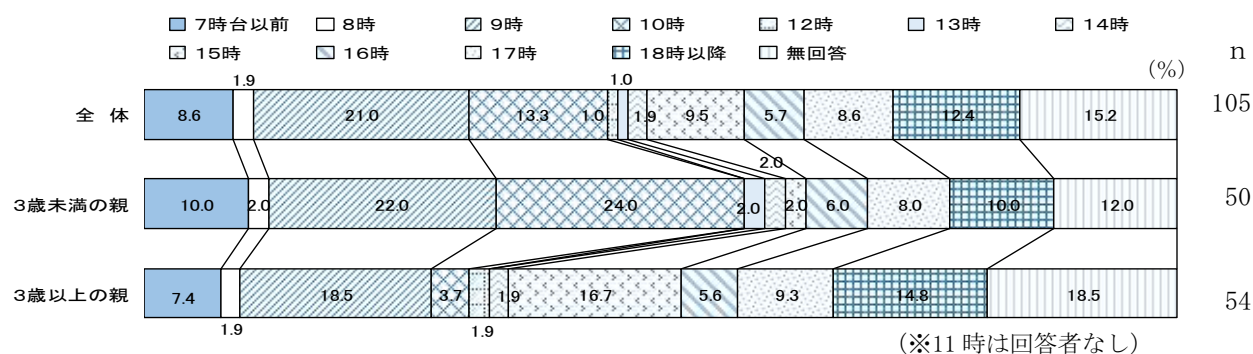
【1週間あたりの利用日数】



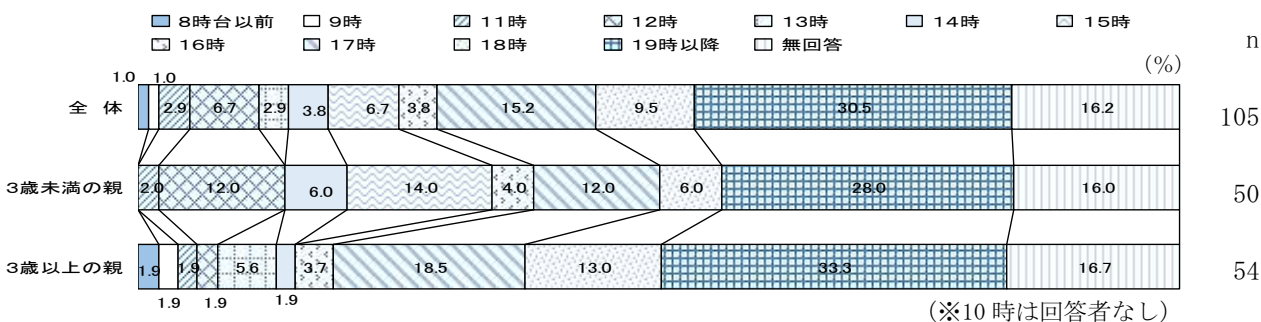
【1日あたりの利用時間】



<開始時間>



<終了時間>

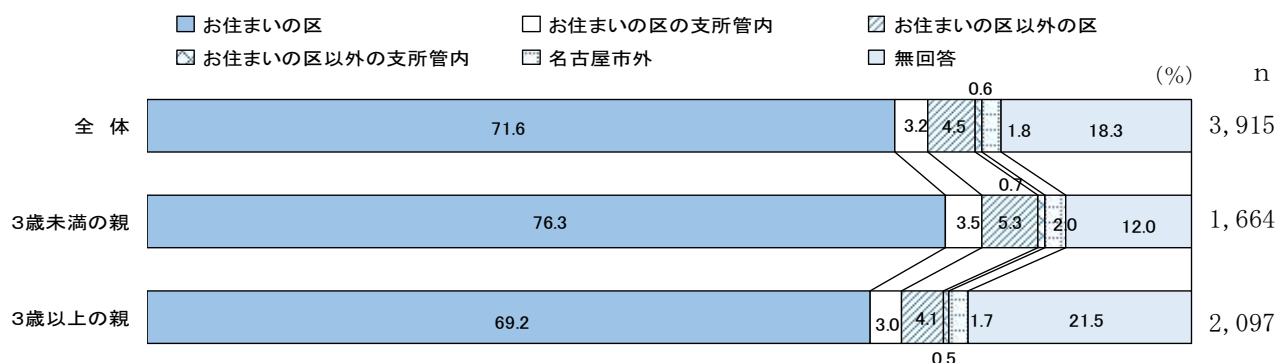


今後の教育・保育事業の利用希望の場所について（就学前）

【問 4 2】

■今後、利用したいと考えている教育・保育の事業の実施場所はどこですか。（1つ）

◇ 全体では「お住まいの区」が 71.6%、「お住まいの区以外の区」が 4.5%、「お住まいの区の支所管内」が 3.2%となっている。

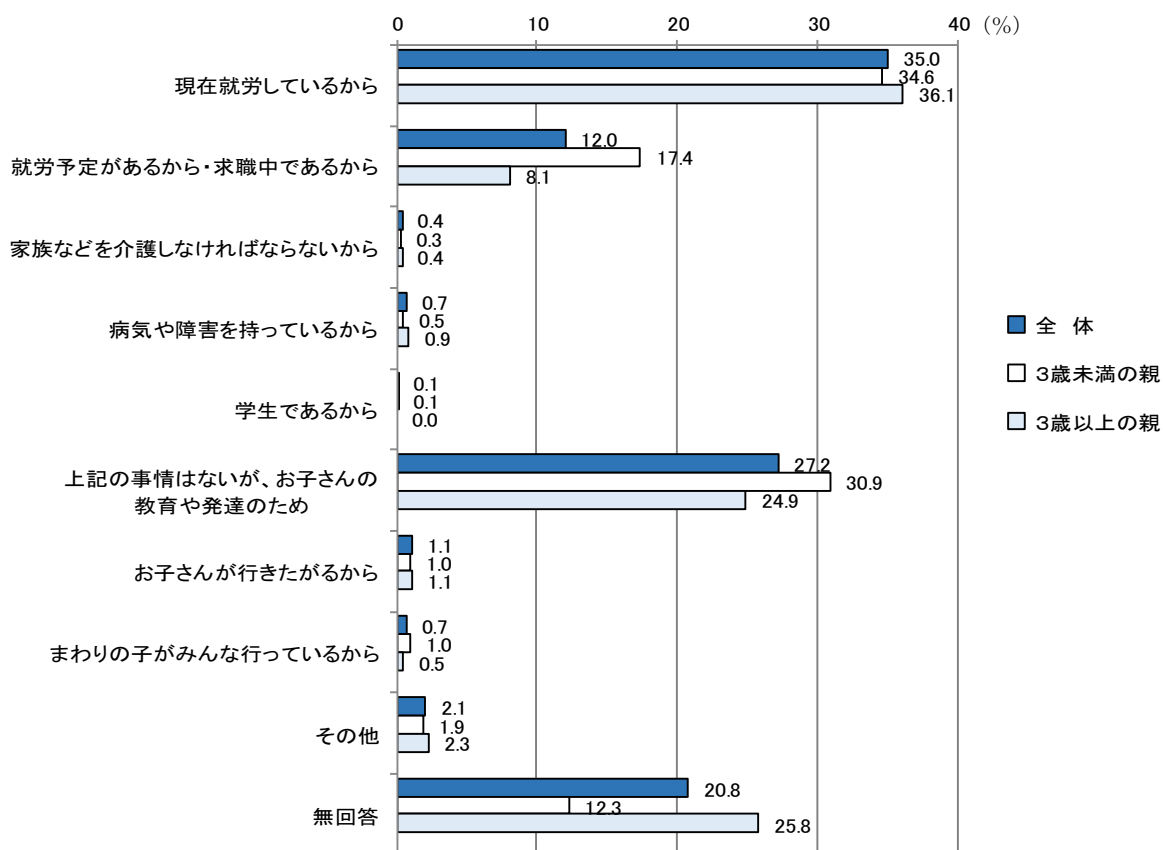


今後の教育・保育事業の利用希望の理由について（就学前）

【問 4 3】

■今後、教育・保育の事業を利用したいと考えている理由は何ですか。（1つ）

◇ 全体では、「現在就労しているから」が 35.0%と最も多い。



回答数 全体＝3,915 3歳未満の親＝1,664 3歳以上の親＝2,097

【前回調査との数値比較】

	現在就労しているから			就労予定・求職中のため		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	25.2	35.0	9.8	26.4	12.0	▲14.4
3歳未満の親	21.9	34.6	12.7	27.4	17.4	▲10.0
3歳以上の親	32.4	36.1	3.7	24.4	8.1	▲16.3

	お子さんの教育や発達のため		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	34.0	27.2	▲ 6.8
3歳未満の親	39.2	30.9	▲ 8.3
3歳以上の親	22.0	24.9	2.9

休日の教育・保育事業の利用希望について（就学前） 【問 4 4】

■土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（1つ）

（1）利用希望頻度

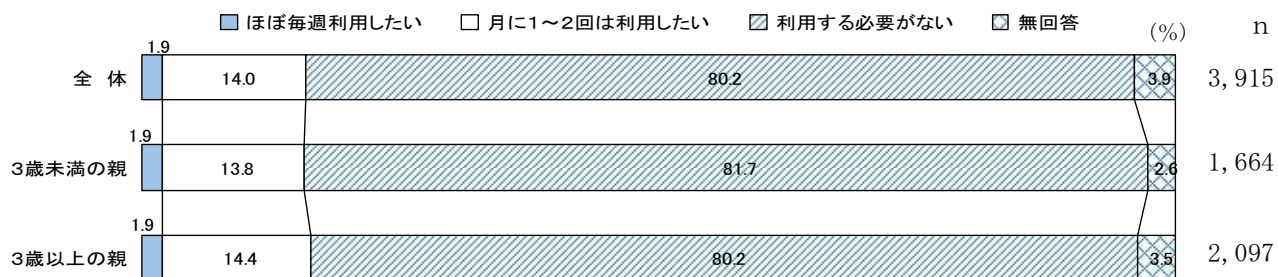
【土曜日】

◇ 全体では、「利用する必要がない」が 65.0%と最も多く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 23.2%、「ほぼ毎週利用したい」が 8.8%となっている。



【日曜日・祝日】

◇ 全体では、「利用する必要がある」が80.2%、次いで「月に1～2回は利用したい」が14.0%、「ほぼ毎週利用したい」が1.9%となっている。



(2) 利用希望時間

【土曜日】

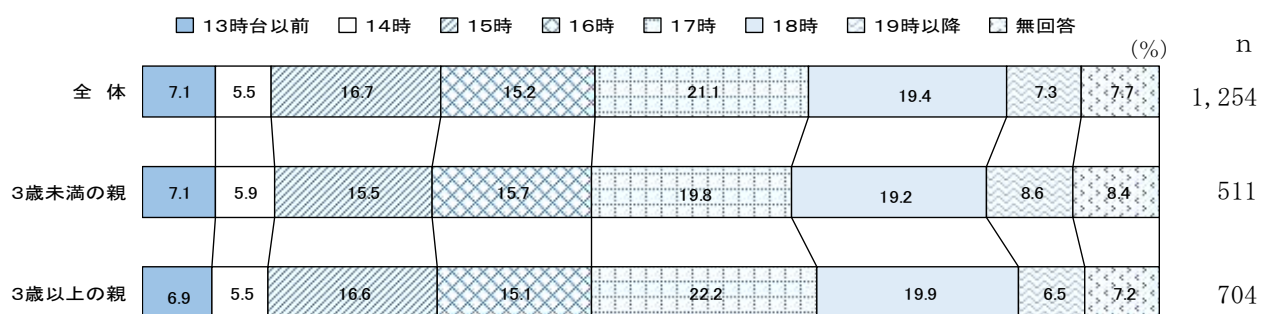
<開始時間>

◇ 全体では、「9時」からが40.6%、次いで「8時」からが34.0%となっている。



<終了時間>

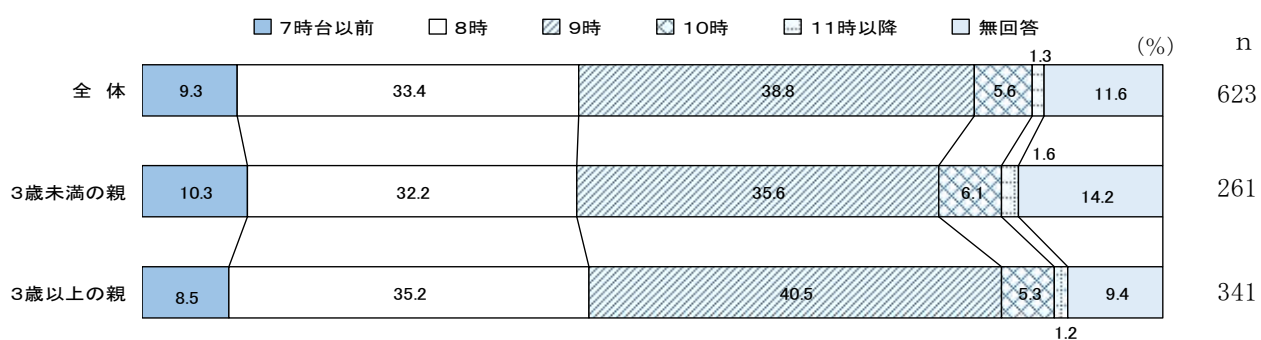
◇ 全体では、「17時」までが21.1%、「18時」までが19.4%、「15時」までが16.7%となっている。



【日曜日・祝日】

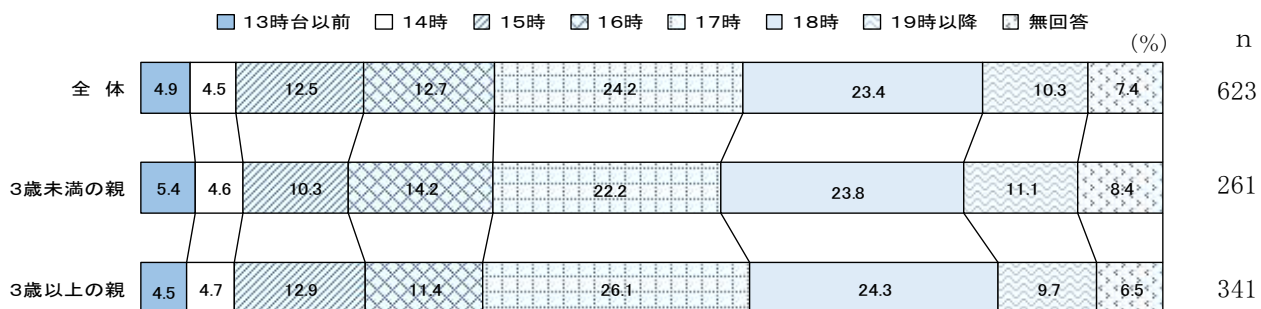
<開始時間>

◇ 全体では、「9時」からが38.8%、次いで「8時」からが33.4%となっている。



<終了時間>

◇ 全体では、「17時」までが24.2%、「18時」までが23.4%となっている。



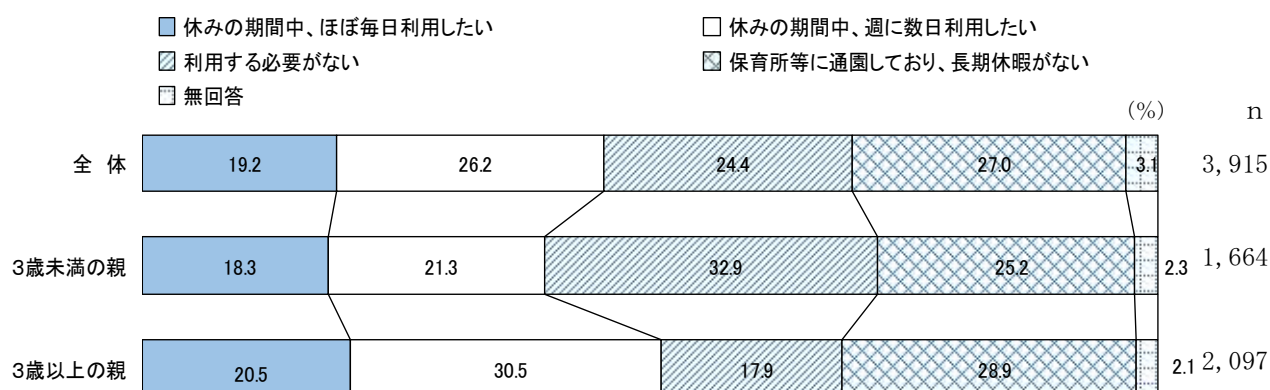
長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望について（就学前）

【問 4 5】

■ 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の、教育・保育の事業の利用希望はありますか。（1つ）

【利用希望頻度】

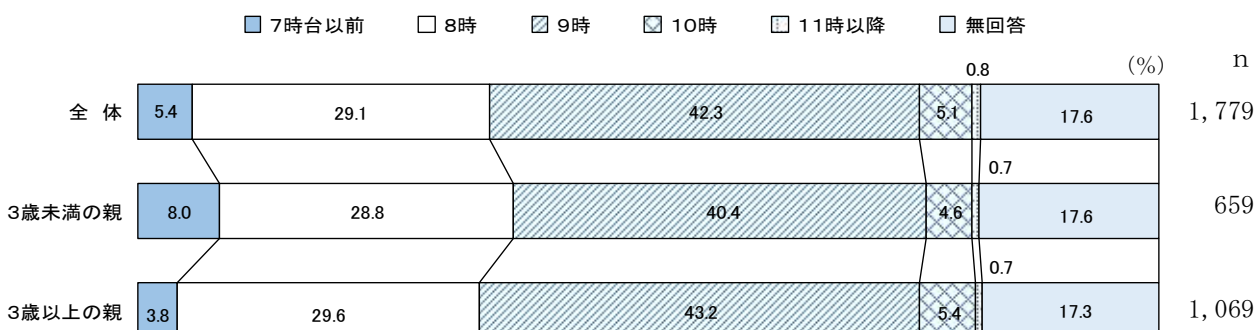
◇ 全体では、「保育所等に通園しており、長期休暇がない」が 27.0%、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が 26.2%、「利用する必要がない」が 24.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 19.2%となっている。



【利用希望時間】

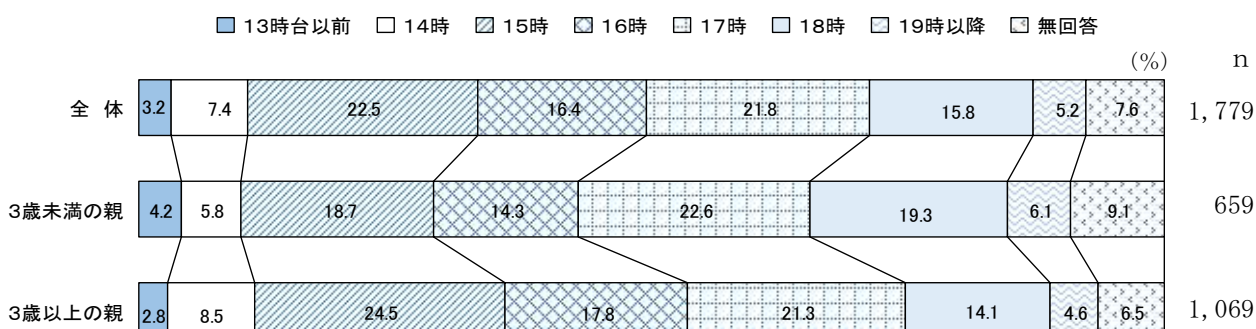
<開始時間>

◇ 全体では、「9 時」からが 42.3%、次いで「8 時」からが 29.1%となっている。



<終了時間>

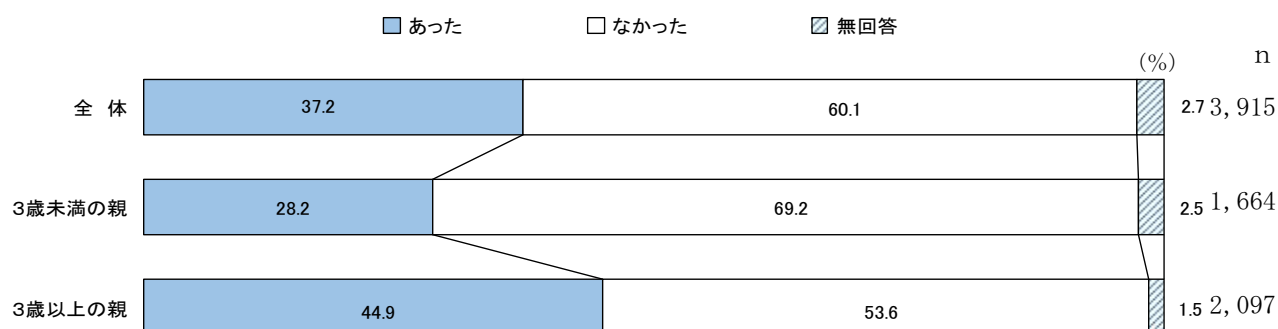
◇ 全体では「15 時まで」が 22.5%、「17 時まで」が 21.8%、「16 時まで」が 16.4%となっている。



お子さんが病気やケガ等のときについて（就学前） 【問 4 6】

■この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガ等の際に、最も多く利用している教育・保育の事業を利用しようとして、できなかったことはありますか。（１つ）

◇ 全体では、「あった」が 37.2%、「なかった」が 60.1%となっている。



【前回調査との数値比較】

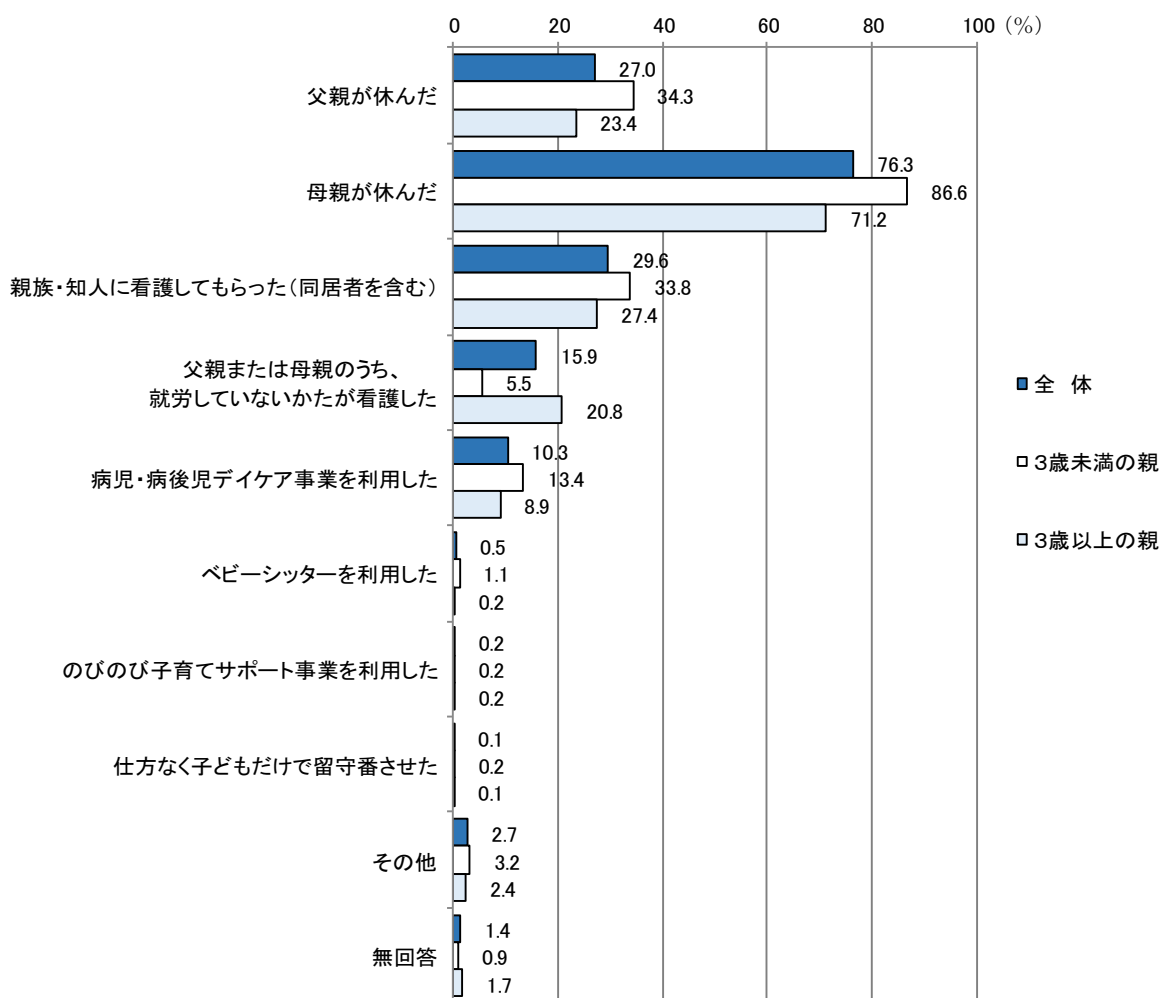
	利用できないことがあった		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
全体	30.0	37.2	7.2
3歳未満の親	24.5	28.2	3.7
3歳以上の親	35.9	44.9	9.0

教育・保育の事業が利用できなかった場合の対応について（就学前）

【問４７】

■教育・保育の事業を利用しようとして、できなかった場合に、どのように対応しましたか。（複数回答）

◇ 全体では「母親が休んだ」が 76.3%、「（同居者を含む）親族・知人に看護してもらった」が 29.6%、「父親が休んだ」が 27.0%となっている。また、「病児・病後児デイケア事業を利用した」は 10.3%である。

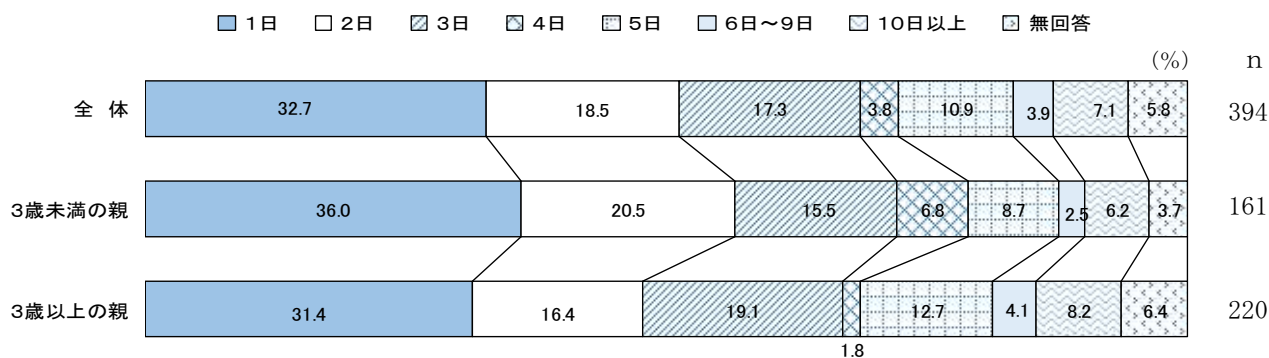


回答数 全体＝2,389 3歳未満の親＝842 3歳以上の親＝1,472

【休んだ日数（年間）】

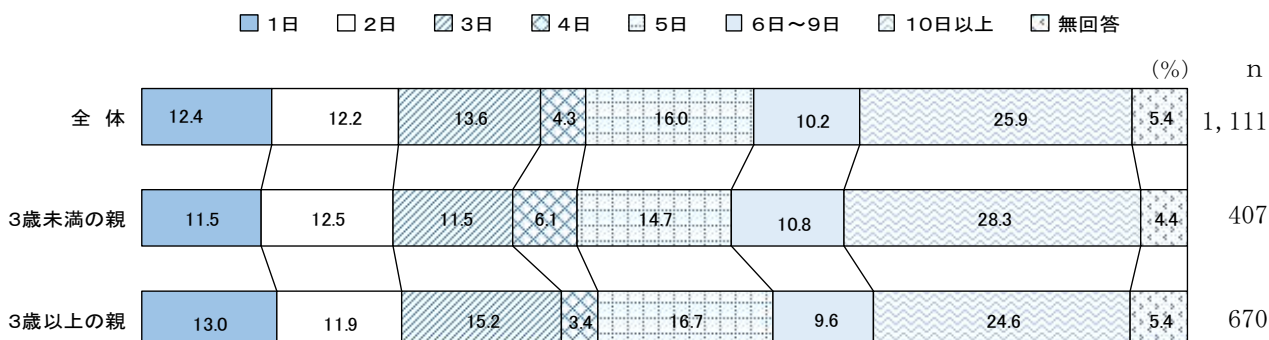
1. 父親が休んだ

◇ 全体では、「年に1日」が32.7%、次いで「年に2日」が18.5%、「年に3日」が17.3%、「年に5日」が10.9%となっている。



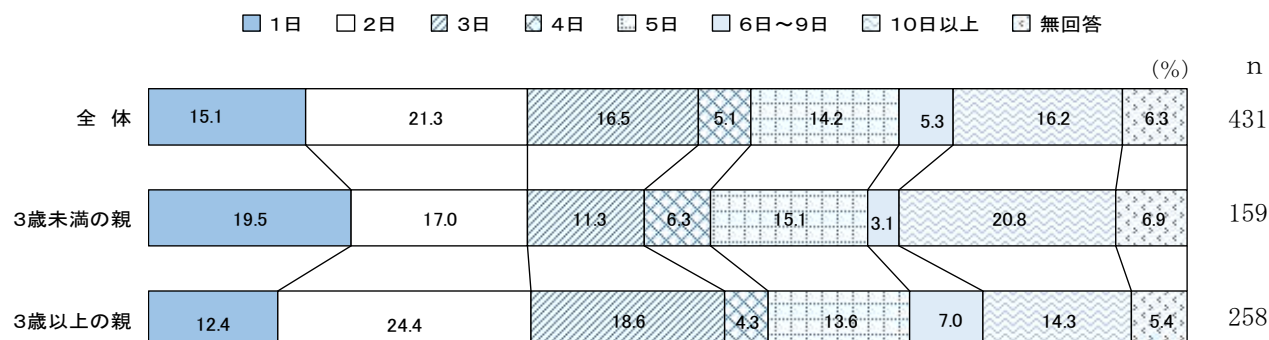
2. 母親が休んだ

◇ 全体では、「年に10日以上」が25.9%、次いで「年に5日」が16.0%、「年に3日」が13.6%、「年に1日」が12.4%となっている。



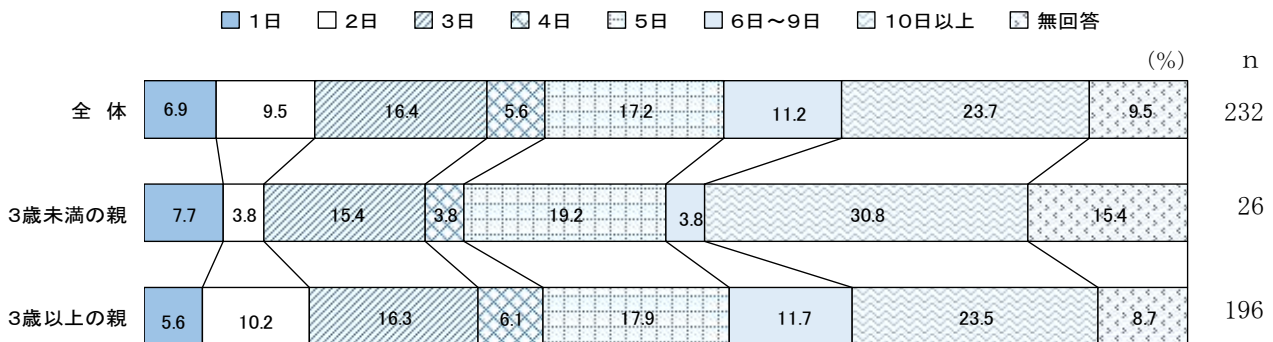
3. 親族・知人に看護してもらった（同居者を含む）

◇ 全体では、「年に2日」が21.3%、次いで「年に3日」が16.5%となっている。



4. 父親または母親のうち、就労していないかたが看護した

◇ 全体では、「年に10日以上」が23.7%、次いで「年に5日」が17.2%となっている。



5. 病児・病後児デイケア事業を利用した

◇ 全体では、「年に2日」が22.0%、次いで「年に1日」が19.3%となっている。

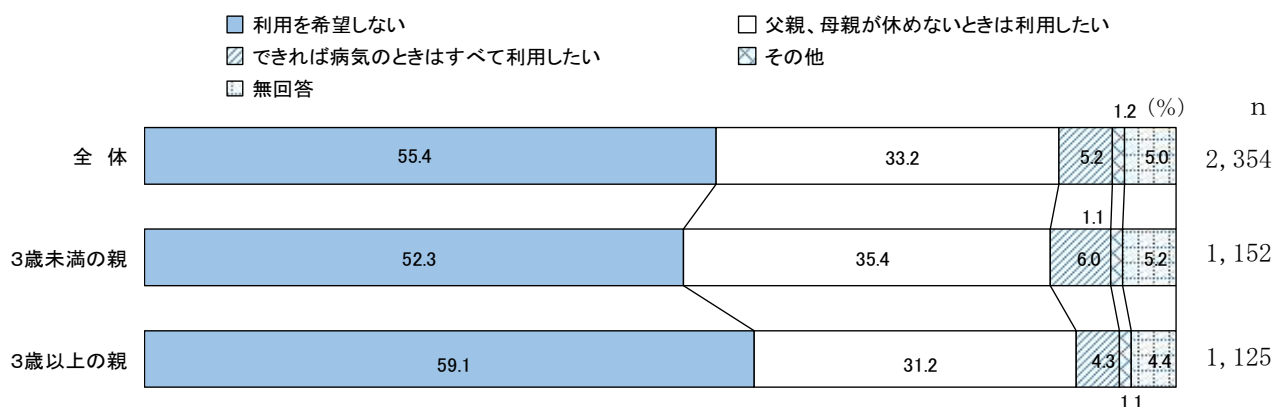


病児・病後児保育施設の利用希望について（就学前）

【問 4 8】

■教育・保育の事業を利用しようとして、できないときに「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思いますか。（1つ）

◇ 全体では、「利用を希望しない」が 55.4%と最も多く、次いで「父親、母親が休めないときは利用したい」が 33.2%となっている。



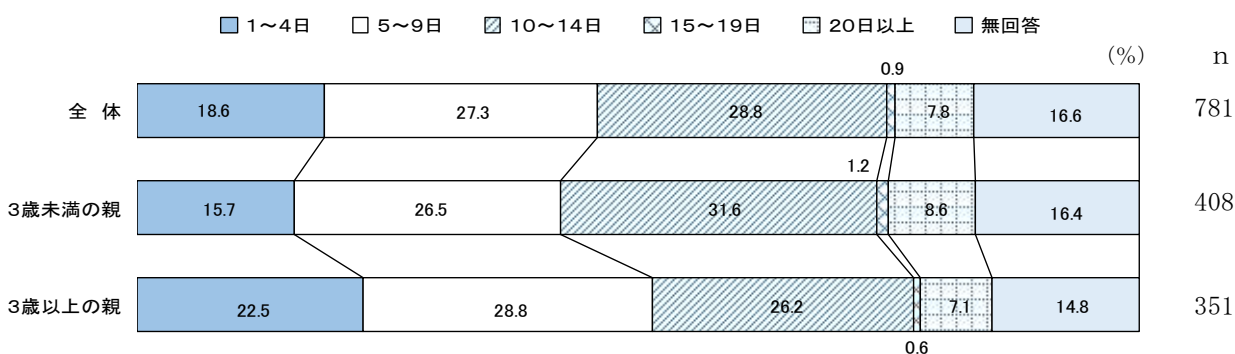
【前回調査との数値比較】

	平成 25 年	平成 30 年	変化量
利用を希望しない	56.3	55.4	▲ 0.9
父親、母親が休めないときは利用したい	31.2	33.2	2.0
できれば病気のときはすべて利用したい	4.8	5.2	0.4

【利用希望日数】

<父親、母親が休めないときは利用したい>

◇ 全体では、「年に 10～14 日」が 28.8%と最も多く、次いで「年に 5～9 日」が 27.3%、「年に 1～4 日」が 18.6%となっている。

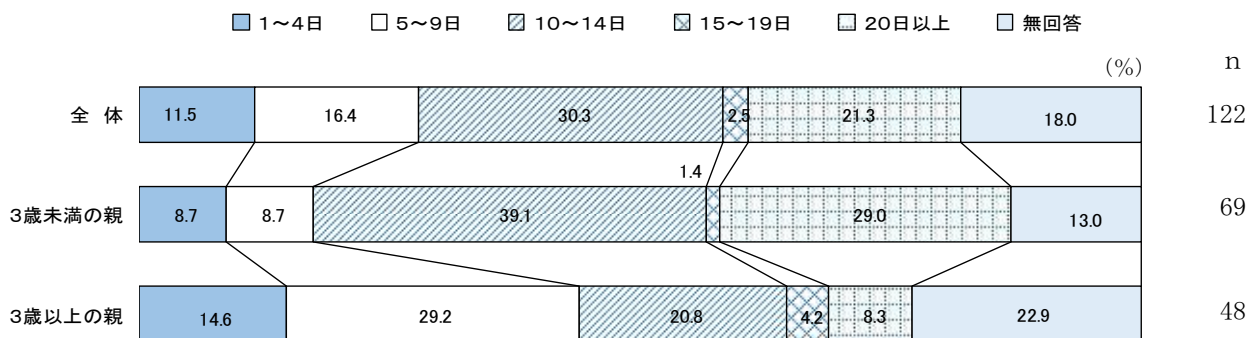


【前回調査との数値比較】

	平成 25 年	平成 30 年	変化量
1 ～ 4 日	19.5	18.6	▲ 0.9
5 ～ 9 日	28.7	27.3	▲ 1.4
10 ～ 14 日	21.4	28.8	7.4

<できれば病気のときはすべて利用したい>

◇ 全体では、「年に10～14日」が30.3%と最も多く、次いで「年に20日以上」が21.3%、「年に5～9日」が16.4%となっている。



【前回調査との数値比較】

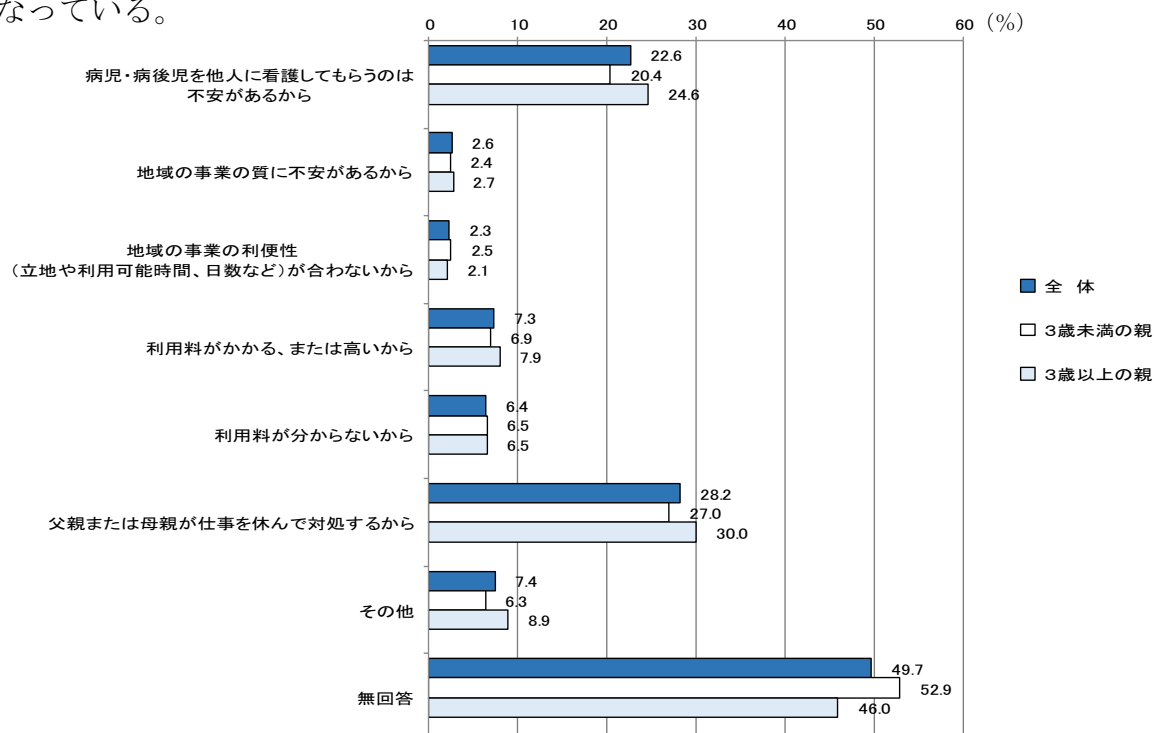
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
1 ～ 4 日	9.6	11.5	1.9
5 ～ 9 日	22.5	16.4	▲ 6.1
10 ～ 14 日	21.1	30.3	9.2

病児・病後児保育を希望しない理由について（就学前）

【問 4 9】

■利用を希望しない理由で、あてはまるものを選んで下さい。（複数回答）

◇ 全体では、「父親または母親が仕事を休んで対処するから」が 28.2%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安があるから」が 22.6%となっている。



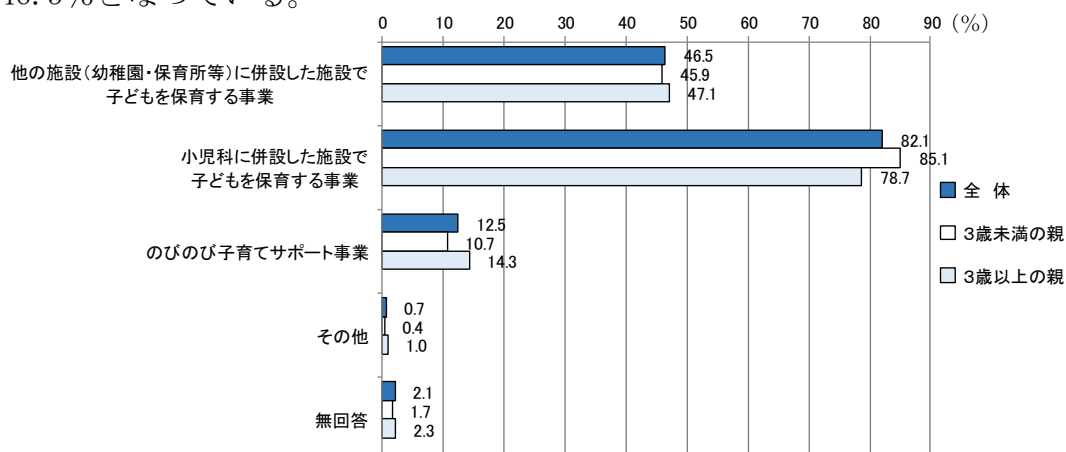
回答数 全体=1,935 3歳未満の親=889 3歳以上の親=988

病児・病後児保育を利用する場合の理想の事業形態について（就学前）

【問 5 0】

■利用する場合に望ましい事業形態で、あてはまるものを選んでください。（複数回答）

◇ 全体では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 82.1%と最も多く、次いで「他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 46.5%となっている。

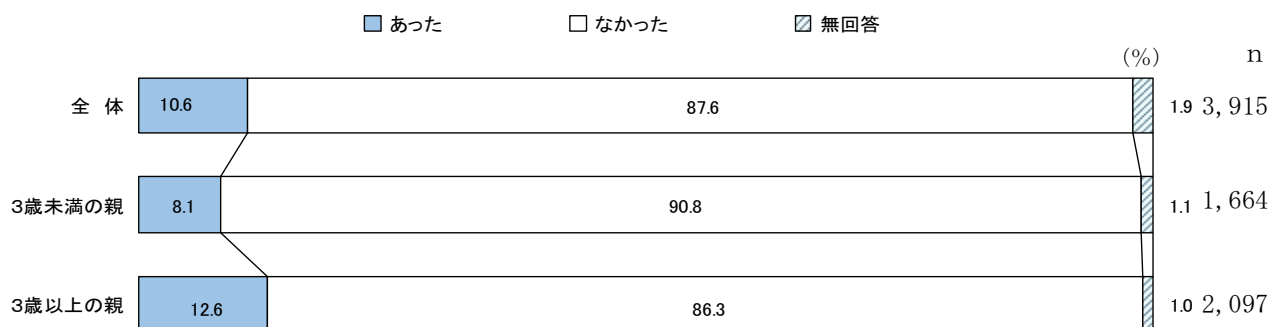


回答数 全体=1,299 3歳未満の親=686 3歳以上の親=572

お子さんの一時預かりについて（就学前） 【問 5 1】

■この一年間で、日中の定期的な保育や病気のため以外に、あて名のお子さんについて、不定期に一時預かり等の事業を利用しましたか。（1つ）

◇ 全体では、「あった」が10.6%、「なかった」が87.6%となっている。

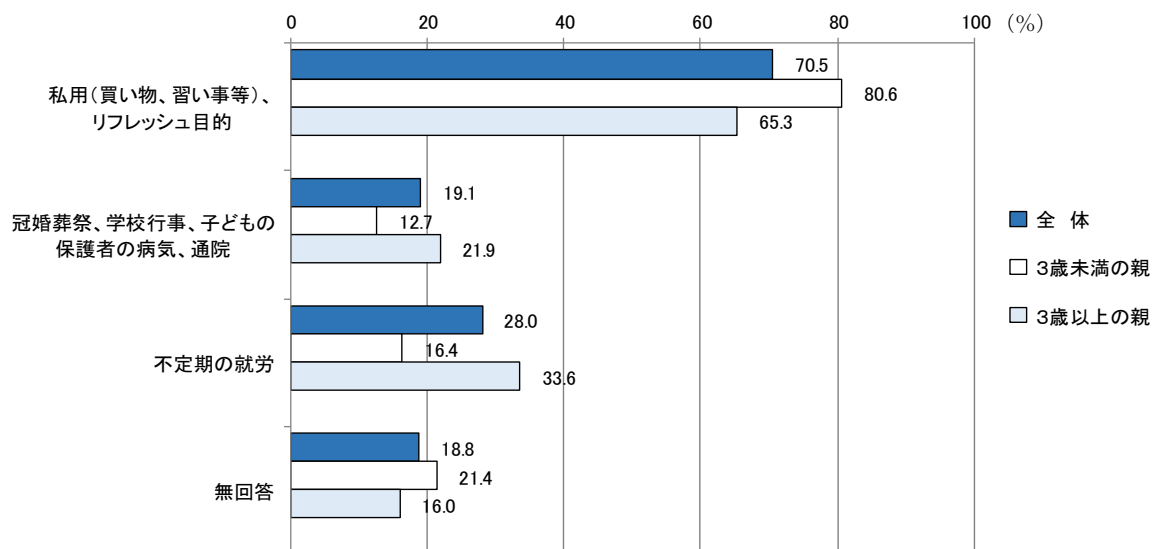


お子さんの一時預かりの理由について（就学前） 【問 5 2】

■一時預かり等の事業を利用された理由別に、利用した教育・保育の事業を選び、その日数を記入してください。（複数回答）

【理由】

◇ 全体では「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が70.5%と最も多く、次いで「不定期の就労」が28.0%、「冠婚葬祭、子どもの親の病気や妊娠・出産時」が19.1%となっている。

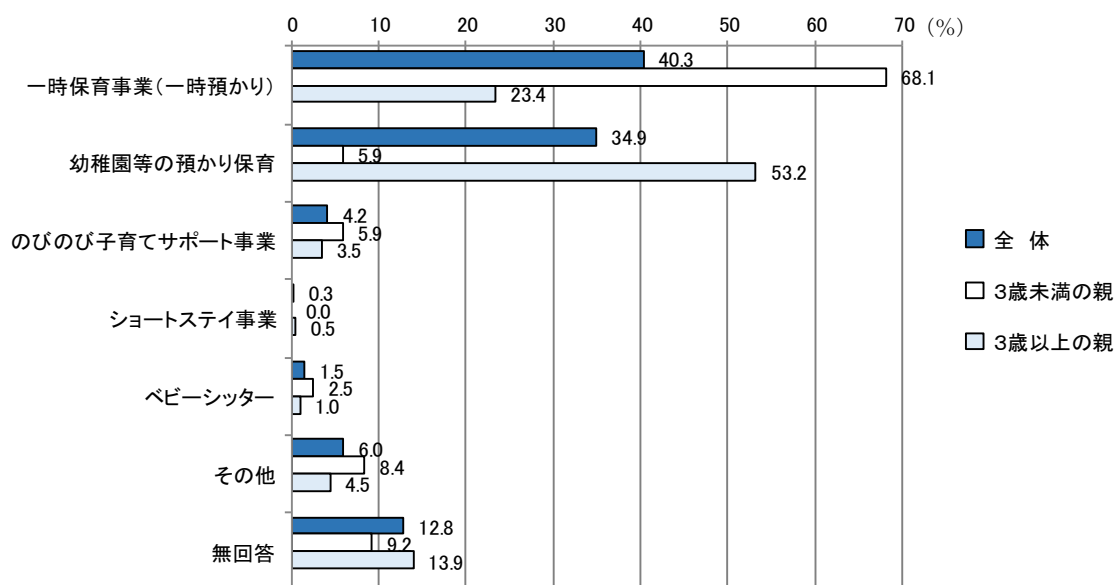


回答数 全体=335 3歳未満の親=119 3歳以上の親=201

【利用した教育・保育の事業及び日数】

（１）私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的

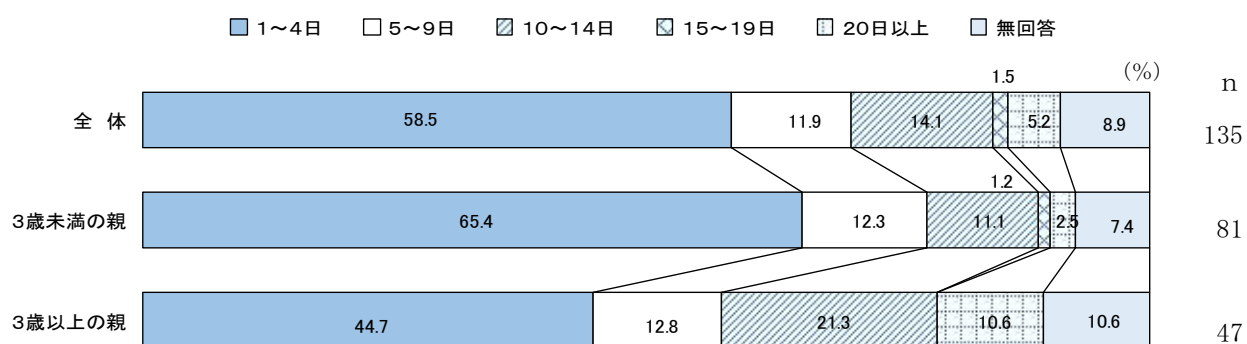
◇ 全体では、「一時保育事業（一時預かり）」が 40.3%と最も多く、次いで「幼稚園等の預かり保育」が 34.9%となっている。



回答数 全体=335 3歳未満の親=119 3歳以上の親=201

【利用日数】

○ 一時保育事業（一時預かり）



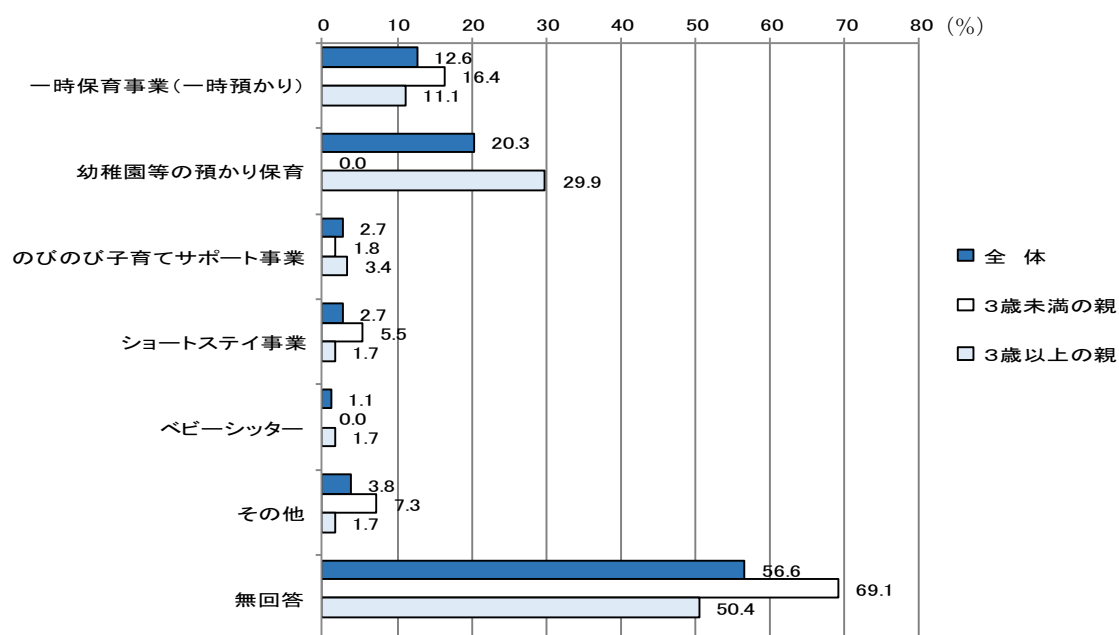
○ 幼稚園等の預かり保育



(※3歳未満の親は回答者が少ないため省略)

(2) 冠婚葬祭、子どもの親の病気や妊娠・出産時

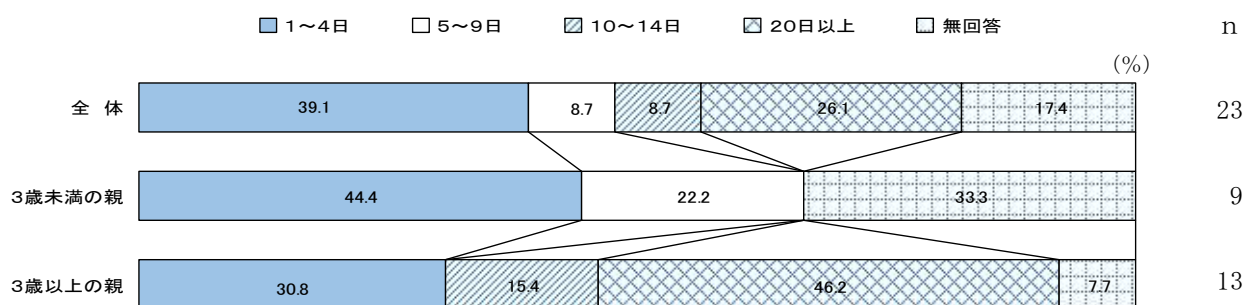
◇ 全体では、「幼稚園等の預かり保育」が20.3%、次いで「一時保育事業（一時預かり）」が12.6%となっている。



回答数 全体=182 3歳未満の親=55 3歳以上の親=117

【利用日数】

○ 一時保育事業（一時預かり）



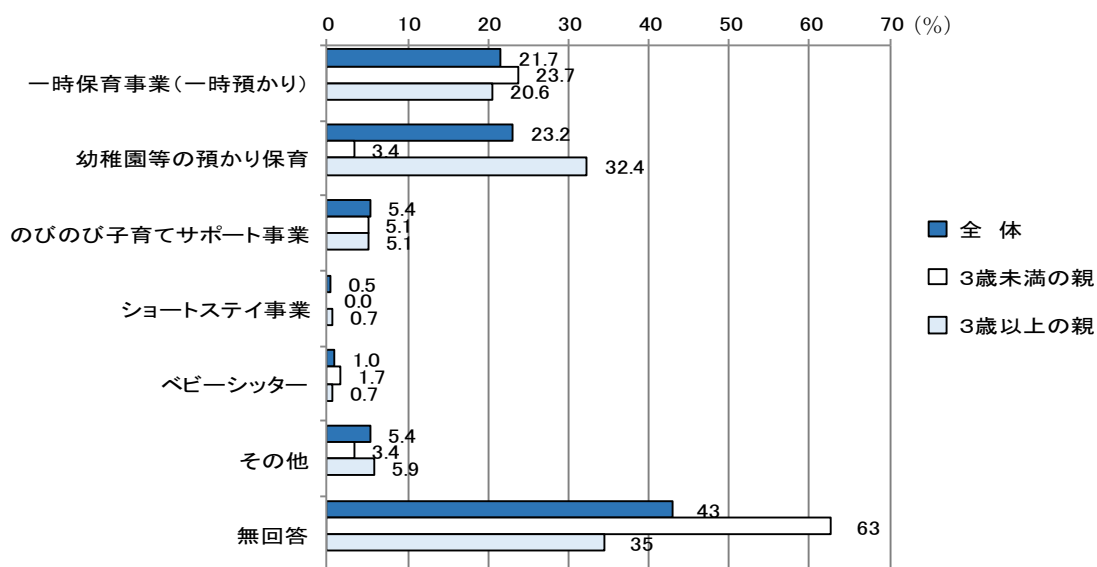
○ 幼稚園等の預かり保育



(※3歳未満の親は回答者が少ないため省略)

(3) 不定期の就労

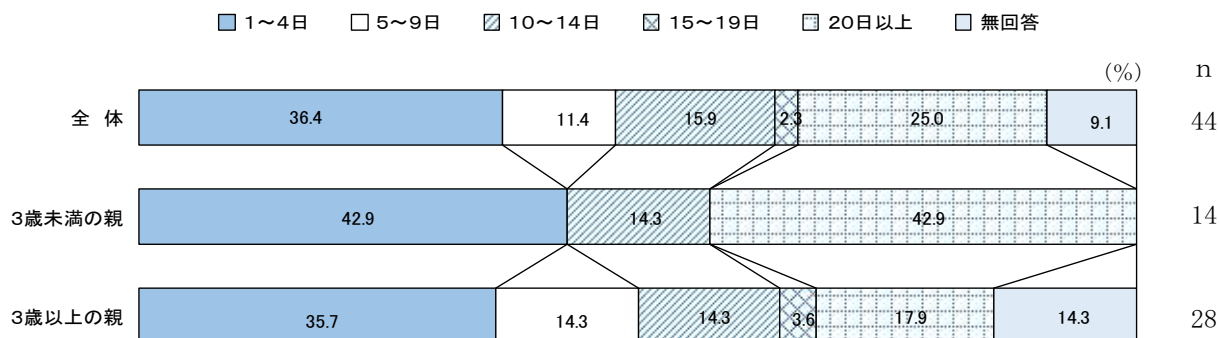
◇ 全体では、「幼稚園等の預かり保育」が23.2%、次いで「一時保育事業（一時預かり）」が21.7%となっている。



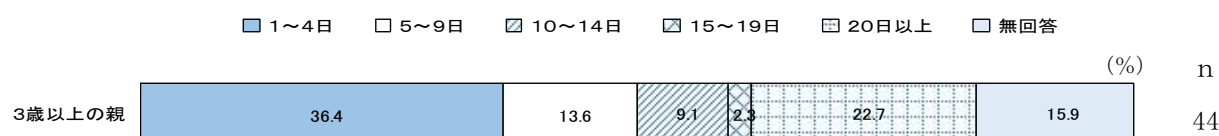
回答数 全体=203 3歳未満の親=59 3歳以上の親=136

【利用日数】

○ 一時保育事業（一時預かり）



○ 幼稚園等の預かり保育



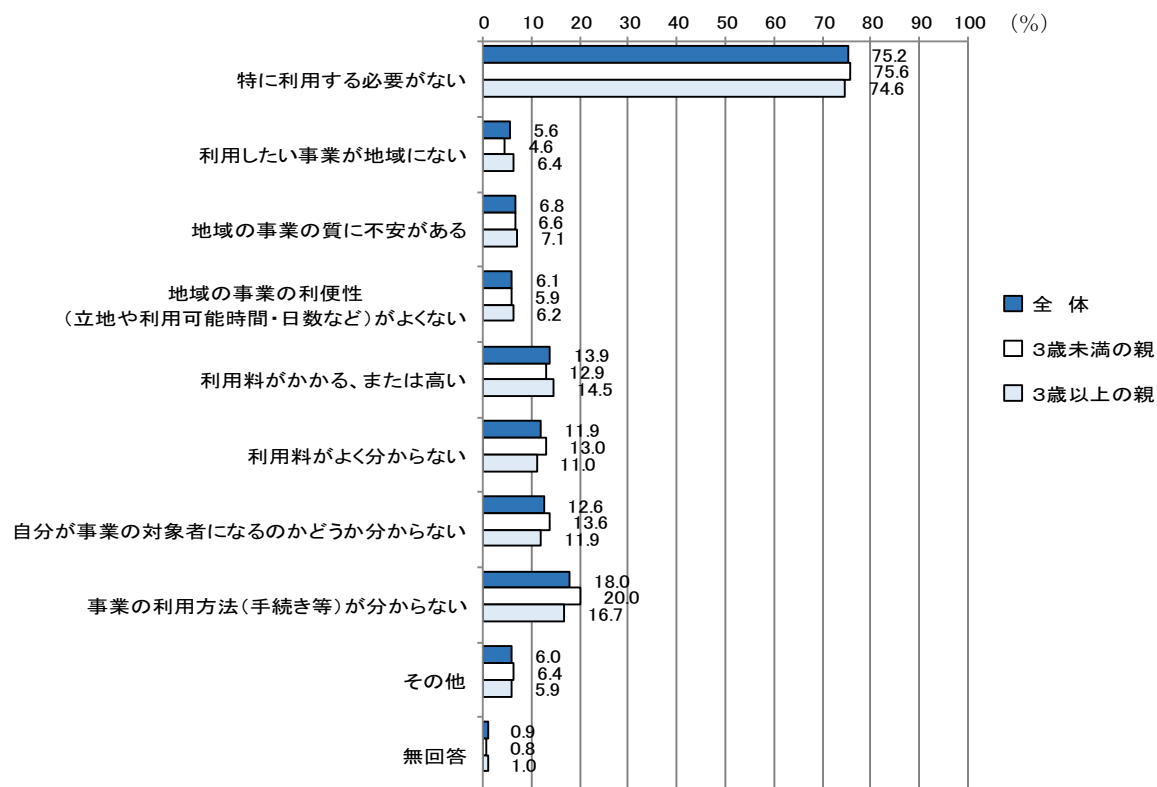
(※3歳未満の親は回答者が少ないため省略)

一時預かり等の事業を利用しない理由について（就学前）

【問 5 3】

■一時預かり等の不定期の事業を現在利用していない理由で、あてはまるものを選んでください。（複数回答）

◇ 全体では、「特に利用する必要がない」が 75.2%と最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）が分からない」が 18.0%となっている。



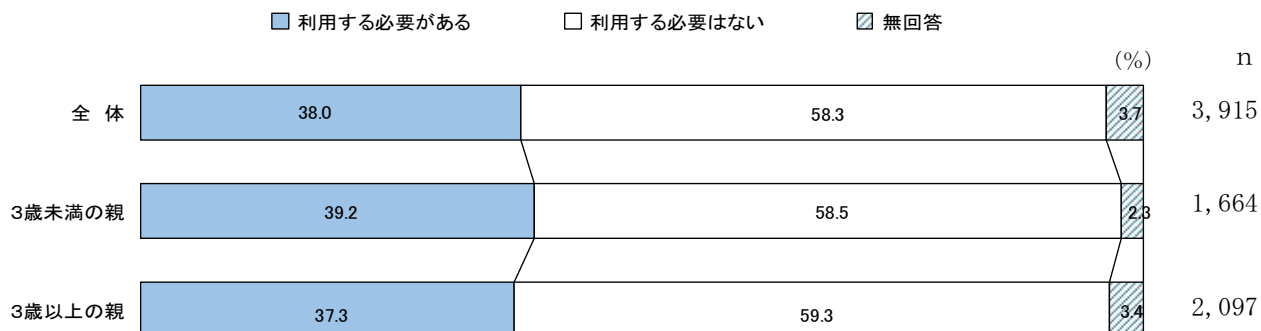
回答数 全体＝5,382 3歳未満の親＝2,407 3歳以上の親＝2,813

一時預かり等の事業を利用する必要について（就学前）

【問 5 4】

■今後、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等の不定期の事業を利用する必要があると思いますか。（1つ）

◇ 全体では、「利用する必要はない」が 58.3%で、「利用する必要がある」が 38.0%となっている。

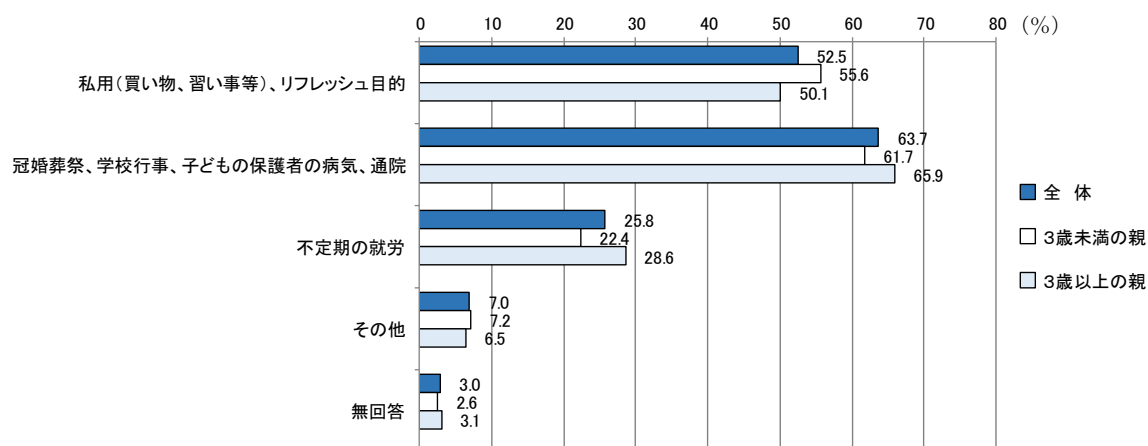


一時預かり等の事業を利用する理由について（就学前）

【問 5 5】

■一時預かり等の不定期の事業を利用する必要があると思う理由で、あてはまるものを選び、利用を希望する日数を数字で記入してください。（複数回答）

◇ 全体では「冠婚葬祭、学校行事、子どもの保護者の病気、通院」が 63.7%と最も多く、次いで「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が 52.5%となっている。

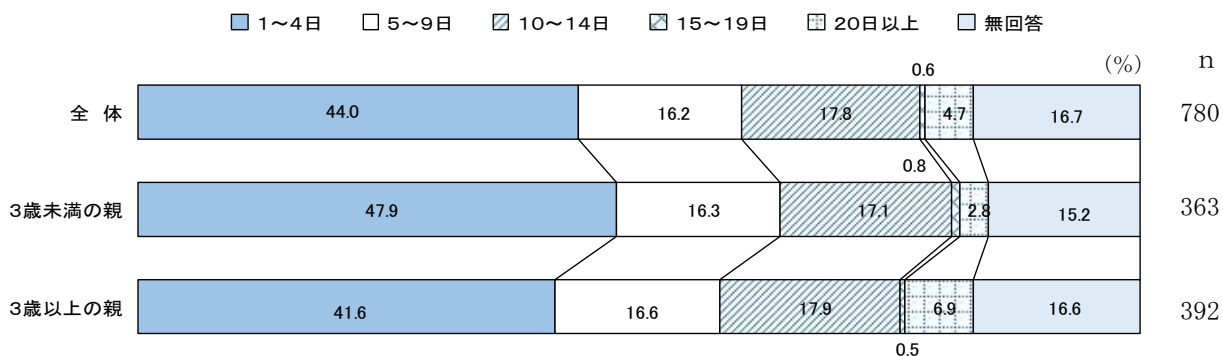


回答数 全体=2,258 3歳未満の親=976 3歳以上の親=1,206

【利用希望日数】

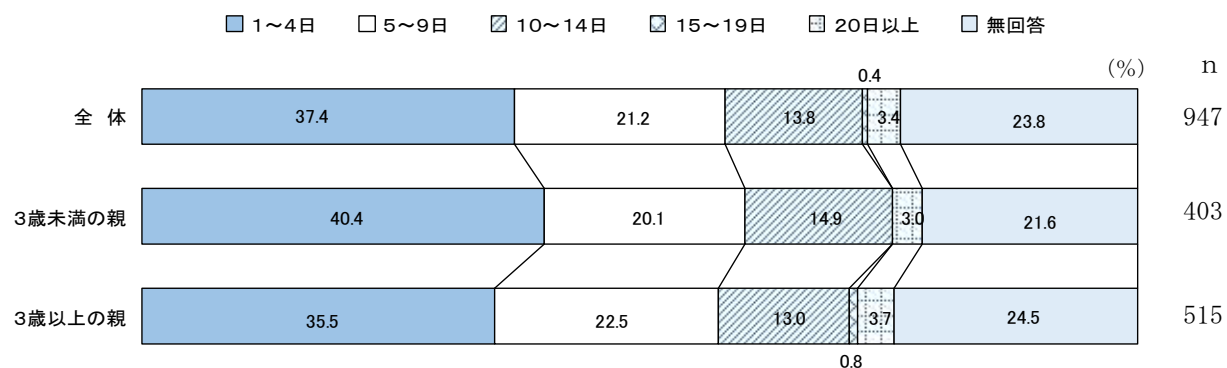
1. 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的

◇ 全体では、「年に1～4日」が 44.0%と最も多く、次いで「年に10～14日」が 17.8%、「年に5～9日」が 16.2%となっている。



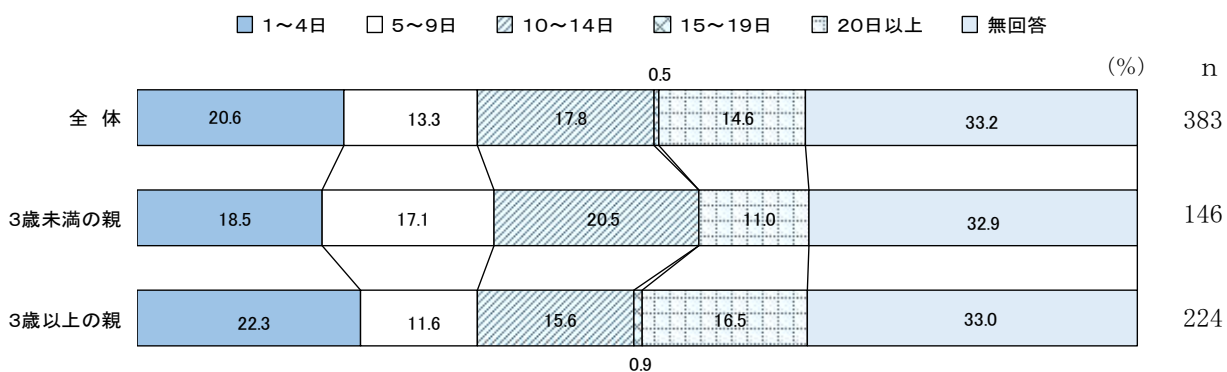
2. 冠婚葬祭、学校行事、子どもの保護者の病気、通院

◇ 全体では、「年に1～4日」が37.4%と最も多く、次いで「年に5～9日」が21.2%、「年に10～14日」が13.8%となっている。



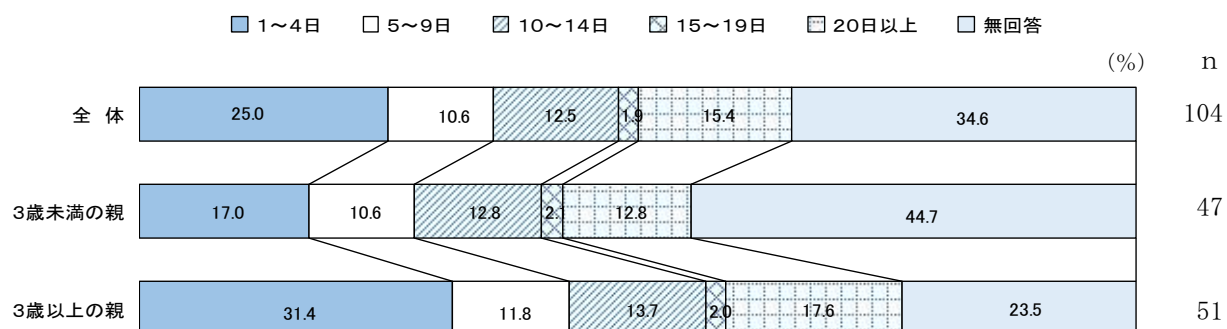
3. 不定期の就労

◇ 全体では、「年に1～4日」が20.6%と最も多く、次いで「年に10～14日」が17.8%となっている。



4. その他

◇ 全体では、「年に1～4日」が25.0%と最も多く、次いで「年に20日以上」が15.4%となっている。

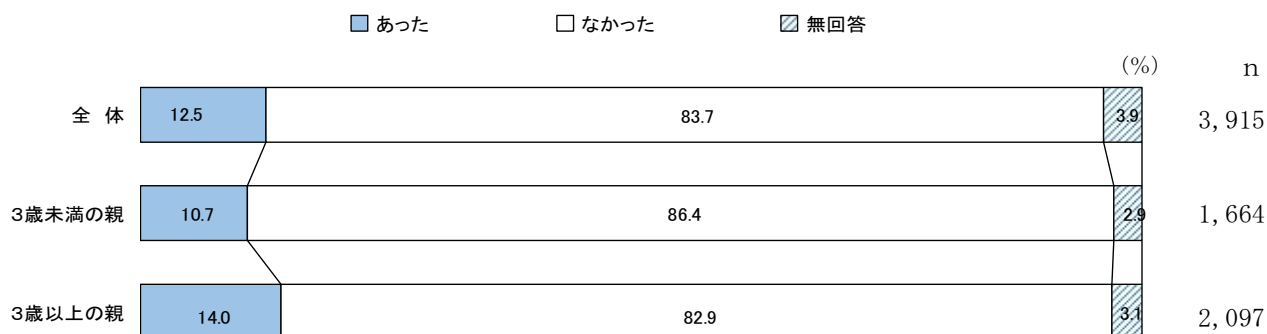


宿泊をともなうお子さんの一時預かりについて（就学前）

【問 5 6】

■この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（1つ）

◇ 全体では、「あった」が12.5%、「なかった」が83.7%となっている。

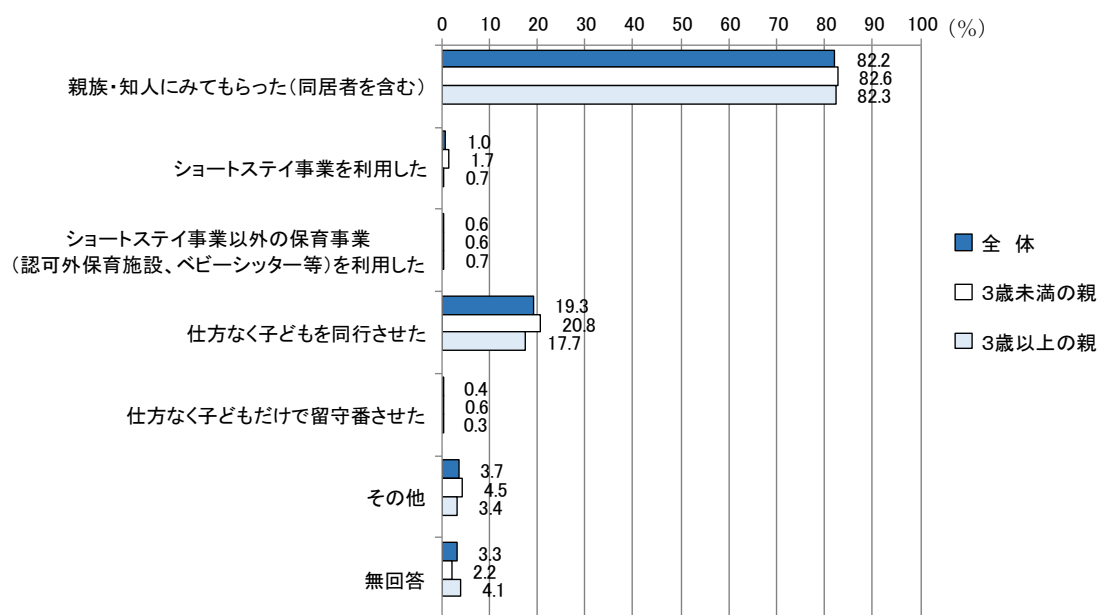


宿泊をともなうお子さんの一時預かりの対処方法について（就学前）

【問 5 7】

■この1年間の対処方法について、あてはまるものをすべて選び、それぞれの宿泊日数を数字で記入してください。（複数回答）

◇ 全体では「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が82.2%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が19.3%となっている。

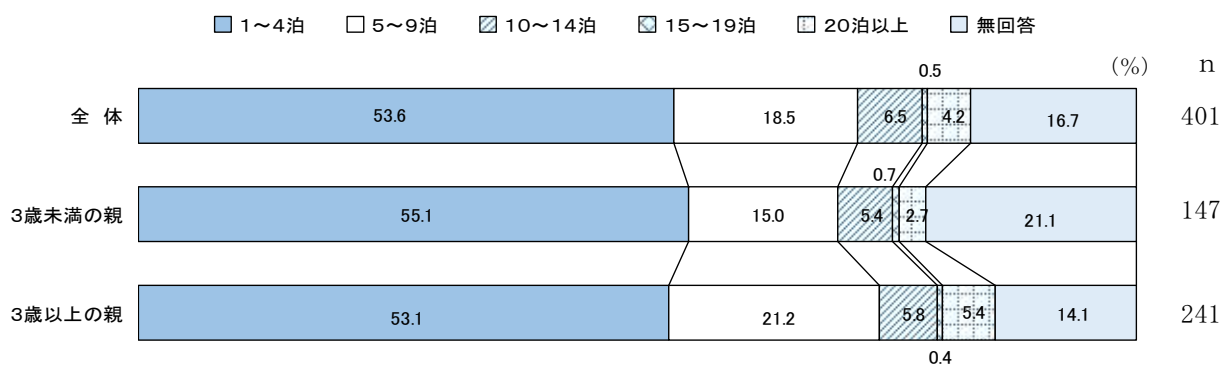


回答数 全体=539 3歳未満の親=201 3歳以上の親=320

【1年間の宿泊日数】

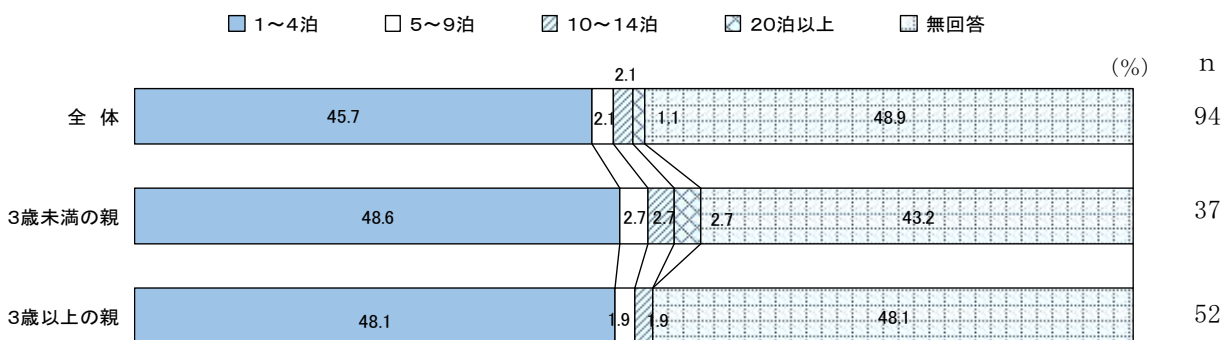
○（同居者を含む）親族・知人にみてもらった

◇ 全体では、「年に1～4泊」が53.6%と最も多く、次いで「年に5～9泊」が18.5%となっている。



○ 仕方なく子どもを同行させた

◇ 全体では「年に1～4泊」が45.7%と最も多く、次いで「年に5～9泊」「年に10～14泊」が2.1%となっている。



保育事業別の利用について（就学前） 【問58】～【問62】

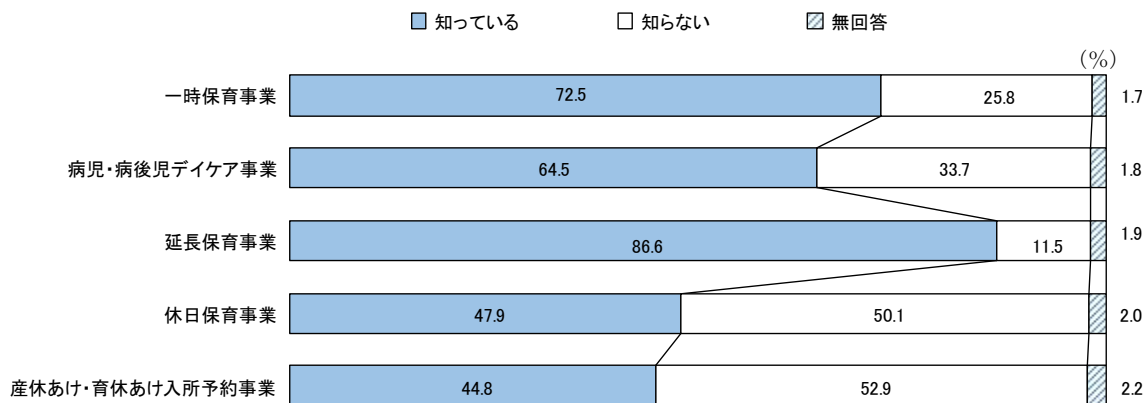
■保育事業についてあてはまるものを選んでください。

【参考】

保 育 事 業	内 容
一時保育事業	保護者のかたが、①傷病、親族の看護、冠婚葬祭などのやむを得ない事由により、緊急・一時的に家庭で保育ができない場合、②週3日以内の就労などにより断続的に家庭で保育ができない場合、③子育てのリフレッシュを希望される場合、に就学前のお子さんを指定する保育所で保育します。
病時・病後児デイケア事業	病気及び病気回復期にある小学校3年生までのお子さんを、勤務等の都合により家庭で保育ができないときに、一時的に保育します。
延長保育事業	保育所に通っているお子さんについて、通常の保育終了時間を延長して保育します。事業を実施している保育所に通っているお子さんが利用できます。
休日保育事業	日曜、祝日に保護者のかたが勤務等により家庭で保育ができないときに、お子さんを指定する保育所で保育します。事業を実施している保育所以外の保育所に通っているお子さんも利用できます。
産休あけ・育休あけ入所予約事業	出産予定日の8週間前の日以降に入所予定日を特定して保育所への入所予約ができます。入所予約できるのは、指定保育所のみであり、利用できる定員には各保育所の状況により限度があります。

(1) 事業の認知度

◇ 認知度の高い事業は、「延長保育事業」が 86.6%と最も多く、次いで「一時保育事業」が 72.5%となっている。



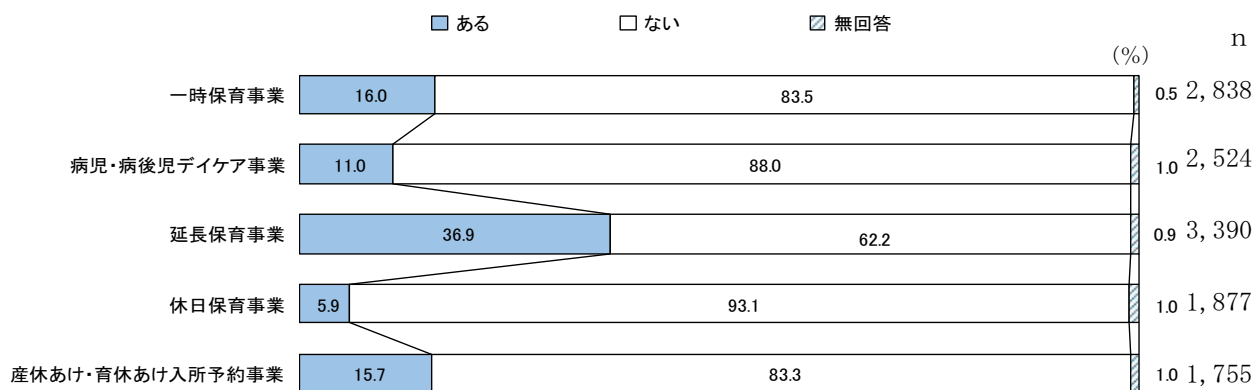
回答者数 全体=3,915

【前回調査との数値比較】

	この事業を知っている		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
一時保育事業	66.6	72.5	5.9
病時・病後児デイケア事業	55.7	64.5	8.8
延長保育事業	84.6	86.6	2.0
休日保育事業	39.2	47.9	8.7
産休あけ・育休あけ入所予約事業	43.0	44.8	1.8

(2) 利用の有無

◇ 利用実績の高い事業は、「延長保育事業」が 36.9%と最も多く、次いで「一時保育事業」が 16.0%となっている。

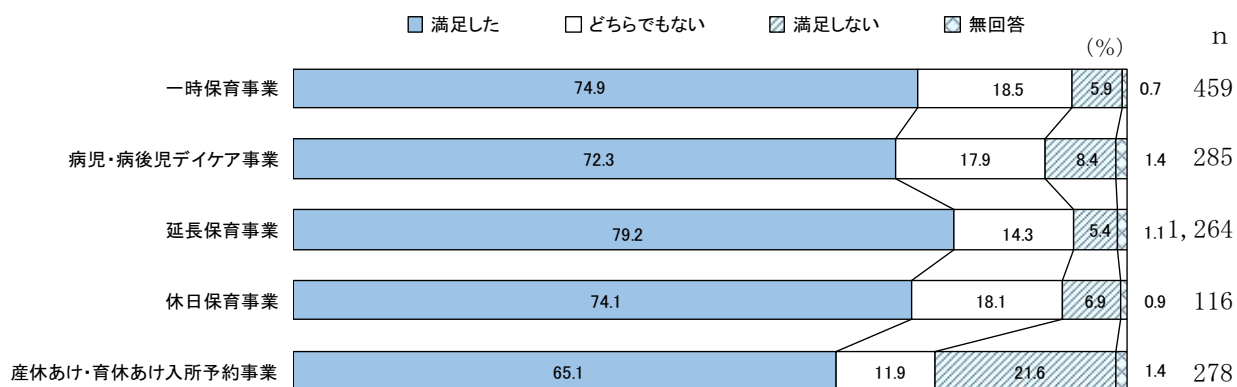


【前回調査との数値比較】

	この事業を利用したことがある		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
一時保育事業	16.6	16.0	▲ 0.6
病時・病後児デイケア事業	7.8	11.0	3.2
延長保育事業	33.0	36.9	3.9
休日保育事業	4.9	5.9	1.0
産休あけ・育休あけ入所予約事業	13.2	15.7	2.5

(3) 利用満足度

◇ 満足度の高い事業は、「延長保育事業」が79.2%と最も多く、次いで「一時保育事業」が74.9%となっている。

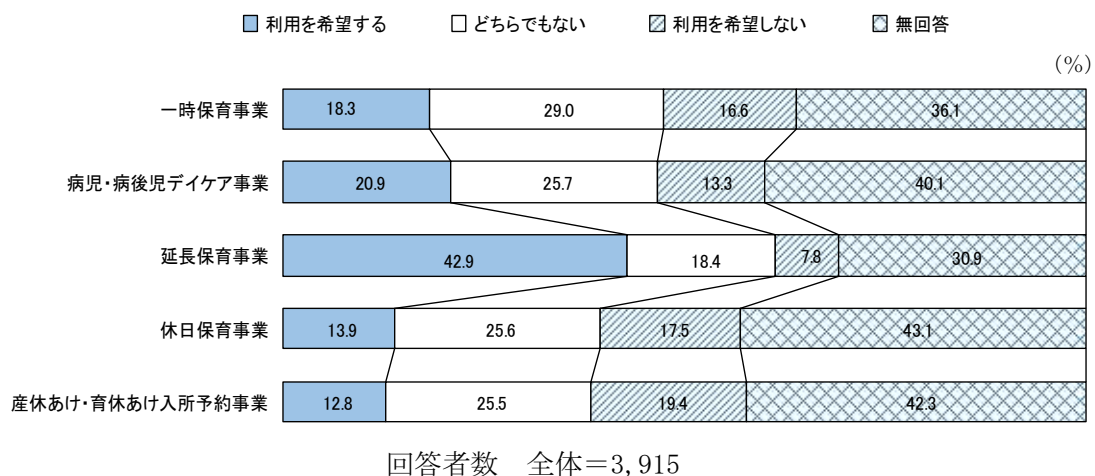


【前回調査との数値比較】

	この事業に満足した		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
一時保育事業	70.5	74.9	4.4
病時・病後児デイケア事業	72.7	72.3	▲ 0.4
延長保育事業	81.2	79.2	▲ 2.0
休日保育事業	75.9	74.1	▲ 1.8
産休あけ・育休あけ入所予約事業	62.4	65.1	2.7

(4) 今後の利用希望

◇ 利用希望の多い事業は、「延長保育事業」が42.9%、「病児・病後児デイケア事業」が20.9%となっている。



【前回調査との数値比較】

	今後利用を希望する		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
一時保育事業	17.6	18.3	0.7
病時・病後児デイケア事業	17.3	20.9	3.6
延長保育事業	37.7	42.9	5.2
休日保育事業	13.1	13.9	0.8
産休あけ・育休あけ入所予約事業	10.7	12.8	2.1

【あて名のお子さんが5歳以上の保護者のかた】

小学校就学後の平日放課後の過ごし方について（就学前）

【問 6 3】

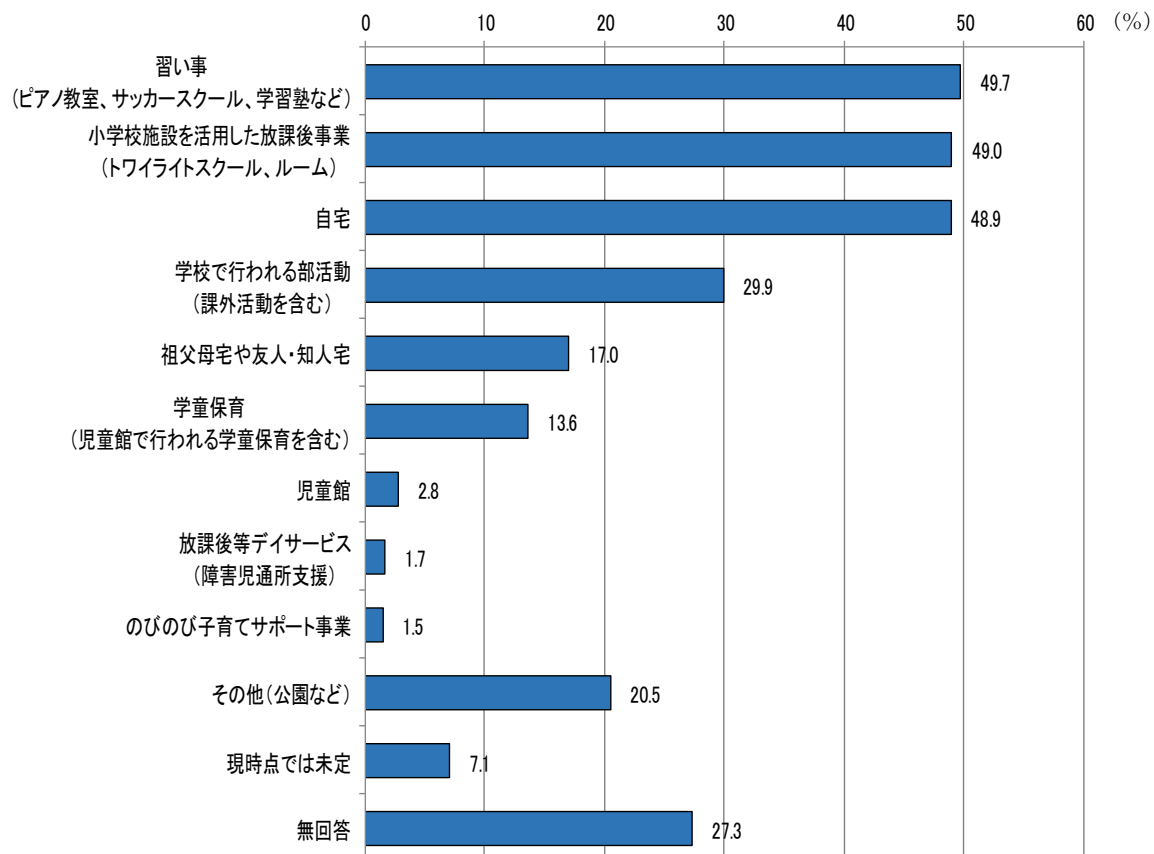
■あて名のお子さんについて、小学校に就学後、平日の放課後の時間をどのように過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

【参考】

事 業	内 容
トワイライトスクール	小学校施設を活用して、異学年の友だちとの遊びや学び、地域のかたとの交流、体験活動などの場を提供します。小学校に通うすべての子どもが対象となる事業です。 活動日時：月～土曜日の 18 時まで （土曜日と長期休業は午前より実施）
トワイライトルーム	トワイライトスクールの内容に加え、就労等で子育てへの援助を希望する家庭の子どもについて、その生活面でのサポート等を行う子ども指導員を配置するなど、より生活に配慮した取り組みを行います。17 時を超えて利用する場合は、一定の利用料（おやつ代等を含む）が必要になります。 活動日時：月～金曜日の 19 時、土曜日は 18 時まで （土曜日と長期休業は午前より実施）
学童保育（留守家庭健全育成事業）	保護者が就労等により昼間家庭にいない子どもについて、その健全な育成を図るため、授業終了後等に適切な遊びと生活の場を提供します。開設時間や利用料（おやつ代等を含む）は、学童保育によって異なります。 活動日時：月～土曜日 ・民間学童：約 9 割が 19 時まで （土曜日と長期休業は午前より実施） 最短 17 時、最長 21 時まで ・児 童 館：13 時から 18 時まで （長期休業は午前より実施）
のびのび子育てサポート事業	子育ての援助を行いたいかと、受けたいかたからなる会員組織により、一時的に子育ての手助けをしあう制度で、一定の利用料が必要となります。

【過ごさせたい場所等】

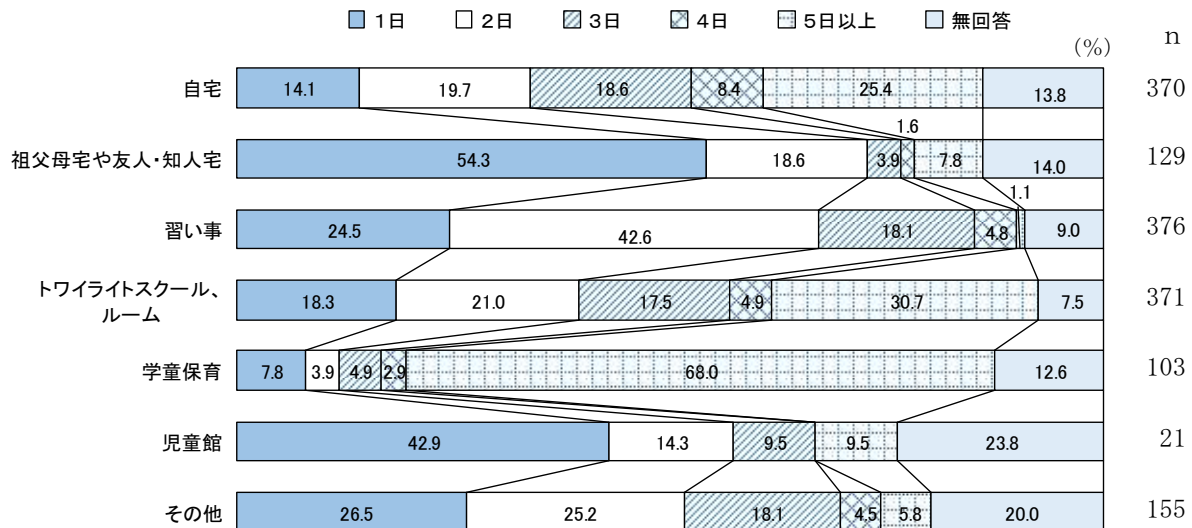
◇ 「習い事（ピアノ教室、サッカースクール、学習塾など）」が 49.7%と最も多く、次いで「トワイライトスクール、ルーム」が 49.0%、「自宅」が 48.9%、「学校で行われる部活動（課外活動を含む）」が 29.9%となっている。



回答数 5歳以上の親=2,036

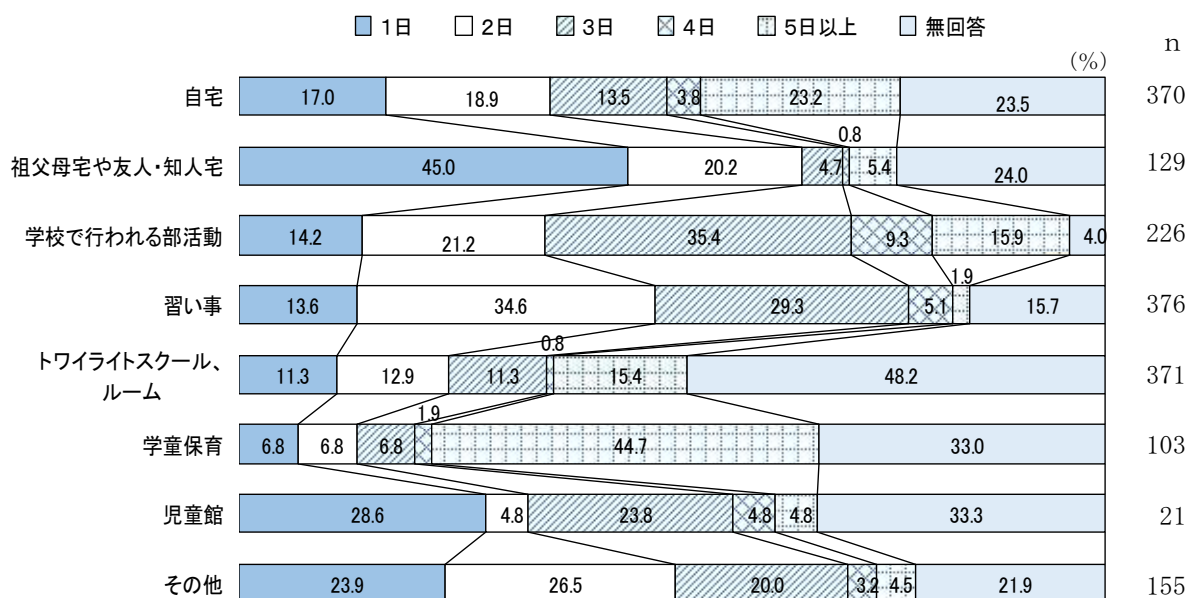
【1週間あたりの日数】

<小学校低学年（1～3年生）>



(※放課後デイサービス、のびのび子育てサポート事業は回答者数が少ないため省略)

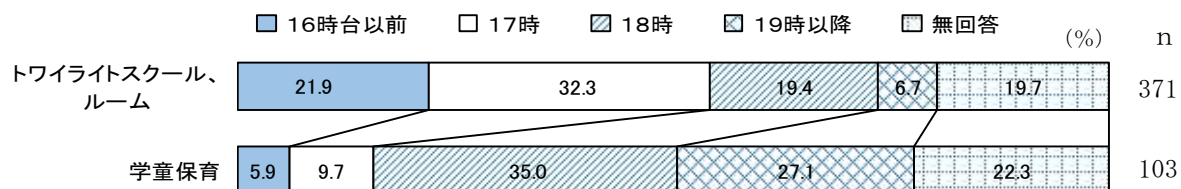
<小学校高学年（4～6年生）>



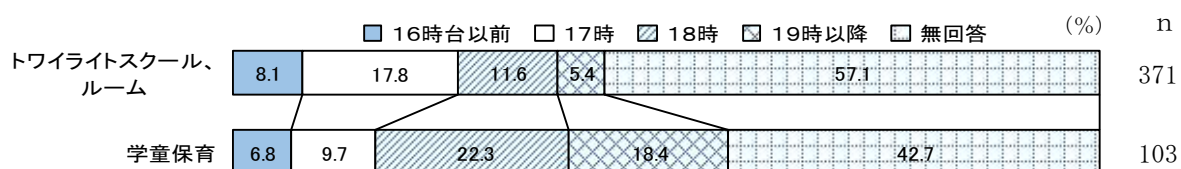
(※放課後デイサービス、のびのび子育てサポート事業は回答者数が少ないため省略)

【利用終了時間】（トワイライトスクール、ルーム、学童保育のみ）

<小学校低学年（１～３年生）>



<小学校高学年（４～６年生）>



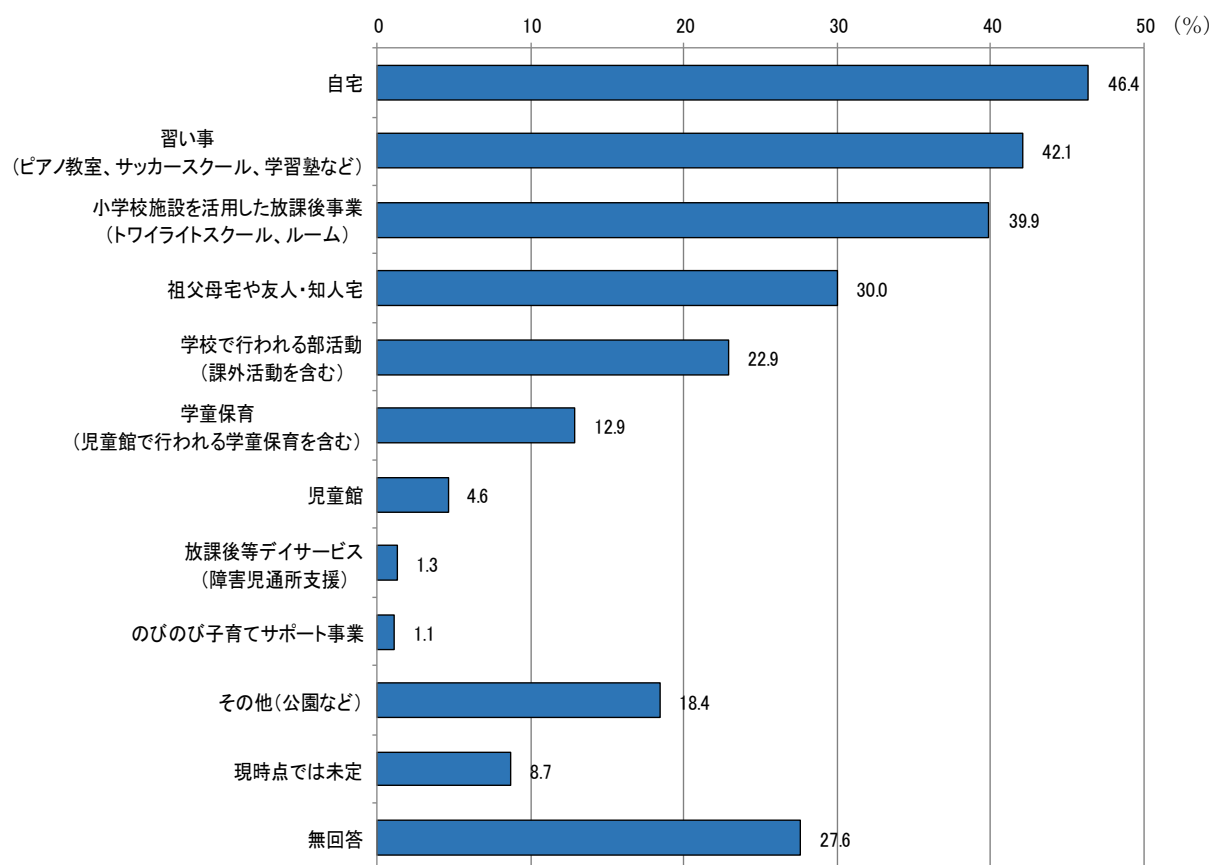
小学校就学後の長期休暇の過ごし方について（就学前）

【問 6 4】

■あて名のお子さんについて、小学校就学後、夏休みや冬休みなど長期休暇をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

【過ごさせたい場所等】

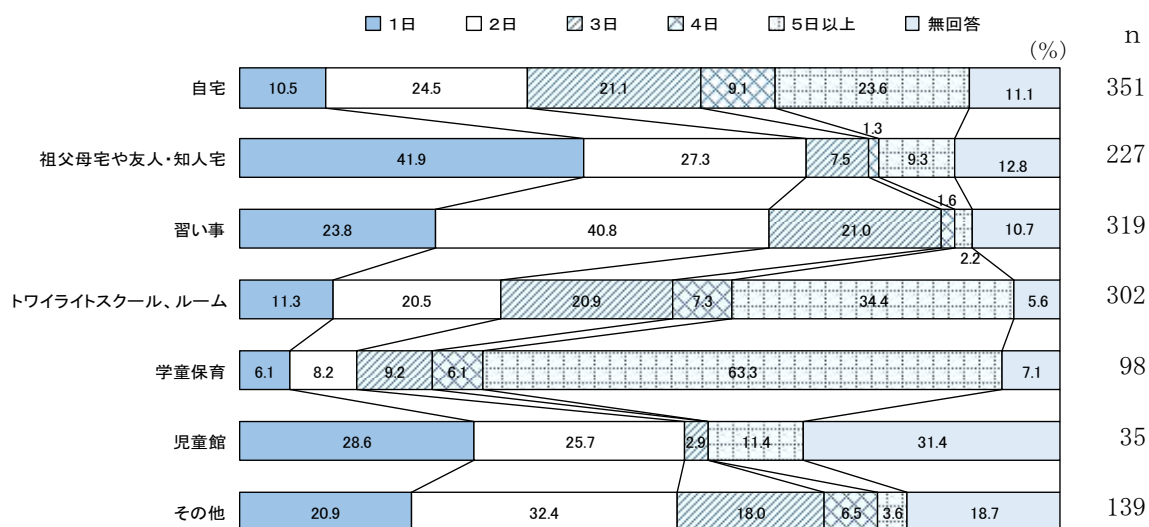
◇ 「自宅」が46.4%と最も多く、次いで「習い事」が42.1%、「トワイライトスクール、ルーム」が39.9%となっている。



回答数 5歳以上の親=1,937

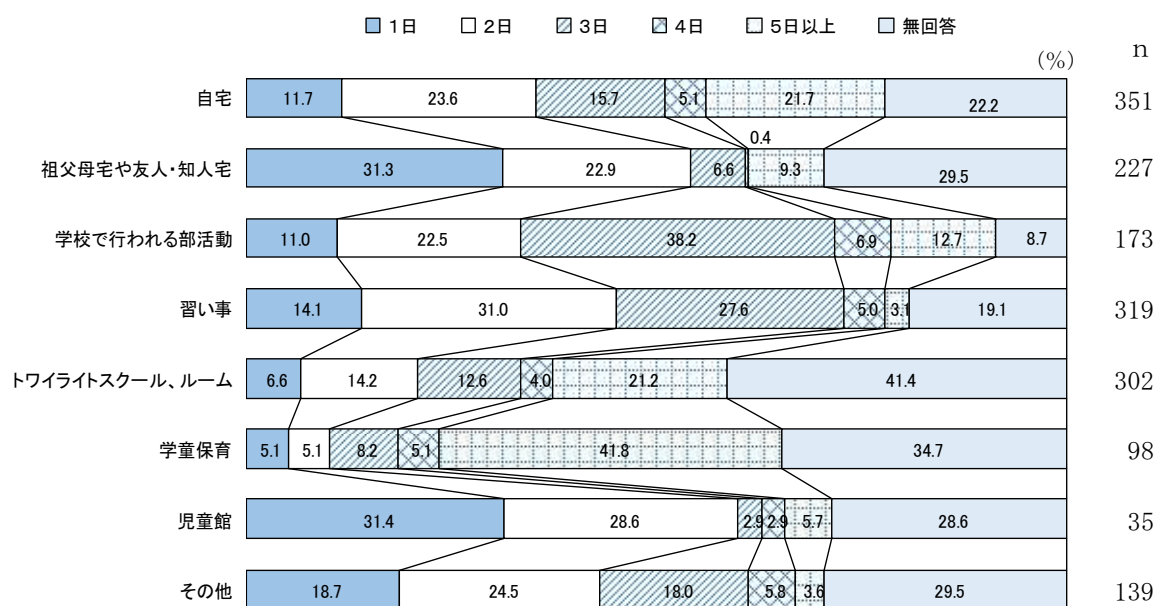
【1週間あたりの日数】

<小学校低学年（1～3年生）>



(※放課後等デイサービス、のびのび子育てサポート事業は回答者数が少ないため省略)

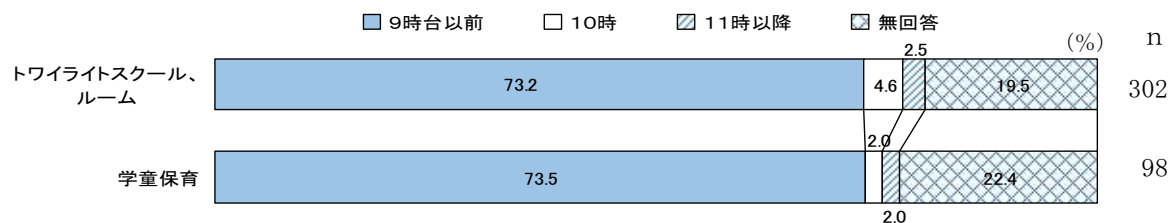
<小学校高学年（4～6年生）>



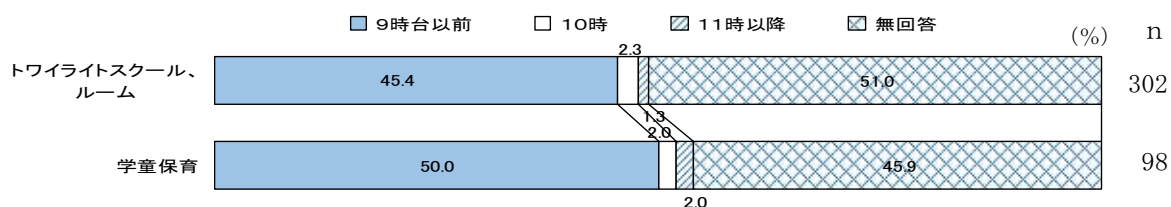
(※放課後等デイサービス、のびのび子育てサポート事業は回答者数が少ないため省略)

【利用開始時間】（トワイライトスクール、ルーム、学童保育のみ）

＜小学校低学年（１～３年生）＞

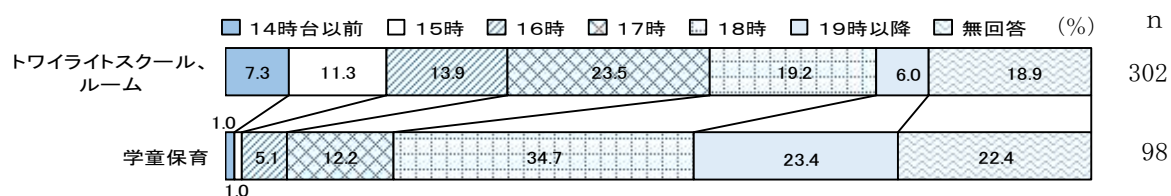


＜小学校高学年（４～６年生）＞

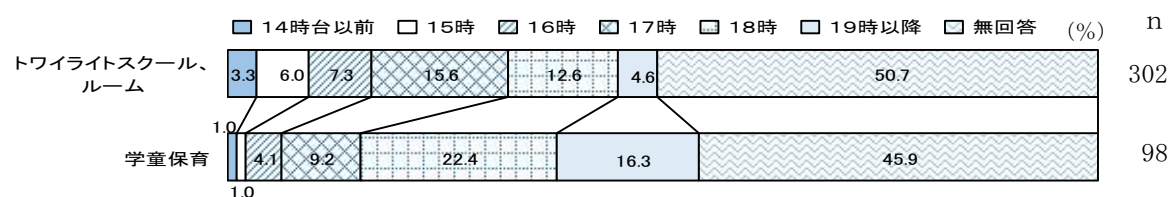


【利用終了時間】（トワイライトスクール、ルーム、学童保育のみ）

＜小学校低学年（１～３年生）＞



＜小学校高学年（４～６年生）＞



『就学後の過ごし方（就学前 問63・64）と両親の就労状況（就学前 問9・17）』

◎ 就労している母親が「放課後や長期休暇中に過ごさせたい場所」は、小学校低学年では「トワイライトスクール、ルーム」が最も多い。

＜平日放課後の過ごさせたい場所＞

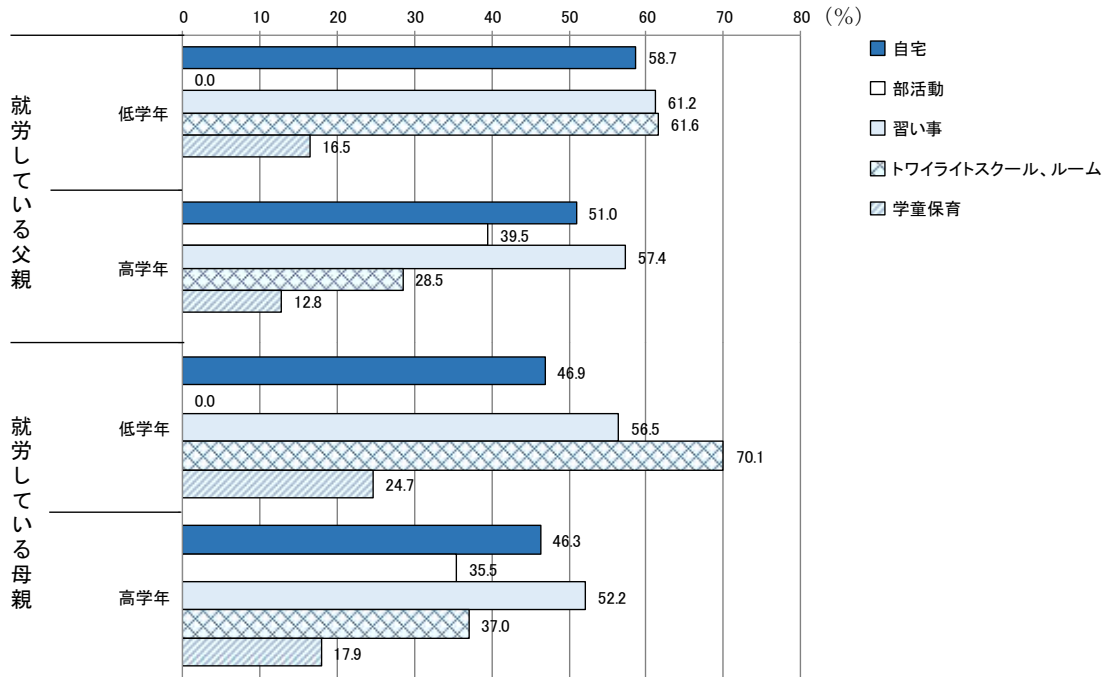


図 就労している親の平日放課後に子どもを過ごさせたい場所

＜長期休暇中に過ごさせたい場所＞

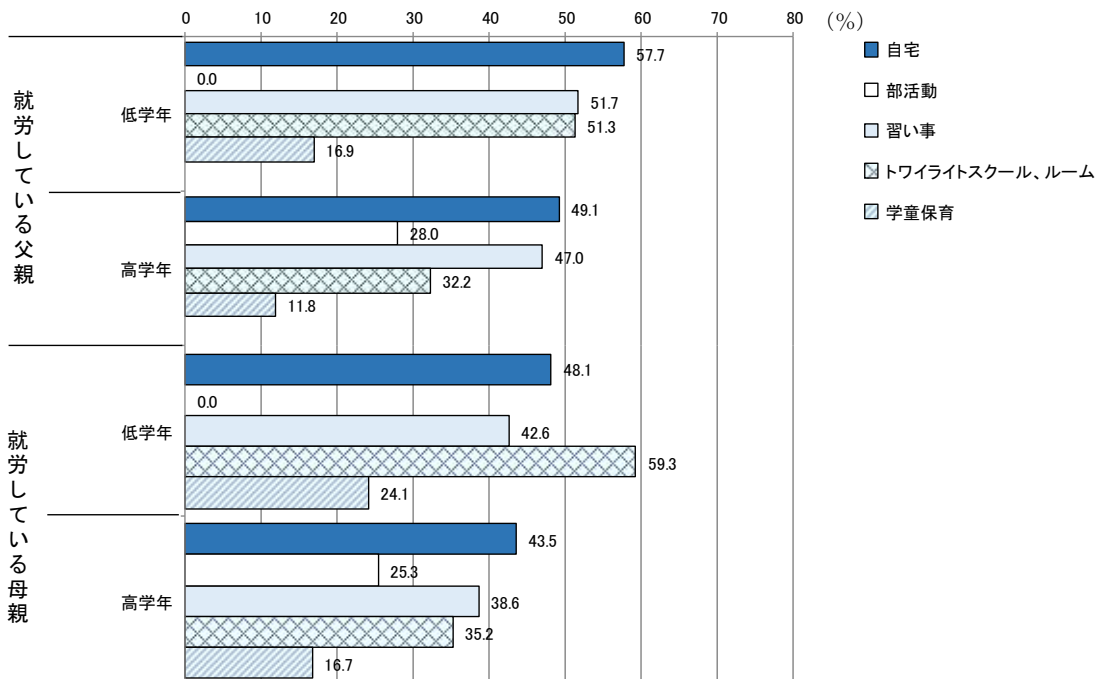


図 就労している親の長期休暇中子どもを過ごさせたい場所

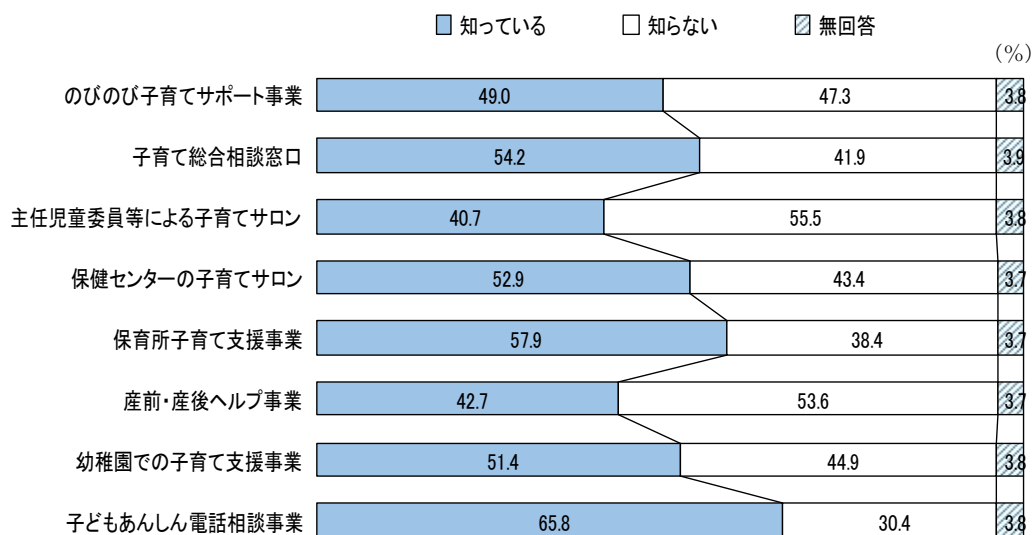
■名古屋市が行う子育て支援事業についてあてはまるものを選んでください。

【参考】

名古屋市の子育て支援事業	内 容
のびのび子育てサポート事業	子育ての援助を行いたいかと、受けたいかたからなる会員組織により、一時的に子育ての手助けをシェア制度
子育て総合相談窓口（子育て世代包括支援センター）	専任の保健師等が子育てに関する相談に応じる窓口で、市内全保健センターに設置
主任児童委員等による子育てサロン	主任児童委員等が中心となり、地域のコミュニティセンター等において、乳幼児とその親が気軽に集える交流の場の提供や、スタッフによる育児相談を実施 また、親子で楽しむ講座等も開催
保健センターの子育てサロン	初妊娠及び第1子の乳児を子育て中の親を対象に、育児不安の軽減を図るよう、子育ての友だちづくりや情報交換を行う地域の子育て交流の場で保健センターが行っているもの
保育所子育て支援事業	地域子育て支援センター以外の保育所が、地域の子育て中の親子を対象として行う子育て支援の事業（園庭開放、行事への招待、育児相談など）
産前・産後ヘルプ事業	妊娠中または出産後の体調不良などにより、家事・育児が困難な家庭にヘルパーを派遣し、家事・育児をお手伝いする制度
幼稚園での子育て支援事業	幼稚園が未就園の親子に行う子育て支援の事業（園庭開放、遊びの会、子育て相談など）
子どもあんしん電話相談事業	夜間の子どもの急な発熱や事故などの場合に、家庭での応急手当や見守り方、医療機関への受診の必要性や育児、母子の健康に関することなどについて、看護師等が電話でアドバイスを行う

(1) 事業の認知度

◇ 全体で認知度の高い事業は、「子どもあんしん電話相談事業」が 65.8%、「保育所子育て支援事業」が 57.9%、「子育て総合相談窓口」が 54.2%となっている。



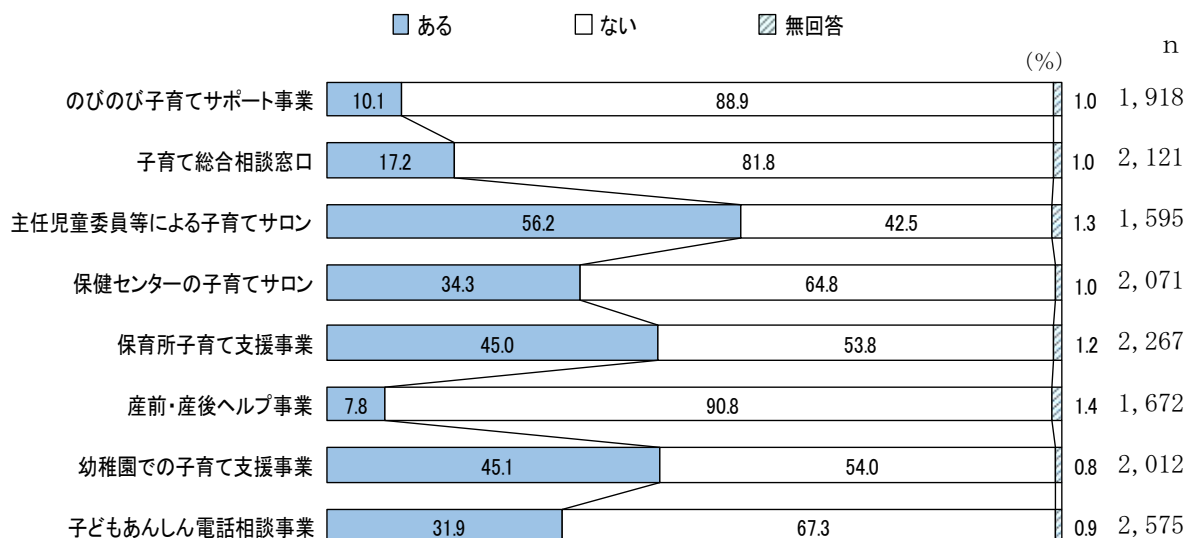
回答数 全体=3,915

【前回調査との数値比較】

	この事業を知っている		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
のびのび子育てサポート事業	56.9	49.0	▲ 7.9
子育て総合相談窓口	63.5	54.2	▲ 9.3
主任児童委員等による子育てサロン	55.7	40.7	▲15.0
保健センターの子育てサロン	63.1	52.9	▲10.2
保育所子育て支援事業	60.1	57.9	▲ 2.2
産前・産後ヘルプ事業	48.8	42.7	▲ 6.1
幼稚園での子育て支援事業	65.8	51.4	▲14.4
子どもあんしん電話相談事業	76.7	65.8	▲10.9

(2) 利用の有無

- ◇ 全体で利用実績の高い事業は、「主任児童委員等による子育てサロン」が 56.2%、「幼稚園での子育て支援事業」が 45.1%、「保育所子育て支援事業」が 45.0%となっている。

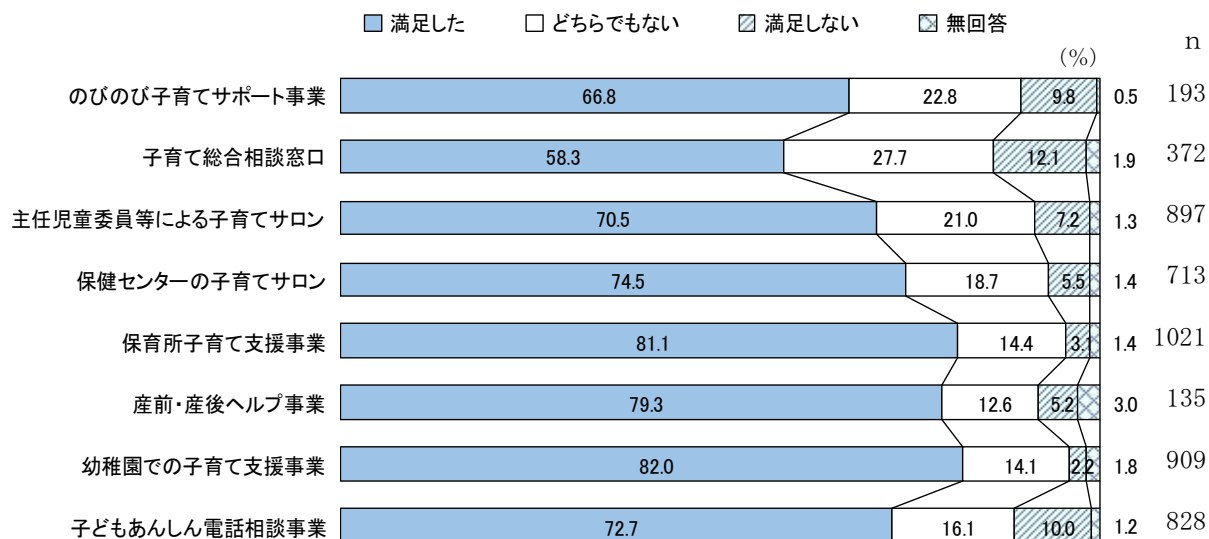


【前回調査との数値比較】

	この事業を利用したことがある		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
のびのび子育てサポート事業	7.3	10.1	2.8
子育て総合相談窓口	22.7	17.2	▲ 5.5
主任児童委員等による子育てサロン	56.6	56.2	▲ 0.4
保健センターの子育てサロン	39.7	34.3	▲ 5.4
保育所子育て支援事業	47.0	45.0	▲ 2.0
産前・産後ヘルプ事業	3.7	7.8	4.1
幼稚園での子育て支援事業	49.6	45.1	▲ 4.5
子どもあんしん電話相談事業	43.8	31.9	▲11.9

(3) 満足度

◇ 全体で満足度の高い事業は、「幼稚園での子育て支援事業」が 82.0%、「保育所子育て支援事業」が 81.1%、「産前・産後ヘルプ事業」が 79.3%となっている。

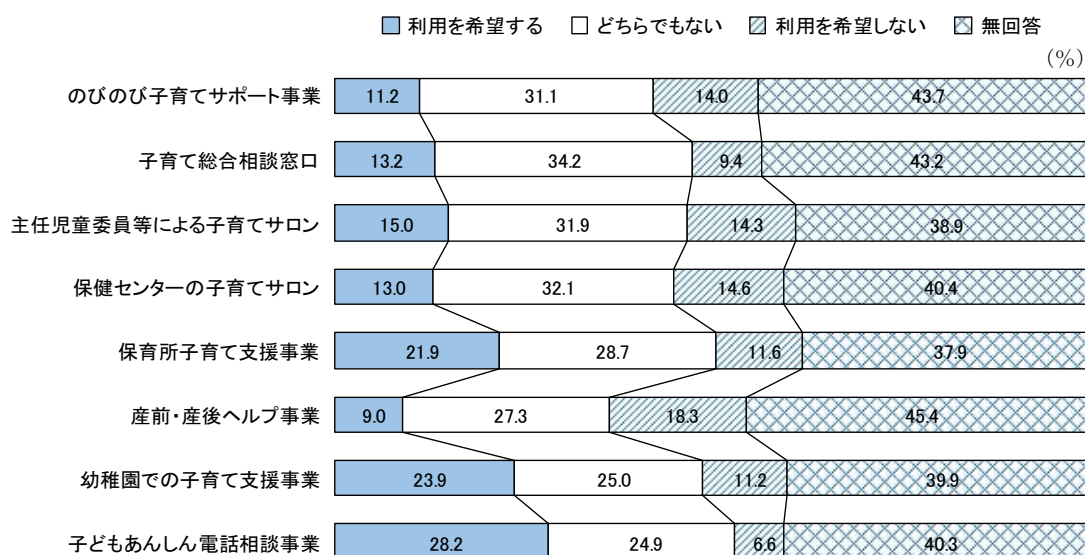


【前回調査との数値比較】

	この事業に満足した		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
のびのび子育てサポート事業	71.1	66.8	▲ 4.3
子育て総合相談窓口	60.0	58.3	▲ 1.7
主任児童委員等による子育てサロン	65.6	70.5	4.9
保健センターの子育てサロン	71.5	74.5	3.0
保育所子育て支援事業	77.7	81.1	3.4
産前・産後ヘルプ事業	76.6	79.3	2.7
幼稚園での子育て支援事業	79.6	82.0	2.4
子どもあんしん電話相談事業	68.9	72.7	3.8

(4) 今後の利用希望

◇ 全体で利用希望の多い事業は、「子どもあんしん電話相談事業」が 28.2%、「幼稚園での子育て支援事業」が 23.9%、「保育所子育て支援事業」が 21.9%となっている。



回答数 全体=3,915

【前回調査との数値比較】

	今後利用を希望する		
	平成 25 年	平成 30 年	変化量
のびのび子育てサポート事業	9.3	11.2	1.9
子育て総合相談窓口	16.0	13.2	▲ 2.8
主任児童委員等による子育てサロン	19.6	15.0	▲ 4.6
保健センターの子育てサロン	13.6	13.0	▲ 0.6
保育所子育て支援事業	23.9	21.9	▲ 2.0
産前・産後ヘルプ事業	8.5	9.0	0.5
幼稚園での子育て支援事業	29.1	23.9	▲ 5.2
子どもあんしん電話相談事業	41.9	28.2	▲13.7

各種地域の子育て支援事業の利用について(就学前) 【問 7 3】～【問 8 4】

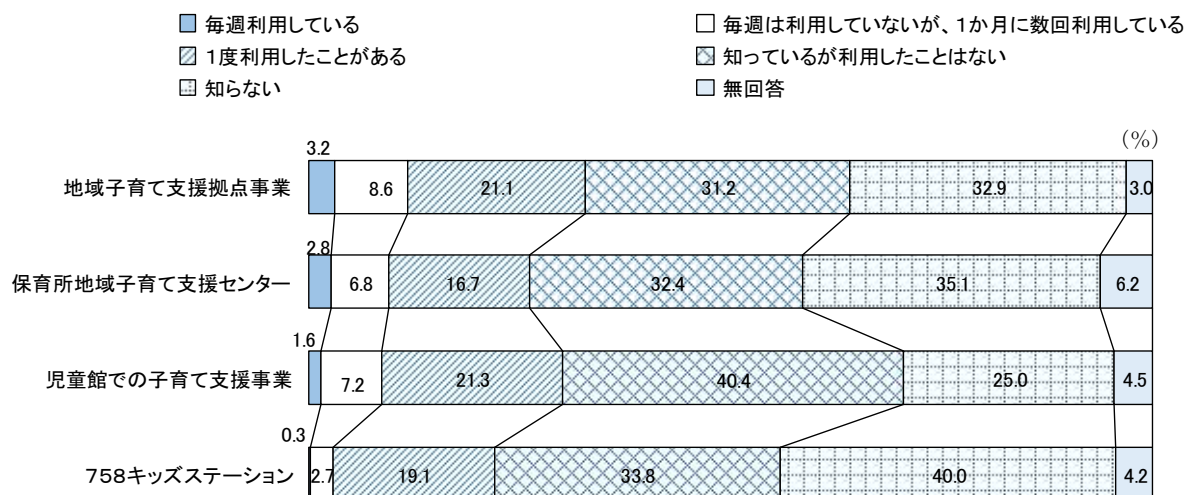
■各種地域の子育て支援事業についてあてはまるものを選んでください。

【参考】

地域の子育て支援の事業	内 容
地域子育て支援拠点事業（つどいの広場を含む）	主に0歳～3歳の親子が気軽に集い、相談・交流を図ることができる場を提供する事業
保育所地域子育て支援センター	地域の子育て家庭を総合的に支援するため、保育所において、専任の職員を配置し、育児不安等の相談、子育てサークル等の支援、地域の子育て事業の情報提供などを行う事業
児童館での子育て支援事業	乳幼児とその保護者を対象としたクラブや交流事業、子育て家庭に対する相談援助、子育てサークル等に対しての活動場所の提供・支援
758キッズステーション（名古屋子ども・子育て支援センター）	子育て支援関係機関のネットワークづくりや子育てサークルへの支援などを行う子育て相談・交流のネットワークの拠点施設

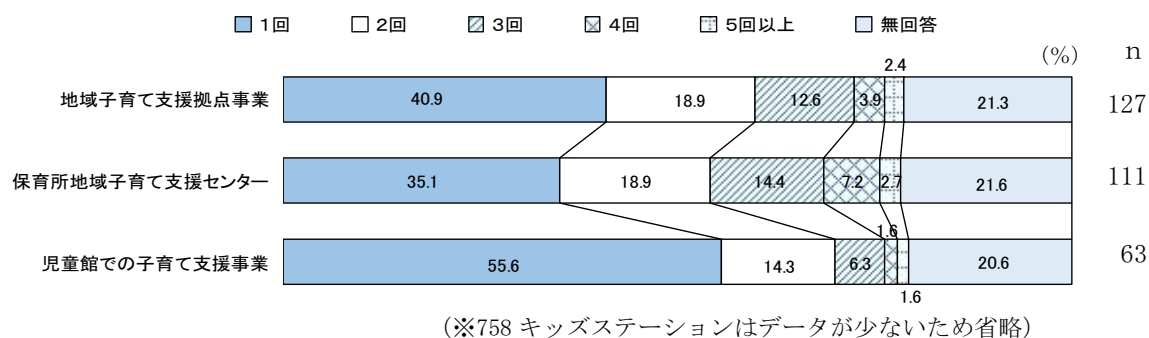
【利用の状況等】

◇ 「毎週利用している」「毎週は利用していないが、1ヶ月に数回利用している」「1度利用したことがある」を合わせると、「地域子育て支援拠点事業」が32.9%と最も多くなっている。

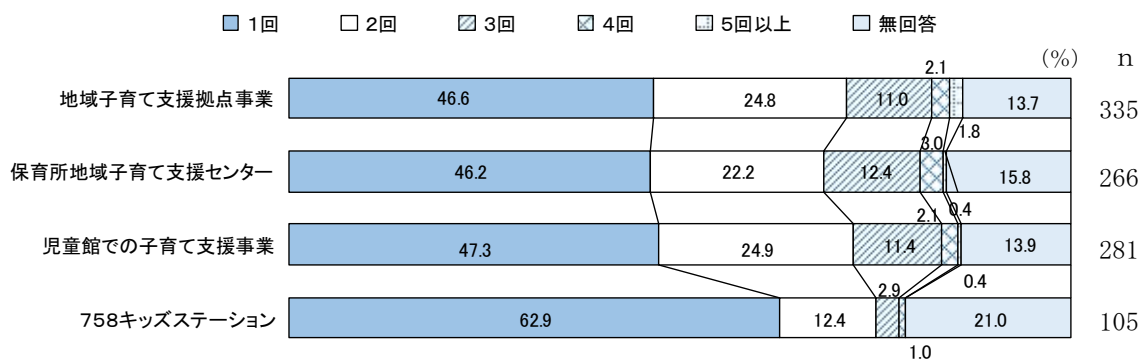


回答数 全体=3,915

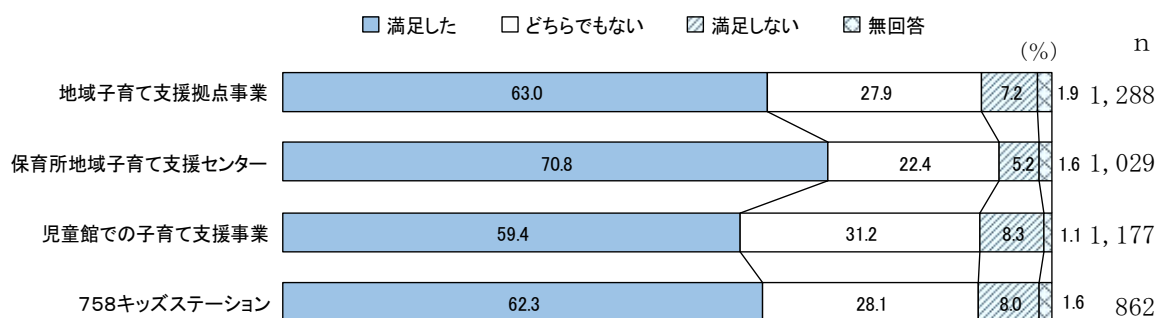
< 1 週あたりの利用回数 >



< 1 ヶ月あたりの利用回数 >

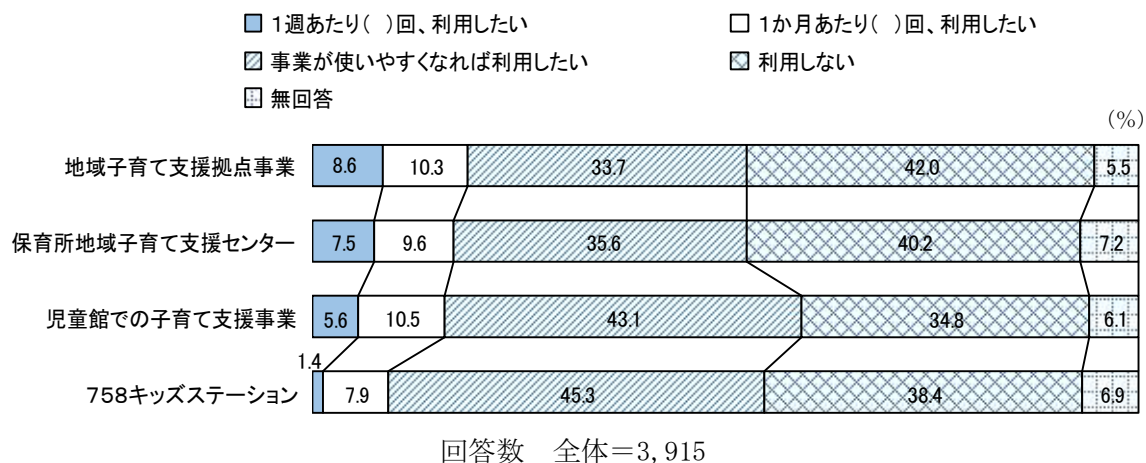


【満足度】

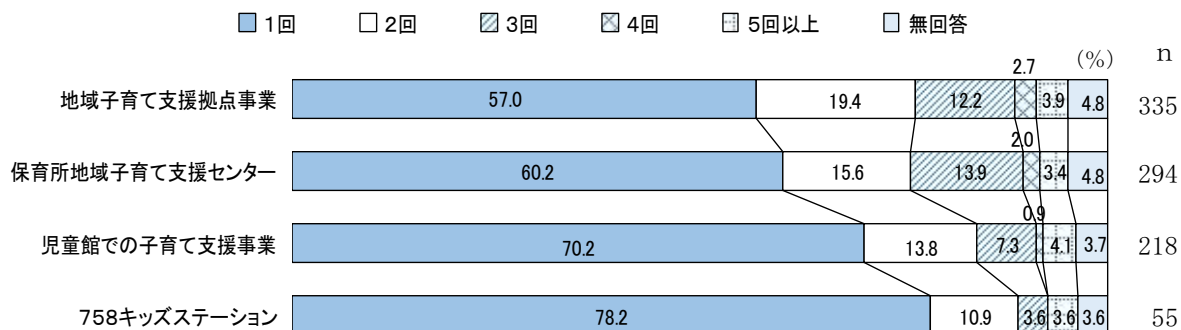


【今後の利用希望】

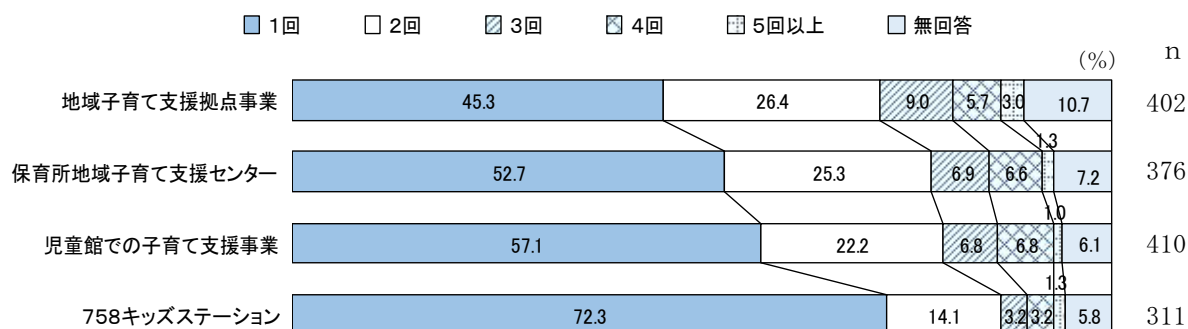
◇ 「1週あたり()回、利用したい」「1か月あたり()回、利用したい」「事業が使いやすくなれば利用したい」をあわせると、「児童館での子育て支援事業」が59.2%、「758キッズステーション」が54.6%となっている。



< 1週あたりの希望利用数 >

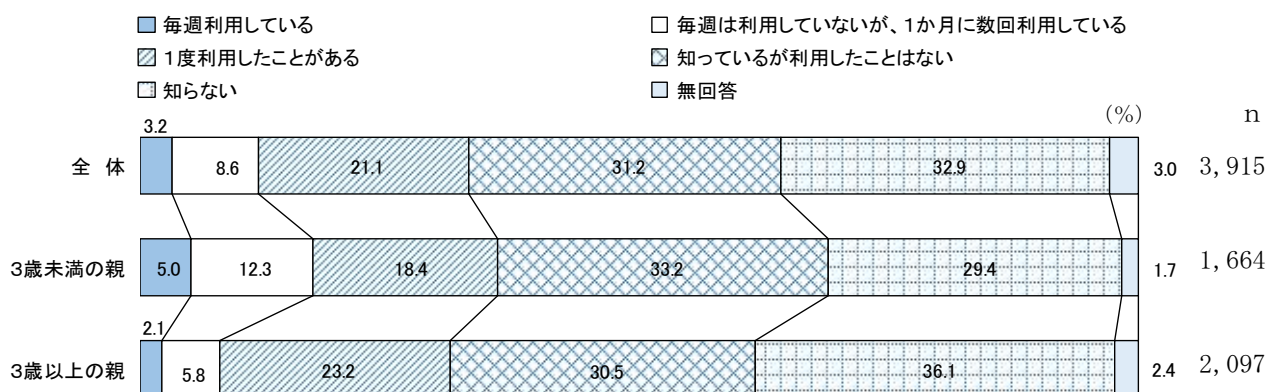


< 1ヶ月あたりの希望利用回数 >

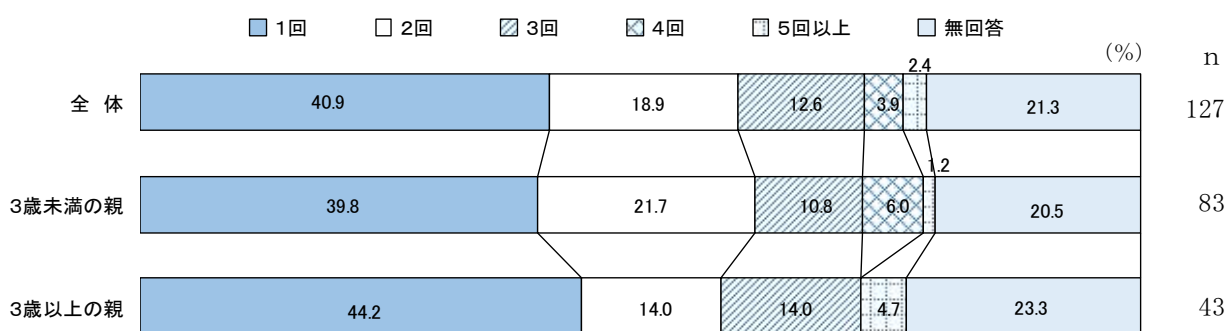


■地域子育て支援拠点事業（つどいの広場を含む）

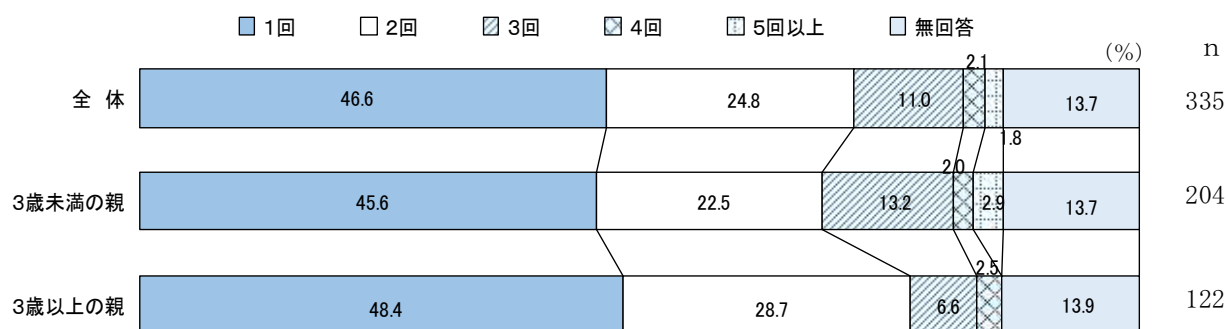
【利用の状況等】



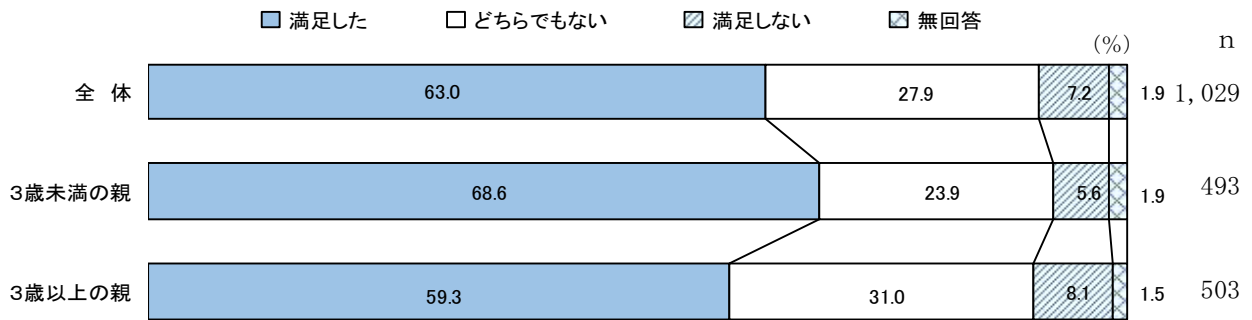
< 1週あたりの利用回数 >



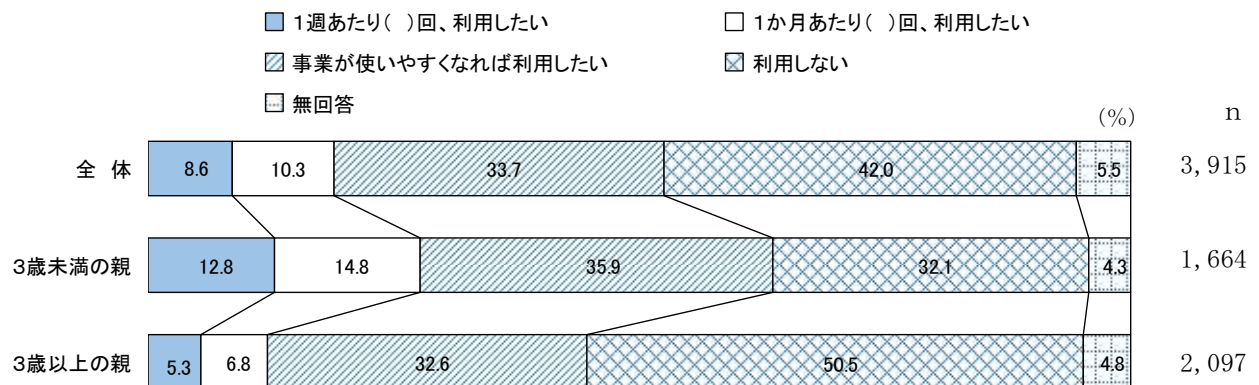
< 1ヶ月あたりの利用回数 >



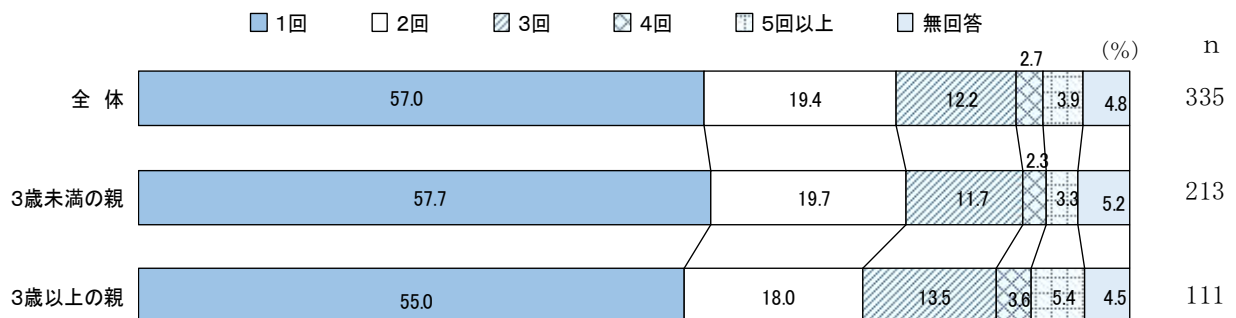
【満足度】



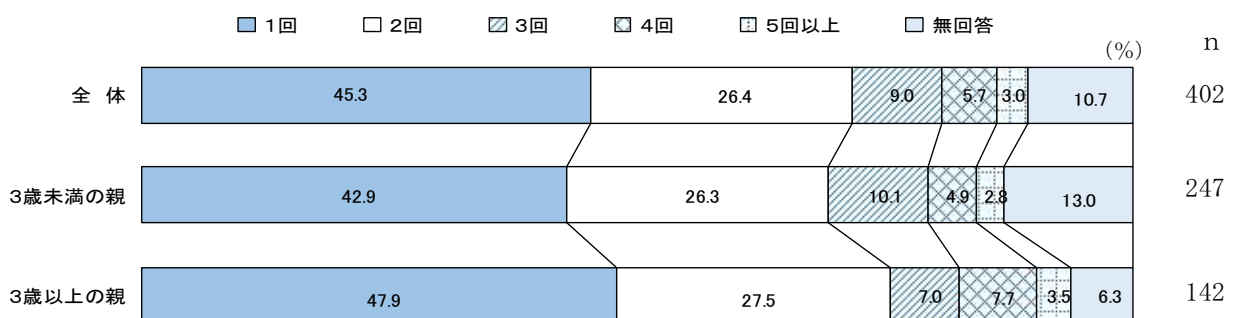
【今後の利用希望】



< 1週あたりの希望利用回数 >

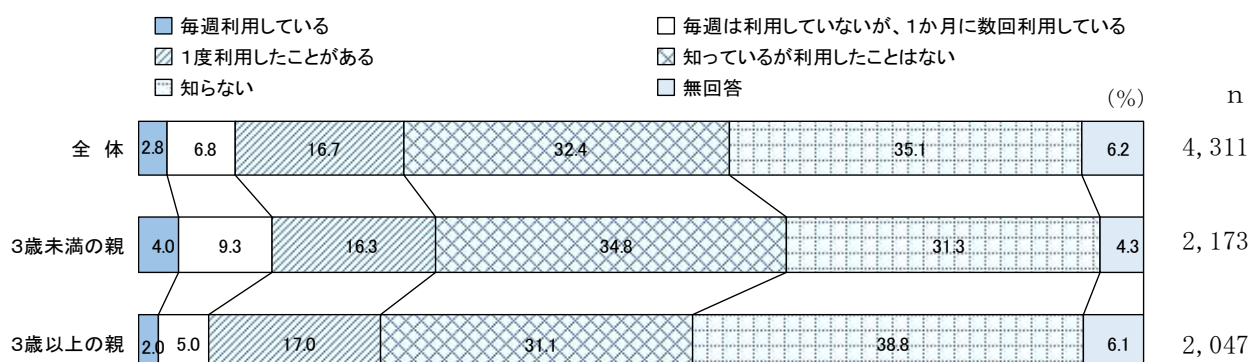


< 1ヶ月あたりの希望利用回数 >

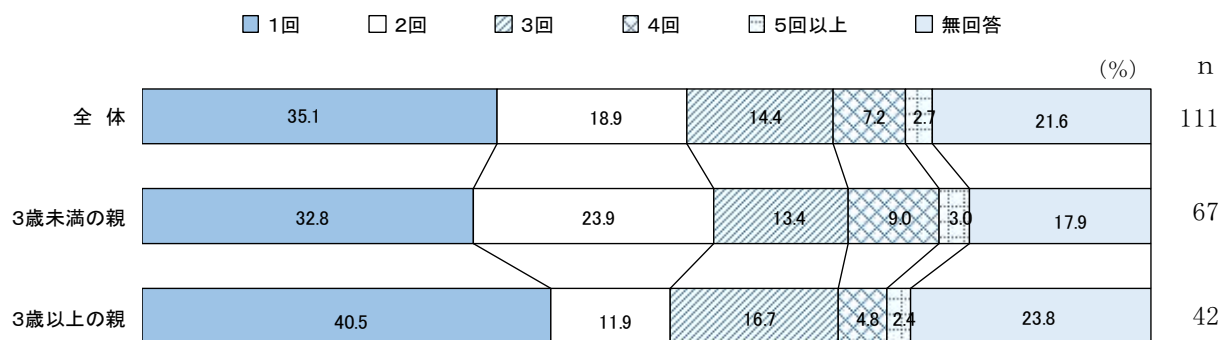


■保育所地域子育て支援センター

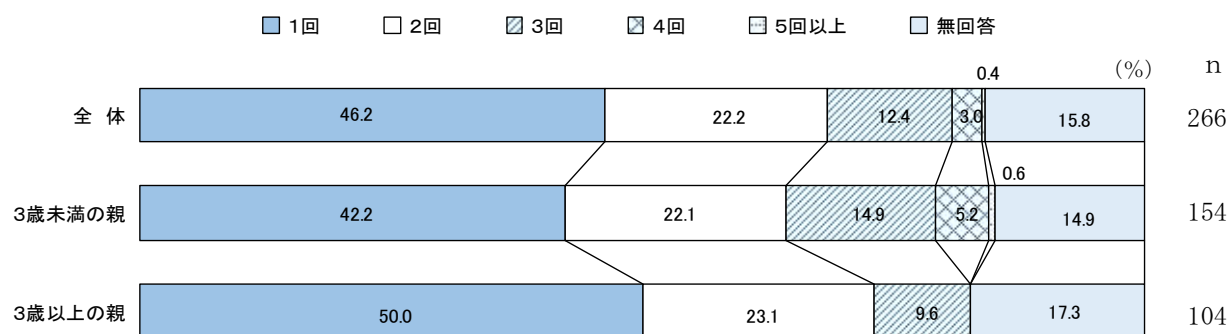
【利用の状況等】



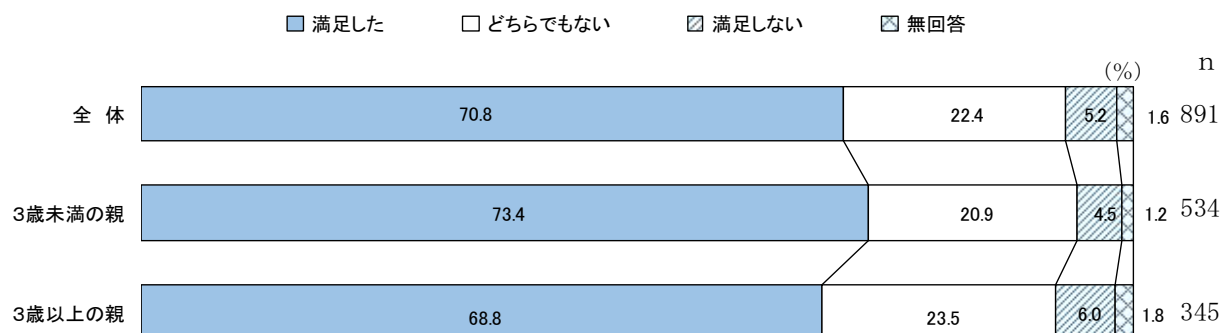
< 1 週あたりの利用回数 >



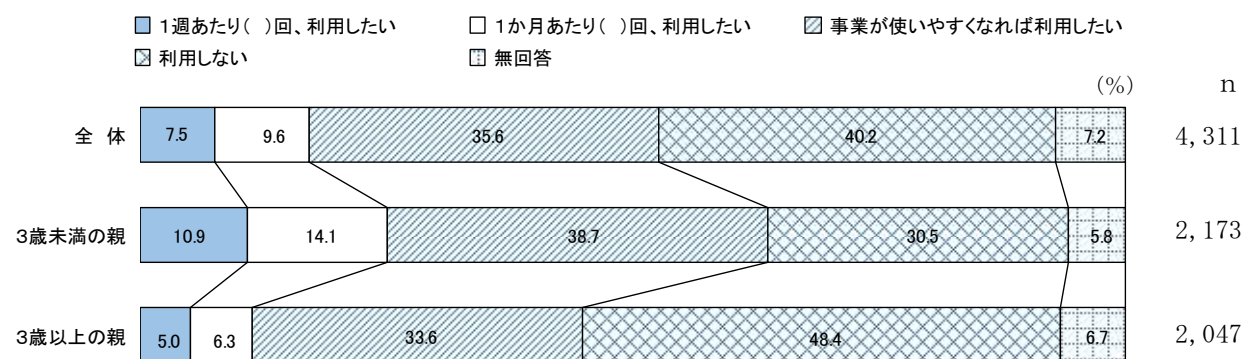
< 1 ヶ月あたりの利用回数 >



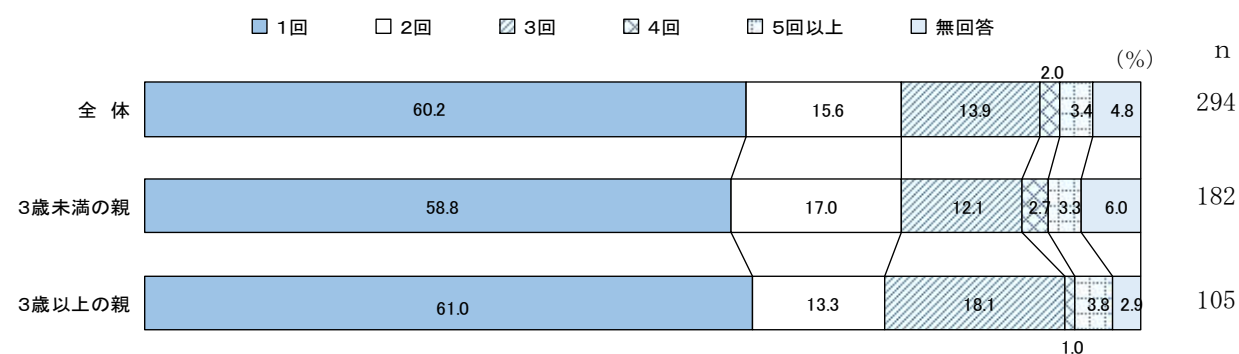
【満足度】



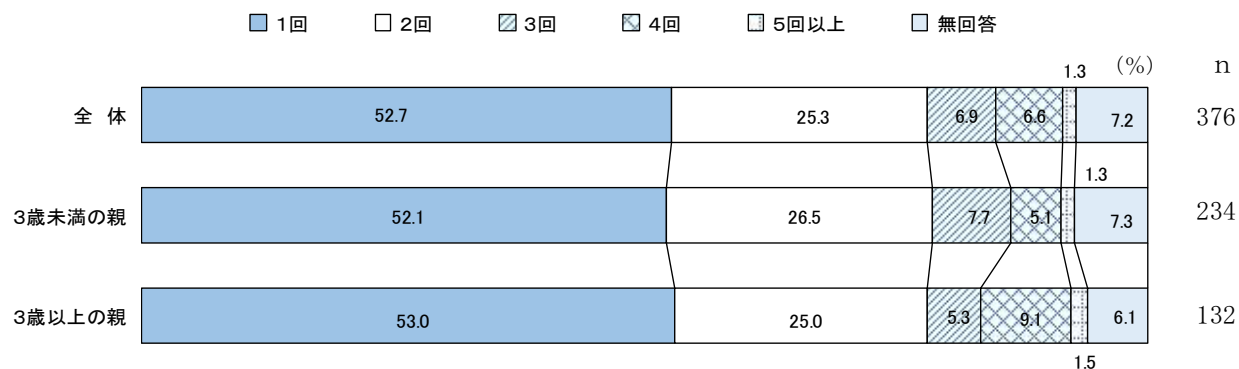
【今後の利用希望】



< 1週あたりの希望利用回数 >

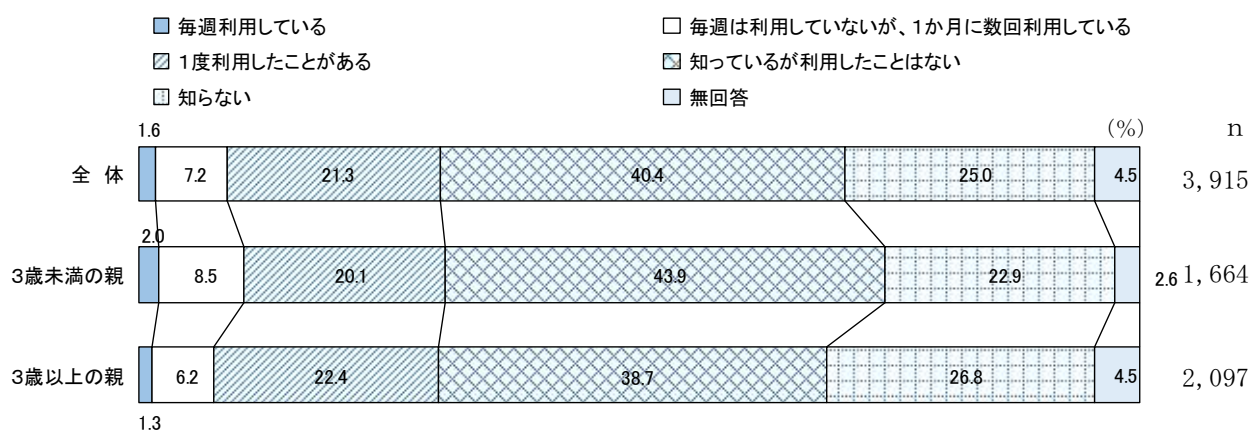


< 1ヶ月あたりの希望利用回数 >

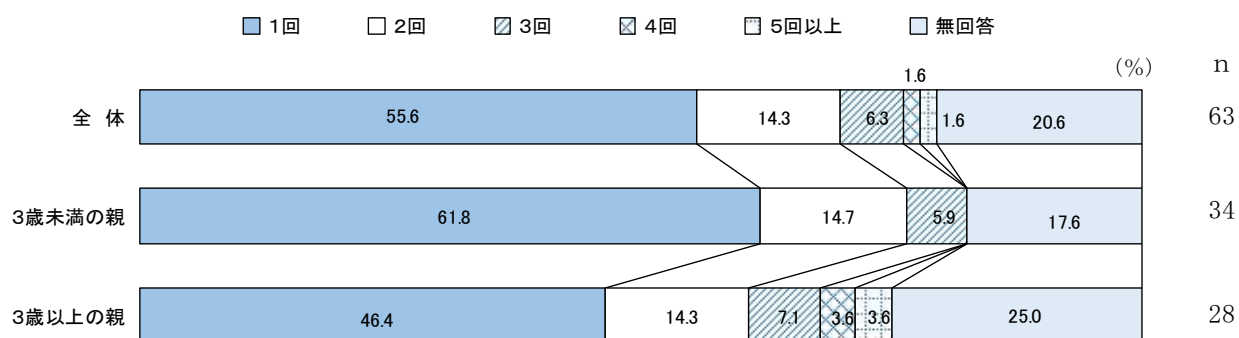


■児童館での子育て支援事業

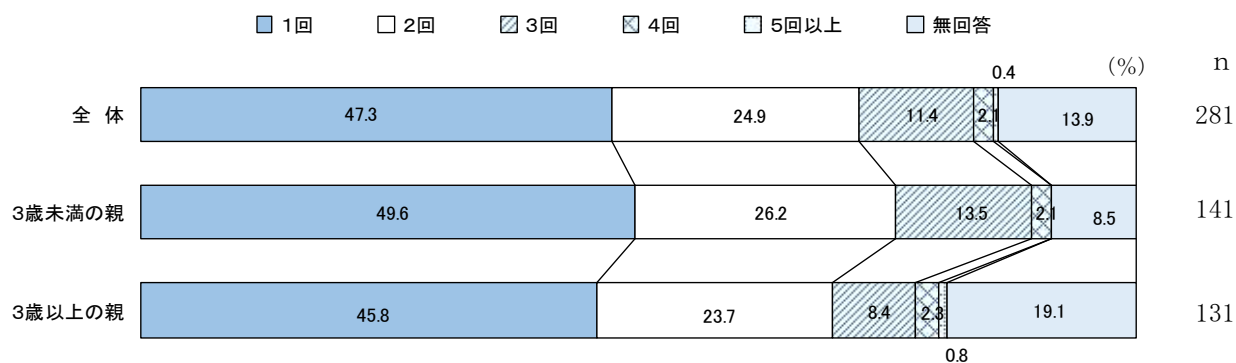
【利用の状況等】



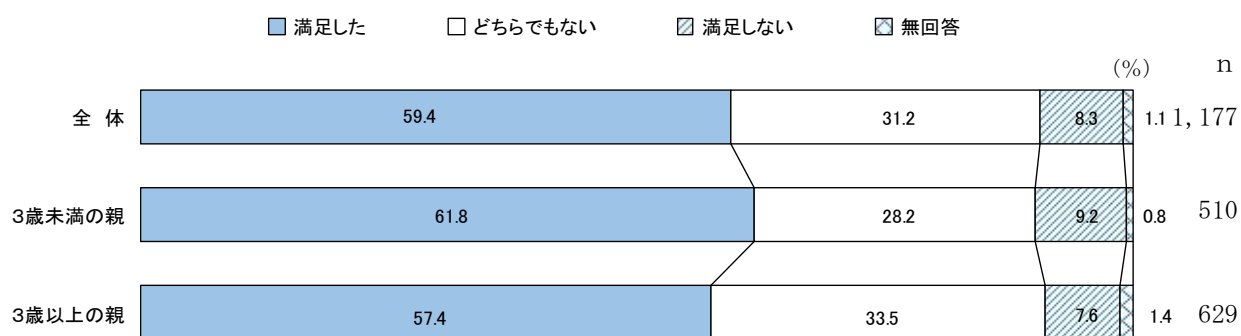
< 1週あたりの利用回数 >



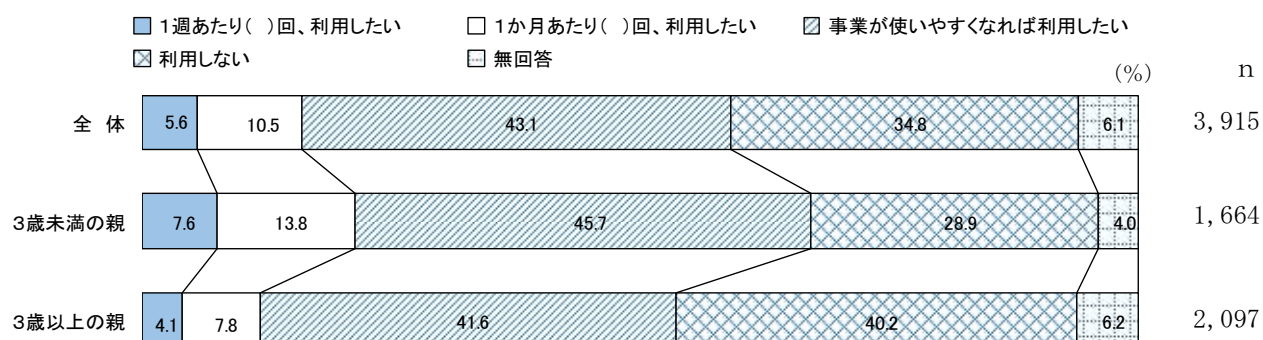
< 1ヶ月あたりの利用回数 >



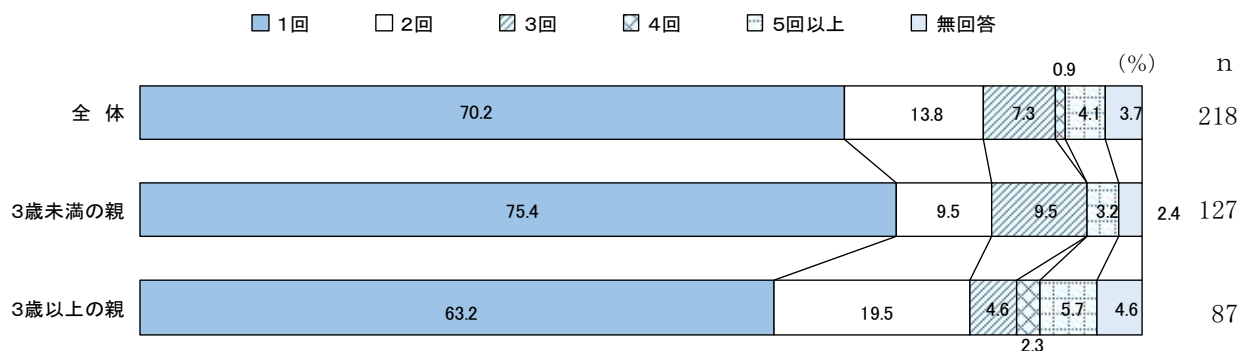
【満足度】



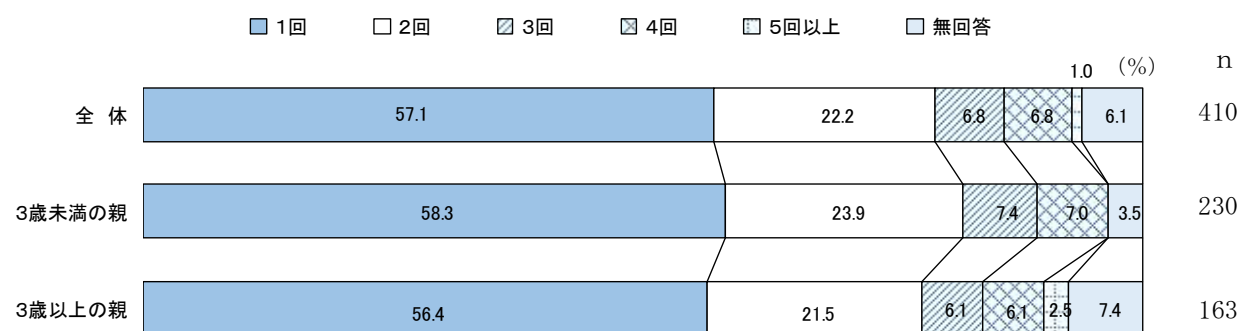
【今後の利用希望】



< 1週あたりの希望利用回数 >

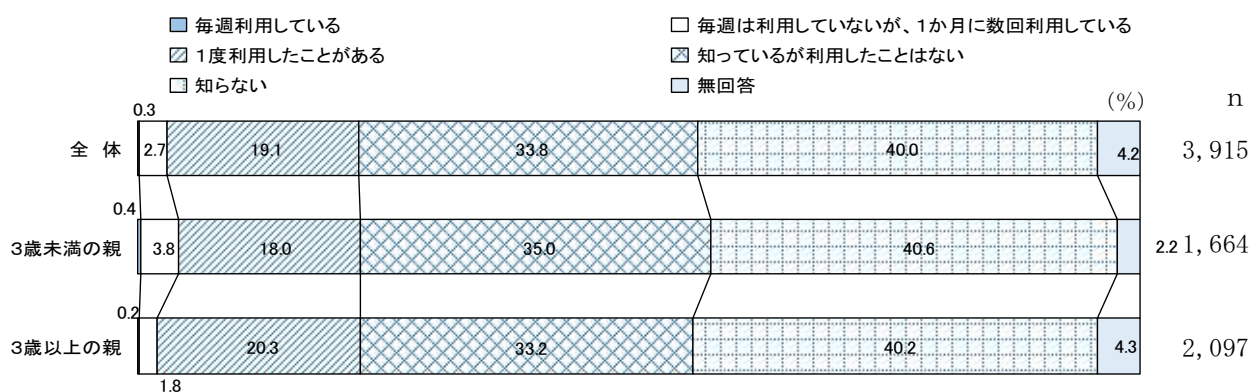


< 1ヶ月あたりの希望利用回数 >

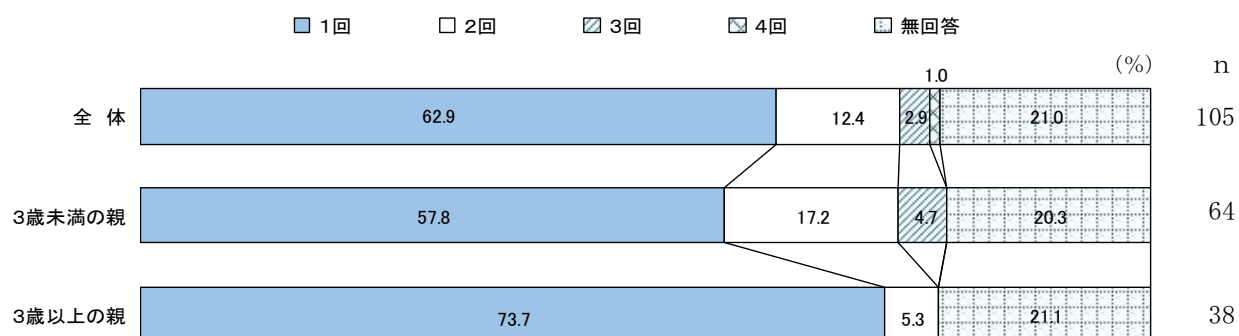


■ 758キッズステーション（名古屋市子ども・子育て支援センター）

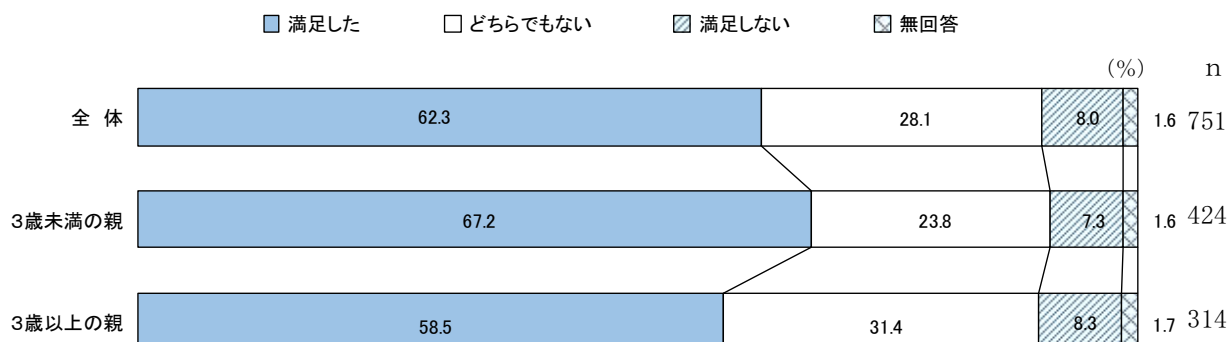
【利用の状況等】



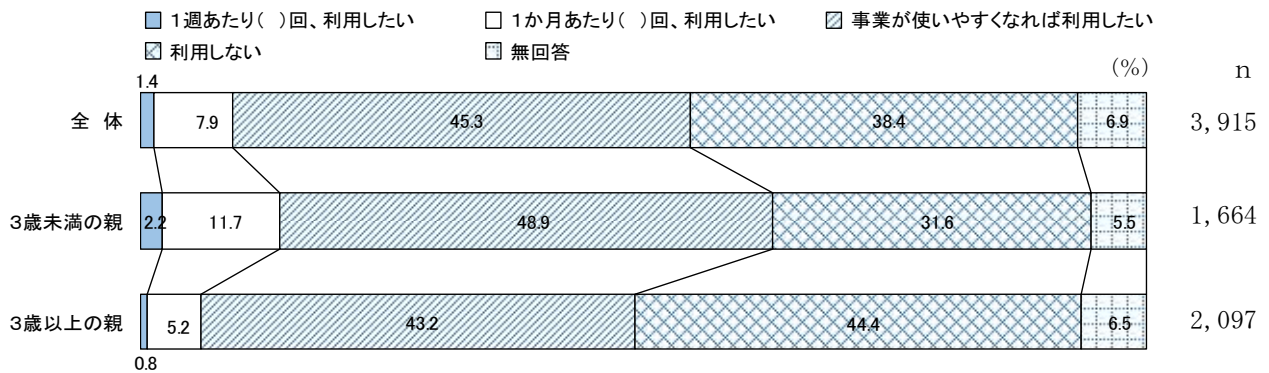
＜1ヶ月あたりの利用回数＞



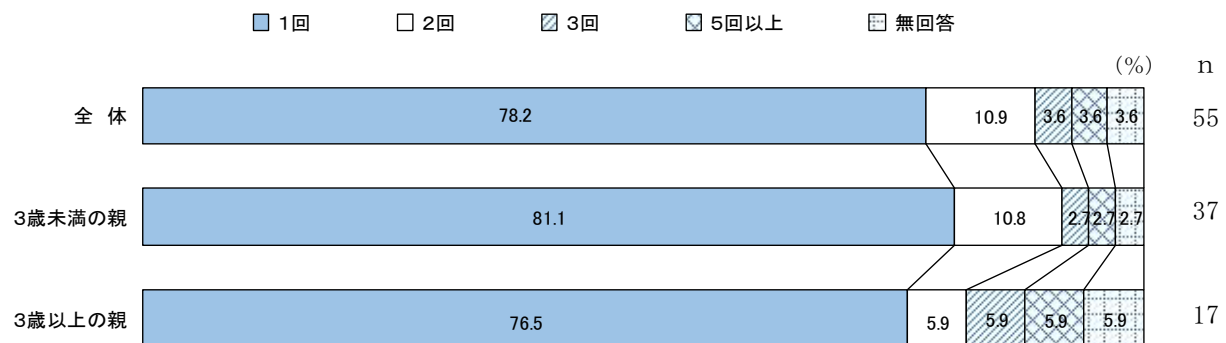
【満足度】



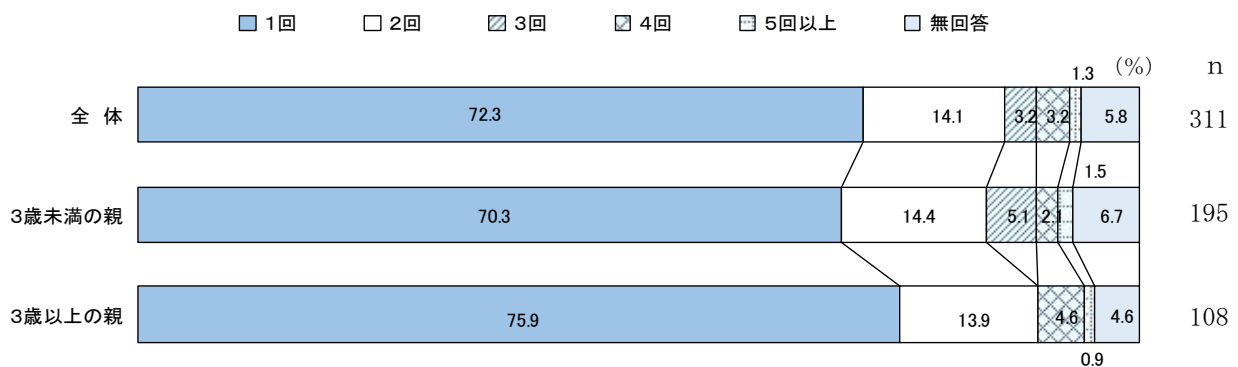
【今後の利用希望】



< 1 週あたりの希望利用回数 >



< 1 ヶ月あたりの希望利用回数 >



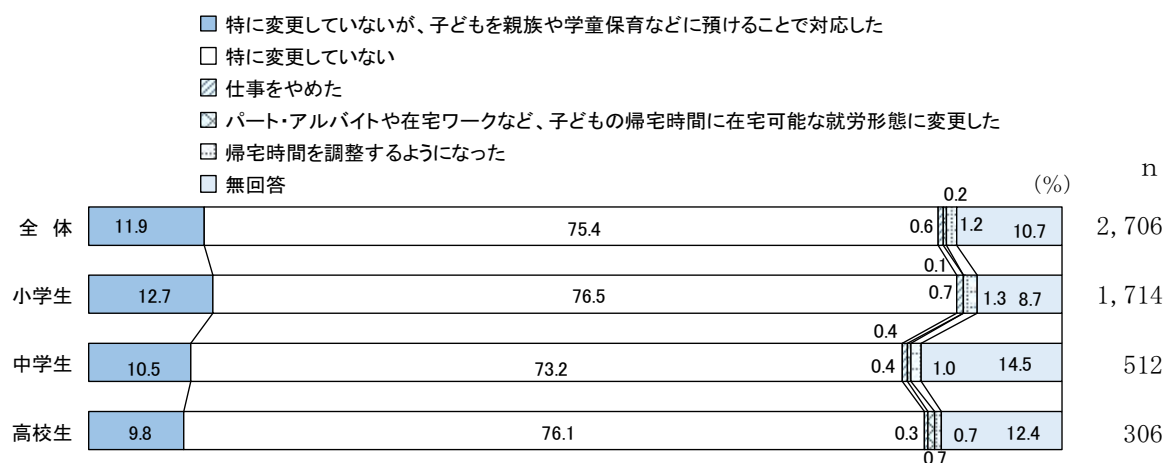
第4章 お子さんの年齢別に行った質問（就学後）

お子さんの入学による就労形態の変化について（就学後） 【問27】

■ 一番上のお子さんが小学校に入られたことをきっかけに、父親、母親の就労形態などを変更しましたか。（1つ）

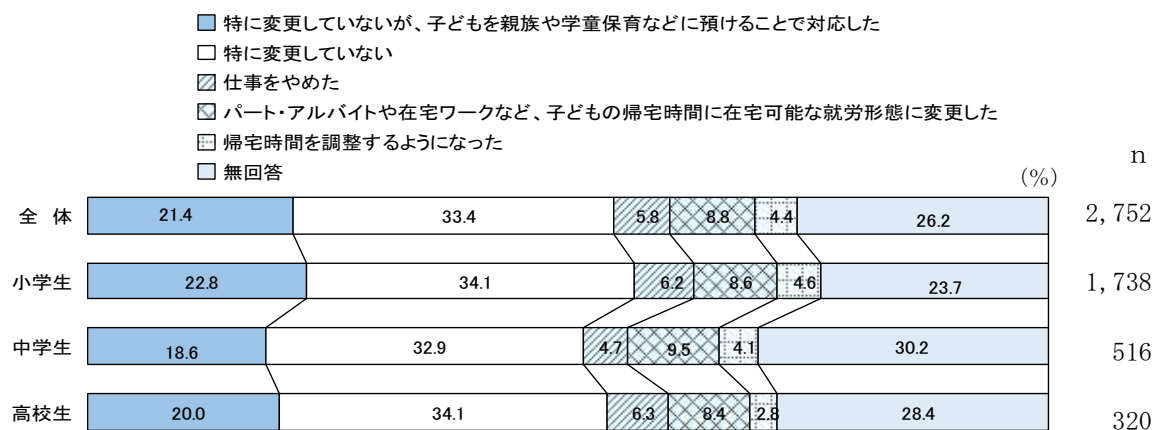
（1）父親

◇ 全体では、「特に変更していないが、子どもを親族や学童保育などに預けることで対応した」が75.4%と最も多く、次いで「特に変更していないが、子どもを親族や学童保育などに預けることで対応した」が11.9%となっている。



（2）母親

◇ 母親の場合、変更していない割合が54.8%と、父親の場合よりも割合が低くなる。
 ◇ また、変更した割合は、「パート・アルバイトや在宅ワークなど、子どもの帰宅時間に在宅可能な就労形態に変更した」が8.8%、「仕事をやめた」が5.8%、「帰宅時間を調整するようになった」が4.4%となっている。

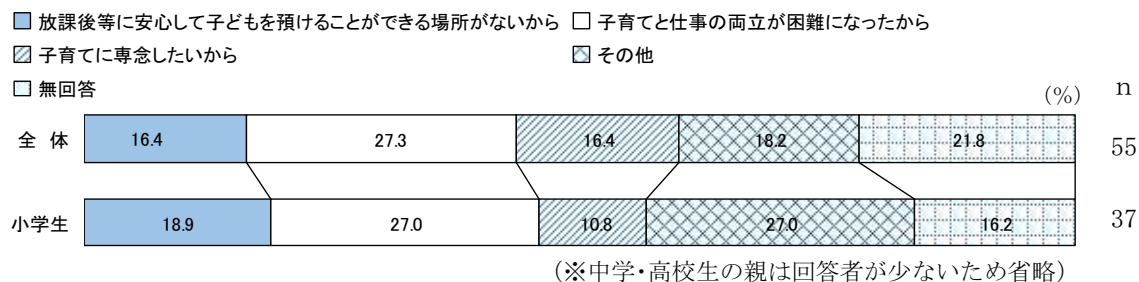


就労形態を変更した理由について（就学後）【問28】

■就労形態などを変更した理由はなんですか。（1つ）

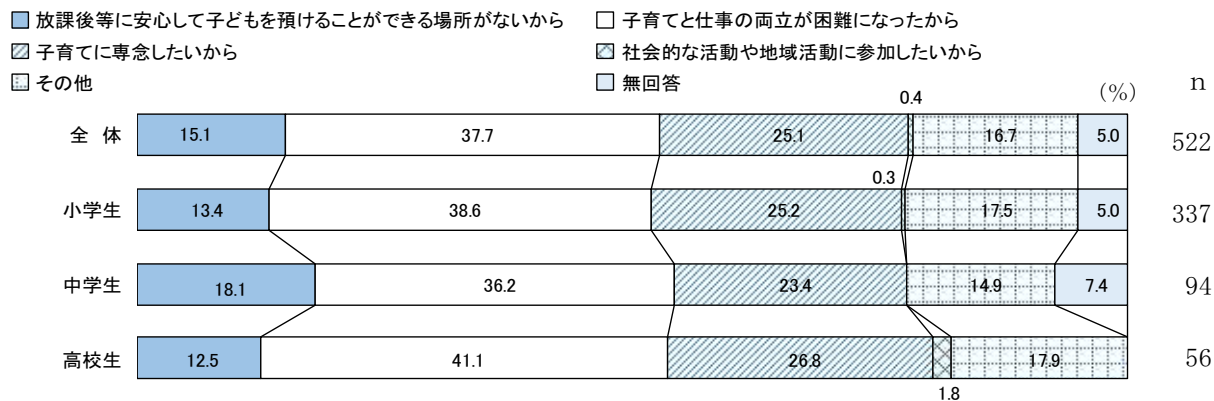
（1）父親

◇ 全体では、「子育てと仕事の両立が困難になったから」が27.3%と最も多い。



（2）母親

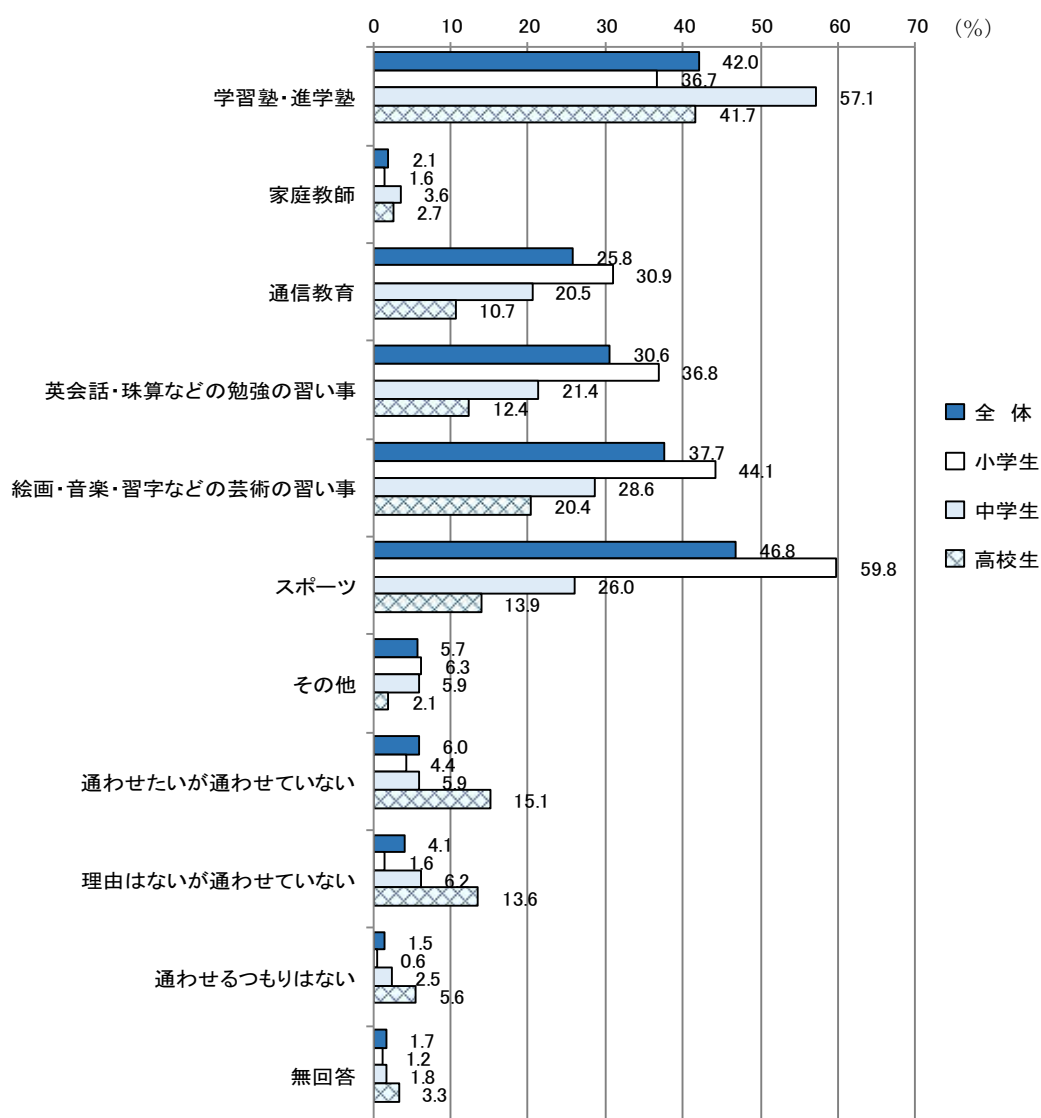
◇ 全体では、「子育てと仕事の両立が困難になったから」が37.7%と最も多く、次いで「子育てに専念したいから」が25.1%となっている。



■あなたの世帯では、現在、お子さんは塾や習い事などに通っていますか。

（複数回答）

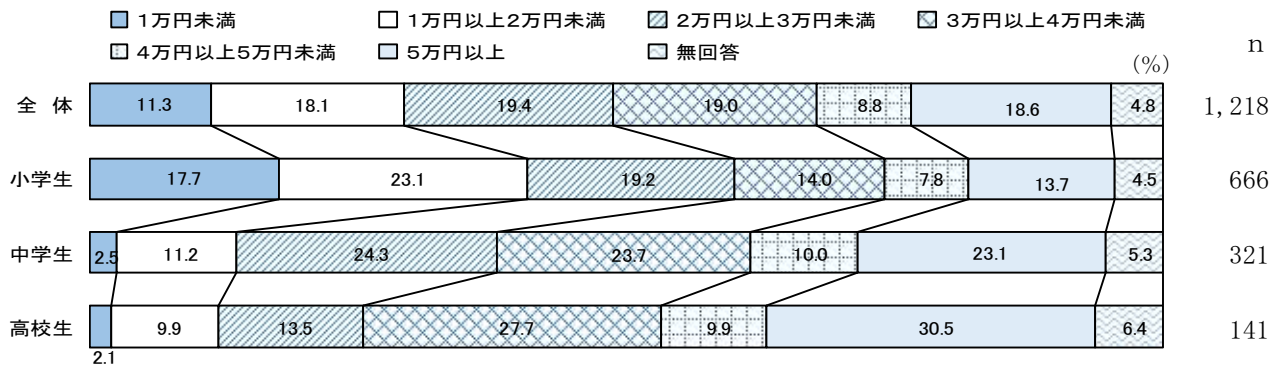
- ◇ 全体では、「スポーツ」が46.8%と最も多く、次いで「学習塾・進学塾」が42.0%、「絵画・音楽・習字などの芸術の習い事」が37.7%、「英会話・珠算などの勉強の習い事」が30.6%となっている。
- ◇ 小学生は「スポーツ」が59.8%、中学生は「学習塾・進学塾」が57.1%と割合が高い。



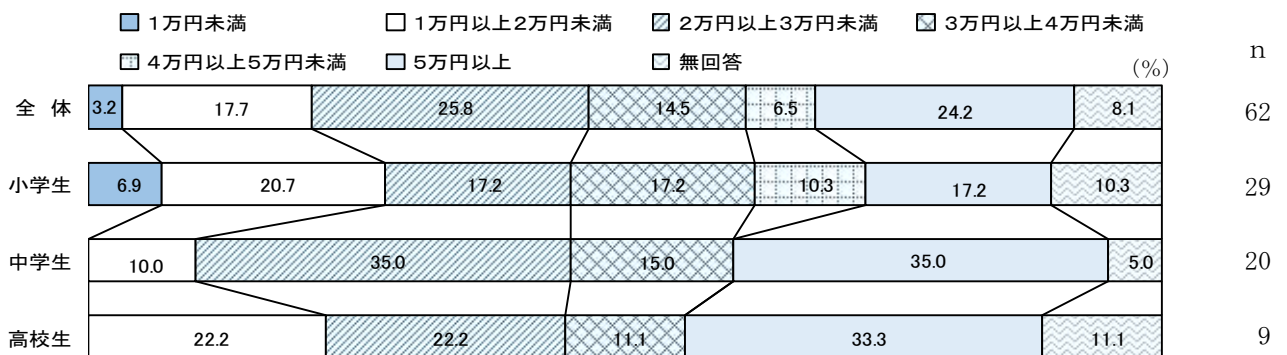
回答数 全体=5,502 小学生の親=4,037 中学生の親=998 高校生の親=467

【1か月にかかる費用】

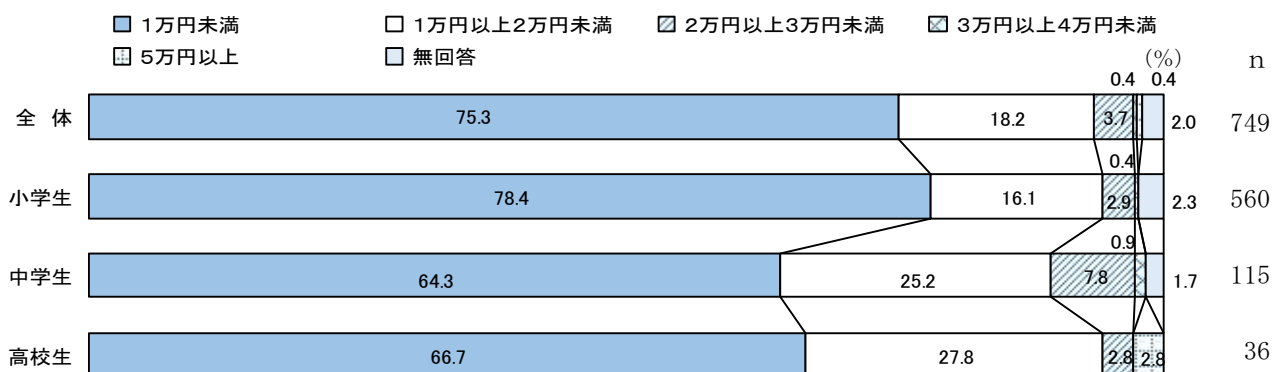
1. 学習塾・進学塾



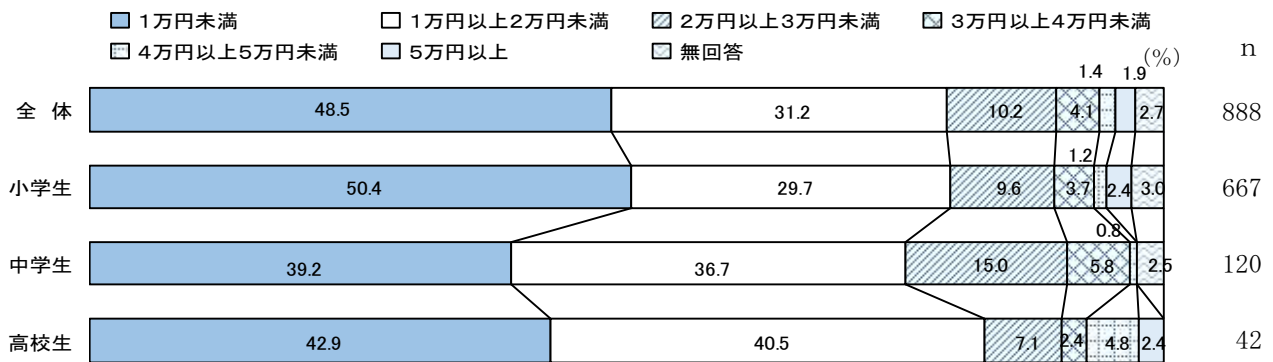
2. 家庭教師



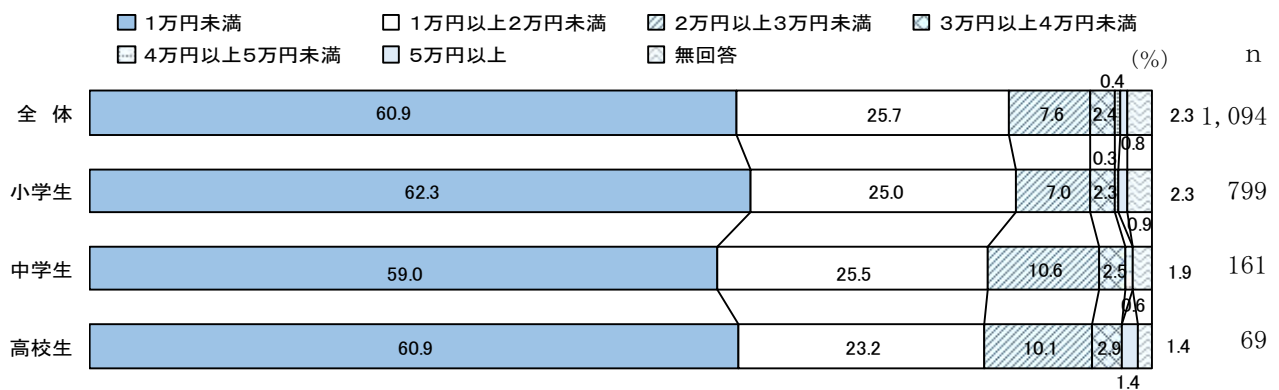
3. 通信教育



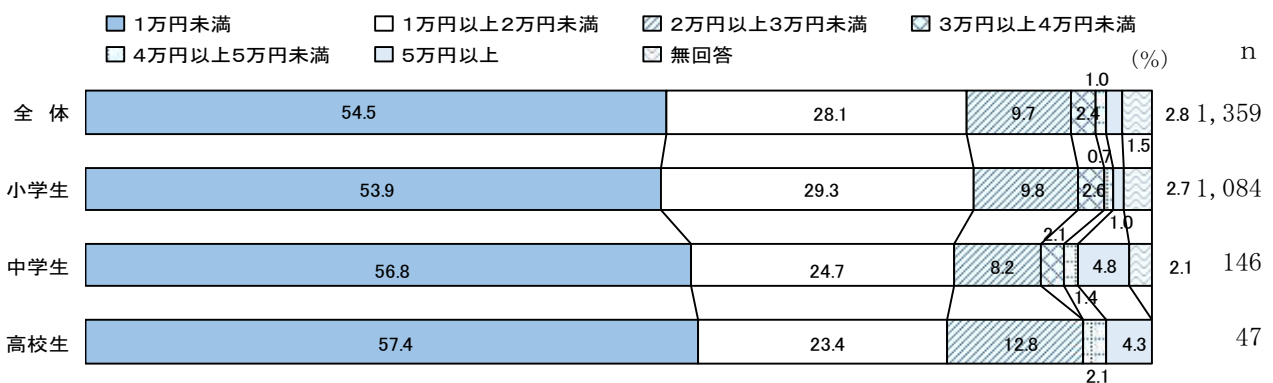
4. 英会話・珠算などの勉強の習い事



5. 絵画・音楽・習字などの芸術の習い事



6. スポーツ

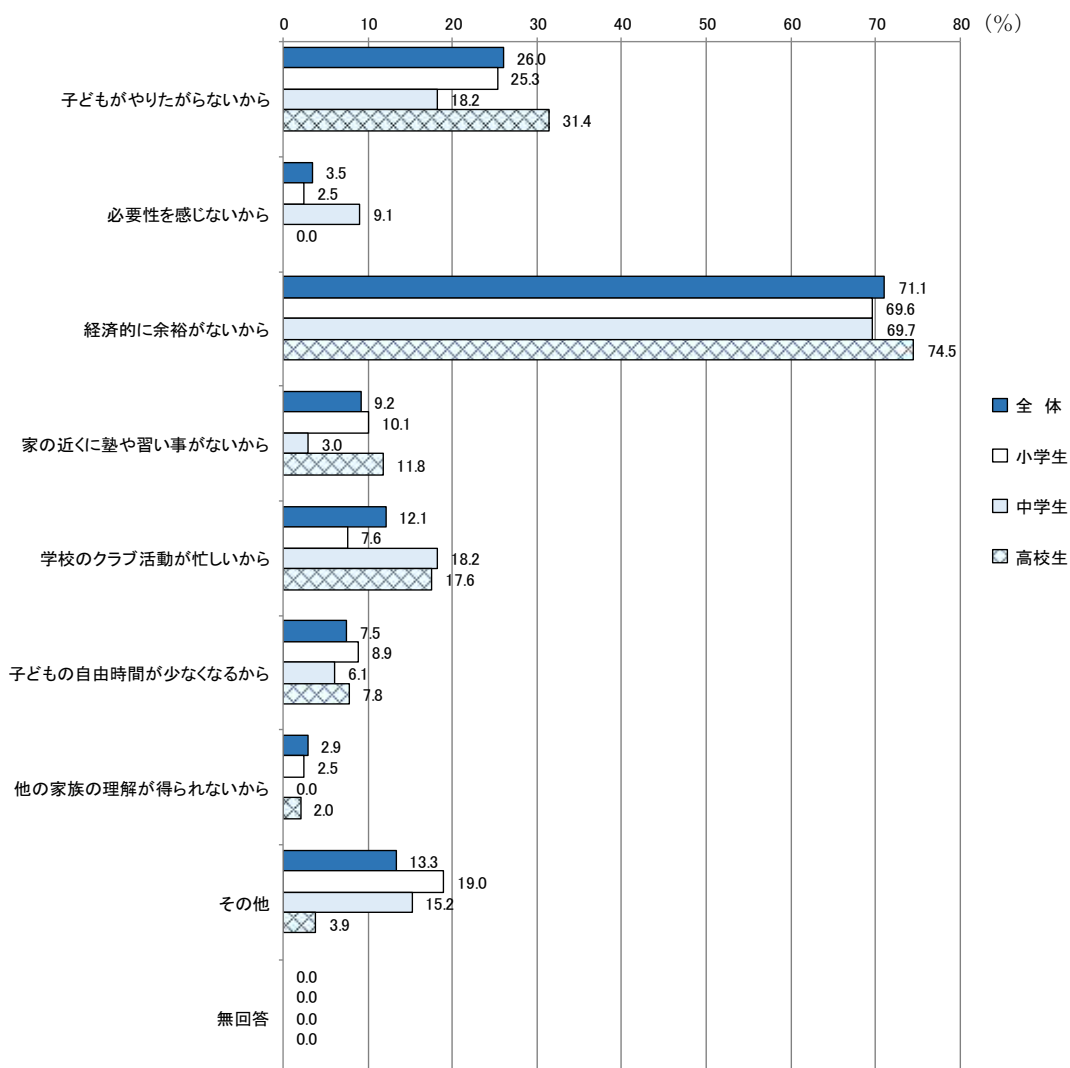


塾・習い事に通わせていない理由について（就学後）

【問 3 7】

■塾や習い事に通わせたいが通わせていない理由は何ですか。（複数回答）

◇ 全体では、「経済的に余裕がないから」が71.1%と最も多く、次いで「子どもがやりたがらないから」が26.0%となっている。

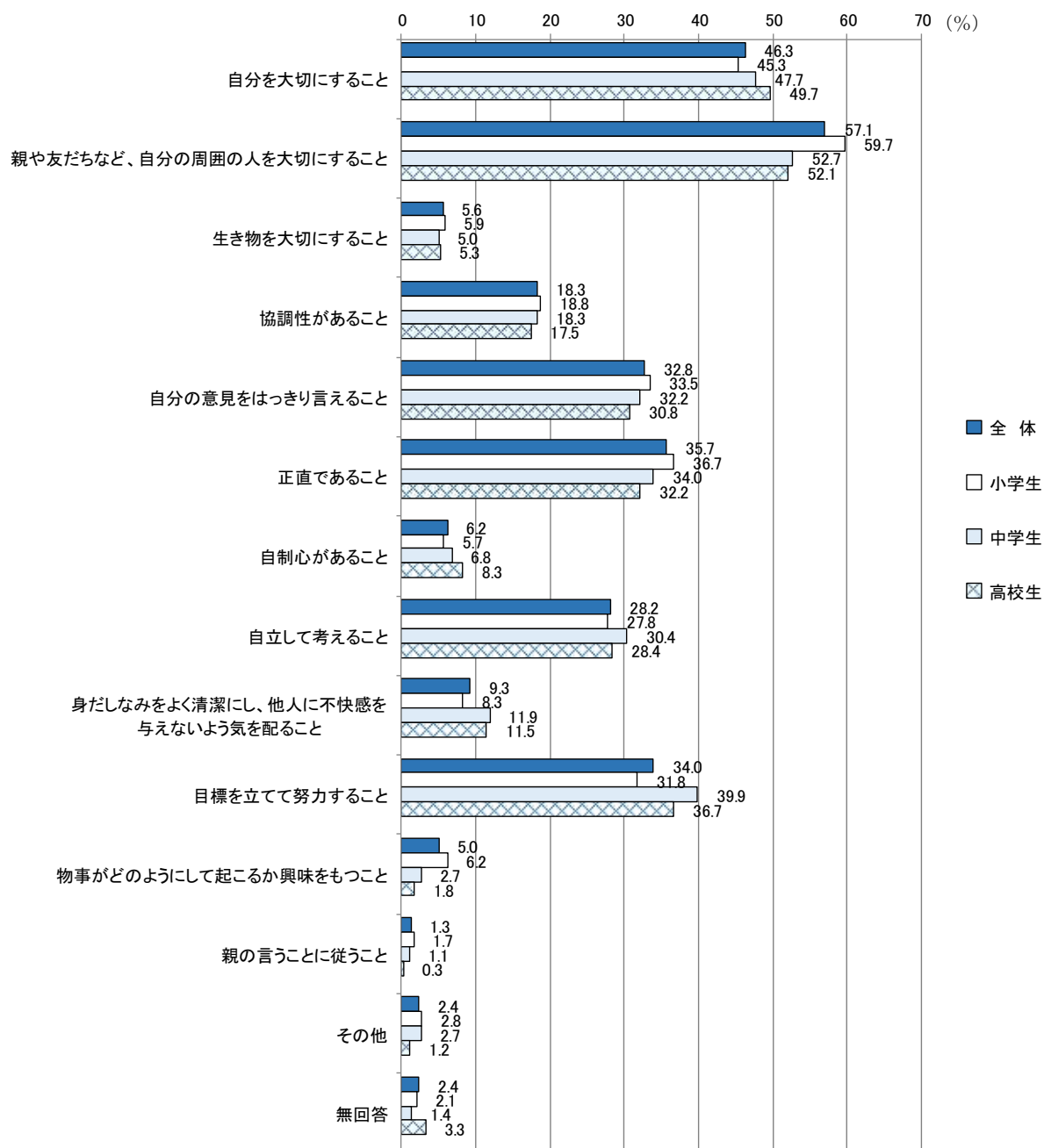


回答数 全体=237 小学生の親=115 中学生の親=46 高校生の親=76

重視しているお子さんの教育について（就学後） 【問 3 8】

■あて名のお子さんの教育について、重視していることはありますか。（3つまで）

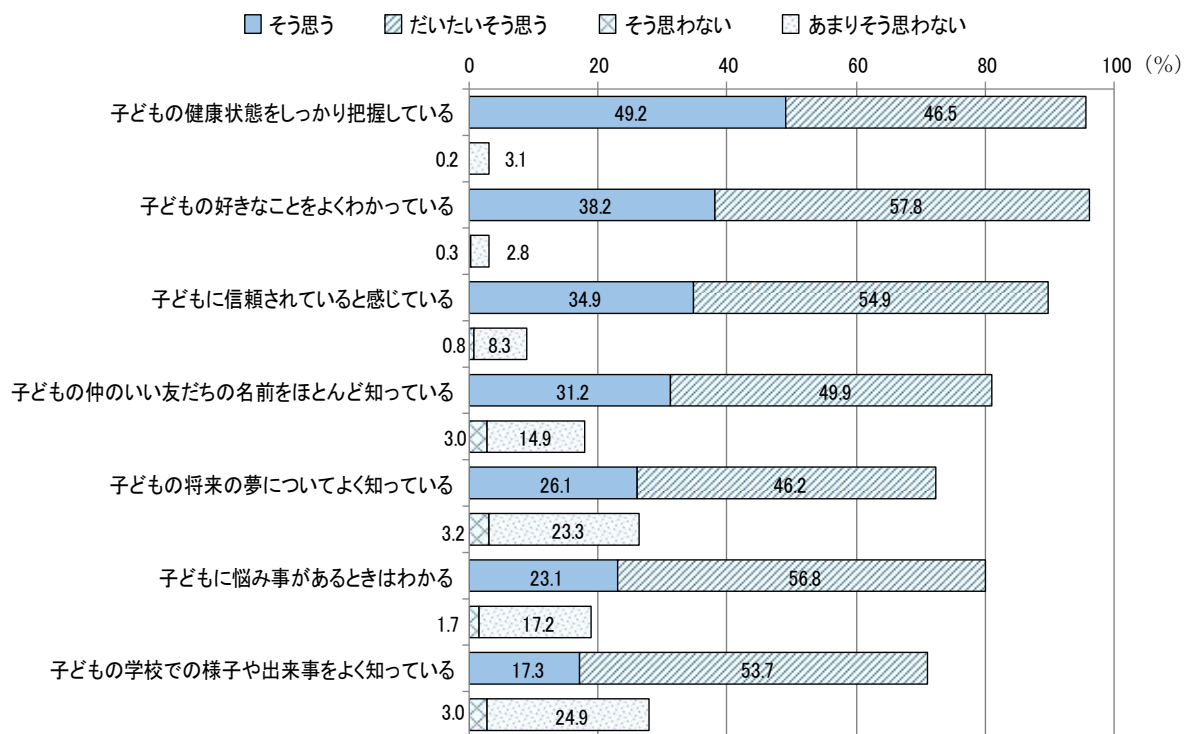
- ◇ 全体では、「親や友だちなど、自分の周囲の人を大切にすること」が57.1%と最も多く、次いで「自分を大切にすること」が46.3%となっている。



回答数 全体=7,688 小学生の親=5,153 中学生の親=1,603 高校生の親=932

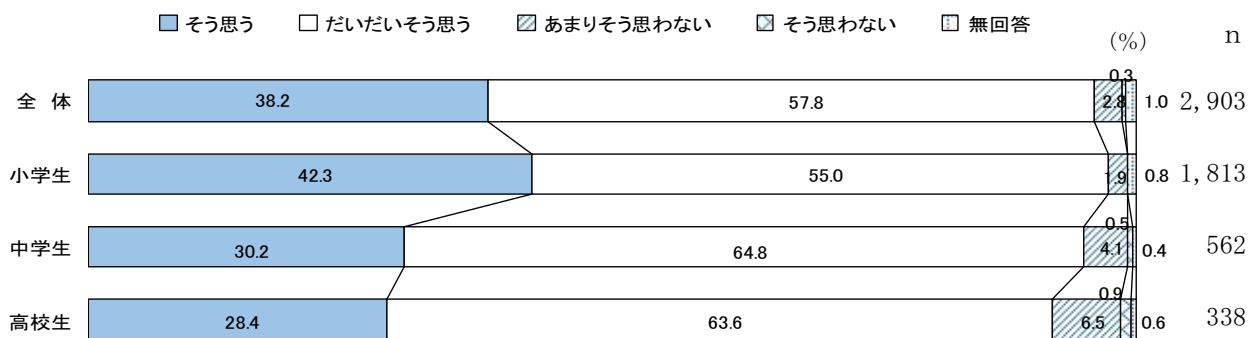
お子さんとの親子関係について（就学後） 【問 5 0】

■あて名のお子さんとの関係に関する以下の項目について、あなたはどのように思われますか。（各 1 つ）

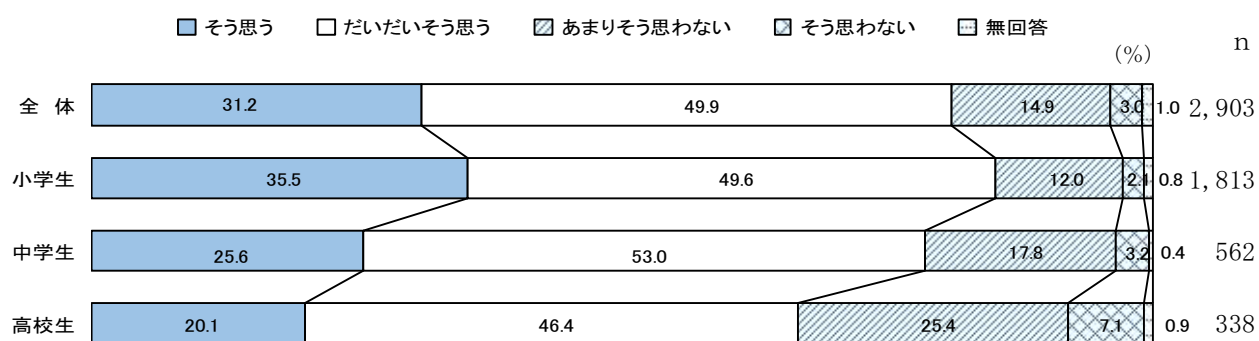


回答数 全体＝2,903

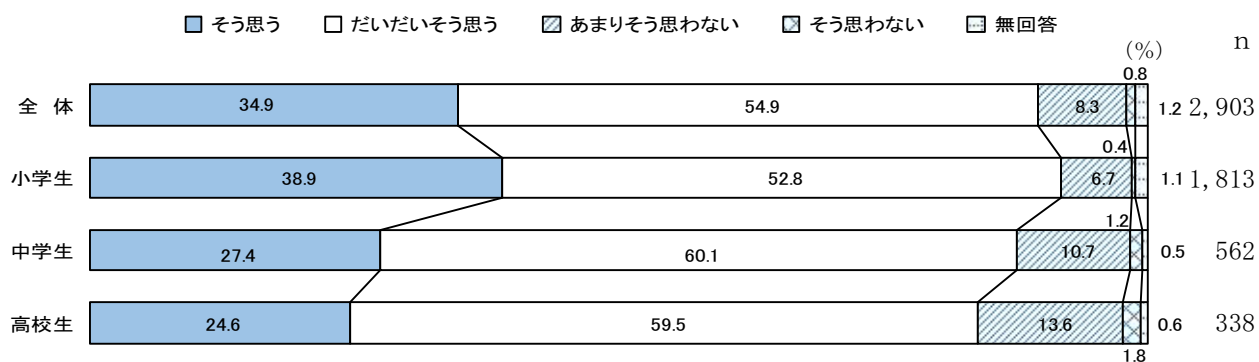
ア. 子どもの好きなことをよく知っている



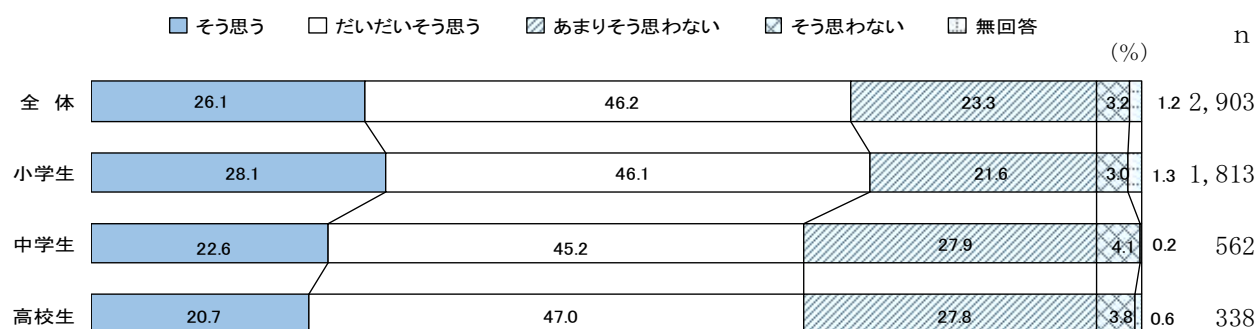
イ. 子どもの仲のいい友だちの名前をほとんど知っている



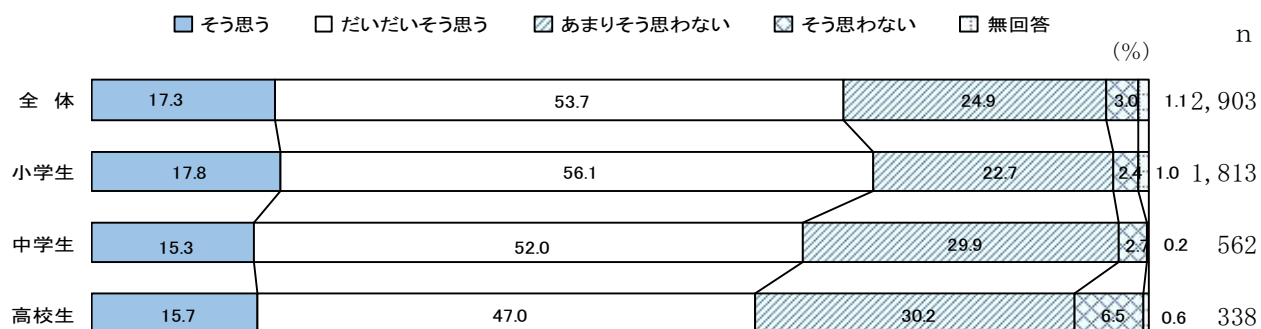
ウ. 子どもに信頼されていると感じている



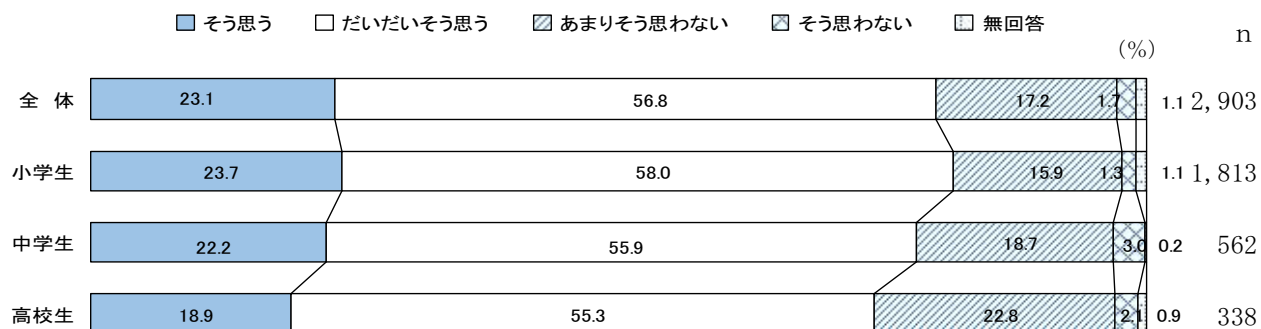
エ. 子どもの将来の夢についてよく知っている



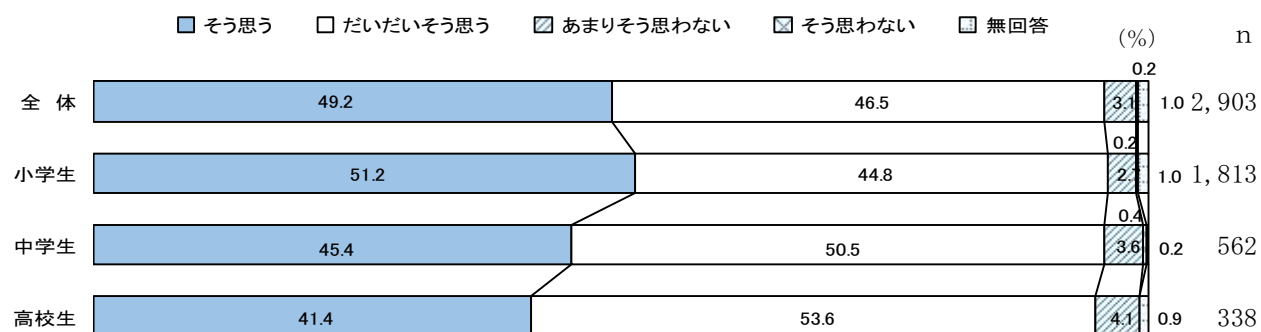
オ. 子どもの学校での様子や出来事をよく知っている



カ. 子どもに悩み事があるときはわかる



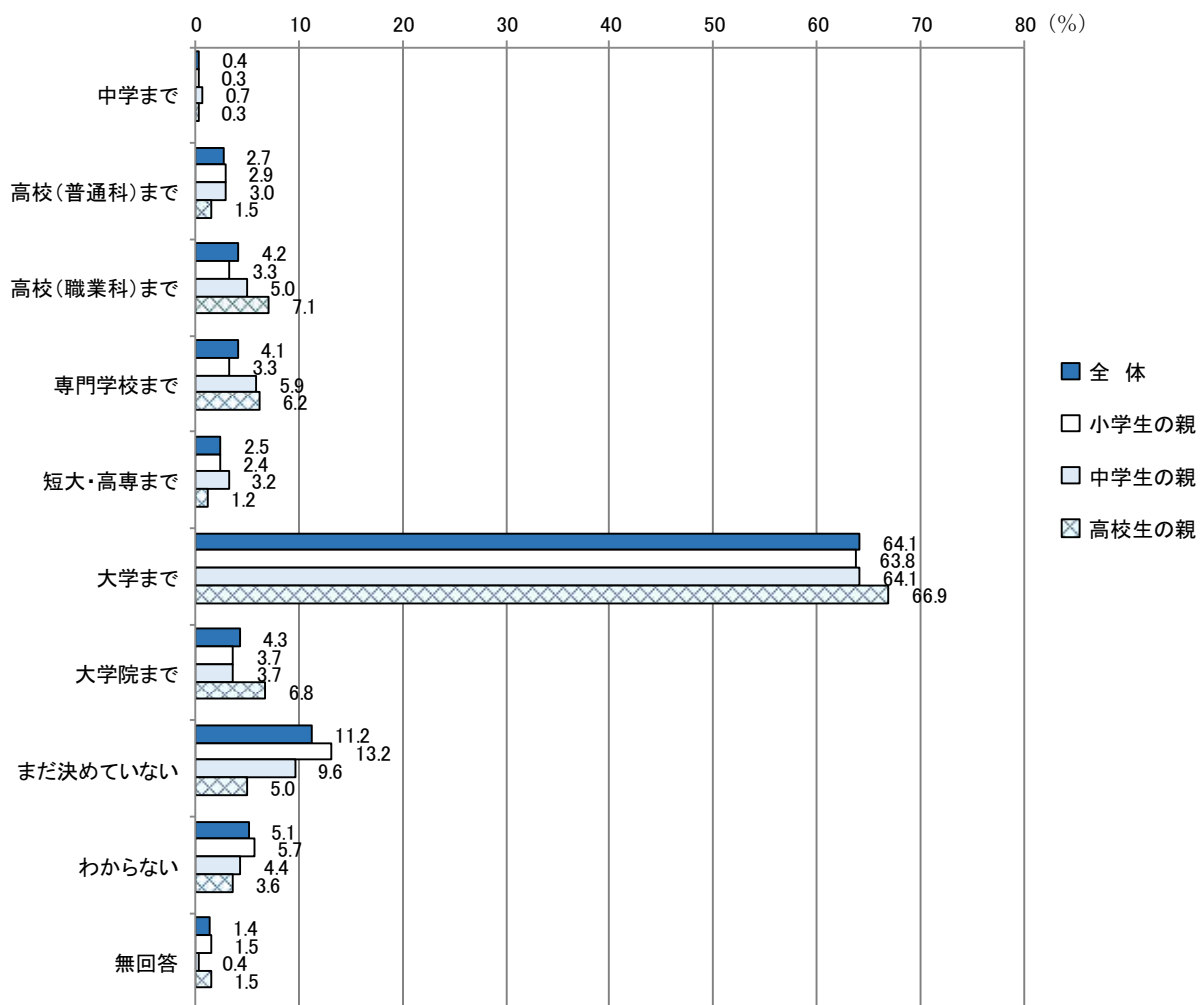
キ. 子どもの健康状態をしっかりと把握している



お子さんの進路について（就学後） 【問 5 1】

■あなたは、あて名のお子さんに、最終的にどこまで進学してほしいと考えていますか。（1つ）

◇全体では、「大学まで」が最も多く 64.1%である。さらに、大学院までの割合 4.3%をたすと、68.4%が大学以上の進学を望んでいる。



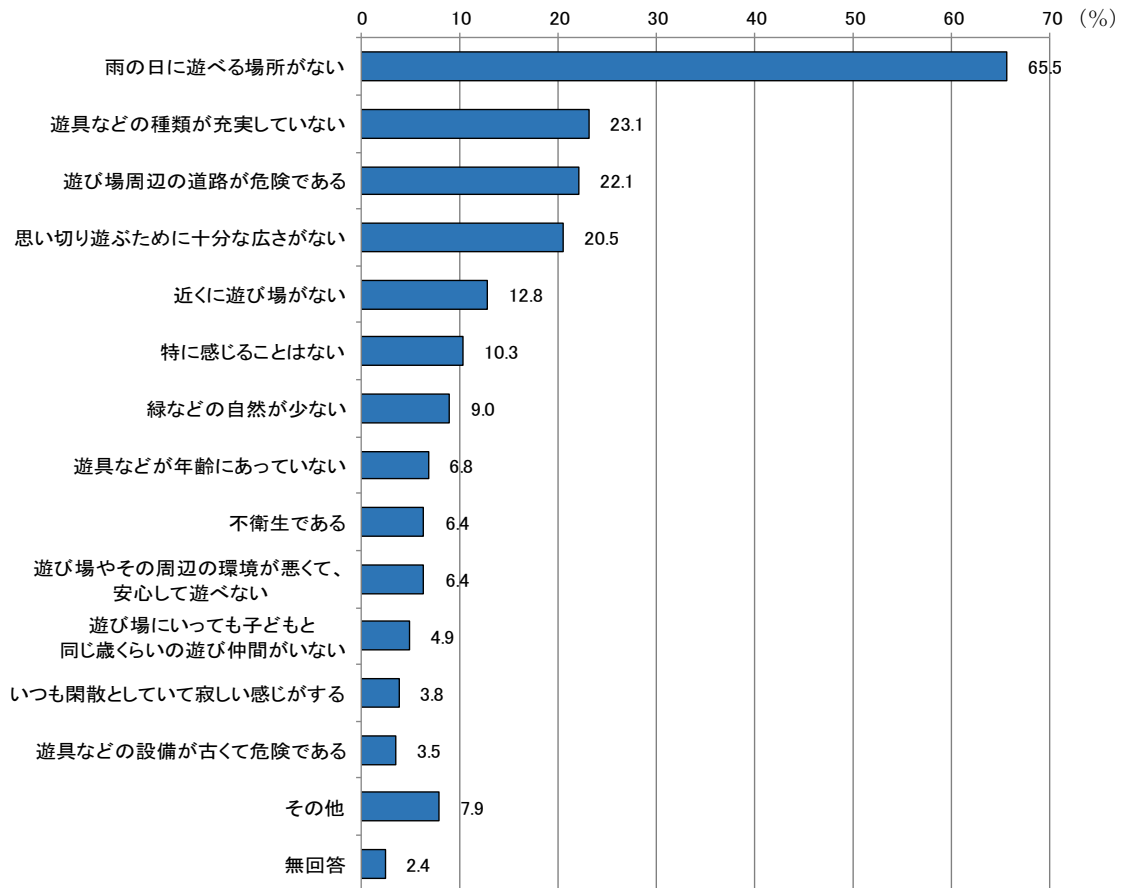
回答数 全体=2,903 小学生の親=1,813 中学生の親=562 高校生の親=338

【あて名のお子さんが小学生の保護者のかた】

子どもの遊び場について（就学後） 【問 5 2】

■あなたの家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることを選んでください。（3つまで）

◇ 「雨の日に遊べる場所がない」が65.5%と最も多い。



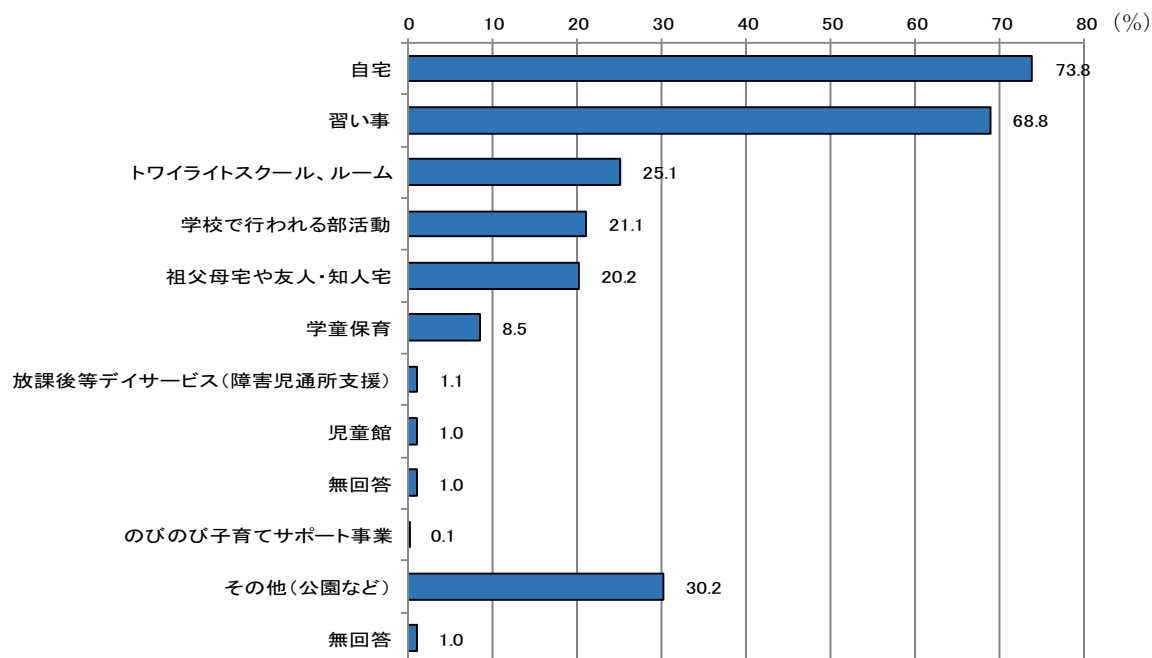
回答数 小学生の親=3,344

【あて名のお子さんが小学生の保護者のかた】

お子さんの放課後の過ごし方について（就学後） 【問53】

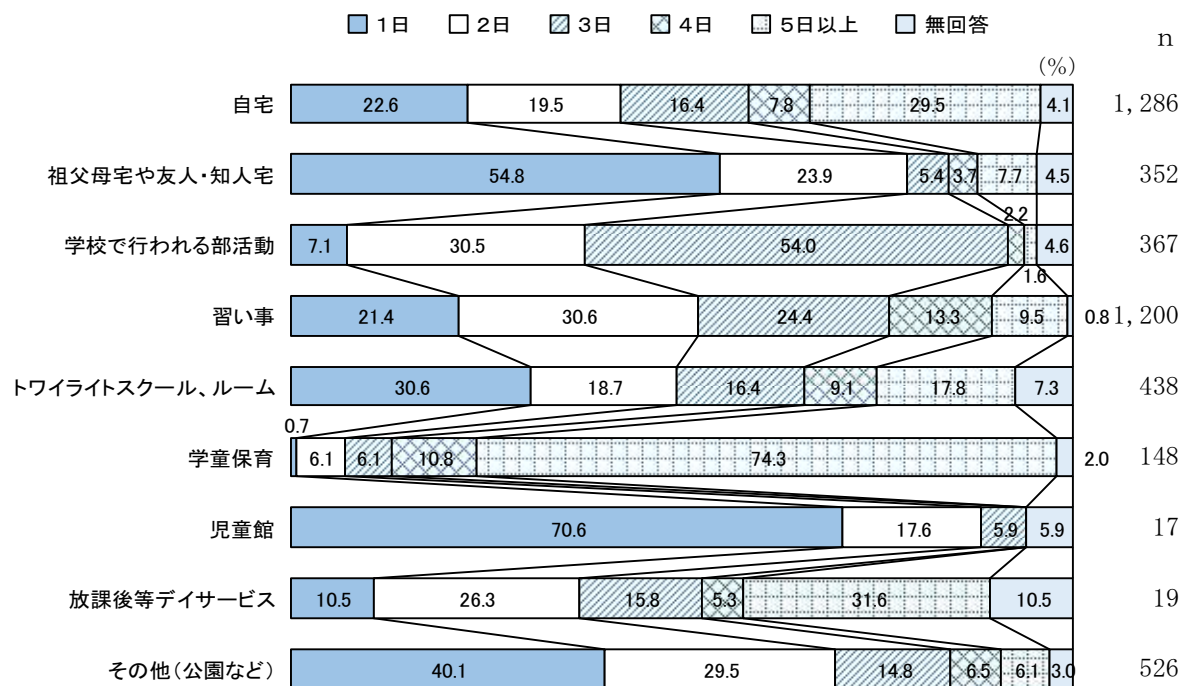
■あて名のお子さんは、平日の放課後をどのように過ごしていますか。（複数回答）

◇「自宅」が73.8%と最も多く、次いで「習い事」が68.8%となっている。



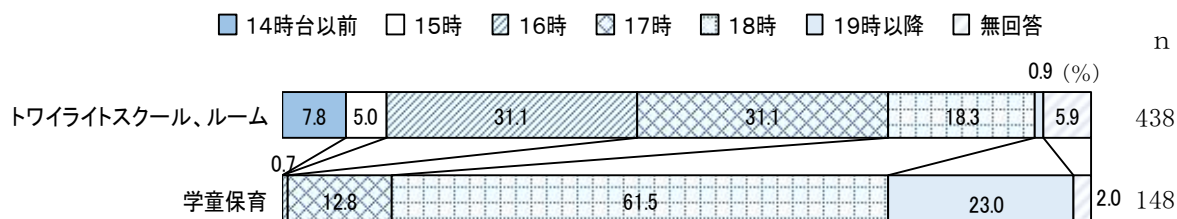
回答数 小学生の親=5,131

【日数】



(※のびのび子育てサポート事業は回答者数が少ないため省略)

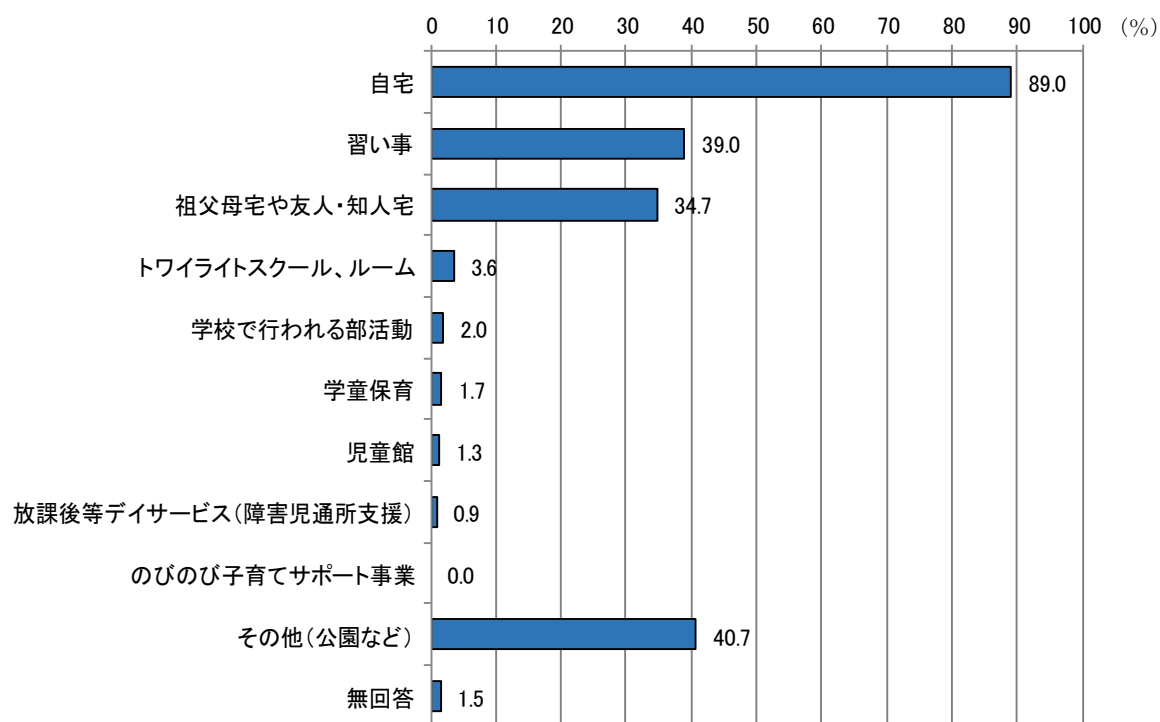
【利用時間】（トワイライトスクール、ルーム、学童保育のみ）



お子さんの休日（学校がない日）の過ごし方について（就学後） 【問5 4】

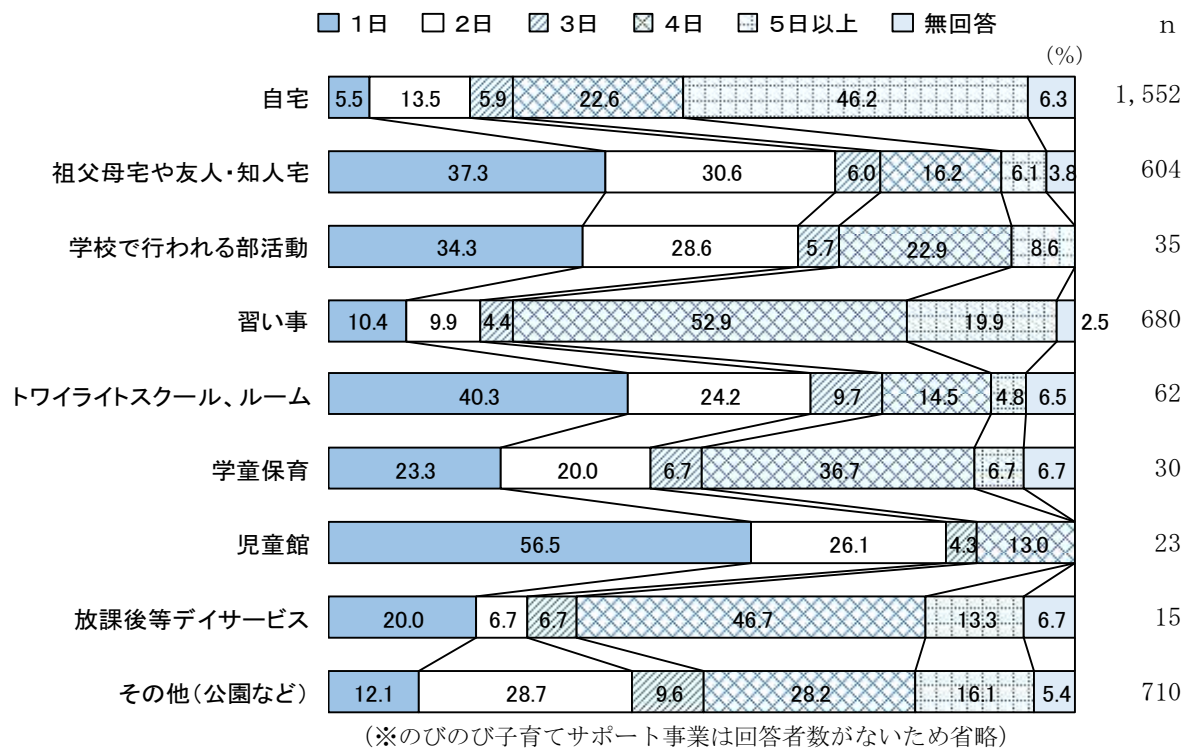
■あて名のお子さんは、休日（学校がない日）をどのように過ごしていますか。
（複数回答）

◇ 「自宅」が89.0%と最も多い。



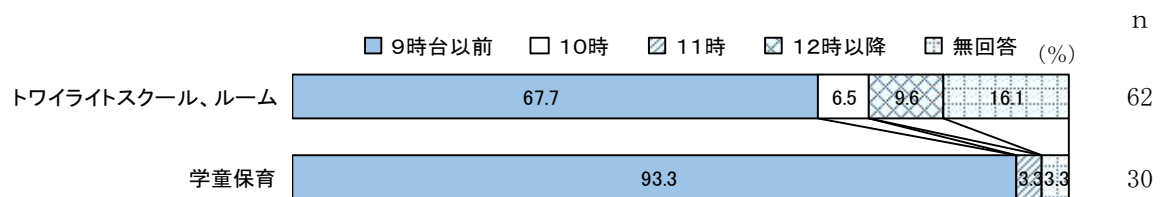
回答数 小学生の親=3,495

【日数】

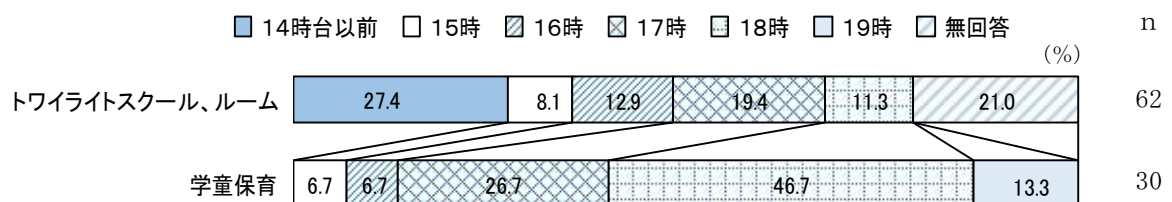


【利用時間】（トワイライトスクール、ルーム、学童保育のみ）

<始まり>



<終わり>

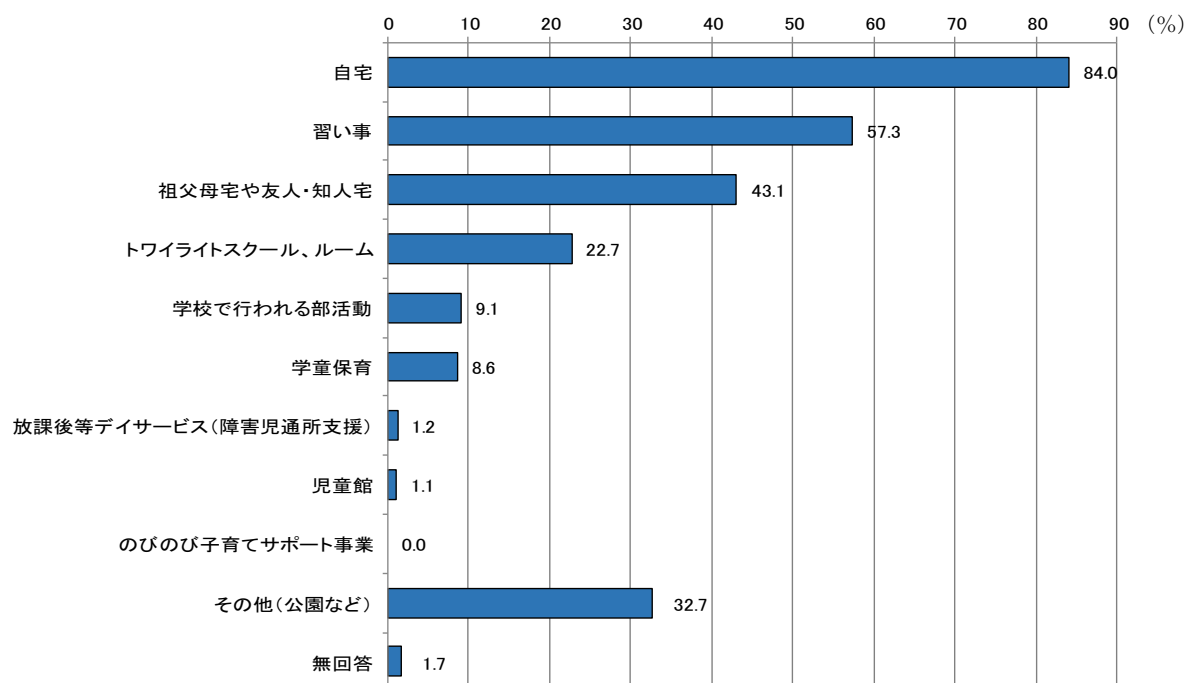


お子さんの長期休業中の過ごし方について（就学後）

【問55】

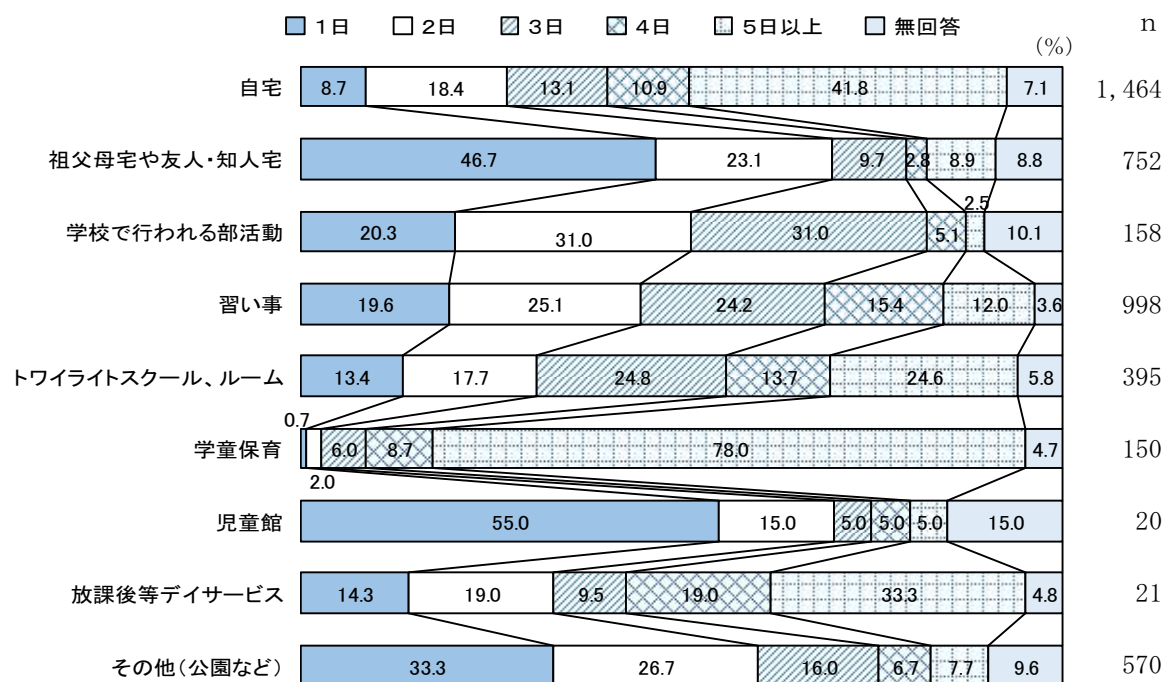
■あて名のお子さんは、夏休みや冬休みなどの長期休業をどのように過ごしていますか。（複数回答）

◇ 「自宅」が84.0%と最も高く、次いで「習い事」が57.3%となっている。



回答数 小学生の親=4,273

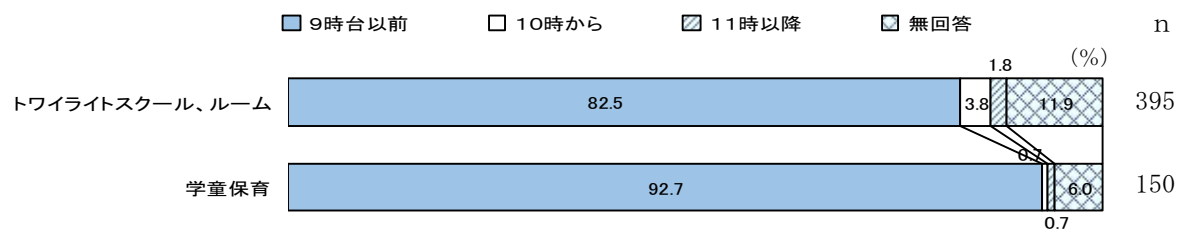
【日数】



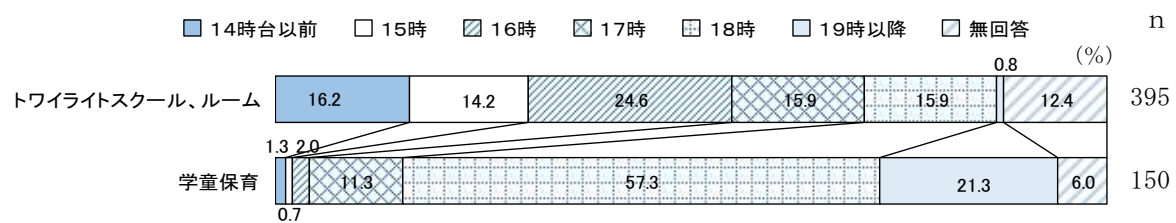
(※のびのび子育てサポート事業は回答者数がないため省略)

【利用時間】（トワイライトスクール、ルーム、学童保育のみ）

<始まり>



<終わり>



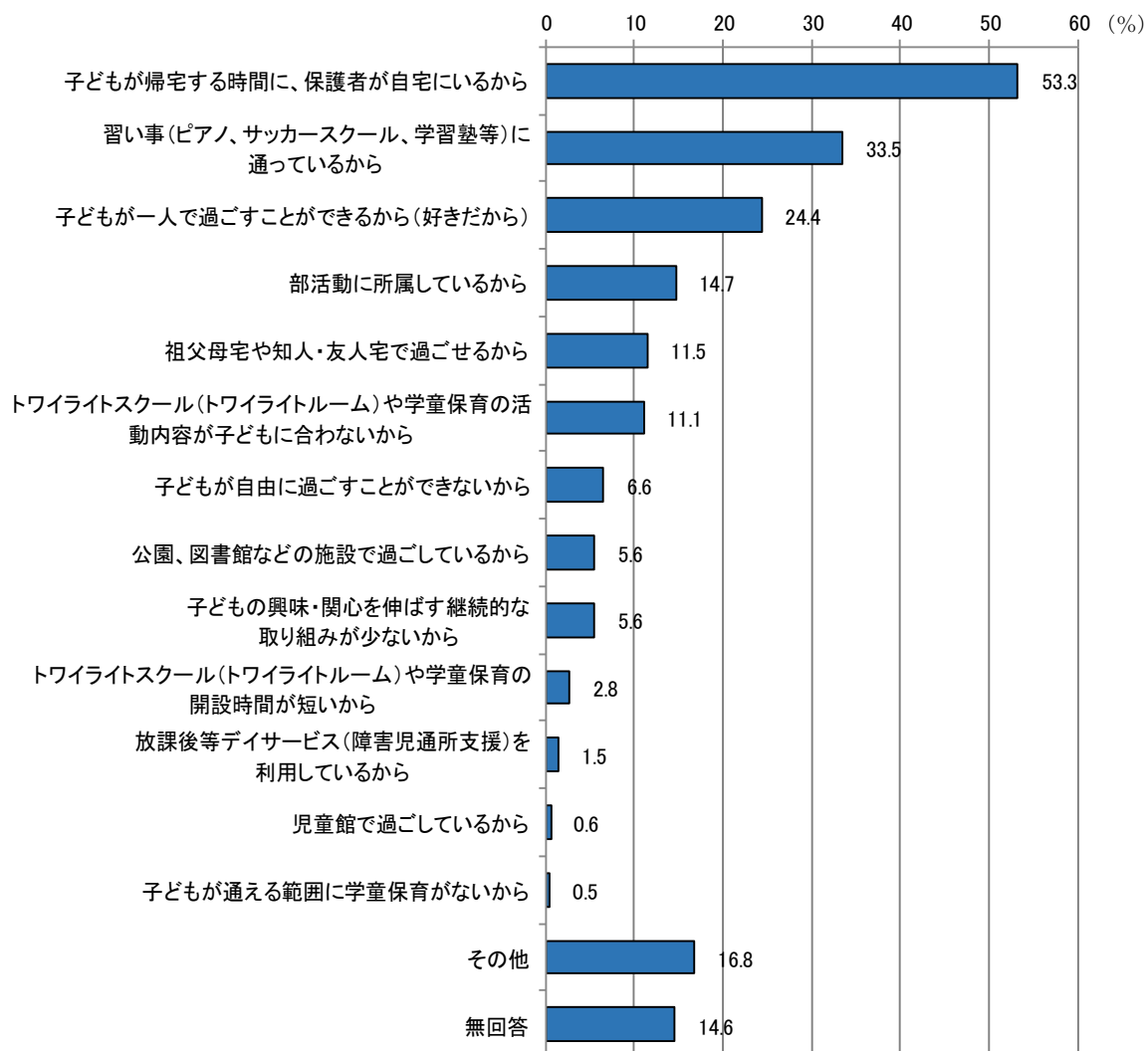
【あて名のお子さんが小学生の保護者のかた】

トワイライトスクール、ルーム・学童保育を利用しない理由について（就学後）

【問56】

■トワイライトスクール、ルームまたは学童保育を現在、利用していない理由は何ですか。（3つまで）

◇ 「子どもが帰宅する時間に、保護者が自宅にいるから」が53.3%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ、サッカースクール、学習塾等）に通っているから」が33.5%となっている。

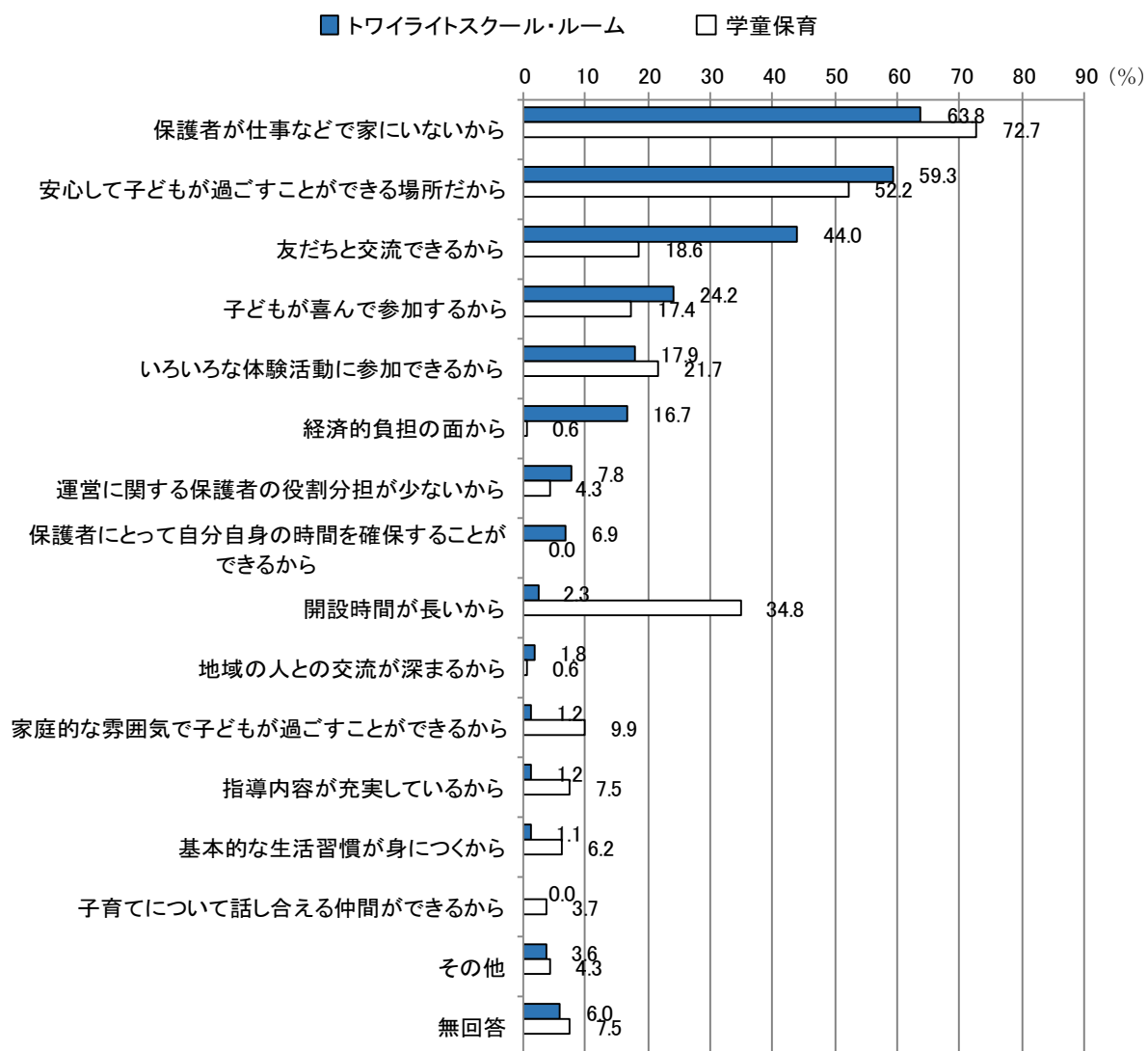


回答数 小学生の親＝2,124

トワイライトスクール、ルーム・学童保育に行く理由について（就学後） 【問57】

■ お子さまがトワイライトスクール、ルームまたは学童保育へ行っている理由は何ですか。（3つまで）

◇ 「保護者が仕事などで家にいないから」「安心して子どもが過ごすことができる場所だから」がトワイライトスクール、ルーム、学童保育ともに多く 50%を超える。



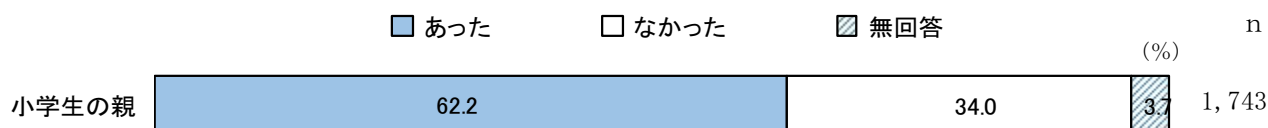
回答数 トワイライトスクール・ルーム＝1,452 学童保育＝422

【あて名のお子さんが小学生の保護者のかた】

病気やケガ等で学校を休まなければならなかったことについて（就学後）【問58】

■この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガ等で学校を休まなければならなかったことはありますか。（1つ）

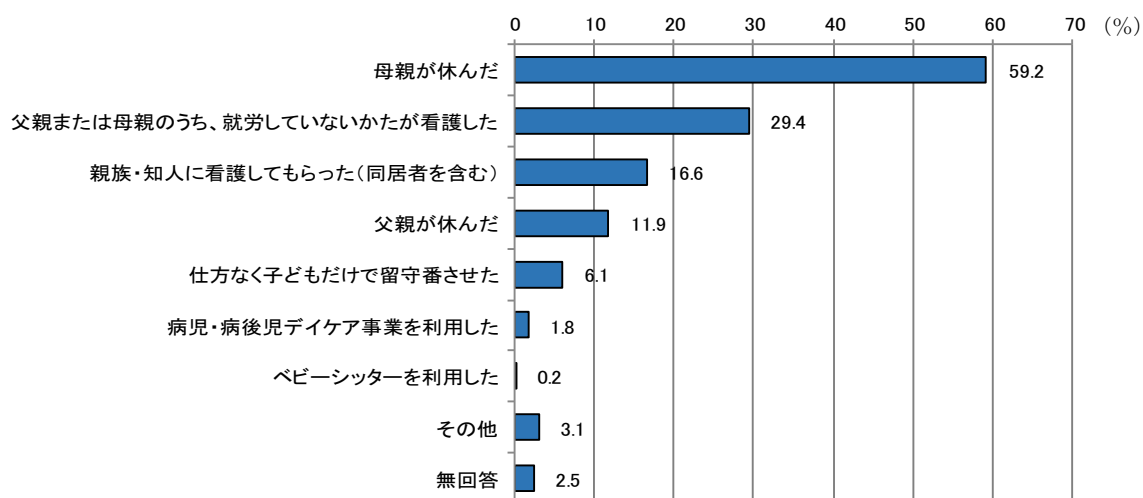
◇ この1年間に、子どもが病気やケガで学校を休んだことがある人が62.2%である。



病気やケガ等での休みの対応について（就学後） 【問59】

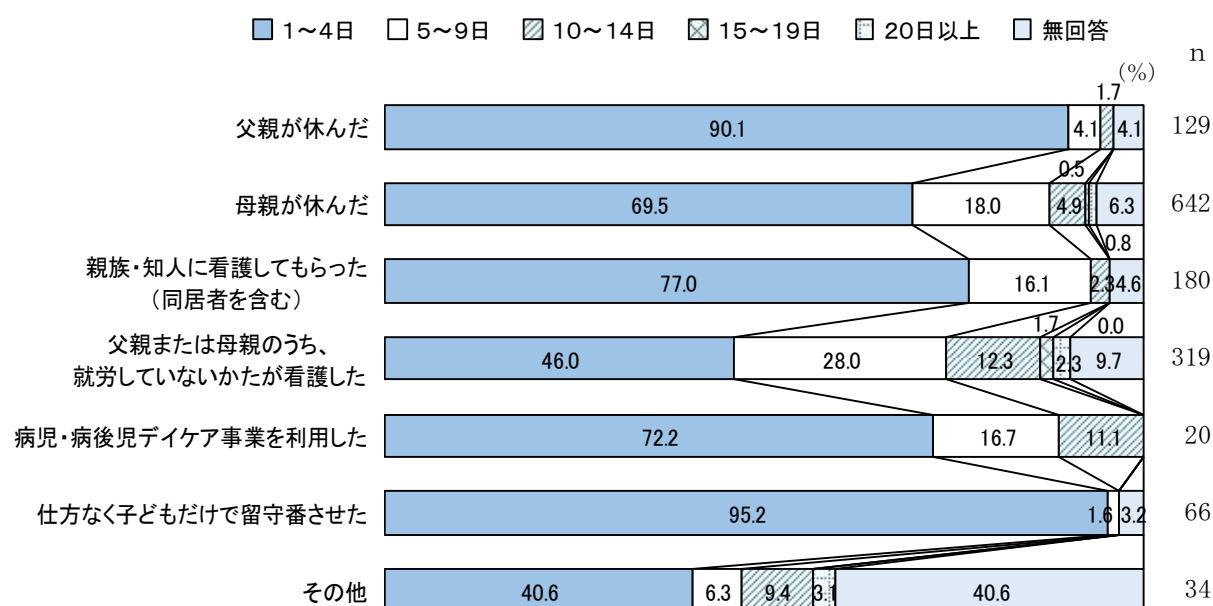
■この1年間で、あて名のお子さんが病気やケガ等で学校を休まなければならなかった場合、どのように対応しましたか。（複数回答）

◇ 「母親が休んだ」が59.2%と最も多く、次いで「父親または母親のうち、就労していないかたが看護した」が29.4%となっている。



回答数 小学生の親=1,419

【日数】

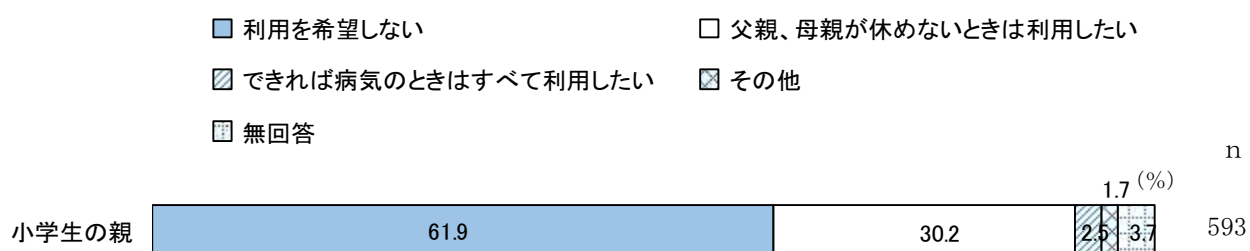


(※ベビーシッターは回答者数が少ないため省略)

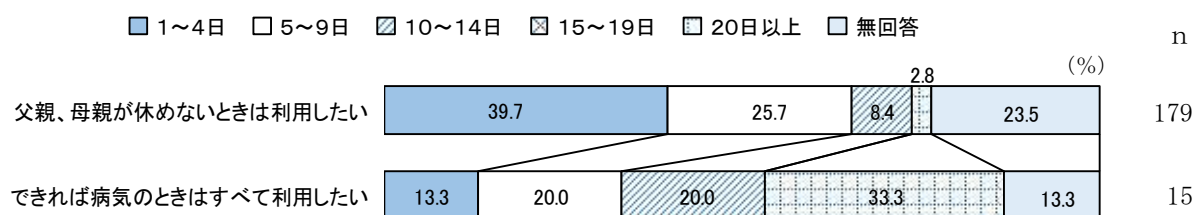
病気やケガ等で休みの場合の保育事業利用希望について（就学後） 【問60】

■ あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならないときに、できれば病気のお子さんを対象とした保育事業等を利用したいと思いますか。（1つ）

◇ 「利用を希望しない」が61.9%と最も多く、次いで「父親、母親が休めないときは利用したい」が30.2%となっている。



【日数】（利用したい場合のみ）



(※15～19日は該当者なし)

～自由意見～

子ども・子育て支援のあり方についてのご意見などを、ご自由にお書きください。

- ◇ 就学前の子の保護者は「保育所・幼稚園」についての意見が 20.5%と最も多く、次いで「子育て支援」についての意見が 19.2%であった。
- ◇ 就学後の子の保護者は「経済的負担」についての意見が 17.8%と最も多く、次いで「社会」についての意見が 16.5%であった。

表 保護者（就学前・就学後）の意見の概要・件数

	保護者（就学前）		保護者（就学後）	
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）
学校教育	19	1.4	84	12.1
家庭	44	3.3	6	0.9
放課後・地域教育	55	4.2	85	12.2
経済的負担	175	13.3	124	17.8
障害児教育	25	1.9	19	2.7
まちづくり	181	13.7	68	9.8
悩み相談	16	1.2	6	0.9
社会	122	9.3	115	16.5
医療	9	0.7	17	2.4
保育所・幼稚園	270	20.5	38	5.5
子育て支援	253	19.2	64	9.2
行政等	35	2.7	31	4.5
その他	114	8.6	39	5.6
合計	1,318	100.0	696	100.0

主な意見は、以下のとおりである。

（１）学校教育（就学前：19件 就学後：84件）

＜就学前＞

- ・中学校に給食を導入してください。
- ・学校でいじめなどなく、自分の意見を自由に言い、人のことを思いやれるような教育環境があると良い
- ・小学校の部活動をなくさないで欲しい。
- ・小学校の１クラスの人数を全学年３０人学級にするか各学校の教職員の配置人数を増やして欲しいです。

＜就学後＞

- ・学校としての役割がうすくなっている。親がお金をかけなくても高校に行け、大学に行ける環境を作してほしい。
- ・学校の先生がうけ持つ生徒数を減らし、教員を増やして子供と向き合えるような教室の方がいいと思います。
- ・小学校の部活を廃止にしないでほしい。

- ・学校の先生の負担を減らせないか？
- ・全ての子どもが就労や生活に自信をもてる様、教育や支援をしてほしい。
- ・名古屋市の中学校で給食を出してほしいです
- ・もっと学校で（土曜日などふやして）学習をサポートしてほしいです。

（２）家庭（就学前：44 件 就学後：6 件）

＜就学前＞

- ・父親がもっと育児や家事に参加するような制度や支援（会社への働きかけ）を行って欲しい。
- ・まずは配偶者と一緒に子育てがしたい。もっとワークライフバランスのとれた社会になってほしい。
- ・父親の悩みサポートは行き届いていない、実際にあるのだとしたら周知されていないように感じる。

＜就学後＞

- ・子どもが小さいうちは、母親が育児をすることを希望です。
- ・行政や制度の支援も大切だとは思いますが、親の自己責任がうすれていると思います。

（３）放課後・地域教育（就学前：55 件 就学後：85 件）

＜就学前＞

- ・トワイライトスクールについて、内容を充実させていただきたいです。
- ・保育園時代の方が手厚く、小学生になったとたん少1の壁を強く感じる
- ・トワイライト・学童も長期休暇中、給食が出ると嬉しい。
- ・子育ては、親だけでできるものではなく、地域の方や社会に守られ、大切にされていると実感しています。

＜就学後＞

- ・トワイライトルームを学区に関係なく利用できるようにしてほしいです
- ・トワイライトスクールはとても助かってます。
- ・学校の放課後の時間で両親が仕事から帰宅する迄に安全に子供を預かってくれる場所が少ないです。
- ・学童保育も充実しており、安心して働けています。
- ・トワイライトの中で、月謝を払っても良いので、英会話やそろばんなど習い事の時間を作ってほしい。
- ・”地域のばあば”が動きやすいシステムが欲しいです。行政で”親”と”地域のばあば”をつないでくださる事をせつに期待します。
- ・子供が小さい時には親が閉塞的になることもあるので、役所や近所の人が「おせっかい」な感じに関われるといいと思いました。

（４）経済的負担（就学前：175 件 就学後：124 件）

＜就学前＞

- ・幼児教育の無償化に期待してます
- ・所得によって支払限度額を決めるのはやめてもらいたい。

- ・名古屋市だけでも、子育て世帯への税優遇措置を講じて欲しい。
- ・中学、高校、大学までが子どもが多いと経済的に大変です。医療費、学費の無償化を拡大していただけると助かります。
- ・二人目を産みたいのですが経済的な面で踏みきれません
- ・任意（有料）の予防接種を無料化してほしい
- ・医療費が無料なのは大変ありがたいです。

＜就学後＞

- ・現在中学卒業までが医療費無料で受けられるが部活などで医療機関を利用する事が多い為、もう少し延長して頂けるとありがたいです。
- ・高校や大学が無償化になったらいいなと切に願います。
- ・私のまわりでは子どもがたくさん欲しいのに経済的な理由で2人目3人目をあきらめる人が何人もいます。幼稚園や保育園の無償化がもうすぐはじまるのはとても嬉しいことです。でもその先がまだまだ不安です。
- ・年収によって、補助を無くさないで欲しい。
- ・学習塾等に通わせるのは経済負担が大きい。
- ・子供の教育にお金がかかりすぎる。
- ・年収がある額を超えてからは、国や公的な補助が制限にかかってしまい、3人子供がいると楽な生活ではありません。

（５）障害児教育（就学前：25件 就学後：19件）

＜就学前＞

- ・健常な子への支援に比べて、障害や発達に遅れがある子への支援がとても少ないように感じます。
- ・病気や障がいを持っている子どもも保育園に行けるようになればいいと思います。
- ・療育センターへ通うことに対するハードルが高く気軽に利用できない。

＜就学後＞

- ・障害に対しての教員の認識不足 育児にひとりで悩んでいる人はたくさんいます。そういう方を助けてあげてください。
- ・障害のある子供たちにとってもっと生きやすい環境にしてください
- ・発達障害の児童に対する学校での支援を厚くして欲しい。
- ・発達に不安があったり、各科の病気や検査でクリニックの範囲を超えて実施が必要である時など、どのような流れで、どこの機関に受診するのか出来るのか分かりやすく教えて欲しいです。

（６）まちづくり（就学前：181件 就学後：68件）

＜就学前＞

- ・安心して遊べる公園がほしい
- ・繁華街での子育て目線で利用できるサービスがまだまだ少ない
- ・利用したい児童館に駐車場がない事が少し残念
- ・子供が安心して遊べる場所が少なく、雨や真夏の日など行き場に困っています。
- ・地下鉄の駅などのトイレをキレイにして子供連れでも使いやすくなるといいと

思います。

- ・ 駅、地下鉄、市バス等ベビーカーでの利用がとても不便です
- ・ 子どもが安全に成長、生活して欲しいので、防犯や教育を手厚くしてほしい

＜就学後＞

- ・ 子どもが子どもだけで運動できる安心・安全な場所が欲しい。
- ・ 図書館や公園を大人・子供と区別せず、デザインの優れた居心地のよい場所に整備して欲しい。
- ・ 安全に遊べる場所をそれぞれの学区に増やしてほしい。
- ・ 名古屋市は児童館が少なく、駐車場も無い。
- ・ 公園や室内で思いっきり身体を動かせるスペースが増えると良い
- ・ 小学校近くの道路の速度を規制して欲しい。
- ・ 子どもの防犯対策を強化して欲しいです。

（７）悩み相談（就学前：16件 就学後：6件）

（８）社会（就学前：122件 就学後：115件）

＜就学前＞

- ・ “社会で子育てをする”という啓蒙活動を希望します。
- ・ 子供を産めと言うわりには、子育て中の者に対する制度も世間の目もあまりに冷たいと思います。
- ・ 子供が小さいと働ける場所が少ないので安心して働ける場所を増やして欲しいです。
- ・ 男性も労働時間を短くして育児に協力できる時間を作れるような職場作りを提案してほしい。
- ・ 今後子供がのびのびと暮らしていける社会を作ってください。
- ・ みんながお互いを思いやれる社会になったらいいのになと思います。
- ・ 子供が苦手な人、嫌いな人、関わりのない人もいるのでお互い接することの出来るコミュニケーションの場が欲しい。安心して遊べる公園がほしい

＜就学後＞

- ・ “世の中がもっと子育てしながら仕事をしていてもあたたかく見守ってくれる環境もしくは気がねなく働ける職場が増えると良いと思う
- ・ 子どもを豊かに育てられるようにしていかないと少子化はとまらない。国の発展のためにもまず少子化対策が必要だと思う。
- ・ 子育てしながらも、母親が活躍できる場をふやして欲しい。
- ・ 子供がうるさいなどの意見には悲しくなります。あたたかい目で見てもらいたい。
- ・ 母親が安心して子育てに専念できるよう、父親の働き方改革を希望します
- ・ 子供にやさしい社会になってほしいと思います。今の子供達が、大人になるのを楽しみに思えるように、周りの大人たちが、生き生きと生活して、良い見本を示せたらと思っています。

(9) 医療（就学前：9件 就学後：17件）

＜就学前＞

- ・病院の出産費用表示をわかりやすくしてほしい。
- ・不妊治療への支援策を増やして欲しい。
- ・休日診療所の待ち時間が長い。

＜就学後＞

- ・安心して通える小児科が少ない。
- ・子供のいる家庭ばかりにお金を出すのではなく、不妊治療は保険でかけられるようにして欲しかった。
- ・子供の歯科についても考えて頂きたい。

(10) 保育所・幼稚園（就学前：270件 就学後：38件）

＜就学前＞

- ・待機児童を少しでも減らしてほしいです。
- ・保育士さんを増やして欲しいので、待遇を良くしてあげてほしい。
- ・保育園の無償化は家庭としては大変助かりますが、保育の質が低下しないか心配です。
- ・何歳からでも保育園に入れる制度を整えてもらいたいです。
- ・公立幼稚園が少なすぎる。
- ・すべての幼稚園、保育園で給食にしてほしい。
- ・母親がもっと短時間でも子供を預けて働くことができるよう保育所等気軽に利用することができるようにしてほしいです
- ・公立幼稚園の預かり保育時間、延長を希望します。
- ・希望の園に入所できるようにもしくは保活で育休を過ごさなくてよい体制になるとうれしいです。
- ・保育園を増やし、夜間も預かってもらえる所を増やして欲しい。
- ・災害時、子供を守る保育園、幼稚園を望みます。

＜就学後＞

- ・保育園の入所が大変だった。働きたい方が子供を産んでも働きつづけるようになってほしい。
- ・保育園の育休あけ予約のおかげで仕事を続けることができました。
- ・保育園を増やすばかりでなく、保育士不足からくる保育の質の低下が心配。保育士の賃金向上を図るべき。

(11) 子育て支援（就学前：253件 就学後：64件）

＜就学前＞

- ・つどいの広場のようなところがもっとたくさんあると良い
- ・子育て支援センターを保育所ではなく他施設内又は独立して作っていただけたらいい
- ・いつも子育てサロンで、スタッフの方や他の保護者の方とお話をする事ができ、救われています。
- ・のびサポは提供会員が少なく困っています。

- ・仕事をしているとなかなか地域の子育てイベントに参加できず、周りのママさんと接する機会も少ない為土日のイベントも増やして欲しい。
- ・リフレッシュ事業や短時間の預かり事業など充実するといいと感じます。
- ・病児保育の数が少ない。
- ・病児保育を充実させて欲しい。使いやすくしてほしい。準備物多い。
- ・ネットでの情報を増やして、もっとどんな場所なのかをイメージしやすい、情報を作ってほしい。安心して遊べる公園がほしい

＜就学後＞

- ・保ゴ者の急な入院など、自宅に派遣などがあると良いなと思いました。
- ・他市のような乳幼児が楽しく過ごせるイベントを児童館でもおこなってほしい。
- ・子育てに関する情報は、自分から見よう探そうとしないが入ってこない場合も多いので、改善できるといいと思う。
- ・小さなお子さんがいる家庭への支援や環境作りに目が行きがちですが、中、高、大学生になるともっともっと大変になりますので、そういう大きな子どものいる家庭への支援も充実するとありがたいです。

(12) 行政等（就学前：35件 就学後：31件）

＜就学前＞

- ・保健所や行政の施設を利用する機会が多いがホームページがわかりにくいので困る。
- ・子供にかかる予算が少なすぎます。
- ・親のための施策ではなく、子ども主体の施策を行ってほしい。
- ・妊娠・出産・育児が、線で繋がるような切れ目のない支援を望みます。

＜就学後＞

- ・支援が真に必要な人にきちんと届く運用をお願いしたい。
- ・もっと子育てに対する予算のわりあてを増やしてほしい。
- ・各区のホームページに要望など区民の声を届けることができるような項目をつくってほしいです。
- ・もっと子供たちからの声を聞き、本当に必要な事をやってもらいたい。

(13) その他（就学前：114件 就学後：39件）

＜就学前＞

- ・どうしてアンケートを行うのか、もっと具体的に記載していただけるとアンケートを回答する側も意欲がわく。
- ・今回のアンケートが今後の名古屋市の子育て支援に反映することを願っています。

＜就学後＞

- ・必要なアンケートなのかもしれませんが、項目が多すぎだと思います。
- ・質問が多く少し負担に感じました。紙を使ってやるのではなくネットなどにしてはどうでしょうか？